令　和　３　年　度　決　算

内部評価結果一覧

加　賀　市

１　令和３年度に実施した事務事業について、内部評価を行った結果は以下の通り。

令和３年度決算　内部評価結果　集計一覧

事務事業	拡充	継続	縮小	廃止	合計
	7	233	3	1	244

公の施設 （市の所管施設）	優	良	可	不可	合計
	18	29	1	0	48

総合計　　292事業

２　内部評価報告書（個票）の配布・掲載場所

・スマートシティ課（企画調整グループ）
・議会事務局
・山中温泉支所
・中央図書館
・山中図書館
・加賀市ホームページ

令和3年度決算　行政評価（内部評価）　事務事業一覧

（第2次加賀市総合計画　中期実施計画事業一覧ベース）

将来への備え	成長戦略

1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

①妊娠期から出産までの支援

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	1	01	出産準備手当給付事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	1	02	母子健康手帳交付事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	1	03	妊産婦新生児等訪問指導事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	1	04	妊産婦健診事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	1	05	妊娠期パパママ教室事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	1	06	不妊不育治療費助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	1	07	産後ケア費用助成事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	1	08	子どもの命を大切にする啓発事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1

②子育て支援・サービスの充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	2	01	保育園保育事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	3
1	2	02	子育て応援ステーション運営事業	子育て応援ステーション	継続	一般	3	2	4
1	2	03	多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	04	多子世帯等学校給食費助成事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	2
1	2	05	中央公園遊具整備事業	土木課	継続	一般	8	2	3
1	2	06	こども医療費助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	07	第3子以降誕生祝金給付事業（未来33）	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	08	こども育成相談センター運営事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	4
1	2	09	放課後児童クラブ運営委託事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	10	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	11	放課後子ども教室開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1	2	12	ひとり親家庭医療費助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	5
1	2	13	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	2
1	2	14	子ども会活動への支援事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1	2	15	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	16	保育料の軽減 事業	子育て支援課	継続	－	－	－	－
1	2	17	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1	2	18	乳幼児健診事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	2	19	乳幼児相談・教育事業	子育て応援ステーション	継続	一般	4	1	1
1	2	20	親子スマイリーネット事業	子育て応援ステーション	継続	一般	3	2	4
1	2	21	奨学金制度の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2

③家庭教育の充実と環境の構築

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	3	01	家庭教育の啓発・周知活動の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5

1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

④魅力ある学校教育内容の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	4	01	小中学生におけるプログラミング教育の推進事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	02	小中学校の教育推進事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	03	国際教育交流事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2
1	4	04	指導力向上による学校教育環境の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	05	学校保健の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	1
1	4	06	学校図書館の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	2	1
1	4	07	特別支援教育の充実事業	学校指導課・教育庶務課	拡充	一般	10	2	2
1	4	08	いじめ・不登校の解消事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	09	教育総合支援センターの充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	10	中谷宇吉郎科学奨励事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2
1	4	11	小中学校活性化事業	学校指導課・教育庶務課	拡充	一般	10	1	3
1	4	12	英語力向上事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	13	教職員研修事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	14	特別免許及び臨時免許活用事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	15	STEAM教育推進事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3
1	4	16	本川弘一科学奨励事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2

⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	5	01	学校普通教室等冷房化事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	3
1	5	02	学校トイレ洋式化整備事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	3
1	5	03	小学校施設の適正管理事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	1
1	5	04	中学校施設の適正管理事業	教育庶務課	継続	一般	10	3	1
1	5	05	小中学校ICT整備事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	2	2
1	5	06	学校給食施設の適正管理事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	2

⑥スポーツ活動の振興

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	6	01	加賀温泉郷マラソン開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1	6	02	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1	6	03	スポーツ交流推進事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1	6	04	スポーツ教室の開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1	6	05	ニュースポーツ大会の開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1	6	06	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用事業	スポーツ推進課	継続	－	－	－	－
1	6	07	スポーツ競技の育成支援事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1	6	08	スポーツ教室の開催の運営支援事業	スポーツ推進課	継続	－	－	－	－
1	6	09	スポーツ推進委員による開催事業	スポーツ推進課	継続	－	－	－	－
1	6	10	スポーツ施設の充実事業	スポーツ推進課	継続	－	－	－	－

⑦生涯学習の振興

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
1	7	01	中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業	教育庶務課	継続	一般	10	1	2
1	7	02	市民文化講演会開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1	7	03	ふるさと学習の推進事業	生涯学習課・学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	5	2
1	7	04	かがやき市民大学の促進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1	7	05	蔵書の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1	7	06	レファレンス（相談機能）能力の向上事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1	7	07	行政資料・郷土資料の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1	7	08	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1	7	09	青少年健全育成の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5

2．観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり

①戦略的な観光振興施策の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
2	1	01	加賀温泉郷誘客促進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	1	02	柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト事業	都市計画課	継続	一般	8	5	7
2	1	03	北前船日本遺産推進事業	文化振興課	継続	一般	10	5	2
2	1	04	魅力的な地域商品企画開発事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	1	05	温泉地回遊性向上事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	1	06	観光二次交通対策事業	観光交流課	縮小	一般	7	2	2
2	1	07	MICE誘致促進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	1	08	観光振興団体活動助成事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	1	09	ガーデンシティ構想推進事業	都市計画課	継続	一般	8	5	7
2	1	10	旧よしのや依緑園別荘整備事業	振興課	継続	一般	7	2	3

②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
2	2	01	三温泉観光誘客助成事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	2	02	観光地ブランド化推進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	2	03	芸妓活動支援事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	2	04	温泉観光地景観保全事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2

③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
2	3	01	出向宣伝事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	3	02	都市圏プロモーション事業	観光交流課	廃止	一般	7	2	2
2	3	03	旅行商品企画販売促進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	3	04	加賀温泉郷情報発信事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	3	05	加賀ブランディング情報発信事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	3	06	北陸新幹線延伸開業プロモーション事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	3	07	フイルムコミッション映画誘致事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2

④海外都市交流とインバウンド観光の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
2	4	01	海外都市交流事業	観光交流課	継続	一般	2	1	14
2	4	02	インバウンド推進事業（情報発信）	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	4	03	インバウンド推進事業（受け入れ体制整備）	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	4	04	国際力のある地域づくり事業	観光交流課	継続	一般	2	1	14
2	4	05	ジャパンテント受入事業	観光交流課	継続	一般	2	1	14

⑤国内都市との広域交流の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
2	5	01	国内都市交流事業	観光交流課	継続	一般	2	1	14

⑥伝統文化の継承・文化活動の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
2	6	01	祭礼行事助成事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2	6	02	伝統文化・芸能伝承の支援事業	文化振興課	継続	一般	10	5	2
2	6	03	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業	文化振興課	継続	一般	10	5	3
2	6	04	文化体験プログラムの充実事業	文化振興課	継続	一般	10	5	3
2	6	05	市民文化活動の促進と支援事業	文化振興課	継続	一般	10	5	3
2	6	06	「坂網猟」保存事業	環境課	継続	一般	4	2	3
2	6	07	山中節振興会活動事業	振興課	継続	一般	2	1	12

3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

①産学官連携によるまちづくりの振興

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	1	01	産業人材育成支援事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2

②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	2	01	スマートシティ推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
3	2	02	デジタル自治体プラットフォーム事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
3	2	03	高度人材育成事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1	2
3	2	04	人材育成の拠点整備事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1	2
3	2	05	地域課題解決実証事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1	2
3	2	06	KAGAものづくりラボ運営事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1	2
3	2	07	ロボットプログラミング大会の開催事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1	2
3	2	09	コンピュータクラブハウス加賀運営事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
3	2	10	エアモビリティ等活用事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1	2
3	2	11	デジタルデバイス普及促進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8

③企業誘致の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	3	01	企業誘致推進事業	企業誘致室	継続	一般	7	1	2

④地元就職の促進とPRの推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	4	01	ロボレーブ国際大会参加事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2
3	4	02	高校生人材育成支援助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	4	04	北陸先端科学技術大学院大学Uターン入学支援事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
3	4	05	Uターン・Iターン者の雇用促進事業	商工振興課	継続	一般	5	1	1

⑤新規創業の支援

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	5	01	創業支援事業(「創業支援事業計画」:創業応援ネットワーク構築事業、ワンストップ相談窓口事業)	商工振興課	継続	一般	7	1	1
3	5	02	新商品開発助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2

⑥商工業の振興

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	6	01	海外輸出促進事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	6	02	企業等顕彰事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	6	03	店舗立地の支援等による商業集積の促進事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	6	04	キャッシュレス決済推進助成事業	商工振興課	継続	－	－	－	－
3	6	05	中小企業設備投資促進事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	6	06	中小企業振興資金融資制度	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	6	07	ふるさと納税の推進	商工振興課	継続	一般	2	1	8

3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

⑦伝統産業の継承・活性化

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	7	01	山中伝統漆器後継者育成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	7	02	JAPANブランド育成支援事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	7	03	九谷焼後継者育成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	7	04	伝統工芸展開催助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	7	05	食のブランド化事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	7	06	伝統工芸等担い手工房開設支援事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3	7	07	希少伝統的匠の技後継者養成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2

⑧農林水産業の振興

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
3	8	01	地産地消・6次産業化推進事業	農林水産課	拡充	一般	6	1	3
3	8	02	鳥獣被害防止対策事業	農林水産課	継続	一般	6	1	3
3	8	03	森林経営管理推進事業	農林水産課	継続	一般	6	2	2
3	8	04	スマート農業推進事業	農林水産課	継続	一般	6	1	3

4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり

①地域福祉の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
4	1	01	地域見守り支えあいネットワーク事業	福祉政策課	継続	一般	3	1	1
4	1	02	権利擁護事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2

②地域包括ケアシステムの構築

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
4	2	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4	2	02	包括ブランチ及び地域福祉コーディネート事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4	2	03	シニア活動応援事業	介護福祉課	継続	介護保険特別	4	1	2

③健康づくりの推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
4	3	01	健康づくり事業 （KAGA健食健歩プロジェクト）	健康課	拡充	国保特別	6	2	1
4	3	02	こころの健康づくり対策事業	健康課	継続	一般	4	1	2
4	3	03	食生活改善推進事業	健康課	継続	一般	4	1	2
4	3	04	健康診査・各種検診事業	健康課	継続	一般	4	1	2
4	3	05	感染症予防対策事業	健康課	継続	一般	4	1	3
4	3	06	国保保健事業	健康課	継続	国保特別	6	2	1
4	3	07	ウォーキング教室開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5

④医療提供体制の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
4	4	01	在宅医療介護連携推進事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4	4	02	医師招へい推進策事業	医療センター病院管理部総務課	継続	病院事業	1	1	3
4	4	03	医療機能向上推進事業	医療センター病院管理部総務課	継続	病院事業	1	1	2
4	4	04	地域医療推進事業	介護福祉課	継続	一般	4	1	1
4	4	05	電子カルテシステム更新に伴うスマートホスピタル推進事業	医療センター医療サービス課	継続	病院事業	1	1	2

4．いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり

⑤高齢者福祉の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
4	5	01	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、介護予防マネジメント事業）	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	1
4	5	02	介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）	地域包括支援センター	拡充	介護保険特別	4	1	1
4	5	03	認知症予防・支援体制構築事業(もの忘れ健診、かかりつけ医対応力向上研修、認知症初期集中支援チーム）	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	1
4	5	04	認知症ケア普及事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	3
4	5	05	総合相談事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4	5	06	介護支援ボランティア制度事業	介護福祉課	継続	介護保険特別	4	1	1
4	5	07	加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業（エビデンスに基づく健康増進プログラムの調査研究事業・認知症を科学的に学ぶプログラムの調査研究事業）	福祉政策課・相談支援課	継続	一般	3	1	3
4	5	08	老人クラブ育成事業	介護福祉課	継続	一般	3	1	3

⑥障がい者福祉の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
4	6	01	じりつ支援協議会運営事業	地域包括支援センター	継続	一般	3	1	2
4	6	02	理解促進研修・啓発事業	介護福祉課	継続	一般	3	1	2
4	6	03	就労支援ネットワークの強化・企業等への働きかけ事業	介護福祉課	継続	－	－	－	－
4	6	04	スマートインクルージョン推進事業	介護福祉課	継続	一般	3	1	1

5．みんなが手をとり、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	0	01	市民窓口や市ホームページなどでの多言語対応の推進	窓口課・スマートシティ課	継続	一般	2	1	4

①市民交流・まちづくり活動の活性化

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	1	01	まちづくり事務局助成事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1	12
5	1	02	まちづくり活動助成事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1	12
5	1	03	公民館大会の開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2

②若者などの移住・定住の促進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	2	02	移住住宅（若年層定住住宅）取得助成等事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
5	2	03	ワーケーション・テレワーク環境整備事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
5	2	04	定住促進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
5	2	05	空き家を活用した住宅整備事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
5	2	06	高校魅力化事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2

③独身男女の願いを叶える出会いの創出

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	3	01	婚活支援事業	スマートシティ課	縮小	一般	2	1	8

④人権が尊重される社会の形成

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	4	01	人権啓発教育事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1	16

⑤男女共同参画の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	5	01	男女共同参画推進事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1	13

5．みんなが手をとり、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

⑥ボランティア活動の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	6	01	地域ヤングボランティア育成事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5

⑦防災対策の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	7	01	防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)整備事業	危機対策課	継続	一般	9	1	5
5	7	02	総合防災訓練開催事業	危機対策課	継続	一般	9	1	5
5	7	03	防災備蓄倉庫備蓄資機材等購入事業	危機対策課	継続	一般	9	1	5
5	7	04	消防施設・設備整備事業	消防総務課	継続	一般	9	1	1
5	7	05	消防車両整備事業	消防総務課	継続	一般	9	1	3
5	7	06	消防水利整備事業	警防課	継続	一般	9	1	3
5	7	07	放水器具購入助成事業	警防課	継続	一般	9	1	3
5	7	08	地域防災組織の育成事業	危機対策課	継続	一般	9	1	5

⑧空き家対策の推進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	8	01	空き家バンク拡充事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
5	8	02	空家等対策推進事業	建築課	継続	一般	4	2	3

⑨交通安全・防犯の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
5	9	01	交通安全推進事業	危機対策課	継続	一般	2	1	11
5	9	02	防犯対策事業	危機対策課	継続	一般	2	1	11

6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

①自然環境の保全

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
6	1	01	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	環境課	継続	一般	4	2	2
6	1	02	クリーンビーチ・インかが開催事業	環境課	継続	一般	4	2	2
6	1	03	地球温暖化対策推進事業(エネルギーマネジメント事業)	環境課	継続	一般	4	2	3

②良好な歴史的景観の保全

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
6	2	01	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6	2	02	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6	2	03	大聖寺十万石城下町史蹟再生事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6	2	04	文化財の適正管理事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6	2	05	景観保存活動の支援事業	文化振興課	継続	-	-	-	-
6	2	06	九谷磁器窯跡整備事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6	2	07	文化的景観保護推進事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6	2	08	景観整備事業	建築課	継続	一般	8	5	7
6	2	09	町屋再生事業	建築課	継続	一般	8	6	2

③交通ネットワークの充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
6	3	01	都市計画基礎調査事業	都市計画課	継続	一般	8	5	1
6	3	02	松島橋架替え事業(市道A第60号線)	土木課	継続	一般	8	2	3
6	3	03	都市計画道路整備事業	都市計画課	継続	一般	8	5	2
6	3	04	生活道路整備事業	土木課	継続	一般	8	1	1
6	3	05	橋梁長寿命化対策事業	土木課	継続	一般	8	2	4
6	3	06	加賀温泉駅前活性化対策事業	新幹線対策室	継続	一般	8	5	1
6	3	07	山中温泉地区都市再生整備事業	都市計画課	継続	一般	8	5	2
6	3	08	加賀温泉駅周辺施設整備事業	新幹線対策室	継続	一般	8	5	1
6	3	09	消雪施設更新事業	土木課	継続	一般	8	2	2

6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

④地域公共交通の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
6	4	01	地域交通対策(KAGAあんしんネット)事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
6	4	02	MaaS推進事業	スマートシティ課	拡充	一般	2	1	8

⑤上下水道の適正管理

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
6	5	01	原水浄水施設整備事業	水道課	継続	水道事業	2	1	2
6	5	02	管路耐震化事業	水道課	継続	水道事業	2	1	3
6	5	03	配水施設更新事業	水道課	継続	水道事業	2	1	3
6	5	04	公共下水道整備事業	下水道課	継続	下水道事業	41	1	1
6	5	05	公共下水道更新事業	下水道課	継続	下水道事業	41	1	1
6	5	06	下水処理場統合事業	下水道課	継続	下水道事業	21	1	8
6	5	07	農業集落排水施設更新事業	下水道課	縮小	下水道事業	21	1	8
6	5	08	合併処理浄化槽設置助成事業	経営企画課	継続	一般	4	3	3

⑥憩いの場の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
6	6	01	都市公園管理事業	土木課	継続	一般	8	5	6
6	6	02	中央公園管理事業	土木課	継続	一般	8	5	6
6	6	03	(仮称)山代温泉広場整備事業	都市計画課	継続	一般	8	5	6

7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

①市政への市民参画の促進

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
7	1	01	パブリックコメントの積極的展開事業	スマートシティ課	継続	－	－	－	－

②広報・広聴体制の充実

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
7	2	01	シティプロモーション推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	4
7	2	02	広報発行事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	4
7	2	03	テレビ広報推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	4
7	2	04	新聞・SNS等広報推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	4

③公共施設の適正な維持管理

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
7	3	01	公共施設マネジメントの推進	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
7	3	02	加賀市行政サービスセンター整備事業	窓口課	継続	一般	2	1	7
7	3	03	道路台帳整備委託事業	土木課	継続	一般	8	2	1

④計画的な行財政運営

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
7	4	01	「行政改革大綱」の推進	スマートシティ課	継続	－	－	－	－
7	4	02	行政評価「公開外部評価会」開催事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8

0. 自然・歴史・伝統が息づく　住んでいたい　来てみたいまち

			事　務　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
0	1	01	加賀市SDGs推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
0	1	02	加賀ライズタウン事業	加賀ライズタウン推進本部	継続	一般	2	1	8

地方創生推進交付金事業

			交　付　金　事　業	担当課	評価	会計	款	項	目
8	1	01	多拠点居住による新たな地方創生事業	スマートシティ課	拡充	一般	2	1	8
8	1	02	加賀市版「生涯活躍のまち」推進事業	地域包括支援センター・介護福祉課・福祉政策課	継続	一般	3	1	3
8	1	03	デジタル技術活用教育事業	生涯学習課・スマートシティ課	継続	一般	10	5	2

令和3年度決算　行政評価（内部評価）　公の施設一覧

【原則　対象施設について】

① 市職員（臨時を含む）を配置している施設
② 公募による指定管理者制度導入施設
③ 非公募だが一般市民や観光客の利用に供する施設
（地域活動の拠点となっている施設は除く）

事業番号	事業内容	公の施設名	担当課	評価	会計	款	項	目
A01	A 展観施設	加賀市美術館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A02		中谷宇吉郎雪の科学館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A03		北前船の里資料館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A04		九谷焼美術館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A05		魯山人寓居跡いろは草庵管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A06		九谷焼窯跡展示館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A07		深田久弥山の文化館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
A08		山中温泉芭蕉の館管理	振興課	良	一般会計	10	5	3
A09		鴨池観察館管理	環境課	良	一般会計	4	2	6
B01	B 体育施設	加賀体育館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B02		武道館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B03		大聖寺グラウンド管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B04		大聖寺テニスコート管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B05		陸上競技場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B06		相撲場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B07		スポーツセンター管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B09		山中健民体育館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B10		山中武道館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B11		山中弓道場管理	スポーツ推進課	良	一般会計	10	6	6
B12		中央公園野球場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B13		山中球場管理	スポーツ推進課	良	一般会計	10	6	6
B14		片山津野球場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B15		グラウンド(山代・動橋)管理	スポーツ推進課	良	一般会計	10	6	6
B16		中央公園テニスコート管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B17		水泳プール管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B18		いきいきランドかが管理	環境課	優	一般会計	4	1	2
B19		ゆけむり健康村管理	振興課	良	一般会計	7	2	3
B20		橋立自然公園管理運動広場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
B21		黒崎多目的広場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6
C01	C 貸館施設	セミナーハウスあいりす管理	生涯学習課	可	一般会計	10	5	3
C02		加賀市文化会館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3
C03		山中温泉文化会館管理	振興課	良	一般会計	10	5	3
C04		山中座管理	振興課	良	一般会計	7	2	3
C05		はづちを楽堂管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3
C06		竹の浦館管理	農林水産課	良	一般会計	6	1	3
C07		ろくろの里施設管理	振興課	良	一般会計	7	1	4
C08		かが交流プラザさくら管理	行政まちづくり課	優	一般会計	2	1	12
D01	D 入浴施設	山代温泉総湯管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3
D02		片山津温泉総湯公園管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3
D03		山中温泉共同浴場管理	振興課	良	一般会計	7	2	3
E01	E　屋外施設	瀬越キャンプ場管理	農林水産課	良	一般会計	6	1	3
G01	G その他	観光情報センター管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3
G02		橋立自然公園管理	都市計画課	良	一般会計	8	5	6
G03		中央図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3
G04		山中図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3
G05		高齢者健康プラザ管理	介護福祉課	良	一般会計	3	1	5
G07		かがにこにこパーク管理	子育て支援課	良	一般会計	3	2	1
G08		かが健康グリーンパーク管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6

令　和　３　年　度　決　算

内　部　評　価　報　告　書

【事務事業】

加　賀　市

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(1)②1
基本方針	0. 自然・歴史・伝統が息づく　住んでいたい　来てみたいまち		
施　策	ー		

事業番号	0101	事務事業名	加賀市SDGs推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

令和2年7月に「SDGs未来都市」に選定されたことに伴い、市内事業所等と協働でSDGsに取り組むため、SDGsに積極的に取り組む事業所をSDGsパートナーとして登録する。
また、周知啓発や事業所内での具体的な取り組みの推進のため、研修会を開催し、市民・市内事業所を巻き込んだ活動を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年11月4日からパートナー登録制度を開始した。
令和4年3月31日時点の登録事業所数は25事業所となっている。
登録事業所には、登録証を発行し、SDGsのピンバッジを配布している。また、市のHPに登録事業所と取組み内容を掲載し、取引先及び消費者へPRすることで普及を進めている。
また、制度を開始するにあたり、加賀市SDGsパートナー制度創設キックオフイベントを実施し、15の事業所から担当者が参加した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	87	一般会計	2	1	8	3	8	スマートシティ推進費	486
②									
③									
								関連決算額合計	486

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	SDGsの理念である経済、社会、環境の三側面における新しい価値創出を通して、持続可能なまちを実現するためには、官民の協働が不可欠である。 パートナー登録制度を推進することで、普及を進めながら、各事業者の取組みによってSDGsを進めていくことが可能となる。 直接事業を実施することに比べ費用を抑えることもできる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

事業を継続し、パートナー登録事業者を増やし、SDGsの普及させ推進する。
パートナー間での情報共有や、更なる連携を目的として、SDGsイベントを開催し、パートナー事業者の研鑽や対外的な啓蒙に資する活動とする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	0. 自然・歴史・伝統が息づく　住んでいたい　来てみたいまち		
施　策	ー		

事業番号	0102	事務事業名	加賀ライズタウン事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	加賀ライズタウン推進本部	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

2024年の北陸新幹線加賀温泉駅開業を見据え、地域の活性化を図るため、駅周辺に未来型の商業エリア・居住エリアの整備を目指す。
これにより、加賀温泉駅周辺において未来型の商業・住宅等を融合した未来型生活都市「加賀ライズタウン」を実現し、市民をはじめ世界中のクリエイティヴな人材や高度人材が集うような地域づくりに繋げていく。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀ライズタウン構想の策定に向けた各種調査並びにコンセプトの策定を行った。
また、カカオを活用した新たな産業の創出並びに再生可能エネルギーによる脱炭素社会と地域内経済循環を推進するため、東京大学・㈱DK-Power・㈱フェリシモと共に、バイオマス発電による排熱を活用したカカオ栽培・産業育成の可能性を合同で調査する共同研究や検討を行った。

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	87	一般会計	2	1	8	3	8	スマートシティ推進費	3,863
②									
③									
								関連決算額合計	3,863

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	加賀ライズタウン構想の策定に繋がる加賀ライズタウンのコンセプトが完成した。 また、カカオの民間による事業化については、研究・検討の結果、本市におけるカカオ栽培の実施には多大なコストが掛かり、収穫されるカカオやカカオを使用した製品の販売等で運営費用が賄えるとは考えにくく、民間事業者が採算の取れる事業として行うことは極めて困難であることを確認した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

現在、加賀ライズタウン事業に関心を持つ事業者と意見交換を進めている。この取組を今後さらに加速させ、意見交換を踏まえた上で、加賀ライズタウン構想の策定及び事業の実施に向け参画いただける事業者等の選定を行う。
また、新たな産業の創出を目指し、カカオやその他関連事業の可能性について、多角的な検討を引き続き進める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1101	事務事業名	出産準備手当給付事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

安心して子供を産み育てることができるように、出産準備手当を給付することで子育て世代への経済的負担を軽減する。また、申請時の妊産婦との面接等により、妊娠中からの相談支援を充実させ、加賀市を担う次世代の育成を推進する。年度内で妊娠16週から産後14日までの妊産婦を対象に胎児1人につき1万円を給付する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

妊産婦に対して、申請受付と同時に保健師等が妊婦健診の結果に基づく保健指導や産前産後の支援について情報提供を行った。また、支援が必要な妊産婦に対しては、「妊娠・出産・子育てライフプラン」を作成し、訪問等を通して相談支援を行う利用者支援事業につなぎ、継続したかかわりを行った。未申請者には電話等で申請を促した。給付申請者数は327人であった（申請率99.1%）。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	3,300
②									
③									
								関連決算額合計	3,300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	申請時の窓口において妊産婦が相談できる機会となり、各種情報提供を行うことで妊産婦の不安軽減につながっている。また、産後の支援がない場合は、妊娠期から各サービスの手続き支援を行い、育児の環境調整も含め早期から具体的な支援を行うことにつながっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

出産・子育ての負担軽減により安心して生み育てることができるよう、引き続き出産準備手当の給付を実施する。また、申請時の妊産婦との面談を行うことにより、支援が必要な妊産婦の不安の軽減や継続的な支援へとつなげていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1102	事務事業名	母子健康手帳交付事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

母子保健法に基づき、妊娠届出をした妊婦に、妊娠中の経過や児の記録を綴る母子健康手帳を交付する。
母子健康手帳の交付に併せて、保健指導・健康相談の機会を設け、妊婦の不安や妊娠期からの出産のリスクを軽減し、安心して妊娠出産を迎えることができるように支援する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

保健師・助産師が保健センター窓口で、妊娠届出時に、母子健康手帳、子育て健診のしおり、妊産婦乳児一般健康診査票、母子保健テキストなどを交付し、保健指導や必要なサービスの紹介をした。必要時は管理栄養士も同席で面接し、栄養指導を実施した。また、地区担当保健師等の名前を記載したカードを渡し、次の相談につながるように努めた。母子健康手帳交付数:323件
令和3年度は母子健康手帳交付時等で妊婦面接を343名（転入者含む）に実施し、うち支援の必要な妊婦106名（30.9%）に「妊娠・出産・子育てライフプラン」を作成し、妊娠期からの継続支援につなげた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	338
②									
③									
								関連決算額合計	338

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	母子健康手帳交付の機会に妊婦の健康状態や生活実態を把握し、相談対応することで、妊娠中の過ごし方や産前からの育児環境を整えるための支援につながっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

母子健康手帳交付時に保健師・助産師、必要時には管理栄養士と面接を行うことで、早期から妊婦と関わりを持ち、母子ともに安心して妊娠、出産、産後を過ごせるように、継続支援等を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1103	事務事業名	妊産婦新生児等訪問指導事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

母子保健法、児童福祉法に基づき、妊娠・出産・育児へと切れ目ない支援として、保健師等が家庭を訪問し、健康面や子育てなどの相談に対応することで、母子の健全育成を促し、安心して産み育てることでできる環境を整備する。また、育児不安を軽減し、虐待を未然に防ぐ。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①新生児訪問、産婦訪問（乳児家庭全戸訪問事業兼ねる）：生後4か月を迎えるまでの新生児又は乳児とその産婦全数の訪問指導を行った。実績：354件実施（実施率100%）
②養育支援訪問：精神疾患がある妊婦、若年妊婦、産後うつの疑いのある産婦や育児困難等がある母子など養育支援が必要な家庭には、妊娠期から訪問にて支援を行った。実績：延べ817件
③産前産後家庭支援ヘルパー事業：体調不良などのため家事、育児を行えない産前、産後1年以内の妊産婦及びその子に、専門のヘルパーが訪問し家事育児支援を行った。多胎児妊産婦の自己負担額を無料として、負担軽減を図った。実績：延べ83件
④助産師連絡会を毎月実施し、関係機関と妊娠期から産後のよりよい支援を検討した。
実績：11回開催。ケース検討延件数993件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	1,700
②									
③									
								関連決算額合計	1,700

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新生児訪問、産婦訪問は100%の実施率を維持し全数把握に努め、支援が必要な妊産婦をタイムリーに訪問しサービスにつなぐことで産後うつ等の産婦への不安軽減にもつながっており、虐待予防としても有効である。 産前産後に継続した養育支援が必要な妊産婦や、育児や家事などの支援が得られない産婦に対し、心身の負担軽減のためにも①～④は必要な事業である。 妊娠、出産、育児と切れ目ない支援のために、助産師連絡会では、関係機関の連携により環境調整にもつながっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

妊娠、出産、乳幼児期を通した切れ目ない支援として、妊娠期から支援が必要となる妊婦を把握し、安心して産み育てることができるように環境を整えたり、心身の安定を図るため、乳児家庭全戸訪問事業をはじめとした各訪問事業は今後も継続して実施する。また、産前のサポート強化として、産前産後家庭支援ヘルパー事業として実施する他、多胎妊産婦には自己負担額の免除を行い、支援を受けやすい体制を継続する。
他機関が関わるケースの場合は、切れ目ない支援のためケース会議、関係機関との連絡会での情報共有の機会を継続的に確保していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①3
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1104	事務事業名	妊産婦健診事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

妊産婦の健康状態と胎児の発育状況を把握し、安心・安全に産前産後の期間を過ごせるように支援するため、産科及び歯科の健康診査を実施する。妊娠期・出産後の産褥期の母子に対し、定期的な健康管理を行い、必要な時期に適切な医療及び保健指導を受けられるようにする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

母子健康手帳交付時に、妊産婦健康診査受診票(妊婦歯科健康診査1回・妊婦健康診査14回・産婦健康診査1回)を交付し、指定医療機関と助産院に健康診査を委託している。また、県外医療機関での妊産婦健康診査や出産予定日以降出産までに必要な回数分の妊婦健康診査については、償還払いで対応した。
妊婦歯科健康診査実績：実134件
妊婦健康診査実績：1～14回目延4,870件、15回目以降延63件
産婦健康診査実績：実312件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	2	乳幼児健康診査費	43,951
②									
③									
								関連決算額合計	43,951

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	妊娠中から出産後までの必要な時期に母子の健康管理と保健指導等を行うことで、切れ目ない支援を行うことができ、妊産婦は安心して過ごすことができている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

妊娠・出産にかかる健康診査費用の負担を軽減することで、安心安全な産前産後の健康管理と、子育て世代への経済的な負担を軽減することができるため継続して実施する。健診回数が頻回となる多胎妊婦への健診費用の一部助成についても継続する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①4
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1105	事務事業名	妊娠期パパママ教室事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

妊婦及びその夫・パートナーを対象に、妊娠・出産期の健康管理への知識の習得と育児の体験学習により、妊娠期からの安心、安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない支援と地域の子育て支援につながることを目的に、妊娠期パパママ教室を開催する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

2回1コースの内容を年8回実施した。母体の健康管理及び胎児の成長を考えた保健師・栄養士による講話「からだと食事編」と、赤ちゃんを迎えるための準備としての助産師による講話や沐浴体験等を含めた「出産と育児編」の2種類を実施している。「出産と育児編」はNPO法人かもママに委託し地域の子育て拠点で実施し、育児アドバイザーが地域の子育て支援につなげた。
母子健康手帳交付時と出産準備金給付申請時に教室の案内を行い、妊娠安定期には個別通知を行った。
参加者数：計50組（夫：47人、妊婦：50人）　妊婦の参加率は15.0%と前年度よりも増加している。また、初産妊婦の参加率は86.0%、夫・パートナーの同伴は90.0%であった。新型コロナウイルス感染対策を行った上で、教室を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	406
②									
③									
								関連決算額合計	406

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	出産と育児編をNPO法人かもママに委託することにより妊婦が妊娠期から地域の子育て支援情報を得ることができ、育児期の孤立化の予防につながっている。また、父親の育児参加は、母親の精神的安定をもたらすことができ産後の支援につながっている。また、「出産と育児編」の教室内で、父親の不安解消のため、スタッフが父親向け育児アドバイザーを実施し、父親同士が情報を共有する場を設けている。今後も委託の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

母子健康手帳交付時等窓口相談時での周知や個別通知を行い、参加を促していく。またLOGOフォームからの申し込みも可能とする。
「からだと食事編」の教室内では、1食の適量を学ぶ教材として「レストランさくらのヘルシーランチ」を活用し、実際の食事と比較できる教室内容とする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)②4
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1106	事務事業名	不妊不育治療費助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

【目的】
妊娠を望む夫婦、及び妊娠はするものの、流産・死産を繰り返す不育症の夫婦の治療に要する費用を助成することにより、不妊（不育）治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進を図ることを目的とする。

【概要】
（一般）一般不妊治療費助成、（特定）特定不妊治療費助成、（不育治療）不育治療費助成

治療区分	対象治療	年齢制限	助成期間	助成回数	助成金額	申請期限
一般（県1/2）	薬物療法 タイミング療法 人工授精など	なし	連続する2年間	出産ごとに新たに2年間の助成を受けることができる	自己負担額の2分の1について、1年あたり上限5万円（2年間分をまとめて申請可）	治療を開始した日の属する月の翌月から2年以内
特定（市単）	体外受精 顕微授精 男性不妊治療など	43歳未満	限度なし	40歳未満：出産につき６回 43歳未満：出産につき３回	県の助成（※下記参照）を差し引いた残りの自己負担額について、治療内容により、1回あたり上限30万円もしくは上限10万円	県助成の決定通知書の日付から1年以内

※県の特定不妊治療費助成…治療内容により、１回につき、30万円もしくは10万円を助成

治療区分	対象治療等	年齢制限	助成期間	助成金額
不育治療	医療機関において行われる 不育症治療及びこれらに付随する検査	なし	通算５年間	1年度あたり30万円を上限

※上記の概要は、保険適用前の治療費についての助成。
※令和4年4月1日から体外受精などの基本治療は保険適用となりました。保険適用後の治療費助成制度は検討中。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

一般不妊治療費助成　16件（実人数　13人）　助成額　567,751円（平均35,484円／件）
特定不妊治療費助成　41件（実人数　21人）　助成額　5,345,836円（平均130,632円／件）
不育治療費助成　0件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	122	一般会計	3	2	1	3	7	子育て応援事業	5,914
②									
③									
								関連決算額合計	5,914

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	不妊（不育）治療に係る医療費は、一部を除いて保険診療の対象外となっており、子どもを望む夫婦にとって大きな経済的負担となっている。治療費の負担軽減により、安心して治療を受けることができ、市の少子化対策にとっても有効な事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

晩婚化が進むなかで、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担が大きくなっているため、今後も引き続き助成事業を行う。
体外受精などの基本治療は保険適用となったが、基本治療と併せて行うことで妊娠の確率を上げる先進的な医療については、全額自己負担となっている。保険適用後の新たな助成制度は現在検討中であるが、助成内容を早急に定め、治療を必要とする夫婦が適切な治療を受けられるよう環境を整える。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①5
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1107	事務事業名	産後ケア費用助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

安心して産み育てることができ、子どもの心身の健やかな成長を促すことを目的に、心身のケアや育児のサポートができるような支援体制を確保する。
市内に住所を有する出産後1年未満の産婦及び乳児であって、産後の心身の不調により育児不安がある産婦や、産後の体調が悪く休養や栄養管理が難しい産婦とその子に対して、助産師など専門職が乳児のケアと産婦の心身のケアや育児支援を実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

産後の母子の心身のケアと育児サポートを行うため、宿泊型（加賀市医療センターにて7日以内）、通所型（委託開業助産院にて3回以内）、訪問型（委託開業助産師の訪問を5回以内）の体制を継続している。令和3年度から本事業の自己負担額を半額にし、訪問型の委託先を増やして利用しやすい体制を整えた。また、多胎児産婦の自己負担額も無料として、多胎児支援を充実させた（自己負担あり。多胎産婦、非課税世帯及び生活保護世帯は自己負担額無料）。
実施状況は、産後支援のない者や育児不安がある者等に対して、通所型8名（延19日）、訪問型5名（延23回）であり、利用数は増加した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	632
②									
③									
								関連決算額合計	632

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	自己負担額を半額にしたことで、利用件数の増加につながり、必要な対象者に確実なサービス利用に繋がっている。 委託機関とも連携して育児不安を軽減し、安心して子育てができる支援体制を確保するためにも継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市のホームページや妊娠届出時、転入妊婦の面接等で、広く事業の紹介を行う。医療機関や開業助産師からも必要な妊産婦に事業を紹介してもらい連携を図っていく。自己負担額の軽減により、支援が必要な対象者が利用しやすい体制を継続する。
妊婦に、妊娠期から産後の支援の必要性を確認し事業を提案することで、切れ目なく産後の環境調整が可能となるため、今後も利用促進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①6
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	①妊娠期から出産までの支援		

事業番号	1108	事務事業名	子どもの命を大切にする啓発事業			
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

妊娠したときから始まる次世代の育成とお腹の赤ちゃんと妊産婦を大切にするまちづくりの実現に向け、社会全体がお腹の赤ちゃんと妊産婦を温かく迎える啓発活動を推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①啓発事業および講演会
7月13日の「加賀市生命尊重の日」に啓発ブースを設置し、母子健康手帳交付の際には啓発ティッシュを配布した。
②小学校への助産師派遣による啓発活動支援
助産師の講話を6校で実施した（うち5校で親子ふれあい体験を実施）。親子ふれあい体験は1組の親子の協力を得て、児童が赤ちゃんの様子を見ながら、母へインタビュー（10分間）を行った。新型コロナウイルス感染状況により、親子の参加を見合わせ、当日は助産師講話時に事前に撮影した親子の動画を組み込み実施した。
③大学と共同研究で『ねんねナビ®』実証事業を継続し、令和3年度は6名に実施した。また加速度計を活用して客観的な評価を1名に実施した。大阪大学大学院谷池教授による「ねんねと育ち」と題した講演会を実施し、80名の参加があった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	615
②									
③									
								関連決算額合計	615

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	妊産婦とお腹の赤ちゃんを市民が温かく迎えることができるまちづくりに向けて、啓発イベント、小学生への助産師講話やふれあい体験、啓発講演会を通して、「命の大切さ」を考える機会となっており、今後も継続して取り組んでいく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民向けの啓発イベントとして「健康フェスタ」での展示ブースの設置等による啓発や、漫画やドラマの『コウノドリ』のモデルとなった産婦人科医をお招きし啓発講演会を実施する。
小学生への助産師講話とふれあい体験は、生涯学習課と共同で開催する。
『ねんねナビ』については、睡眠の困り感のある保護者を対象に、AIによる生活習慣アドバイスが受けられるアプリサービスを開始する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち･ひと･しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援･サービスの充実		

事業番号	1201	事務事業名	保育園保育事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内に住む就学前の保育を必要とする児童及び必要に応じて市外の児童を公立保育園12カ所、法人立保育園･認定こども園14カ所で受け入れ、保育を実施する。通常保育のほか、延長保育、休日保育、健やかふれあい(障がい児)保育等の特別保育を行う。
保育ニーズの多様化が進む中、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

1　通常保育の実施状況(令和3年4月1日現在)
　公立保育園(12園)及び法人立保育園･認定こども園(14園)で実施
　金明、湖北、潮津の3つの公立保育園を再編したスワトン保育園開園(定員100人)。
　0･1歳児保育の充実、医療的ケア児の受入れ体制を整備、子育て支援センターの併設等、保育サービスの充実を図った。
(1) 公立保育園在籍児童数　545 人
(2) 法人立保育園･認定こども園在籍児童数　1,352人　(1)(2)合計　1,897人
2　主な特別保育の実施状況
(1) 延長保育
　通常の保育時間を超えた保育を実施する。 実施箇所数:公立･法人立保育園全園
(2) 休日保育
　日曜･祝日に保護者の就労等のため児童を保育する法人立保育園に補助する。 実施箇所数:5園
(3) 病児病後児保育
　病時･病気回復期にある通園児童を対象に、加賀市医療センターにある専用施設で保育を実施する。
(4) 健やかふれあい保育
　軽度･中度障害児を保育する法人立保育園に補助する

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	128	一般会計	3	2	3	1	1	職員費	492,172
②	128	一般会計	3	2	3	1	2	会計年度任用職員給与費	187,352
③	128	一般会計	3	2	3	2	1	嘱託医報酬費	2,253
④	128	一般会計	3	2	3	2	2	保育教材費	445
⑤	128	一般会計	3	2	3	2	3	その他運営費	92,100
⑥	129	一般会計	3	2	3	4	1	保育実施費(12園)	53,879
⑦	129	一般会計	3	2	3	5	1	保育推進事業費	747
⑧	129	一般会計	3	2	3	5	2	市立保育園特別保育費	428
⑨	129	一般会計	3	2	3	6	1	保育実施費(13園)	1,602,513
⑩	129	一般会計	3	2	3	7	1	特別保育助成費	41,816
⑪	130	一般会計	3	2	3	7	2	経営安定助成費(14園)	46,280
								関連決算額合計	2,519,985

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	高い	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	保育を必要とする子育て世帯が増えている中、経済的負担を軽減することにより、仕事と子育ての両立を支援できることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

途中入園の保育受入れ体制を充実させることにより、職場復帰に向けた保育所等への入所時期に関する保護者の不安を解消する。
保育業務のICT化を推進し、保育の質の向上、保護者の利便性の向上を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)①7
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1202	事務事業名	子育て応援ステーション運営事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	児童相談グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

子ども及びその保護者等、妊娠している人に、教育、保育、保健、その他の必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携、協働の体制づくりを行うことを目的とする。
妊娠期から子育て期（おおむね0歳～18歳）の子育て家庭を対象に、専門スタッフ（保健師、保育士、社会福祉士、家庭相談員等）が相談・支援を行う「ワンストップ相談窓口として、母子保健と一体的に切れ目のない相談や支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内に所在するすべての子どもとその家庭と妊産婦等を対象に子ども家庭支援全般にかかる業務（実情把握・情報提供・相談、虐待通告の相談、関係機関との連絡調整）を行う「子ども家庭総合支援拠点」を子育て応援ステーションに設置し対応している。
新規相談実人数269人（うち児童相談142人）、相談述べ件数7,190人、虐待通告対応件数27件
子育て見守りネットワークの冊子（世帯数約2,170世帯、児童数約2,900人）、子育て情報誌の発行や市の子育てサービスを掲載したフライヤー（約3,000部配布）を作成し、子育て家庭及び地域への関係機関等に配布し、情報発信・周知を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	132	一般会計	3	2	4	5	1	運営費	12,142
②									
③									
								関連決算額合計	12,142

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	妊娠期から、子育て情報の提供および継続した相談支援を行うことで、タイムリーに福祉サービスや専門相談機関につなげ、親の育成不安・負担の軽減を図り、安心して産み育てることができるよう、また、子どもの安心・安全を保障するために、事業の有効性は高く、継続は必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度より、母子保健・児童相談・障がい児支援の相談機能を集約し、一元化して業務を行う。
児童虐待が大きな社会問題となっている中、妊娠期から関係機関と連携し、支援が必要な家庭の早期発見に努め、必要なサービスの調整と提供、子どもへの具体的な対応を行うことで、虐待防止に努める。さらに、ヤングケアラーの支援について、教育委員会等と連携して取り組む。
母子保健との一体化により、児童相談システムを共有した情報の管理と緊急時対応が適切に行えるように体制を整える。
国・県等の研修会の受講、所内での研修により職員の専門性を高める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1203	事務事業名	多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

本事業は、多子世帯における経済的負担の軽減を図り、より子育てしやすい環境を整備することを目的とし、18歳未満の児童を2人以上養育する保護者に対し、その児童のうち年長者から数えて2番目以降の児童が放課後児童クラブを利用する場合に必要となる利用料を助成するもの。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

対象者の放課後児童クラブ利用に係る利用料を助成した。

対象児童数　437人　（うち県補助対象　104人）
うち、従前の補助対象児童数…208人
　　拡充後の補助対象児童数…229人
コロナウィルスによる経済対策の拡充分児童数　229人

令和2年12月分より、コロナウィルスに係る経済対策として、小学校1年生から3年生の第２子の所得制限を撤廃した。
※第2子(1年生から3年生)…所得制限なし(令和2年12月分以降)
第2子(4年生から6年生)…所得制限あり(当該年度の市民税所得割額が57,700円未満、ひとり親家庭は77,101円未満)
第３子以降…所得制限なし

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	122	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	38,265
②									
③									
								関連決算額合計	38,265

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	平成27年度から子育て世代の経済的負担の軽減を柱とした子育て支援施策として、子育て安心パッケージ（H27年度～H29年度）、かがっこ応援プロジェクト(H30年度～R2年度）の取組で支援をしてきた。その子どもたちが就学後も切れ目のない支援として、本事業により保護者の経済的負担の軽減や就労支援につながっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

前年度に引き続き、多子世帯における経済的支援の観点から多子世帯の本事業を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)②5
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1204	事務事業名	多子世帯等学校給食費助成事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

多子世帯等における保護者を対象として、給食費を全額助成することで保護者の経済的な負担を軽減する。もって、少子化対策の一環とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和2年12月より新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として18歳以降の第2子以降すべての児童生徒に範囲拡大を行った。これに伴い、多子世帯等の保護者の経済的負担を軽減することができた。
令和3年度の支給対象となった児童生徒数は、2,128人（現行：1,038人、拡充：1,090人）であった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	267	一般会計	10	6	2	7	1	多子世帯等児童生徒給食費助成	107,687
②									
③									
								関連決算額合計	107,687

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	平成30年度より対象者を第3子以降の児童生徒に加え、長子が中学生の第2子の児童生徒も対象とし、対象者拡大を図った。 また、令和2年度12月より、新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として、第2子にかかっていた条件をはずし、すべての第2子以降の児童生徒にも範囲を拡充した。 このことにより、多子世帯等複数の児童生徒の給食費を負担している保護者の経済的負担がさらに軽減され、子育て支援の推進が図られた。今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

多子世帯等における保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られることが見込まれるため、今後も継続していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1205	事務事業名	中央公園遊具整備事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「かがっこ応援プロジェクト2021」の取り組みとして、加賀市中央公園「ちびっこ広場」「冒険の丘」「おとぎの国」における老朽遊具をリニューアルすることで幼児、学童を伴う子育て世代が集う公園利用者の利用促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

H28年度：冒険の丘（木製複合遊具等）更新工事を実施した。
H29年度：ちびっこ広場（大型複合遊具等）更新工事を実施した。
H30年度：おとぎの国（噴水施設整備）更新工事を実施した。
R　1年度：おとぎの国（池・造形物等）解体工事、一部改修工事を実施した。
R　2年度：おとぎの国（池・造形物等）改修工事を実施した。
R　3年度：トイレ改修設計（おとぎの国・ちびっ子広場）を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	215	一般会計	8	2	3	2	7	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業費	1,826
②									
③									
								関連決算額合計	1,826

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	園内施設の再整備により、憩いの場、健康づくり活動の場の充実が図られ、市民の心身の健康の保持及び増進が見込める事業であり、必要性が高い事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

R4年度　トイレ改修設計（第1駐車場・第4駐車場・アイリス横）を実施していく。
　　トイレ改修工事（おとぎの国・ちびっ子広場）を実施していく。
R5年度　トイレ改修工事（第1駐車場・アイリス横）を実施していく。
R6年度　トイレ改修工事（第4駐車場）を実施していく。
事業財源として特定防衛施設周辺整備調整交付金を充てており他事業との調整が必要となる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)②2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1206	事務事業名	こども医療費助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

乳幼児及び児童生徒の疾病の早期診断・早期治療を促進し、健康保持と増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てできる環境を整備する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成27年10月診療分以降は、助成対象を18歳に達する日以降の最初の年度末までに拡大するとともに、月額の自己負担額を撤廃して、医療機関等の窓口での支払いが不要となる現物給付方式で助成を行っている。
令和元年10月診療分からは、償還払い方式となっていた柔道整復師等の療養費についても、受給者の負担の軽減を図るため「現物給付方式」を導入している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	123	一般会計	3	2	1	4	2	こども医療費助成	207,775
②	121	一般会計	3	2	1	2	1	一般経費	409
③									
								関連決算額合計	208,184

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、少子化対策としての重要な事業である。平成27年10月診療分から、より利便性が高い「現物給付方式」を導入したことにより、子どもの疾病の早期診断、早期治療にとってさらに有効な制度となっており、今後も継続して実施する必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

本事業は、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、少子化対策としての重要な事業である。平成27年10月診療分から、より利便性が高い「現物給付方式」を導入したことにより、子どもの疾病の早期診断、早期治療にとってさらに有効な制度となっている。受給者のさらなる負担軽減を図るため、令和元年10月診療分からは、償還払い方式となっていた柔道整復師等の療養費についても、「現物給付方式」を導入しており、事業を継続して実施することは有効である。
ただし、コンビニ受診による医療機関の混雑や医療費の増大の懸念もあるため、引き続き、適正受診の啓発を効果的に実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1207	事務事業名	第3子以降誕生祝金給付事業（未来33）		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

【目的】
多子世帯のサポートと将来の人口増加を目的に、第3子からの出産にお祝い金30万円を支給するもの。
【概要】
（助成対象者）
対象児童の出生日から起算して1年以上前から継続して加賀市に住所を有する保護者（加賀市に住所を有する期間が対象児童の出生日から起算して1年未満の場合は継続して1年以上経過した後に支給）
（対象児童）
多子世帯の児童（18歳に達する日以降の最初の3月31日までにある子ども）のうち、年長者から数えて3人目以降となる児童で、出生日から加賀市の住所を有し、令和2年4月2日以降に生まれた児童

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

第3子以降誕生祝金給付実績　80人助成対象者（世帯数）、 80人対象児童数、 祝金24,000,000円

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	123	一般会計	3	2	1	3	7	子育て応援事業	24,000
②									
③									
								関連決算額合計	24,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	子育て家庭の経済的負担の軽減策として、市の少子化対策にとっても有効な事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

第3子以降の出産による多子世帯を応援するため、今後も祝金給付事業を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1.安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1208	事務事業名	こども育成相談センター運営事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	こども育成相談センター

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

子どもの心身の健全な発達を総合的に支援するために、発達に支援が必要な乳幼児（おおむね1歳から18歳まで）に、専門的な相談、助言及び訓練等を実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・発達に遅れや障害のある幼児（概ね１歳～５歳児）を対象に、親子通所指導（個別指導、小集団指導、音楽療法教室）で”早期の発達支援”を行う。また、就学後もこれまでの支援を切れ目なく継続するために、訪問指導等により学校（小学校・特別支援学校）への”つなぎ支援”を行った。
・保護者支援として、電話・言語・外来相談により、育児不安の相談を受けたり、ケース会、学習会、学校見学会等を行った。
・発達障害（疑い）のある児童生徒を専門医への受診につなぎ及び受診後の支援・相談等の体制づくりを教育委員会、学校と調整を図り取り組んだ。
・発達しょうがい児のための地域連絡手帳「ライフブック」説明会を関係機関対象に実施を予定していたが、コロナウイルス感染症蔓延防止のため、令和4年度に延期した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	132	一般会計	3	2	4	4	1	臨時職員給与費	17,401
②	132	一般会計	3	2	4	4	1	運営費	605
③	132	一般会計	3	2	4	4	2	光熱水費	1,911
④	132	一般会計	3	2	4	4	3	管理委託費	510
⑤	132	一般会計	3	2	4	4	4	その他の管理費	682
⑥	132	一般会計	3	2	4	4	5	維持補修費	62
								関連決算額合計	21,171

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

・保育園、学校・健康課・かがっこネット等の関係機関との連携を密にすることで、療育を必要とする子どもの早期把握と支援につながっている。
・障がい保育の質の向上を図るために、発達の遅れや障がいのある子どもを支援する保育士の研修及び巡回指導を継続的に実施している。
・保育士以外に専門職（保健師、教員OB、,臨床心理士）が配置され、幼児期（0～5歳児）から小学生等の相談や、親子が安心して就学できるような学校へのつなぎを担う等、総合的な支援を実施している。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

平成27年4月に「こども育成相談センター」が開設され7年目である。
発達支援の対象年齢が、乳幼児（概ね1歳から小学校に就学する前まで）から、18歳未満までに拡大されたことで、福祉・保健・教育、医療の関係機関との連携の強化拡大を図り、総括的な支援を成長段階（小・中学校等）に応じて、18歳未満までの切れ目ない支援体制構築の推進に取り組んでいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)③1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1209	事務事業名	放課後児童クラブ運営委託事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

共働き等により、日中、家に保護者等がいない児童等に対して、放課後や長期休暇中において、家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、放課後児童クラブの運営を保護者会や社会福祉法人等に運営を委託する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

放課後児童クラブは、学校の余裕教室等を利用して市内22箇所で開設しており、運営は保護者会や社会福祉法人等に委託して実施している。
「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、平成27年度からは対象児童を小学校6年生までに拡大し、令和3年度は847人の登録があった。
令和4年2月からは、施設・事業所が、放課後児童支援員等を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度引き上げるために必要な経費を補助する放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	122	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	185,701
②									
③									
								関連決算額合計	185,701

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	放課後児童クラブは、児童福祉法で、着実に実施されるよう必要な措置の実施に努めなければならないとされており、地域のニーズに応じた保育サービスを提供している。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

放課後児童クラブの課題としては、児童数が減少しているにも関わらず、クラブの利用率が増加傾向にあることや支援員等の人材不足が懸念される。
児童1人あたりの占有区画面積を改善していくなど、引き続き、各クラブが適正な運営ができるよう必要な措置を講じていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1210	事務事業名	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

ひとり親家庭の生計を担う父または母が、安心して就労に専念し、子育てと仕事を両立できるように、放課後児童クラブ利用にかかる経済的負担を軽減し、児童の健全な育成を図るとともに、ひとり親家庭の就業の促進および福祉の増進に資することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

ひとり親家庭が負担する放課後児童クラブ利用料に対する助成（県1/2）
限度額　小学1～6年生の児童1人当たり3,000円／月
支給制限等　児童扶養手当と同様の所得制限あり

令和3年度利用実績　65人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	122	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	1,644
②									
③									
								関連決算額合計	1,644

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ひとり親家庭の親が、制度を活用しながら就労し、仕事に専念できることで、子育てと仕事の両立による経済的自立につながる支援となっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ひとり親家庭の就労による経済的自立の促進を図るために、今後も放課後児童クラブ利用料の軽減により、ひとり親家庭の児童が放課後児童クラブを利用しやすくすることで、就労に専念できる環境の整備を行う。また、制度の周知の方法についても工夫する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)⑤2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1211	事務事業名	放課後子ども教室開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

放課後子ども総合プランに基づき、文部科学省実施の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省実施の「放課後児童健全育成事業」を一体的あるいは連携して取り組み、放課後対策を推進することにより、地域社会の中で子どもたちが放課後等に安全・安心で健やかに過ごすことができる居場所を確保することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内の11団体が地域の大人の参画を得て、地域の特性を生かして子どもたちに様々な体験をさせることで社会性・自主性・創造性などの豊かな心を育み、地域でのコミュニティの充実を図っている。
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、11団体のうち3団体が活動を休止した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	271	一般会計	10	5	2	3	2	豊かな心育成費	3,721
②									
③									
								関連決算額合計	3,721

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、市内8か所で教室を実施し、放課後や土曜日等の子どもの安全安心の居場所づくりとして、様々な体験活動やふるさと学習、交流活動の取り組みを推進し、地域住民の参加・協力のもと、円滑に事業を進めることができた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

国・県からの補助金が毎年減額となるなか、教室数を維持することはもちろん、事業内容の拡充を実施したい教室の財源確保が課題となっている。また、指導者の担い手不足から教室を維持できず辞める教室がでてきている。今後は、新たな教室を増やすとともに、地域の限られた財源のなかで子どもたちの居場所づくりのため継続を続けるための方策を検討する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1212	事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

ひとり親家庭の医療費にかかる経済的負担を軽減し、ひとり親家庭の福祉の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

助成対象：ひとり親家庭の親および子（18歳に達した日以後の最初の3月31日までの児童および20歳未満の一定の障がい状態にある児童）

助成額：親は「償還払方式」で助成申請の手続きにより各月の自己負担額から1,000円を超えた分を助成し、子は助成申請の手続きが不要な「現物給付方式」で自己負担額全額の助成を行っている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	133	一般会計	3	2	5	2	1	ひとり親家庭医療費助成費	27,753
②	133	一般会計	3	2	5	1	1	一般経費	20
③	121	一般会計	3	2	1	2	1	一般経費	627
								関連決算額合計	28,400

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	医療費はひとり親家庭にとって重い経済的負担である。本事業は経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、安心して子育てしながら生活することができる環境づくりが必要なことから、継続して実施する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

医療費はひとり親家庭にとって重い経済的負担である。ひとり親家庭医療費助成の実施は、経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、安心して子育てしながら生活することができる環境づくりが必要なことから、継続して実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1213	事務事業名	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

就学困難な児童または生徒の保護者の経済的な負担を軽減するために、学校での学費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。援助するにあたっては、保護者からの申請書を審査し、支援が必要と認められたものに対して、学用品・給食費等を援助する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

昨年度からの援助を継続し、一定所得額以下の世帯における保護者の経済的負担を軽減することができた。また、新型コロナウイルス感染症に影響により収入が減少した世帯については、昨年度の所得ではなく、直近の所得によって審査を行い、援助を行った。

令和3年度からはお悔やみデスクが設置されたことで、家庭の状況が変わった世帯に対して、情報を提供することが可能となった。

令和3年度の支給対象となった児童生徒数は、596人であった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	262	一般会計	10	2	2	2	1	準要保護児童援助費	7,304
②	263	一般会計	10	3	2	2	1	準要保護生徒援助費	12,188
③	264	一般会計	10	6	1	2	1	準要保護児童生徒医療援助費	0
④	267	一般会計	10	6	2	6	1	準要保護児童生徒給食援助費	31,691
								関連決算額合計	51,183

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	就学困難な児童または生徒の保護者の経済的な負担を軽減するために、これまで、修学旅行費を実費額にするなど拡大を図ってきた。加えて、1人1台PC端末が整備されたことに伴い必要となった、家庭における通信環境が整備できない児童生徒を対象にwifi機器の貸出も行った。今後も支援を継続し、子育て支援の推進を図っていく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

就学困難な児童及び生徒の保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られている。今後も継続して支援を図り、また、他課（子育て支援課等）とも連携し、児童扶養手当の申請時等において、制度の説明を行うなど、更なる周知に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1214	事務事業名	子ども会活動への支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

子どもたちの健やかな育成を推進し、豊かな心を育み健康でたくましい子を育てるため、子ども会活動を支援することで、青少年の健全育成を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

例年子ども会の子どもたちが自主的に活動を計画し、加賀市子ども会育成連絡協議会が運営する「子どもまつり」や小学校区を超えた地区の子ども同士の親睦と交流のための「レクレーション大会」を行ってきたが、令和3年度は令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、年度途中で事業中止となったが、子ども会の理事会に出席し、新型コロナウイルス感染対策について、市からの情報提供を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内の子ども達の交流、仲間づくりが目的であり、イベントの開催内容や企画運営を通して子どもの協調性・自主性が養われるとともに、異年齢の子ども達との遊び、交流を通して、思いやりの心や規律性、協調性を学ぶことができる。子どもの数が減少していくなか、子ども達の健やかな成長のために、多くの子どもたちが関わり、交流する子ども会活動の支援については、今後も継続する必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後少子化が進み、人や資金の確保など運営面で順調にたちゆかなくなることも予想されるが、今後継続して、補助金の支援を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)④1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1215	事務事業名	地域子育て支援拠点事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等の緩和や子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度において、次の4カ所で実施し、合計で延べ6,995人の利用実績があった。
1　加賀市子育て支援センター「すこやか」（市立スワトン保育園内）　利用者数：1,876人
2　親子つどいの広場まんま（運営：NPO法人かもママ）　利用者数：2,182人
3　すまいる（運営：NPO法人阿羅漢）　利用者数：1,953人
4　なかよしひろば（運営：社会福祉法人伊奈美園）　利用者数：984人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	122	一般会計	3	2	1	3	6	子育て支援事業費	31,534
②	128	一般会計	3	2	3	1	1	職員給与費	9,520
③	129	一般会計	3	2	3	5	3	子育て支援センター費	281
								関連決算額合計	41,335

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	子育て家族を取り巻く社会環境が大きく変化する中、地域における親子同士の交流、情報交換や相談の場として活用されている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

事業を継続して実施するとともに、子育て応援ステーション利用者への案内や市広報媒体・区長宛文書等を活用した周知強化に努め、引き続き利用拡大を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)②1
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1216	事務事業名	保育料の軽減事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

保育のニーズが増大する中、保育料の軽減により子育て世帯の負担軽減を図り、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てができる環境を提供する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

国の制度改正により令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、3歳以上児及び2歳児以下の非課税世帯の保育料が無料となった。この制度に加えて本市では、第3子無料化、保育園等同時入所の第2子無料化、小学生以上の兄姉がいる第2子の軽減を継続して行った。令和3年度は兄姉の年齢制限を廃止し、保護者負担を軽減した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	高い	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	保育のニーズが増大する中、保育料の軽減により子育て世帯の負担軽減を図り、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てができる環境を提供する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

多様化する保育ニーズに応えながら、継続して保育料の軽減を行い、仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てできる環境を提供する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)③2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1217	事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

育児の援助を行う者と育児の援助を受ける者との組織化を図り、会員相互の援助活動を支援し、地域において会員同士が育児に関する相互援助活動を行うことにより、地域の子育て支援を行い、市民の福祉増進及び児童の福祉の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度末時点で、子育ての援助を受けたい方（依頼会員）は699名、子育ての援助を行いたい方（提供会員）は99名、両方会員（依頼会員および提供会員の両方に登録）は14名の会員登録となっている。活動実績は、外出の際などの子どもの預かりが76件、保育施設などまでの子どもの送迎が136件となっている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	122	一般会計	3	2	1	3	6	子育て支援事業	5,376
②									
③									
								関連決算額合計	5,376

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ファミリーサポートセンターは、子育て家族を取り巻く社会環境が大きく変化する中、子どもの援助を受けたい方と援助を行える方との相互援助を行う機関となっており、両者の連携をスムーズに行うことで、児童の福祉の向上につながっている。また、登録会員者・利用件数から一定の需要があることが分かるため、今後も継続して実施する必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

事業を継続して実施するとともに、子育て応援ステーション利用者への案内や市広報媒体・区長宛文書等を活用した周知強化に努め、さらなる利用拡大を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1218	事務事業名	乳幼児健診事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

母子保健法に基づき、乳幼児期の子どもが健やかに生まれ育つことを目的とし、発達段階に応じた健やかな発育発達かを確認し、子どもに合った健康管理や保健指導を行う。また子どもだけでなく、家族を含めた子育てに必要な支援も行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

乳児健診（1か月、9～13か月未満）については、医療機関に委託し個別健診を2回実施している。4か月半、1歳6か月、3歳児健診は市が集団健診で実施している。未受診者は全数状況把握している。
各健診では、身体発育、視聴覚、精神発達面等の状況確認のため、身体計測、医師（歯科医師）による診察、保健師による発育・育児指導、栄養士による栄養指導等を実施した。健診後、支援が必要な児には、医療・療育につなげたり、関係機関との連携、家庭訪問、各種教室・相談などで継続支援している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	乳幼児健康診査費	3,186
②									
③									
								関連決算額合計	3,186

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	健診を実施することで、乳幼児期の発育発達の異常を早期に発見し、早期支援につながっている。親が子どもの発育発達を理解し、見通しを持って育児ができる支援にもつながっている。また、スポットビジョンスクリーナーによる目の屈折検査を導入したことで、目の検査の精度向上につながっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

健診により、月齢に応じた発育・発達のスクリーニングと適切な情報提供と相談支援の機会となっている。また、健診後の支援が必要な児の早期対応や支援のため、今後も節目ごとの乳幼児健診は継続していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1219	事務事業名	乳幼児相談・教育事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	母子保健グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

乳幼児・親に対して、健全な発育発達への支援による育児不安の軽減を図るため、発育・発達、育児、栄養等についての相談・教室等を実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①7か月児離乳食教室、親と子の遊びの教室
7か月児離乳食教室は、月1回実施し、対象者には個別通知や広報等で周知している。令和3年度から、10か月児子育て教室を中止。7か月児離乳食教室で10か月児の離乳食についても動画で説明（自宅でも振り替えられるよう動画のQRを載せチラシを配布。）、ふれあい遊びや乳児健診を情報提供し、またいつでも相談できることを周知した。令和3年度から、親と子の遊びの教室の開放日をスワトン保育園内のすこやかセンターで実施した。
②乳幼児相談、随時相談
乳幼児相談は月1回実施し、各健診や教室で経過観察が必要な方などの対象者には個別通知で案内している。随時相談は、電話・来所・訪問で実施している。コロナ禍のため、電話での相談が増えた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	142	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	59
②									
③									
								関連決算額合計	59

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	乳幼児期は、児の成長や発達による個人差もみられる時期であり、発育発達、育児、離乳食に関する情報提供、保健師や栄養士等に個別で相談でき、保護者の育児不安の軽減につながっている。 乳幼児期の発育発達を理解し、見通しを持って育児ができるように、月齢問わず、計測や相談できる体制整備にも努め、母児の健全な発育発達支援のために有効である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

乳幼児健診の経過観察や親の不安解消の機会として、また、乳幼児健診後に支援が必要な児は、医療・療育への紹介の有無や家庭訪問による状況把握の必要性等支援内容の確認の機会として有効であり、今後も継続して実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1220	事務事業名	親子スマイリーネット事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て応援ステーション	グループ	児童相談グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

こころの育ちの基礎である乳幼児期の親子を対象に、絵本の読み聞かせを通して、こころの育ちと愛着形成の重要性を伝え、安定した親子関係の基礎づくりを支援する。同時に、子育てに関する情報等の資料を配布し、子育てへの不安や悩みが軽減されるよう、利用者が気軽に、円滑に利用・相談できる関係性の構築を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

4か月半児健診の機会に、保育士や図書司書が、親子の対話の大切さを伝えると共に、絵本の読み聞かせを通して、親子のふれあいの時間がもてるよう、10冊のうち希望の1冊を進呈した。また、加賀市の子育て施設のリーフレット等により、子育て情報を詳しく伝えている。コロナ禍での実施の中、対話を減らし待ち時間に見ることのできる絵本紹介動画等の工夫を行った。健診未受診の家庭には訪問し全対象親子に実施できた。
未就園児とその保護者を対象とした啓発活動「おでかけスマイリー」を2部制で開催し、23組（2組当日欠席）の親子が参加し、親子が外に出かけ、ふれあいの時間をもてる機会となった。
「子育て講座」は、令和3年度もコロナ禍でできなかった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	132	一般会計	3	2	4	5	1	親子スマイリーネット事業費	436
②									
③									
								関連決算額合計	436

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	4か月半児健診時の読み聞かせにより、赤ちゃんも保護者も共に笑顔になり、絵本の読み聞かせの大切さを実感する機会になっている。また希望の1冊を進呈することで、保護者のみならず子育て家庭での愛着形成に有効である。全数把握の機会にもなり、継続は必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

4か月半児健診での絵本の読み聞かせや子育て情報の紹介と共に、お出かけ啓発活動、子育て講座、啓発リーフレットの配布等さまざまな方法により、愛着形成の大切さを伝え、今後も継続していく。
健診未受診の家庭への訪問は継続する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(1)④1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1221	事務事業名	奨学金制度の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

第2次加賀市総合計画（前期実施計画）「加賀躍進プロジェクト」事業について、第1次総合計画　後期実施計画「地域競争プラン」から継続して、経済的な問題を抱えながら進学を希望する学生・生徒のうち、審査基準を満たすものに対して奨学金の給付や貸付による支援を行い、将来、地域に貢献できる優秀な人材を養成する。
また、令和３年度より、加賀市奨学金の財源減少に伴い、加賀市三森良二郎奨学金と統合し、高校生への給付金額を増額した。

※向学心に富み、学術優秀ながらも経済的理由で就学困難な者に対し、奨学金を下記①は給付、②③は貸与し、本市にとって有為な人材を養成し、さらに教育の振興に寄与する。
①加賀市三森良二郎奨学金　・・・高校（加賀市内にある学校）就学困難者及び大学等就学困難者
②加賀市育英資金貸与　・・・高校及び大学等就学困難者
③加賀市緊急学生支援貸付金・・・大学等就学困難者

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

給付型の奨学金には、合計で人から申請があり、そのうち選考基準を通過した人に新規の給付を行った。
令和2年度より開始した加賀市緊急学生支援貸付金事業については、本年度も継続し6人に貸与を行った。能力や意欲がありながら、経済的事情により就学を躊躇する者が、就学機会を得る一助となった。

①加賀市三森良二郎奨学金・・・市内高校に進学する就学困難者　新規奨学生10名（応募者13名）
大学に進学し、卒業後の居住要件のない者　新規奨学生5名（応募者22名）
大学に進学し、卒業後の居住要件のある者　新規奨学生5名（応募者8名）
②加賀市育英資金貸与　・・・高校及び大学就学困難者　新規奨学生0名（応募者0名）
③加賀市緊急学生支援貸付金・・・市内に居住している者　新規奨学生1名（応募者1名）
市外に居住している者　新規奨学生5名（応募者5名）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	258	一般会計	10	1	2	3	2	三森良二郎奨学金	11,459
②	258	一般会計	10	1	2	3	3	奨学資金費	2,701
③									
								関連決算額合計	14,160

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	奨学金の貸与・給付の申請者が毎年一定数いることから、経済的事情で就学を躊躇する学生・生徒は毎年いると考えられる。世帯の経済状況や学力に一定の制限を設けているが、経済的事情で就学を諦める者の減少に資する制度であると考えられる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

給付の申請者に対し、貸与の申請者は少ない傾向が見られる。
給付者において、一定の条件を満たす生徒について募集枠を確保し、（三森良二郎奨学金の高校生への給付については、全員を加賀市の高等学校に進学するものとする。大学生への給付については過半数を大学卒業後5年間以上加賀市内に居住する者とする。）よりいっそうの支援を行っていくとともに、地域活性化と絡めた奨学金の魅力づくりを進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)⑤1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	③家庭教育支援の充実と環境の構築		

事業番号	1301	事務事業名	家庭教育の啓発・周知活動の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

子どもたちが健やかに成長する上では、家庭の果たす役割が重要であるが、近年核家族化や地域とのつながりの変化等により家庭の教育が大きく変化している。そのような中で、全ての親が安心して子育てできるよう学校・企業・地域・行政がそれぞれの役割を果たし、市全体で家庭への支援を行うことを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

学校・PTA・子ども会育成協議会や公立・法人立保育園の代表者等で構成する「家庭教育推進会議」を開催し、「家庭教育支援事業」及び令和4年度に実施する「家庭教育に関するアンケート内容」について協議した。また、「加賀市家庭教育支援推進計画」に基づき、「親子ふれあい体験（ようこそ赤ちゃん）」や加賀市PTA連合会主催による家庭教育支援事業に補助金を助成し、「親の学びの講演会」を開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響で、「家庭教育支援者養成講座」、「家庭教育企業出前講座」は中止とした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	275	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	228
②	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	140
③									
								関連決算額合計	368

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、学校、地域住民、地域活動団体、事業者、行政など社会全体が連携して取り組むことにより、きめ細やかな家庭教育支援が可能となるとともに、その効果が一層高まり、子どもの基本的な生活習慣や豊かな情操、社会的なマナーが身に付き、子どもたちの健やかな成長に大きく寄与することから、家庭教育支援を推進していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

新型コロナウイルス感染症の影響により、いろんな事業が今までどおりに実施することができないことから、事業内容や実施方法を検討していく必要がある。また、令和4年度に「家庭教育に関するアンケート」を子どもの年齢を絞ってその保護者等に実施し、アンケート結果を参考に、「第2期加賀市家庭教育支援推進計画」を策定し、きめ細やかな家庭教育支援を子育てしている家庭に届けることで、学校等・地域住民・地域活動団体・企業、行政が連携し、より一層の家庭教育支援の推進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)②1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1401	事務事業名	小中学生におけるプログラミング教育の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

2020年度新小学校学習指導要領全面実施、2021年度新中学校学習指導要領の全面実施に先がけ、市内全小中学校においてプログラミング教育を展開し、第4次産業革命が進行している現代社会を生きる子どもたちの資質・能力を育成する。
小学校4年生以上の総合的な学習の時間における年間5時間以上のプログラミング学習、教科内でのプログラミング教材の活用、クラブ活動でのロボレーブの活用、夏季休業中におけるプログラミング教室を実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

小学校4年生でプログラミング的思考を学び、プログラミングに慣れ親しむHour of Codeを、5年生の算数科においてToio にプログラミングをすることで多角形を描くことを、また、5年生の総合的な学習の時間にはScratchを用いてプログラミングによるプレゼンテーションを行うことを実施した。さらに小学校6年生の総合的な学習の時間と理科において、マイクロビットを用いて電気制御を学ぶとともに、生活における便利な具体物をプログラミングによって製作した。中学校1年生では総合的な学習の時間にマイクロビットを用いて、地域の課題解決をするための具体物の製作を行った。さらに小学校のITクラブでロボレーブを、夏休みプログラミング教室ではマイクロビットを活用したプログラミングを学習を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	7,941
②									
③									
								関連決算額合計	7,941

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	小中学校でのプログラミング教育を継続的に実施するとともに、プログラミングを活用した探究型学習が実施できるよう事業を継続する。また、特に中学校での探究型のカリキュラムの作成を進める必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

小学校から中学校まで系統立ててプログラミング教育を行うとともに、地域や身の回りの人を幸せにするという視点を大切にし、プログラミングを用いて課題を解決していく学習内容を進めいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1402	事務事業名	小中学校の教育推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

令和3年度までの「中学生放課後かも丸塾」と「かがっ子休日スクール（夏休み特訓）」を令和4年度からMSC（数学スキルアップクラブ）と形を変えて立ち上げる。MSCは数学のつまづきを解消するために、学習意欲はあるが、経済的、物理的理由により、塾に通えない生徒を支援するものである。MSCでは生徒が自らその日の目標を立て学習に取り組み、自分のペースで学習を進める。またつまづいた問題については生徒同士が教えあったり、講師が指導・支援を行い、生徒自らが学ぶ「学びの場」とする。

また英語に関して「かがっ子休日スクール（中学生英語）」を継続して開催し、実用英語技能検定試験（3・4・5級）の受検合格を目指すことにより、英語の学習意欲と学力向上を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「中学生放課後かも丸塾Ⅰ期」の開始を延期し期間短縮で実施した。また「かがっ子休日スクール中学生英語Ⅰ期」についても1日のみの開催とした。

6月以降は「中学生放課後かも丸塾」「かがっ子休日スクール（夏休み特訓）」「かがっ子休日スクール（中学生英語）」を予定通り実施できた。「中学生放課後かも丸塾」では様々な数学の問題を解くことができるように個別指導を行い、学力の向上を図ることができた。また「かがっ子休日スクール（中学生英語）」では、英語検定（3・4・5級）の合格に向けて英語力の向上を目指した。その結果、合格率はⅡ期96%、Ⅲ期83%だった。

・参加者　「かがっ子休日スクール（夏休み特訓）」市内中学校区6地区で実施　91名参加

「中学生放課後かも丸塾」市内中学校区6地区で実施　Ⅰ期（6月～9月）68名、Ⅱ期（10月～3月）77名参加

「かがっ子休日スクール（中学校英語）」市内1箇所で実施。（Ⅰ期39名、Ⅱ期28名　Ⅲ期15名参加）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	2,288
②									
③									
								関連決算額合計	2,288

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	この事業により、生徒は熱心に学習に取り組み、講師の先生方の丁寧な個別指導によってつまづきを解消し、「わかった」「できた」という達成感を持たせる。その結果学力の向上を図ることができる。講師の確保という点で課題は見られるが、制度設計を工夫しながら今後も継続していく必要がある事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

MSCについては、自らがその日の目標を立て、自分に合ったテキストや、デジタルドリルなどを用いて、学習の個別化を図る。自分のペースで学習を進めることにより、生徒の自己学習力の育成と学習習慣の確立を図ることによって学力向上を目指す。

「かがっ子休日スクール（中学生英語）」は主に日曜・祝日に開催し、実用英語技能検定試験合格を目指すことによって、英語学習への意欲を高め、英語力向上を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③5
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1403	事務事業名	国際教育交流事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

他国の児童生徒と触れ合うことによって他国の文化を知り、視野を広げ豊かな国際感覚を培うために、台湾・シンガポール等の友好都市協定を締結した都市の小中学生との交流を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度における国際教育交流事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業の実施は、児童生徒の国際感覚の醸成に寄与しているため継続することが望ましい。 なお、台湾桃園市との交流は吹奏楽部に限定しているため対象となる児童・生徒に偏りがある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

派遣事業は、少人数に多額の費用がかかっているため、児童・生徒の選定条件や募集方法には、明確な根拠や透明性が必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)④1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1404	事務事業名	指導力向上による学校教育環境の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

道徳科の授業研究を実施し、教師の指導力を高め、質の高い授業を行うことで、児童生徒の道徳性を高める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

いしかわ道徳推進事業では、動橋小学校で道徳教育を推進するとともに、市内の教員に研究発表会を参観してもらうことで、教員の資質向上を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育推進事業	300
②									
③									
								関連決算額合計	300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	研究授業や研究講座を実施し、教師の指導力を高め、質の高い授業を行うことで、児童生徒の学力・道徳性を高めることができる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

学校教育の現状は、複雑かつ多様な課題が生じており、学校教職員には高い指導力と幅広いスキルが求められる。このため、教職員の指導力を高めるため、今後も引き続き訪問指導、研修会や検討会議を積極的に展開し、現状における問題解決、学校教育環境の改善等に積極的に取り組んでいくこととする。
(令和4年度いしかわ道徳推進事業実施校：錦城小学校、錦城中学校)

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1405	事務事業名	学校保健の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市内の小中学校における保健管理、安全管理、児童生徒及び教職員の健康の保持増進の体制づくりを推進する。

学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査等を実施し、その結果に基づく治療等、必要な措置を取るよう指導を行う。また、学校活動に対する安全保険に加入するとともに、学校保健運営に必要な備品や消耗品等を充実させ、適正な学校保健事務を進める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

嘱託医師を配置し、児童生徒の健康管理を促進した。
（校医19人、歯科医18人、眼科医2人、耳鼻科医2人、薬剤師20人）
健康診断の受診については、全校の児童生徒・教職員に受診を促した。
受診人数
児童生徒（4400人）
教職員　（248人）
ストレスチェックの受検については全教職員（389人）に実施した。
また、学校保健特別対策事業費補助金を用いて新型コロナウイルス感染症対策備品を各小中学校に光触媒除菌脱臭機、CO_2モニター等の整備も併せて行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	264	一般会計	10	6	1	1	1	嘱託医報酬費	7,717
②	264	一般会計	10	6	1	1	2	健康診断費	4,892
③	264	一般会計	10	6	1	1	3	一般経費	32,462
								関連決算額合計	45,071

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

健康診断の受診については、集団で行う教職員健康診断や個人的に人間ドックなどを受診する方法で健康管理を行っている。今後も、教職員についてはいずれかの方法で受診していることを確認するとととともに、児童生徒については全てに受診を促す。

また、教職員を対象に実施しているストレスチェックについては、教職員自身がメンタルヘルス不調となることを未然に防止するためのものとして今後も実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1406	事務事業名	学校図書館の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

第2次加賀市総合計画（前期実施計画）「加賀躍進プロジェクト」事業について、第1次総合計画　後期実施計画「地域共創プラン」から継続し、また昨年度制定された「加賀市読書活動推進条例」に則って全ての子どもが読書活動に取り組む環境づくり推進していく。それに向けて各学校図書館に新たな蔵書を追加し、古くなった蔵書と入れ替える等、児童生徒の読書環境を充実させるとともに、学校図書館司書を配置し、児童生徒の図書の貸し出しの促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

学校図書の充実化を進めた結果、文部科学省が学級数に応じて定める標準蔵書冊数に対する加賀市の蔵書数の達成率は、小学校168%、中学校136%、全体で157%となり、昨年度より小学校は2ポイント増、中学校は4ポイント減、全体は昨年度と変わらない。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	251	一般会計	10	2	1	1	2	臨時職員給与費	28,099
②	261	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	6,672
③	254	一般会計	10	3	1	1	2	臨時職員給与費	15,032
④	263	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	4,239
								関連決算額合計	54,042

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

小中学生時により多くの本に親しむことは、人間形成に不可欠であり、事業は有効である。文部科学省が示す標準数値を若干上回る蔵書数を確保したことや、貸出数が増えたことを考慮すると、費用対効果は相当である。令和3年度は全小中学校で朝読書を実施している一方、読み聞かせは新型コロナ感染症の影響により、十分には行えなかった。時代に対応した児童生徒を育成するために、蔵書の入れ替えは常に必要であり、事業を継続していく。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市全体の学校図書の蔵書数は、文部科学省の示す基準を超えているが、各学校図書館に新たな蔵書を追加し、古くなった蔵書と入れ替える等、蔵書数の確保に努める。また児童生徒にとってより充実した読書環境を整えられるよう、学校司書への研修も充実させていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1407	事務事業名	特別支援教育の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

特別支援学級の教材用備品を整備し、教育環境を充実させる。
また、通常学級においても、学習支援が必要な児童生徒や多動傾向、コミュニケーションが困難な児童生徒等への学習や生活を支援するための教育支援員を各学校に配置し、教育環境の充実を図る。
令和3年度より、医療的ケアに対応する看護師の配置や環境整備を行い、学校における医療的ケアの充実を図る。
特別支援教育を推進するための研修や学習会等により教職員の指導スキルを高める。
小中学校学習環境向上事業 特別支援教育アドバイザーとして特別支援教育に専門的知識と経験をもつ元教員を配置し、授業参観や助言を行ったりすることを通して、特別支援教育の充実を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

特別支援学級において教材用備品などを揃え教育環境を充実させた。
通常学級において支援を必要としている児童生徒に対して、より良い学習環境を提供するため、教育支援員を配置し学習活動の充実に努めた。また、夏季研修会を行い、指導スキルの向上を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	261	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	783
②	262	一般会計	10	2	2	1	6	指導体制支援費	63,279
③	263	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	176
④	263	一般会計	10	3	2	1	7	指導体制支援費	21,096
								関連決算額合計	85,334

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	特別な支援を必要とする児童生徒が合理的支援のもと、授業をはじめとする学校教育活動に自己肯定感をもち取り組むことができた。安定した学級経営や児童生徒の自己肯定感醸成のためにも、当該事業は必須である。学校現場からの増員要請の声も大きい。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

特別支援教育アドバイザーによる指導・助言や特別支援教育を推進するための研修や学習会等の実施により、教職員や支援員の指導スキルをより高めていく。また、支援員の数を含めた配置体制の強化を図っていくことによって、インクルーシブな教育環境を構築する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)④3
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1408	事務事業名	いじめ・不登校の解消事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「いじめ」対策として、学校いじめ防止基本方針を見直したり、方針に基づく取組を充実させる。また、全ての学校でアンケート調査や個人懇談等を計画的に実施し、早期発見・早期対応を徹底する。
「不登校」対策では、全ての児童生徒にとって魅力ある学校づくりを推進し、「心の居場所づくり」・「絆づくり」に取り組む。また、不登校児童生徒支援ファイルを作成し、早期支援、組織的対応、教育相談体制の充実を図ることで改善につなげる。
市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒一人一人に寄り添った支援を行い、問題行動や不登校の未然防止につなげ、学級集団状態の良好化を図りながら、諸問題の改善を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

本市において、「加賀市いじめから子どもを守る条例」を制定し、加賀市いじめ防止基本方針を策定した。各校においても、学校いじめ防止基本方針を見直した。また、アンケート調査や個人懇談、道徳や学級活動の時間にいじめに関わる学習を充実させ、未然防止や早期発見に努めた。
不登校への対策として、担任が積極的に家庭訪問を行い、毎月子どもへの支援・対応を検討したり、スクールソーシャルワーカーや子育て応援ステーション等の関係機関との連携のもと登校支援を行ったりして、きめ細やかに取組を進めた。
令和4年度小中生徒指導連盟研究会の研修会で指導主事による研修の場を設定した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	1	3	就学指導費	150
②	260	一般会計	10	1	3	7	1	委員報酬費	12
③	260	一般会計	10	1	3	7	2	運営費	1
④	260	一般会計	10	1	3	8	1	委員報酬費	36
⑤	260	一般会計	10	1	3	8	2	運営費	4
								関連決算額合計	203

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	いじめの定義に基づいた「いじめの認知」が周知されてきたことで、教職員の意識が高まり、見過ごしや抱え込みが減少した。アンケートや個人面談によって、いじめを早期に発見することができ、迅速な対応ができた。 不登校については、担任による電話連絡や家庭訪問、スクールカウンセラーによるカウンセリング、別室による指導等により、不登校の状況が改善する児童生徒が増えた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「いじめ」「不登校」問題の未然防止にこれまで以上に力点を置くとともに、初期対応に遅れが生じないよう各校の取り組みを改善、検証する体制を強化する。
また、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとの連携を密にし、教育相談体制の充実を図ったり、児童生徒理解の情報交換を行ったりすることをとおして、適切な支援・対応に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)④2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1409	事務事業名	教育総合支援センターの充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

第2次加賀市総合計画（前期実施計画）「加賀躍進プロジェクト」事業について、第1次総合計画　後期実施計画「地域共創プラン」から継続して、加賀市内の青少年の健全育成を目指し、非行補導、教育相談、のぞみ教室（学校へ登校できない児童生徒のための学校復帰支援）の運営を行う。
①補導巡視…地区指導員・教育総合支援センターによる巡視指導
②教育相談…電話・面接等による教育相談
③学校復帰支援…のぞみ教室の運営
④広報啓発…機関誌の発行

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度
①補導巡視…地区指導員延数（44人）・教育総合支援センター職員による巡視指導（49回）
②教育相談…電話・面接等による教育相談（547件）
③学校復帰支援…のぞみ教室への通所のべ人員（932人）
④広報啓発…機関誌の発行　13回（のぞみ教室：12回・巡回指導：1回）
平成30年度より、「旧青少年育成センター」の機能に「教育研究所」の機能を合わせ「教育総合支援センター」とし、教育研究、教員研修、生徒指導を行う組織の一元化、それぞれの機能の連携強化を図った。
教育総合支援センター運営検討委員会を年1回開催

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	9	1	室員等賃金	28,266
②	261	一般会計	10	1	3	9	2	教育開発推進費	92
③	261	一般会計	10	1	3	9	3	教育支援相談推進費	1,952
④									
								関連決算額合計	30,310

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

教室での個別活動や集団活動から自己肯定感を高め、個々の様子や変化に合わせて、通室する日を増やしたり、学校の保健室や相談室への登校チャレンジを果たすケースもあった。
その結果、今年度、自分で奮起し学校へと完全復帰を果たした通室生は4人、高校進学をきっかけに復帰した生徒は10名いたことから、取り組みは効果的に機能していると思われる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

保護者が仕事上送迎できないことで、家から出られない児童生徒が多いことからセンター車による送迎も保護者との協議により対応している。送迎も含めた多角的な支援は心穏やかに過ごせる場が増えることに繋がり、「ひきこもり」などの改善の方向に進むと思われる。
今後も、スクールソーシャルワーカーや子育て支援課等の関係機関と連携を密にして事業を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1410	事務事業名	中谷宇吉郎科学奨励事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

郷土出身の偉大な科学者「中谷宇吉郎」の偉業を後世に伝えるとともに、加賀市の科学教育の振興と青少年の豊かな教養を備えた人間形成を目指し、科学の研究成果について市内から公募し、秀でたものを表彰する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は、一般応募を含めると2件の応募があった。市内の科学に興味のある生徒からの応募によるもので、加賀市の科学教育の振興に役立っている。また、中谷宇吉郎の名前を冠し、募集しているので、氏の偉業をPRすることにもなっている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	258	一般会計	10	1	2	3	1	教育振興助成費	225
②									
③									
								関連決算額合計	225

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本市の科学振興を図ることができ、また、郷土の著名人の功績をPRすることができることから、今後も継続していく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

平成20年度から中学生の募集を全国規模に拡充し、平成26年度からは市内の児童生徒の応募を増やすため、学校との連携により、小中学生に対する周知を行っているが、新規の申込者が見込めないため、中学生の全国規模での募集を廃止。

また、本川弘一科学奨励事業と区別するため、平成29年度から募集要項に「物理・地学等」と研究分野を明記している。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③1
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1411	事務事業名	小中学校活性化事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、教育総合支援センター教育開発室と連携し、先進校視察や研修会を行うことで、子どもたち一人ひとりに育成すべき資質能力の向上を図る。
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。そのために、小中学校が抱える課題の克服に向けて専門職員等を派遣するなどの様々な支援を行い、校内研修会の充実を図ることで、教職員の指導力の向上と、児童生徒の確かな学力の定着をめざす。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

分校小学校において、京都女子大学　水戸部教授を招聘し、国語科における授業改善や指導力向上を目的とした研修会を開催した。また、片山津小学校においては、金沢大学　伊藤伸也教授を招聘し、算数科における授業づくり研修会を開催した。第3回目の研修会は両学校ともオンラインによる研修会となったが、校区の小中学校にも周知し、他校の教員とともに研究を深めることができた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	299
②									
③									
								関連決算額合計	299

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充

評価に関するコメント

校内研修会を活性化することで、教師の授業改善と学校研究の推進が期待できる。また、教職員の指導力を向上させることで、児童生徒の学力向上への効果が得られる。
本市では、児童生徒の学力向上や教師の授業改善、安定した学級づくりを推進しており、各学校においては関連した課題も見られるため、課題改善にむけては現状相当の予算は必要である。今後も、専門職員等の指導を受けながら、授業改善に向けての研修会を開催する必要があることから、本事業を継続する。
一方で、教育課題が多様化している中で、新しい視点の研修会も必要である。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

小中学校2校において講師を招聘し、研修会を実施する。主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の取組を推進していく。（令和4年度実施予定校　河南小学校、山代中学校）
「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、個別最適な学習と協働的な学びの具現化に向けて、先進校視察や研修会を実施し、教師の授業力向上に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1412	事務事業名	英語力向上事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

小学校の外国語活動及び外国語科、中学校の英語科の授業の質を高めるために、ALT及び英語授業補助指導者を全小中学校に配置する。そして、小学校については英語に慣れ親しむ機会を増やす。中学校においてはオールイングリッシュの授業を展開するなかで、英語の適切な使用場面・状況をつかみ、生徒の英語力向上を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

ALT及び英語授業補助指導者を市内全中学校に配置した。英語指導教員とのティームティーチングの中で、児童生徒が英語に慣れ親しみ、英語でやりとりをする場面が増え、英語力の向上につながっている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	6	1	英語教育推進費	36,589
②									
③									
								関連決算額合計	36,589

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ALT及び英語授業補助指導者を計画的に各学校に配置したことで、外国語でのコミュニケーションによる言語活動を行う機会を多く持つことができるようになっている。 小学校においては、英語に触れる機会が増えており、意欲的に授業に参加する姿が見られた。中学校についても、ネイティブの英語に触れる機会が増えている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ALT及び英語授業補助指導者の積極的かつ効果的な活用を進めていき、児童生徒がコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力を育んでいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③3
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1413	事務事業名	教職員研修事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

学校教育における様々な課題に対応するために、研修や講習により、教職への知識と理解を深め、学校教育における教師の授業力、指導力の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市小中学校教職員夏季全体研修会では、藤原和博氏を講師として招聘し、予測不可能な時代を生きていく子どもたちにどんな力を身に付けさせることが大切かを教職員で共有することができた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	259	一般会計	10	1	3	1	1	教職員研修費	532
②	259	一般会計	10	1	3	1	2	教育指導研究費	686
③									
								関連決算額合計	1,218

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内小中学校教職員が教育課題や方向性について共通理解の上、教育活動を進めていく中で、重要な役割を果たしており、今後も継続した研修会等の実施が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

教職員の資質向上をめざす中核の事業であり、これまで通り継続していく。今日的な教育課題の克服に向けて、著名な講師の講演会を聴講することで、教職員が知識と教養を身に付け、実践力を高めることができるようにする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1414	事務事業名	特別免許及び臨時免許活用事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

教員免許状を持っていないが優れた知識経験等を有する社会人等を教員として迎え入れることにより、義務教育学校への移行を目指す橋立小学校・中学校の特色ある教育課程の実施や、学校教育の多様化への対応、その活性化を図る。そのため、石川県教育委員会に対し、当該社会人への特別免許状の授与の要請を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

石川県教育委員会事務局教職員課と特別免許状の授与に関する協議を複数回実施した。協議では、特別非常勤講師制度の活用の提案を受けるとともに、一般教員の配置との兼ね合いをどのように確保していくのか、市教育委員会としての考えの明確化を求められた。また、特別免許状の授与は教員採用候補者選考試験の中で行われるものであることも示された。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	6	1	英語教育推進費	4,341
②									
③									
								関連決算額合計	4,341

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	低い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	特別免許状の授与には、解決すべき課題がとても多く、その実現化は難しい。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

特別免許状の授与を目指すことは行わない。今後は、令和の日本型教育の実現を目指して、コミュニティー・スクールの立ち上げ等を行うことにより、地域や社会との連携を強化していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1415	事務事業名	STEAM教育推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

今Society 5.0を迎えようとしており、私たちの社会は、様々な知識や情報を基に今までにない新たな価値を生み出し、世界規模の課題や答えがない困難を克服していかなければならない。このような社会を自ら創り、生きていくため、義務教育段階においても、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な教育を推進し、子どもたちに問題発見力や課題解決力を育んでいく必要がある。これまで各校で取り組んできたプログラミング教育を発展的に継続するとともに、「総合的な学習の時間」の充実を図り、カリキュラム・マネジメントの視点から教科横断的かつ探究型のSTEAM教育の実践を推進していく。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和元年度、シンガポールSTEMやグーグル合同会社提供による教材を活用し、3小学校5学級でカリキュラムを実施した。
令和2年度、東和中学校での取り組みにより、2年生の総合的な学習の時間でのモデルカリキュラムを作成するとともに、小学校での実施を見据えて、小学校5年生、6年生で活用する教材の予算化を行った。
令和3年度、全小学校5年生算数科、6年生理科、全中学校3年生理科において、教科におけるSTEAM教育の実践を行った。また全中学校2年生の総合的な学習の時間において、地域活性化をテーマとしてSTEAM教育を実践した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	260	一般会計	10	1	3	2	4	STEAM教育推進費	12,150
②									
③									
								関連決算額合計	12,150

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	GIGAスクール構想が進展する中、令和の日本型学校教育の構築を目指す上で大変重要で有意義な事業である。予測がより困難な時代において、教科等で育成した資質・能力を総動員しながら主体的に課題に向き合い、解決していく資質能力をSTEAM教育を通じて育成することができる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

STEAM教育を通して、地域のことをもっと大切にしたいと考える中学校2年生は、98％であった。また、この活動は将来に役立つと感じている生徒は99％であった。今後もSTEAM教育を推進し、予測が困難な時代においても、自ら考え、他者と協働しながら主体的に問題を解決できる力を育成していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1416	事務事業名	本川弘一科学奨励事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

郷土出身の世界的医学博士である「本川弘一」の功績を称えるとともに、加賀市の科学教育の振興と青少年の豊かな教養を備えた人間形成を目指し、科学の研究成果について市内から公募し、秀でた者を表彰する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は、4件の応募があった。市内の科学に興味のある生徒からの応募によるもので、加賀市の科学教育の振興に役立っている。また、本川弘一の名前を冠し募集しているので、氏の偉業をPRすることにもなっている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	258	一般会計	10	1	2	3	1	教育振興助成費	21
②									
③									
								関連決算額合計	21

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本市の科学振興を図ることができ、また、郷土の著名人の功績をPRすることができることから、今後も継続していく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

平成29年度から事業を実施し、中谷宇吉郎科学奨励事業と区別するため、募集要項に「生物・科学」と研究分野を明記している。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり		

事業番号	1501	事務事業名	学校普通教室等冷房化事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地球温暖化による気温の上昇により、夏期の学習環境の改善が求められており、普通教室・特別教室における冷房化を順次進めるものである。また、建設年次の古い学校においては、空調設備も総じて老朽化しており、順次更新していく必要がある。これらの空調設備の更新時期に合わせ、省エネルギー化を推進し、学校の学習環境の改善を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成17年度以降に校舎の改築を行った金明小、湖北小、橋立小中学校については普通教室に冷房機能のある空調設備を導入している。
平成25年度以降、冷房未設置の小中学校について順次整備を進めており、令和元年度に全小中学校において普通教室の冷房化が完了した。
令和3年度は、令和2年度より進めていた錦城小学校の特別教室の冷房化が完了した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	253	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費(補助)	99,776
②									
③									
								関連決算額合計	99,776

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	今後も継続して、未設置の特別教室について整備を進めていく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

普通教室の冷房化工事は完了したので、今後は、特別教室について、国の補助事業を活用し、早期の全校整備に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり		

事業番号	1502	事務事業名	学校トイレ洋式化整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

近年の生活様式の変化により、家庭、公共施設、一般商業施設等において洋式トイレが普及しているなか、現在の児童・生徒は和式に不慣れになり、学校現場からはトイレを我慢する場面もあるとの指摘がでている。また、学校施設は避難所に指定されていることから、避難時における高齢者等の利便性の向上を図る為、校舎（教室棟）及び体育館のトイレの洋式化を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成27年度より校舎（教室棟）にされているトイレの50%程度を洋式化する計画を進め、中学校は平成30年度をもって、小学校については令和元年度をもって計画が完了した。
令和3年度は、児童数に対して洋式トイレが不足している山代小学校のトイレ洋式化工事を実施した。また、中学校の体育館のトイレ洋式化に向けた実施設計を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	253	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費(補助)	8,184
②	256	一般会計	10	3	3	1	4	体育館整備費(単独)	532
③									
								関連決算額合計	8,716

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	教室棟については当初の洋式化率50%程度とする計画が完了したが、一部の学校については、洋式トイレが不足している状況が見受けられたことから、今後は各学校について、現在の児童・生徒数やトイレの利用実態に応じた必要なトイレ数を把握し、整備が必要な学校については整備する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後は各学校について、現在の児童・生徒数やトイレの利用実態に応じた必要なトイレ数の90%程度を目標に洋式化を進める。また、避難所の機能強化を図るため、体育館のトイレについても設置されているトイレの50%程度を目標に洋式化を進める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり		

事業番号	1503	事務事業名	小学校施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

小学校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正な執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費節減に努める。
また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

学校配当予算については、費目の割り振りについて学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。施設修繕については、箇所付けした予算は計画通り修繕を行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議しながら修繕方法等を決定し、適切な工事を行った。
また、事務局で発注した改修工事では、南郷小学校の機械室屋上防水改修工事や山中小学校の落下防止用の手摺設置工事を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	252	一般会計	10	2	1	2	2	維持補修費	25,583
②									
③									
								関連決算額合計	25,583

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

大規模な修繕については、長期的視野のもと修繕計画を策定し予算確保に努めるとともに、教育活動に支障のないよう緊急的な補修にも対応し、安全・安心な学校施設が維持できるよう適正管理を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり		

事業番号	1504	事務事業名	中学校施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

中学校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正な執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費節減に努める。
また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

学校配当予算については、費目の割り振りについて学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。施設修繕については、箇所付けした予算は計画通り修繕を行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議しながら修繕方法等を決定し、適切な工事を行った。
また、事務局で発注した改修工事では、山代中学校の高圧ケーブル更新工事等を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	255	一般会計	10	3	1	2	2	維持補修費	16,348
②									
③									
								関連決算額合計	16,348

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

大規模な修繕については、長期的視野のもと修繕計画を策定し予算確保に努めるとともに、教育活動に支障のないよう緊急的な補修にも対応し、安全・安心な学校施設が維持できるよう適正管理を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③4
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり		

事業番号	1505	事務事業名	小中学校ICT整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

ICTを有効に活用した教育の実現と効率的な校務処理、及びその結果生み出される教育活動の質の改善を目的として、国の整備目標に基づき、各小中学校における校務・教育用（学習用）パソコンを整備する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

国施策（GIGAスクール構想）により、令和2年度に整備した児童生徒1人1台PC端末を活用し、コロナ禍のオンライン授業に対応した。
また、教職員の業務の標準化及び効率化のため、石川県内統一の統合型校務支援システムを導入したほか、ICT支援員を各学校に派遣し、学校における教職員のICT活用をサポートすることにより、国のGIGAスクール構想で導入したパソコンをはじめとするICTを活用した授業等を教職員がスムーズに行えるように支援した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	262	一般会計	10	2	2	1	7	ICT教育環境推進費	107,654
②	263	一般会計	10	3	2	1	8	ICT教育環境推進費	50,055
③	260	一般会計	10	1	3	2	3	プログラミング教育推進費	4,346
								関連決算額合計	162,055

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	児童生徒におけるPC整備については、国の施策（GIGAスクール構想）に基づき、整備目標（児童生徒1人1台端末）が令和2年度に達成したことから、児童生徒1人1台PC端末を活用したオンライン授業環境の整備と教職員へのICT支援を行った。今後は、教師用の校務系PCの更新を行うとともに、児童生徒用PCについても、一部のPC端末のOSが統一されていないことから、計画的に整備を行っていく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

児童生徒の1人1台端末については、令和2年度で整備が完了した。令和4年度以降は、教師用の学習PCを計画的に整備していくとともに、校務系PCの更新を行っていく。また、児童生徒のPC端末については、PCのOSが一部統一されていないことから、児童生徒数の推移を考慮しながら、順次、更新時に合わせて統一していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり		

事業番号	1506	事務事業名	学校給食施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市内の小中学校において、適正な給食調理の環境づくりを進めるとともに、学校給食調理従事者の資質向上を図ることで、児童生徒に対して安全・安心な学校給食の提供を促進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

安全・安心な学校給食を実施するために、給食施設及び設備の整備や補修を行い適正な施設管理を行った。また、学校給食における食物アレルギー対応についても実施基準に基づき、適切に対応を行った。
この他、学校給食調理従事者に衛生管理の徹底について講習会や紙面通知を行った。
令和3年度においても引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、食事の前後の手洗いの徹底、会食のマナーなどについて児童生徒の理解促進や意欲付けを図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	265	一般会計	10	6	2	2	3	その他の運営費	210,244
②	265	一般会計	10	6	2	3	1	管理委託費	1,309
③	265	一般会計	10	6	2	3	2	備品整備費	2,817
④	265	一般会計	10	6	2	3	3	維持補修費	7,739
⑤	265	一般会計	10	6	2	4	1	施設管理費	10,429
								関連決算額合計	232,538

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することは行政の責務であるが、食物アレルギー対応や衛生管理等に大きな問題もなく実施している。今後も継続すべき事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため学校給食の内容の充実を図るとともに、栄養教諭・学校栄養職員を中心として食物アレルギー対応や衛生管理の徹底が必要である。
このために、給食施設及び設備の整備や学校給食調理従事者のスキルアップを引き続き行うとともに、食物アレルギー対応の管理や衛生管理の更なる徹底により、学校給食全体の質の向上を図り、安全・安心な学校給食を児童生徒に提供出来るよう今後も努めていくべきである。
今後も新型コロナウイルス感染症の状況もふまえながら安全な給食実施のため、衛生管理の徹底を図ることを目的として改善の方策を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)②6
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1601	事務事業名	加賀温泉郷マラソン開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国に情報発信するとともに、参加者同士が楽しみながら交流を深めることにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

スポーツ振興と同時に観光振興を目的として、H25からは大会名を「全国健勝マラソン日本海大会」から「加賀温泉郷マラソン大会」に改め、コースや内容を改善しながら大会を実施している。
令和3年度は、全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加したため、参加者や係員の安全を第一と考え昨年度に引き続き中止とし、代替として加賀温泉郷オンラインマラソンを開催した。参加者は2,497人で、2,241人が完走した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	3	加賀温泉郷マラソン推進費	16,415
②									
③									
								関連決算額合計	16,415

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	マラソンを通じた観光都市「加賀市」の全国発信、及び加賀市のスポーツ振興を目的として開催している。毎回多くの参加者があることから、これらの目的達成に大いに寄与していると考える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀温泉郷マラソンは、3つの温泉地を巡る特色あるコースや沿道住民のおもてなしなどによりランナーの評判は良く、大会の認知度も年々上がっており、今後も参加者数の増加が見込まれる。令和2年度及び3年度は中止となったが、十分は新型コロナウイルス対策をとりながら、さらなる内容の充実を図り開催を継続していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵②6
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1602	事務事業名	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国発信する機会とするとともに、老若男女が楽しみ、交流を深めことにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

H28に、タレントの間寛平氏の監修のもと、全国的にも珍しい夜間に走る第1回目となる「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン」を開催した。夕暮れ時の美しい風景の中を走るコースは、ランナーの評判が良く、年々参加者も増加している。

加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2021については、新型コロナウイルス感染拡大を受けて昨年度に引き続き中止とした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	3	加賀温泉郷マラソン推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」の全国発信、及び加賀市のスポーツ振興を目的として開催しており、これらの目的達成に大いに寄与するものと思われる。このことから今後も継続開催が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

タレントの間寛平氏が監修した大会で、夕暮れから夜間にかけての公道走行、多数のタレントによる応援、お笑いライブステージ等、一般的なマラソン大会とはまた違った趣のある大会である。回を重ねることにより大会認知度が向上しており、今後も参加者数の増加が見込まれる。令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止となったが、今後は十分な感染症対策を講じたうえで、内容の充実を図りながら、特徴ある大会として継続して開催していくこととする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1603	事務事業名	スポーツ交流推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ホストタウンに登録し、海外選手団の事前合宿を誘致する。この事前合宿を受け入れることで、参加国・地域とのスポーツを通じた人的・経済的・文化的な相互交流を推進し、地域の活性化と世界に向けた加賀市のPRを目的とする。
H30年12月にポルトガルを相手国として、R1年6月に台湾を相手国として、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部からホストタウンに認定登録された。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のポルトガル選手団（柔道・テコンドー）の事前合宿を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ポルトガル選手団との交流はできなかった。
また、台湾空手道連盟については、新型コロナウイルス感染症の影響により、当市での事前合宿は実現しなかった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	4	スポーツ交流推進費	13,519
②									
③									
								関連決算額合計	13,519

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ポルトガル柔道連盟の東京オリンピックの事前合宿を実施したことで、ポルトガルとの友好交流の推進と継続が期待される。台湾空手道協会についても、協定書を締結したことで今後の交流が期待できる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ポルトガル柔道連盟及び台湾空手道協会については、今後も継続して交流を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1604	事務事業名	スポーツ教室の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市民がスポーツに関心を持ち、日常生活に取り入れ、健康で豊かな生活を営むことを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

毎年、ノルディックウォーキング教室については、「KAGA健康フェスタ」に合わせて開催していたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイス感染防止のため中止となった。
市民山登りについては10月24日に実施し、一般参加者16人と消防職員等スタッフ14人の総勢30人で鞍掛山に登った。スポーツ推進委員も同行し、鞍掛山や植物についての解説や登山に関するアドバイスを行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	1	体力つくり推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	KAGA健康フェスタのイベントとして開催することにより、多くの参加者がある。ウォーキングの後には健康フェスタの健康相談などを受けることができるため、参加者にとっては有意義なイベントとなっている。 市民山登りは、スポーツ推進委員や消防職員のサポートを受けながら安心して登山できるため、初心者や親子にも参加しやすいものとなっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ノルディックウォーキングについては、健康課において、健康増進を目的に毎月第3日曜日に実施しており、内容が同様であることから、事業の一本化を図っていく。
市民山登りについては、地元4つの山を順に開催している。サポートを受けながら登山できる“安心さ”をPRして、参加者増につなげていく。また、地元の山を知ることで、郷土愛の醸成につなげていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1605	事務事業名	ニュースポーツ大会の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

冬期間の運動不足解消やニュースポーツの普及促進を目的とし、市民の誰もが気軽に参加でき、市民の健康増進、体力向上を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

ニュースポーツの普及事業として、1月30日に「レクリエーションスポーツ大会」を加賀体育館で開催した。種目は気軽に楽しめるものを中心に、鬼のタペストリー、ビーンボーリング、ふらばーるシュート、カローリング、すまぁとごるふ、デイズゲッターの6つとし、成績上位者には景品を贈呈した。
また、得点集計時など試合の無い時間を利用して、リズムダンスを行うなど体が冷えないよう企画した。
新型コロナウイルス感染防止対策として参加者定員を昨年と同様に例年の半数の50チームとし、21チーム41人が参加した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	1	体力つくり推進費	32
②									
③									
								関連決算額合計	32

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	年齢性別を問わず、誰もが参加できる大会として毎回好評を得ている。 寒い時期に開催するため、参加者の待ち時間をなくせるよう、競技スケジュールを工夫する必要がある。今後は、暖房設備のあるスポーツセンターで開催できないか検討する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

冬の運動不足解消を目的の一つとしているが体を動かさない種目がいくつかあったため、特に高齢の参加者において身体が冷えてしまうことがあった。今後は、暖房設備のある施設での実施と、身体の温まるニュースポーツを選択するよう検討していく。
また、ニュースポーツは子供から大人まで楽しめるものであるため、比較的高齢の参加者が多い中、若年層にも広く参加を呼び掛けていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1606	事務事業名	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

体育施設の比較的利用の少ない日中の時間帯を有効活用できるように、高齢者や家庭婦人を対象としたスポーツ教室を開催し施設の利用促進を図る。
スポーツ施設の充実を図り、安全安心な生涯スポーツ活動を行うことができるよう、効率的な施設運営を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

指定管理者に対し、自主事業を実施し利用者の増加に努めるよう促している。
水泳プールにおいては、水泳教室等の自主事業を積極的に行っており、利用者数の増加に努めている。
スポーツ振興事業団においては、施設を利用して障がい者を対象とした健康教室を実施している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	指定管理者には、これまでも自主事業の促進や利用者の立場になって「使いやすい」「使って気持ちの良い」 と感じる施設にするように指導を行ってきており、現在は良好な施設運営が行われている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者に対しては、これからも利用者の少ない施設や、利用者の少ない時間帯については、より施設を有効活用するよう指導を継続していく。
また、自主事業の実施により利益を得て、その分を指定管理料の削減に充てて、市の負担を軽減するといった指定管理者制度の本質についても指導し、自主事業の実施に向けた意識改革に繋げる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1607	事務事業名	スポーツ競技の育成支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内競技団体の活動を補助し、競技力向上や各競技人口の拡大を図る。各競技団体の活発な活動は、団体加入者の増加やスポーツ成績の向上につながり、スポーツを通じたを元気なまちづくりと、市出身のアスリート育成を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市体育協会への活動補助金や、各競技団体に対し県民体育大会に参加するめの費用に係る活動補助金を交付した。
県民体育大会夏季大会については、8月7日、8日の両日に宝達志水町を主会場として開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響を受け中止となった。冬季大会については、2月26日、27日に白山市で開催された。加賀市選手団は総勢52人。
また、全国規模の大会に出場した選手等（36個人（コーチ含む）及び3団体）に激励金を支給した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	9,807
②									
③									
								関連決算額合計	9,807

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	県民体育大会には、各競技協会などが積極的に参加している。協会のない種目については、スポーツ推進委員などが参加している。多くの競技者にとって目標となっている大会であり、普段の練習成果を存分に発揮できる貴重な大会となっている。 また、激励費の支給を通じて競技スポーツ選手や団体の支援を行っており、競技力の向上や競技スポーツの振興を図っている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

県民体育大会での不振の原因の一つは、若年層の参加者が少ないことが挙げられている。特に若い女性の参加者が少ない状況である。今後、より各競技スポーツの底辺を拡大できるよう、市スポーツ協会（令和4年4月1日から名称変更）とともに若年層の関心を得られる施策を打ち出していく。
激励費については、全国規模への大会出場者の情報収集を積極的に進めて、対象者にもれなく支給し優秀な競技スポーツ選手を支援していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1608	事務事業名	スポーツ教室の開催の運営支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

スポーツ初心など、誰もが気軽にスポーツに取り組み楽しむことのできる環境づくりを推進する。もって、幅広いスポーツの推進と健康増進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内の総合型スポーツクラブや、市体育協会加盟団体等でスポーツ教室を行っている。また、加賀市スポーツ振興事業団では誰でも参加できるファミリーバドミントン教室やヨガ教室のほか、障がいのある人を対象としたトランポリン教室も開催している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	総合型スポーツクラブは、基本的に民間団体が行う事業であるため資金的な支援は行っていない。 加賀市スポーツ振興事業団が行っている各教室については、指定管理者の自主事業として実施しているものでもあり、市は指定管理料を通じて間接的な活動支援を行っている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市スポーツ振興事業団は、総合型スポーツクラブを立ち上げて、同事業団が指定管理者として管理している市の体育施設（加賀体育館、加賀市武道館等）を会場に、ファミリーバドミントン教室、シェイプアップボクシング教室、トランポリン教室、ヨガ教室などを開催している。
今後は「加賀市スポーツ推進計画」にある「総合型地域スポーツクラブへの支援」の具体的施策として、指導者斡旋などの活動支援を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1609	事務事業名	スポーツ推進委員による指導事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

生涯スポーツ推進の一環として、各団体のニーズに合わせたニュースポーツの指導（講義・実技）を行う。
かもまる講座を中心として、各々が自分で行うことが出来るように指導し、継続してニュースポーツに取り組んでもらうきっかけ作りとする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

かもまる講座においてニュースポーツの指導を行っている。
講座ではニュースポーツを体験して楽しんでもらうだけでなく、ルールを分かりやすく記載した説明書を配布し、用具の貸出しと場所等の案内をすることで、かもまる講座申込者が自分たちでニュースポーツが行えるよう工夫している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ニュースポーツを紹介するかもまる講座については、主に地域高齢者団体より申し込みを受けていたが、小学校における学校行事としての受講要望もあるなど、幅広い年齢層が興味を持っている講座となっている。ニュースポーツの種類は多数あるため、参加者の要望に応じたものを紹介しており、毎回好評を得ている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

かもまる講座を申し込む団体の中には、まだ実施したことのないニュースポーツを紹介してほしいとの要望もある。なるべくそれらの要望に応えられるよう、ニュースポーツの種類、内容を充実させ継続していく。
また、かもまる講座の受講者をレクリエーションスポーツ大会や体力テストの参加者に繋げることで、各種事業の参加者の拡大を図っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1610	事務事業名	スポーツ施設の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

スポーツ施設を、利用者の安心安全と利便性の向上が図られるよう整備を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度においては、大規模な改修・整備は実施しなかった。
どのスポーツ施設も老朽化しており、緊急的な修繕のみ行った。
今後は、公共施設マネジメントに則り、計画的に改修及び統合等を実施し、利用者の安心安全及び利便性を図っていく。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	体育施設において、安心安全な利用と、利便性を向上するために改修すべき点がみられることから、各施設の優先度を見極めながら充実事業を継続していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

公共施設マネジメントの基本方針やスポーツ推進計画の基本施策に従い、重複している施設について、統廃合を含めた適正配置を検討していく。特に、老朽化の著しい山中武道館について、加賀市武道館との統廃合に向けた準備を進めていく。
また、経年劣化の著しい屋内水泳プールについては大規模修繕や建て替えが早い時期に必要な状況であり、利用者の安全確保の点からも、早急に整備方針を決定していく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1701	事務事業名	中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市と一般財団法人中谷宇吉郎記念財団とが連携・協力をした「かがく宇かんプロジェクト」として、中谷博士の研究領域であった「自然科学」と造詣が深かった「芸術」をテーマとする新しい学問を加賀の地から立ち上げ、世界へと発信し、そこから付加価値を生み出すことを目指す。

- 市民の豊かな教養の醸成⇒シンポジウムやスクールの開催による自然科学・芸術に対する関心の高まり
- シビックプライドの醸成⇒世界の研究者から注目を集める先駆的な取組みを進めるまちであることによる、郷土への誇りの高まり

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

専用WEBサイトを更新し、プロジェクトコンセプトの「科学の心」、「環境は知性である」、「学ぶ力を 学ぶ」の発信とともに、昨年度に引き続き更新方法やインターフースのさらなる改良を行った。
霧の彫刻を活かした柴山潟（浄化センター）周辺の修景計画に関する調査を進めた。
アーカイブセンターの準備に向け、今後研究対象としての価値が注目されている映像資料について、新たに編集し資料としてまとめた。
「かがく宇かん」将来構想へ向けた企画・立案・調査を進めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	249	一般会計	10	1	2	3	4	教育振興事業費	1,300
②									
③									
								関連決算額合計	1,300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	コロナ禍の影響により、令和3年度はシンポジウム等の活動は自粛した結果となった。 本市が世界的な物理学者である中谷博士の生誕地であることをプロジェクトの背景として、今後も「科学のこころ」をベースとした研究教育を継続的に推し進め、国内外に発信し注目を集める中で新たな価値を見出していくことは本市にとって意義深いものであることから事業は継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

- 市民、小中学生、高校生を対象とするスクールなどを開催し、自然科学や芸術への関心を高める。
- 加賀、片山津に新たに修景する唯一無二の芸術空間を創り出す。
- 世界中の科学や芸術を愛し、環境を敬う人々が訪れる、聖地にするための計画を策定する。
- 芸術家や科学者が家族とともに集い滞在したくなる空間と教育プログラムを形成する。
- 芸術家や科学者に研究の場を提供し、加賀市民とも交流させる。また、市の知名度の向上とともに、市民の豊かな教養の醸成を図っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)①2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1702	事務事業名	市民文化講演会開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

時宜に応じた旬な話題の講師を招いて、市民の誰もが気軽に参加できる市民文化講演会を開催し、市民の教養や文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会を提供することを目的とする。
講演会は、市民の誰もが気軽に参加できる講座として定着してきているが、令和3年度は令和2年度に引き続き、コロナウイルス感染症拡大防止のため、不特定多数の市民を対象とした講演会ではなく、対象を東和中学校及び山中中学校に絞り加賀市の郷土愛を高め、青少年の将来の夢や希望につなげる講演会とした。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度の市民文化講演会は、東和中学校及び山中中学校の生徒270名を対象とし、数々のドラマ脚本やNHK 2020年度前期連続テレビ小説「エール」の脚本を手掛ける加賀高等学校卒業生の嶋田うれ葉氏に加賀市での思い出や現在の仕事についてお話していただき、加賀市の郷土愛をさらに高め、青少年の将来の夢や希望につなげる講演会を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	270	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習振興費	1,105
②									
③									
								関連決算額合計	1,105

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	例年は時宜に応じた講師を招き、市民の教養・文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会の提供となっていたが、令和2年度に引き続き令和3年度もコロナウイルス感染症拡大防止のため、不特定多数の市民を対象とした講演会ではなく、対象を東和中学校及び山中中学校に絞り加賀市の郷土愛を高め、青少年の将来の夢や希望につなげる講演会とした。 長年継続して開催しており、毎年期待している市民が多いことから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

これまでは比較的年齢が高い市民が聴講に来たが、若者層の聴講も視野に入れ、高齢者のみならず若年層が聴講しても楽しめる話題の講師の人選を行うとともに、市の他事業とのタイアップや人の集まりやすい会場での開催とするなど工夫を凝らした企画をすることで、今後も継続して市民に参加していただけるよう努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)①2
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1703	事務事業名	ふるさと学習の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課・学校指導課・教育庶務課	グループ	生涯学習グループ・学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

児童がふるさとの歴史や伝統文化に触れ理解を深めることにより、ふるさとへの愛情と誇りを持つ心を育てることができる。また、親子で一緒に活動することで、共通の話題に触れることができ、子どもの意欲や関心も深まり、バランスのとれた心身の成長が促されることを目的とする。

大聖寺十万石の文化が息づく加賀市は、加賀百万石の金沢にも劣ることのない歴史と文化を共有しており、現在も能楽が盛んに行われている。この文化を児童たちに伝えることで教養を高め、質の高い教育へと繋げる。ワークショップ形式にて3年間で全学校を回る形で実施。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内の小学校と連携を図り、市内小学生と保護者を対象に「すすめ！ふるさと探検隊　加賀のいいとこ大発見！！」と題して市内の名所・施設等を巡る親子ラリーを実施し、10か所達成ごとに認定証を交付している。
令和3年度の認定者は延べ72人で、60か所を達成した探検大使5人のうち3人は、令和3年度中に50か所及び60か所を達成したことから、探検隊長と探検大使として表彰を授与した。

能楽の基本的な内容を習得する学習活動を実施した。
今年度対象校となった、山代小、庄小、東谷口小、勅使小、山中小、河南小に加え、毎年6年生を送る会で能を披露する金明小にて能楽のワークショップを実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	270	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	137
②									
③									
								関連決算額合計	137

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	親（保護者）と一緒に行動することにより、家庭での共通の話題が増えたり、市内の名所・旧跡等を巡ることにより、郷土の歴史や文化に触れ、ふるさとへの愛着が形成されるため、今後も継続する。 学校における伝統文化活動の推進は、将来に向けての「住んでよし・訪れてよし」のまちづくりの基礎を学校教育の場から促進する手法としても効果的であり、今後も継続する必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ふるさと探検隊を実施することが、ふるさとへの愛着を育み、親子の絆を深めることにつながっている。
今後も、探検隊長・探検大使を目指し、たくさんの児童が参加してくれるよう、小学校と連携を図って取り組んでいく。

予算については、文化庁が実施している「芸術家の派遣事業-文化芸術による子供育成促進事業」の補助金を活用。
事業を継続的に実施していくことで、加賀の児童に能という伝統文化を継承する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1704	事務事業名	かがやき市民大学の促進		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

広く市民が生涯学習に親しむきっかけづくりとして、自己申告による点数獲得運動（100点運動）を展開し、獲得した点数により、単位認定証の交付を行い、市民の自発的な生涯学習を推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

延べ38名の自己申告があり、獲得した点数に応じて、認定証や称号授与書の交付、市広報への掲載を行った。令和3年度は、殿堂入り・2,000点達成者が新たに2名、博士・1,000点達成者が2名、修士・500点達成者が1名であった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	270	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	5
②									
③									
								関連決算額合計	5

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	2,000点達成後も運動を続けている参加者が年々増えている。また、新規に運動に取り組む市民もおり、生涯学習の推進に大きく寄与している。今後も、生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、かがやき市民大学校100点運動を広く進めていく必要があるため、継続していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

広く生涯学習に親しむきっかけとして、手軽に取り組める事業であり、地区広報誌やHPでPRすることにより、多くの市民の参加を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1705	事務事業名	蔵書の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

乳幼児から高齢者まで、すべての市民の要望に応じた幅広い分野の資料を収集する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

司書による週1回の選書会議の中で、市民の要望について協議を行い、一般書5,805冊、児童書2,658冊、視聴覚資料95点新たに受け入れ、蔵書の充実を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	274	一般会計	10	5	3	1	2	図書等購入費	17,312
②									
③									
								関連決算額合計	17,312

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	蔵書を充実させることは、利用者ニーズに応えるために必要不可欠であり、今後も継続する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

図書の選書について、蔵書数と蔵書分類をバランス良く維持していくとともに、可能な限り市民が要望する資料を提供し、適正な蔵書管理を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1706	事務事業名	レファレンス（相談機能）能力の向上事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

利用者から情報や資料を求められたときに迅速・的確に提供するため、レファレンス（相談機能）能力を高める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、図書館サービスの縮小等を実施したため、レファレンス件数は減少した。
　調べものや資料探し等に戸惑っている市民に適切な資料を提案するなど、資料探しの手助けから専門性や難易度の高い相談まで行っているが、その中でも、専門性の高いものを中心にレファレンス事例を蓄積している。
　レファレンス事例の蓄積と共有を図ることで、レファレンス能力の向上に努めた。
　両館での取扱件数　5,557件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	274	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	99
②	269	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	2,340
③									
								関連決算額合計	2,439

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	引き続きレファレンス事例集を作成するとともに、職員向け研修会を行うことで、職員全体のレファレンス能力の向上を図る。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

職員の能力向上やレファレンスに対する信頼性が向上しているため、対応は充実している。また、難易度の高い事案も増加傾向にある。
　今後も、レファレンス事例集を作成するとともに、情報共有や研修会に積極的に参加することで、職員のレファレンス能力の向上を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1707	事務事業名	行政資料・郷土資料の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

行政資料や郷土資料を集積し、市民をはじめ、議員や市職員が必要とする情報を迅速に提供する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市職員が資料を利活用できるように、毎月、市政・議会図書室に新たに入った資料の案内を行った。
さらに、パンフレットやチラシを収集し、利用者に県内市内に関する情報を提供できるよう努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	274	一般会計	10	5	3	1	2	図書等購入費	104
②	269	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	2,341
③									
								関連決算額合計	2,445

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	郷土資料の集積に努め、利用者からのレファレンスに対し、自館の郷土資料を元に適切な対応ができている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

未整理の郷土資料のアーカイブ化を進め、デジタル図書館上で公開する。
また、情報共有や研修会を実施することで、職員の郷土資料レファレンス能力等の向上を図る。
市職員から行政関係資料等の要望を聞き、さらに行政資料を充実することで、市民、議員、市職員の利用向上を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1708	事務事業名	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

図書館から遠隔地の市民への利便性を高め、市民の読書活動を幅広く推進するために、市内を巡回して図書館サービスを提供する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、サービスを行った。自動車文庫は、大規模小学校と自動車文庫が入ることができない保育園を除く市内34か所の各施設を3週間ごとに巡回し、地区巡回サービスは、市内15か所を1週間ごとに巡回し、予約資料の貸出や回収を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	274	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	1,938
②	269	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	3,095
③									
								関連決算額合計	5,033

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	自動車文庫・地区巡回サービスとも、好評であり、継続し実施していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

自動車文庫については、学校や保育園の統廃合により、ステーションや巡回経路の見直しを行うとともに、これまで行けなかった施設の巡回を検討し、より多くの子どもたちに図書を提供していく。また、新刊の購入や定期的な入れ替え等で魅力ある蔵書構成に努める。

地区巡回サービスについては、一定の利用があり、引き続き遠隔地の市民への便宜を図る。利用が少ない地区を中心に、サービスの周知のため地区広報への掲載を依頼する。

今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、サービスを継続していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	1．安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施　策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1709	事務事業名	青少年健全育成の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

携帯電話やスマートフォン等の情報機器や有害図書など青少年を取り巻く問題を解決することで、青少年の健全育成を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

青少年健全育成に関する団体と、県主催の「携帯の危険性」について学び情報共有を図った。「かがっ子ノー携帯　ノースマホ運動」を展開し、小学生とその保護者にチラシを配布し、啓発活動を行った。また、グッドマナーキャンペーンでは、学校や保育園、駅、通学路などで挨拶やマナーに関する声掛けや通学路の見守りを行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	275	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	30
②									
③									
								関連決算額合計	30

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	今後とも「携帯電話の危険性」や親子での使い方のルールづくりをしてもらうよう啓発チラシを作成し、親子で話し合う機会とするよう継続して啓発活動を行う必要がある。 グッドマナーキャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら継続して実施し、関係団体等に対して、子どもの見守りを含めて協力を求めていく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

情報機器は日々進歩しており、今後ますます子ども達の情報機器の保有率が増加することが予想される。子どもたちをインターネット利用における被害者にも加害者にもさせないために、継続して正しい使い方や親子で使い方のルールづくりを啓発していく必要がある。
グッドマナーキャンペーンを通じて、学校、保育園、駅、通学路などでの挨拶やマナーに関する声かけ、登校時の見守りについての協力を呼びかけていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵②2、1⑵②3、1⑵②4、1⑵②5
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2101	事務事業名	加賀温泉郷誘客促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	観光誘客グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

観光客を増加させるために、観光客の利便性や満足度の向上につながる観光商品の企画・開発や、旅行会社等への助成を実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業として、MICE誘致事業(延べ宿泊者21,364人、助成対象宿泊者19,823人)、永平寺お出かけ号運行事業(販売2,083枚)、体験観光・地域の魅力商品企画開発事業等を展開した。また、同法人への委託事業では、航空会社との提携によるオンラインでの映像配信と物販を組み合わせた「オンライントリップ」や、金沢駅構内での県民割誘客キャンペーン、北前船の里資料館を利用した謎解きクエスト「リアル宝探し　北前船の黄金の羅針盤」などを実施し、観光客の増加を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	154	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	5,936
②									
③									
								関連決算額合計	5,936

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	金沢駅におけるPRや、航空会社と連携したオンライントリップの実施により、コロナ禍における近隣県からの集客や、将来の旅行者の獲得に繋がった。また、MICE誘致促進事業では、修学旅行の加賀温泉郷への送客増加(修学旅行への助成対象人数:R2年6,531人→R3年18,906人)に繋がった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

コロナ禍における旅行者の動きや世論を注視しながら、観光PRや助成を行い誘客促進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2102	事務事業名	柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

柴山潟の水辺景観を活用した片山津温泉の魅力づくりに向け、柴山潟周遊ルート整備を重点的に実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

「柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト」の推進を図るため、水辺空間を活用した湖岸遊歩道工事を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	226	一般会計	8	5	7	1	7	柴山潟周辺整備費	85,602
②									
③									
								関連決算額合計	85,602

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	湖岸遊歩道は、堤防を利用して水辺の空間を新たに創出するもので有効性は高いが、沿線旅館の理解を得る必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

湖岸遊歩道は、沿線旅館等事業者、及び地元整備委員会の意見を踏まえるとともに、石川県と連携し、円滑な事業推進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤1
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興施策の推進		

事業番号	2103	事務事業名	北前船日本遺産推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

北前船をテーマに全国の関連自治体が連携し「北前船日本遺産推進協議会」を設置、文化庁より認定された日本遺産のストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に係る関連文化財群を広域連携によりブランド化を進め、情報発信や普及啓発、環境整備等のさまざまな事業に取り組み、地域活性化を図るのみならず、国内外からの観光誘客を目指す。加えて、加賀市独自の北前船普及啓発事業に取り組むことにより、地域文化の振興を図り、北前船文化の継承のための人材育成につなげる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市独自の取り組みとして、北前船関連文化財を活用した市民・観光客向けの体験観光プログラムモニターツアーを実施し、大正時代の北前船船主家の婚礼体感（衣装や道具、料理）できる内容を目指した。参加者からは、概ね好評価を得た。

また、北前船日本遺産推進協議会では、協議会48自治体の構成文化財のデーターベース化事業を実施した。（令和4年度に一般公開予定）。また、全体会議や地区単位での会議等を通して加盟自治体及び団体と連携することにより、全国的な事業を展開し観光振興及び地域活性化の推進を図った。認定自治体の担当者および学芸員の参加のもと、学芸員セミナーを実施し、取り組み紹介や意見交換などにより自治体間の連携につながる内容となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	161	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	582
②									
③									
								関連決算額合計	582

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	全国の北前船ゆかりの地の中でも、橋立町のように大規模な船主集落が形成されている加賀市を、北前船のふる里として全国にPRすることができた。石川県内は北前船ゆかりの自治体が数多く存在するため、市単体のみならず、自治体間の連携を行い、効果的に観光PRを行っていく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

日本遺産北前船に認定された48市町で構成する「北前船日本遺産推進協議会」では、広域連携を図り、北前船寄港地・船主集落及び北前船文化のブランド化の推進を図るため、動画や共通パンフレットによる地域紹介などの情報発信や普及啓発事業を行っていく。また、県内のみならず、関係する市町間での連携を深め、共同展示やイベントなどを推進していく。

加賀市単独としては、北前船の里資料館や重伝建地区の更なる活性化を図るため、全国北前船研究会と協力して船主屋敷に残る資料収集整理や、全国北前船セミナーや市民講座による普及啓発を行うなど、北前船に関する取組みを更に推進していく。さらに、観光客の誘致と新たな体験観光プログラムを創出することを目的として、体験型事業の推進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)④2、1(2)②1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2104	事務事業名	魅力的な地域商品企画開発事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市が有する歴史、文化、自然、食などの魅力的な資源を活用し、宿泊プラスαのサービスを提供することで、来訪客の満足度を高め、加賀温泉郷へのさらなる誘客促進を図る。
特に、「遊ぶ」「観る」というカテゴリーを充実させるため、新たな旅行商品の造成を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業「加賀温泉郷誘客促進事業」において、下記の体験観光メニューを企画実施した。
・加賀大聖寺山ノ下寺院群　寺宝・庭園・御朱印めぐり
　春季(5/1～5/5)、春季(10/24～11/3)の計11日間実施し638人が参加
・ひまわり迷路アドベンチャー
　7月下旬から8月上旬の19日間実施し約1,600名が来場

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	155	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	269
②									
③									
								関連決算額合計	269

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	コロナ禍において感染対策を講じた観光が定着し始め、参加者が増加したことから、地域の魅力を十分に活用できたものと評価できる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

既存の体験コンテンツについては、告知宣伝を十分に行い、参加者の増加を図るとともに、地元事業者が中心となった斬新で先進的、かつ持続可能なコンテンツの造成を促し、魅力的な地域商品づくりに繋げる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵②3
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2105	事務事業名	温泉地回遊性向上事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市が持つ温泉観光地としての高いポテンシャルを最大限に活かし、温泉宿での滞在のみならず、地域内の回遊性を向上させる仕掛けづくりを進めることにより、観光客が求める「まち巡り」が楽しめる魅力ある温泉地として来訪客の満足度を高め、「1泊2日3湯4食」の滞在モデルを実現し、滞在時間の延長による市内消費の拡大を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業「加賀温泉郷誘客促進事業」において事業展開を図った。

平成28年3月から実施している「ECO乗りクーポン」の販売促進では、旅行会社とのタイアップなどによる旅行商品化をおこないつつ実施し、令和3年度は年間で4,528枚の販売となった。また、温泉地の総湯を活用したキャンペーン、観光情報センターでの駅前おもてなしインフォメーション強化事業などを展開し、回遊性や満足度向上に努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	259
②									
③									
								関連決算額合計	259

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	旅行商品において特典を付与することで、宿泊客の満足度向上と市内での回遊が促されている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

地域内の回遊性を高めることは、観光地としての魅力向上はもとより、観光消費を高めることでの地域経済の活性化にも大きく寄与するものであり、今後も官民一体となり事業を充実させていく。特に、2024年北陸新幹線延伸に向け、地域の魅力をさらに高める必要があることから、引き続き事業を継続し、内容を検証しながら改善策を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)②2
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2106	事務事業名	観光二次交通対策事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

北陸新幹線金沢開業以来、金沢から加賀温泉郷への二次交通として、主たる移動手段である鉄道以外においても、多様な選択肢を提供することにより、加賀地域へのアクセスを強化し、観光客の利便性を向上することで、観光誘客の促進を図っている。
また、加賀市と小松空港間のアクセスを改善・充実することにより、航空機の利用促進を進めるとともに、観光誘客の促進と交流人口の拡大を図り、本市の経済活性化を推進する。
県と連携し小松空港を利用した旅行商品を造成し、誘客促進を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀温泉バス㈱が運行する、金沢市内と加賀温泉郷を結ぶ「温泉特急線（加賀ゆのさと特急）バス」に対して、平成23年度から平成27年度までは石川県と共に、平成28年度以降は加賀市のみで助成をし、バス運行事業者主導による運行をおこなった。令和3年度における1便あたりの平均利用者数は4.6人となっている。
また、キャンバスの小松空港線はコロナ禍により運休であった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	3,740
②									
③									
								関連決算額合計	3,740

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	縮小
評価に関するコメント	「温泉特急線（加賀ゆのさと特急）バス」は、利便性と速達性を広くPRすることで、利用者数は堅調に推移していたが、コロナ禍の影響により半数以下となった。しかしながら、ここ数年は旅行会社の旅行商品に組み込まれるなど、金沢と加賀温泉郷を結ぶ交通手段の一つとして確立してきた。 小松空港線は空港と加賀温泉郷を結ぶ重要な交通手段である。一部旅行会社では、小松空港線のバスをセットした旅行プランを商品化していたが、コロナ禍により運休状態が続いている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

2024年北陸新幹線延伸までの間、金沢と加賀温泉郷を結ぶ二次交通手段としてバスの利用促進を図ることとする一方、延伸後については今後検討を行う。
鉄道・空輸ともに加賀温泉郷へのアクセスの利便性の維持に努め、誘客促進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)②5
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2107	事務事業名	MICE誘致促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市内での宿泊を伴う大会・総会・会議・学会・研修会・講習会・セミナーシンポジウム・見本市・イベント（文化・スポーツ）、インセンティブツアー・修学旅行等の企画において、20人泊以上の宿泊を伴う団体旅行客を送客する旅行会社へ助成し、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

助成内容は、1人あたり1泊につき300円の助成金交付を行っている。令和3年度は、71件のMICE開催に対し助成を行い、市内宿泊者数は延べ21,364人であった。
なお、旅行者への助成としてコンベンション誘致推進助成事業を実施しており、コンベンション開催による団体旅行者への助成制度も実施するなど、誘客促進の強化を図っている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	11	MICE誘致促進事業	5,947
②									
③									
								関連決算額合計	5,947

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	修学旅行による利用が大幅に増加している。コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の平成31年度では申請のあった86件中4件が修学旅行であったが、令和3年度は71件中68件であった。 コロナ禍により新しい観光スタイルが確立される中、オフサイトミーティングや修学旅行などのMICE需要を取り込むために有効な施策であると考えられる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

コロナ禍が続いており、今後も都市圏から北陸地方への教育旅行需要が高まると予想される。平日の団体客獲得は、宿泊施設経営においても重要であることから、行き先に加賀市が選ばれるよう、教育旅行向けコンテンツの造成のほか、様々な機会を活用しMICE助成制度、及び観光・スポーツ施設等の情報提供を行い、さらなる誘客促進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2108	事務事業名	観光振興団体活動助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

石川県・近隣地域・北陸地域の自治体や観光関連団体と連携した観光振興施策を展開し、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

山代・山中・片山津・粟津・辰口・白山の6温泉で組織する加賀の國温泉博協議会が実施する加賀の國温泉博事業に対して、石川県や小松市、能美市、白山市とともに助成を行い、加賀温泉郷への誘客促進を図った。
石川県観光連盟の運営に対する自治体負担金を負担し、県の観光推進体制を支援し、広域連携による誘客促進を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	2	観光振興団体活動助成費	781
②									
③									
								関連決算額合計	781

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	石川県や近隣地域の自治体や観光関連団体との連携は必要であり、今後も継続すべきものと判断する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

単に助成金や負担金を支払うだけではなく、事業の効果検証をしっかりと行いながら戦略的な誘客事業を展開するよう働きかける。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2109	事務事業名	ガーデンシティ構想推進事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

温泉地や歴史的まちなみに、花や緑の彩りを添える取り組みを市民協働で実施し、観光振興、商業振興など地域の活性化につなげるガーデンシティ構想推進プランを推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

花や緑を活かした景観まちづくり活動をする団体や個人である「加賀市もてなしガーデナー」へ年2回、花苗の配布を行った。
国道8号の大型プランターの設置区間を延伸し、沿線事業者などの協力により、年2回の花の植え替えを実施した。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、花と緑に関する講習会は中止とした。
また、第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プランの策定に向け、検討委員会を立ち上げた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	226	一般会計	8	5	7	1	1	修景緑化整備費	3,298
②									
③									
								関連決算額合計	3,298

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「もてなしガーデナー」の登録数が前年比1割増加し、緑化活動の広がりを見せている。本市の主要幹線道路である国道8号において、花や緑による景観まちづくりの効果が見られるが、部分的であるため、さらなる延伸を図る必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

もてなしガーデナーへの支援を拡充し、緑化活動の継続と広がりを促進する。
国道8号における花と緑の景観向上について、理解が得られていない沿線事業者や町内会へ、引き続き、粘り強い働きかけが必要である。
また、講習会の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、未実施地域での開催を目指し、市民への更なる意識醸成を図る。
第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プランを策定し、計画に沿った事業を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2110	事務事業名	旧よしのや依緑園別荘整備事業		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

旧よしのや依緑園別荘整備事業について、旧よしのや依緑園別荘整備小委員会から「自然・歴史・文化を紡ぐ昭和の迎賓館」～旅の異空間　依緑園～をコンセプトとして提言書が提出された。。
開湯千三百年を迎えた歴史ある山中温泉は、古来より鶴仙渓等の自然に抱かれ、人々を癒し続けてきた。
また、「旧よしのや依緑園別荘」には、昭和の時代、昭和天皇をはじめ多く皇族関係者や著名人、文人墨客が訪れ、多様な文化を発信してきた。
今般、山中温泉の自然・歴史・文化を体験できる昭和の迎賓館として、訪れる多くの訪問者（旅人）をもてなし、癒し続ける「異空間」として再生する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

旧よしのや依緑園別荘整備事業の進捗状況
令和2年度繰越明許として大規模改修工事（1期）【建築・電気設備・機械設備】を令和4年3月に終了した。並行して大規模改修工事（2期）【同】を令和3年12月から令和3年度繰越明許として施工中であり、また、庭園整備工事も同様に施工中である。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	委託料	決算額（千円）
①	238	一般会計	7	2	3	7	5	委託料	1,230
②	238	一般会計	7	2	3	7	5	工事請負費	125,200
③	238	一般会計	7	2	3	92	1	委託料	6,380
④	238	一般会計	7	2	3	92	1	工事請負費	209,550
								関連決算額合計	342,360

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	旧よしのや依緑園別荘整備事業を完了するためには、大規模改修工事（2期）【建築・電気設備・機械設備】及び庭園整備工事の実施が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

大規模改修工事（2期）【建築・電気設備・機械設備】は、令和5年3月末に完成予定である。また、庭園整備工事は、令和4年12月に完成予定である。
令和5年夏ごろのオープンを目指す。現在、旧よしのや依緑園別荘運営検討委員会を組織し、オープン後の管理・運営・活用等を検討している。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①3
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進		

事業番号	2201	事務事業名	三温泉観光誘客助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、新型コロナ対策及びアフターコロナを見据えた事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合いながら魅力を高めることで、世界から選ばれる温泉共創地を実現するための環境づくり、及び観光の振興を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

三温泉の観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、ホームページを活用した効果的な情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。

また、三温泉で新型コロナにより落ち込んだ観光需要回復を目的として、コロナ対策及びアフターコロナを見据えた事業を行い、山代温泉観光協会によるあいうえおの郷PR事業や大手旅行会社とのタイアップ事業、山中温泉観光協会による夜の回遊性を狙ったライトアップ事業やフォトコンテストの実施、片山津温泉観光協会によるJALオンライントリップと連携した宣伝事業・片山津温泉魅力発見イベント、ライトアップイベントなどの事業費に対して補助を行った。

鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉（柴山温泉含む）の源泉管理者が行う、揚湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、各種修繕工事費に対して補助を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進費	39,000
②									
③									
								関連決算額合計	39,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化を図っている。三温泉地それぞれが独自の事業を展開することで、個性を最大限に活かした魅力的な観光施策を展開している。

また、北陸有数の温泉地を抱える加賀市において最も重要な資源の一つである「源泉」に関する施設の適切な管理・保護を推進することにより、旅館などの温泉施設に安定的に供給され、温泉観光地としての安心安全を確保している。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

引き続き三温泉地が実施する都市圏や海外に向けた観光情報の発信を中心とした誘客事業に対する補助や、ウイズコロナ、アフターコロナに対応した魅力づくりに対して補助を行い、加賀温泉郷のイメージアップと知名度向上を図る。

また、源泉施設の維持管理に対する補助を行うことで、温泉地における公平かつ安定的な源泉供給に繋げる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)④4、1(2)④5
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進		

事業番号	2202	事務事業名	観光地ブランド化推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

温泉地に代表される主要観光地の活性化を図るため、「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、市が策定する「加賀市観光戦略プラン」に基づき、観光資源のブランド化などのソフト事業に対し県と共同で支援を行う。
新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業、外国人観光客の受入整備に係るソフト事業を対象とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

三温泉がそれぞれの個性を活かした事業を実施した。主な事業として、山代温泉では女性客層をターゲットとしたスタンプラリーやライトアップ、及び九谷焼や酒などの素材を活用した回遊性向上事業など、山中温泉では夜の回遊性を狙ったナイトイベントや伝統工芸を活用したオープンファクトリー事業など、片山津温泉では柴山潟や浮御堂を活用した魅力創出事業やアクティビティ体験コンテンツの造成など、三温泉連携事業では、加賀温泉郷における回遊性向上を図るため加賀温泉郷湯札クーポン事業、及び小型電気モビリティを活用した利便性向上事業などをそれぞれ実施した。
事業費の負担割合は、単独事業が市1/2、地元1/2であり、連携事業が県1/3、市1/3、地元1/3で、市からは県の補助金と合わせて助成した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	6	観光地活性化推進費	21,060
②									
③									
								関連決算額合計	21,060

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	三温泉それぞれが個性を磨くべく取り組むソフト事業に対し、石川県と共同で企画や試行にかかる費用も含めて支援した。結果が芳しくなければ取りやめ、新たにチャレンジすることができ、各温泉地においては全額地元負担で新規事業に取り組むリスクが軽減できる。そのため、自由で大胆な企画を実施でき、各温泉がもつブランドの可能性拡大につながることから、長期的視点での効果は高いと言える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

三温泉それぞれの個性を活かしたコンテンツの造成や、加賀温泉郷全体の魅力向上につながるコンテンツの造成に対し、事業の新規性、費用対効果、採算性などを考慮して支援・指導を行い、自立、自走できるように促す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵②1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2203	事務事業名	芸妓活動支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

後継者不足により、山中節をはじめとする伝統芸能および温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。
郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

若手芸妓1名に、芸の習得や舞台等の出演に要する活動費用を、1か月あたり50,000円（年間60万円）を上限に支援を行った。
また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用や若者に対する芸妓体験を通じた勧誘に対し支援を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	2,300
②									
③									
								関連決算額合計	2,300

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	日本遺産北前船の構成文化財でもあり、加賀市を代表する伝統芸能山中節を中心とした演舞は、来賓などに短時間で加賀市の文化を伝えることができる貴重な機会となっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

伝統芸能と芸妓文化を伝承していくため、舞台で使用する道具類や稽古に要する費用等についても助成を行うことで、芸妓全体の質の向上と技能保存を図る。併せて若手芸妓の活動支援を継続することにより、人材育成と芸妓としての定着を促す。
コロナウイルス感染症により今後の活動への影響が懸念されるが、活動の継承に向け必要な支援を今後も継続して行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①3
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進		

事業番号	2204	事務事業名	温泉観光地景観保全事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

山代温泉・片山津温泉の環境や景観を整備・保全することにより、観光客等が快適に散策・休憩をできる環境を維持するとともに、魅力的な温泉観光地として地域の環境美化を図る。（山中温泉については、振興課において整備を実施）

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

山代温泉については、萬松園通り、足湯、大堰宮公園園路、薬王院周辺及び園路、服部神社、薬王院温泉寺、真菰池休憩所、歌碑、女男生水周辺、県道小松山中線の歩道低木及びミニパーク、各種ライトアップ設備などの除草、剪定、清掃、維持管理など、山代温泉観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成を行った。

片山津温泉については、湯の元公園、新堀川周辺、湯の曲輪広場、配湯所周辺、柴山潟噴水及び関連施設などの除草、剪定、芝管理、清掃、維持管理など、片山津観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成を行った。

また、赤穂公園の清掃活動や維持管理費について、一部助成を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	4	観光地景観保全助成費	5,000
②									
③									
								関連決算額合計	5,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	環境整備や景観整備によって、観光地における快適な空間の提供を行うとともに、観光客等が快適に散策や休憩をできる環境づくりと、地域の環境美化を図っている。 また、費用負担の割合を、光熱費の3分の1以上、その他維持管理費の2分の1以上を地元が負担し、十分な費用対効果が得られているため、今後も継続して支援を行っていく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

補助対象範囲や対象箇所、実施内容について、各観光協会と確認しながら、事務事業内容の改善に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵①2
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進		

事業番号	2301	事務事業名	出向宣伝事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

首都圏を中心に、関西などの都市圏や北陸新幹線沿線地域などにおいてPR活動を行うことにより、加賀温泉郷の知名度の向上を図りながら新たな観光客層の需要を創出する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新型コロナウイルス感染症拡大により、都市圏へのイベントや旅行会社やメディアに対する商談会の多くが中止になった。
出向宣伝の機会が少ない中、金沢駅構内で県民割誘客キャンペーンによるパンフレット配布などを行った。また、北前船寄港地フォーラムin秋田に参加し、北前船によって各地で発展した食文化の、今後の発信方法などについて意見交換した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	378
②									
③									
								関連決算額合計	378

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	各種イベント等において、市内全域に点在する、各地域が磨き上げた魅力的な観光資源を一体的に紹介することで、効果的なPRを実施している。知名度の維持・向上による誘客促進のため、継続して実施する必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

2024年北陸新幹線延伸や2025年大阪万博開催を見据え、都市圏でのPRを強化するとともに、広域連携によるPRも展開する。
また、コロナ禍を踏まえ、対象地域や出向時期時期などを的確に捉えながら、効果的な宣伝活動を展開する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①2
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進		

事業番号	2302	事務事業名	都市圏プロモーション事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

平成29年度に策定した「第2次加賀市観光戦略プラン」を踏襲し、都市圏をはじめとする都市圏に対して効果的な観光プロモーション活動を行うことで、加賀市への観光誘客を促進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

「1泊2日3湯4食」の滞在型観光促進のため、着地型パンフレット「加賀温泉郷じゃらん」の内容更新と増刷を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	1,500
②									
③									
								関連決算額合計	1,500

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	低い	費用対効果（高い/普通/低い）	低い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	廃止
評価に関するコメント	北陸新幹線開業時からリクルートとタイアップし事業を行ってきたが、R3年度をもって終了した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「加賀温泉郷じゃらん」は、唯一の市全体を網羅したパンフレットであることから、その後継については令和5年度において作成を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)②1、1(2)②3、1(2)②4、1(2)⑤4
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進		

事業番号	2303	事務事業名	旅行商品企画販売促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

旅行会社とのタイアップによる加賀温泉郷への旅行商品の企画造成を進め、都市圏をはじめとする国内からの誘客促進を図る。
都市圏の旅行会社や交通機関への営業訪問（トップセールス）を実施し、旅行商品の企画造成と営業販売を促進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストなど大手旅行会社とタイアップをし、加賀温泉クーポン企画やご当地グルメの旅行会社商品化事業など加賀温泉郷企画商品造成を行い誘客促進を図った。また、近年利用者が増加しているOTA「じゃらんnet」に加賀市特集ページを掲載しクーポンの配布を行うことで、OTA利用者に対する加賀温泉郷の知名度向上と誘客促進を図った。
そのほか、令和3年度も都市圏でのトップセールスを継続して実施し誘客強化を図る予定であったが、コロナ禍のため中止となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	15,034
②									
③									
								関連決算額合計	15,034

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	タイアップ先の旅行会社も事業費を一部負担し、加賀温泉郷への送客に尽力させることができている。まあ、OTAを活用した事業では若年層の集客に繋がった。 旅行商品に特典を付与する商品が、旅行者に浸透する中、北陸への旅行商品の中でも存在感を示し、誘客促進に繋がっている。事業には民間事業者も共同参画しており官民連携での事業展開が図られている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

インターネットによる宿泊予約も大きく増加しているが、リアルエージェントによる窓口販売も依然重要であることから旅行会社とのタイアップ商品の企画販売を継続する。
旅行会社に対しては、目標数値や達成度も報告させ、費用対効果についての検証・分析も行っていく。
トップセールスに関しては、首都圏、関西圏において実施し、2024年の北陸新幹線敦賀延伸、2025年の大阪万博を見据えながら加賀温泉郷への送客を促すよう営業活動を積極的に展開する。
事業の実施にあたっては、ウイズコロナ、ポストコロナへの対策を踏まえた旅行商品の販売促進PRを展開する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①1、1(2)①3
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進		

事業番号	2304	事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀温泉郷全体が連携して総合的な観光情報の発信や宣伝事業を展開し、また加賀温泉郷の魅力を効果的にPRすることで、観光誘客の促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

一般社団法人加賀市観光交流機構に業務委託し、加賀温泉郷の観光情報を一元的に発信した。新聞、雑誌等を活用した広告宣伝活動を行うとともに、加賀市観光ポータルサイトを刷新し、サイトの質、使いやすさの向上を図った。
また、イタリア出身のタレント パンツェッタ・ジローラモ氏を加賀市PRアンバサダーに任命し、加賀市を紹介する動画を制作するとともに動画配信サイトを通じて魅力発信を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	10,017
②									
③									
								関連決算額合計	10,017

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	観光情報を一元的に発信することで、効果的なPRを図った。 温泉地のみならず加賀市における総合的な地域の魅力をPRすることで、加賀温泉郷全体の賑わいづくりと情報発信の強化に繋げている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

引き続き、加賀温泉郷全体の情報発信に注力し、知名度や話題性の向上につながるよう事業内容を更に改善する。
費用対効果や採算性などを重視し、観光情報の一元的な管理と効果的な発信を促す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①3、1(2)③2
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進		

事業番号	2305	事務事業名	加賀ブランディング情報発信事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

北陸の特徴でもある旅行でネガティブなイメージの「雨」を強みに変えるため、雨が降ると浮かび上がる「レインアート」を市内3温泉に施工し、雨だからこそ楽しめる「雨が似合う風情ある地」として加賀温泉郷の新たなブランドイメージを発信する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

レインアートで描くモチーフは、『加賀雨紋様』と題し、3温泉の開湯伝説にちなむ「加賀開湯伝説鳥（しらさぎ・八咫烏・カモ）」を題材とし、3温泉において実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	6,634
②									
③									
								関連決算額合計	6,634

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、弱みであった北陸の気候を強みに変える視点が評価され、全国紙や旅行業界紙、WEBメディアなど多様なメディアに取り上げられ、広告に換算した額は合計で30,301千円に上った。「雨ならではの魅力創出」に繋がる有効性の高い事業といえる。「雨が多い北陸地方の気候を活かしたユニークな企画」「加賀の雨紋様で心晴れる」等、メディアや観光事業者、市民より評価を得ている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

レインアートは降水量や路面の状況によって見えにくい場合があることから、雨の日も晴れの日も楽しんで頂けるよう企画のブラッシュアップを図る。また、回遊性を高めるため、施行箇所の増加とストーリー性を高めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵①1、1⑵①2
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進		

事業番号	2306	事務事業名	北陸新幹線延伸開業プロモーション事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

2024年春に予定される北陸新幹線敦賀延伸開業に向け、加賀温泉駅への全便停車を目指しH29年度から取り組みを始めた「東京2023加賀」プロジェクト事業を進展させ、市民意識の醸成を図りながら加賀温泉郷の知名度・認知度を向上し、誘客につなげていく。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成29年度より北陸新幹線加賀温泉駅開業の気運醸成と知名度向上を図るため、インパクトがあり話題性の高いPR動画をシリーズとして毎年制作、公開している。令和3年度はコロナ禍のため2年ぶりにseason4が公開された。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	7,000
②									
③									
								関連決算額合計	7,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	話題性のある動画がメディアやSNSに取り上げられることで、加賀温泉郷の知名度度向上や加賀温泉駅開業への機運醸成に繋がっている。また、定期的な動画の公開が話題性の継続となっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

北陸新幹線の加賀温泉停車が観光客の利便性向上に繋がり、ひいては観光客の増加に繋がるものであるため、令和4年度においても事業を継続する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)①1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2307	事務事業名	フィルムコミッション映画誘致事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

映画やテレビドラマ等をはじめとする映像作品のロケ地を巡り訪問する、いわゆる「聖地巡礼」と呼ばれるロケツーリズムが、近年一つの観光スタイルとして確立している。映像作品の制作を誘致し、その作品の公開や放映により地域をPRするとともに、ロケ地情報発信によるロケツーリズムをもって、観光誘客及び地域活性化を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和元年度に、映画制作会社より「Lady Kaga（レディ・カガ）」の制作提案を受け、令和2年度に同社と制作に係る覚書を締結した。なお、撮影は令和3年度中に行う予定としていたが、コロナ禍の影響により1年延期となった。

また、令和3年7月には、山中温泉大土町などを舞台とした映画「牛首村」の制作に協力した。映画は令和4年2月に全国公開されている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	3,000
②									
③									
								関連決算額合計	3,000

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	映像作品制作の誘致と公開には至っているが、出演者の人気や作品の話題性、公開のタイミング等により、効果や有効性が大きく異なるものであるため、普通評価とするもの。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度以降も誘致を進めるとともに、加賀市がロケ地となった映画の「ロケ地マップ」の制作や情報発信を行い、ロケツーリズムによる誘客を狙う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)③1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進		

事業番号	2401	事務事業名	海外都市交流事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

海外都市との友好関係をベースとした交流により、交流人口の拡大、インバウンド誘客の推進、次世代の国際力の育成、地域の活性化を推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

台湾との交流では、台南市と共催で、「小学生九谷焼絵皿イラストコンクール」を実施し、パネル展示を行った。また、友好都市である桃園市との友好都市締結5周年を記念し、記念品交換及びメッセージ動画の贈呈を行った。

シンガポールとの交流では、同国最大の私立大学法人であるシンガポール経営学校（SIM：Singapore Institute of Management）と留学に関する覚書を締結するため、オンラインにて調印式を開催した。

コロナ禍のため、当初予定していた、台湾やシンガポールとの教育・文化交流などは中止、もしくは次年度に延期となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	153	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	723
②									
③									
								関連決算額合計	723

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限により、予定していた多くの海外都市交流事業を行うことができない中、台湾やシンガポールなどとオンラインを含めた交流を行い、今後の交流再開を見据えた事業を実施した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

新型コロナウイルス感染症収束後にスムーズに交流が再開できるよう、友好都市等の担当者と継続的に情報交換を行う。アジアのみならず他諸国など新たな地域の活力を加賀市へ引き込むため、友好関係をベースとした交流を今後も継続し、観光や経済、文化、教育交流、ICTなどより幅広い分野への交流進展に取り組んでいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)③3
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進		

事業番号	2402	事務事業名	インバウンド推進事業(情報発信)		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

海外に向けて積極的な情報発信を行うことで海外からの誘客を図り、各温泉地の活性化に繋げる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

大阪観光局との連携事業として:
　大阪で日本在住の外国人留学生が集う展示会(エキスポ)へブース出展し、加賀温泉郷のPRを実施したほか、国内外の旅行会社を対象としたオンライン商談会への参加や、一般来場者向けのブース出展を行った。
　大阪からのインバウンド旅行者の誘客を図るため、加賀のモデルコース造成を行った。12月に大阪観光局の専門スタッフらとともにファムトリップ(コース視察)を実施し、大阪公式観光情報サイト「Osaka info」にモデルコースの掲載を行った。
　海外での国際旅行博等への出展や海外メディア招聘等についてはコロナ禍のため実施を見送った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	156	一般会計	7	2	2	1	13	インバウンド推進費	1,325
②									
③									
								関連決算額合計	1,325

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	Web会議システムを活用した国外旅行社との商談会を実施したほか、日本在住の外国人へ向けたPRを実施するなど、コロナ禍で制約が多い中、宿泊地や観光地としての加賀温泉郷の認知度の向上を図ることができた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

海外旅行会社とのオンライン商談会への参加や海外に情報発信力のある日本在住のインフルエンサーの招聘、駐日大使館と連携したプロモーション事業等を行うことにより、加賀温泉郷の国際的な認知度を高めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)③4、1(2)③5
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進		

事業番号	2403	事務事業名	インバウンド推進事業（受け入れ体制整備）		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

外国人観光客の利便性と満足度を向上させるため、観光案内所への外国人スッタフ配置や、多言語での観光情報ウェブサイトの制作を行う等、受け入れ体制を整備する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

アフターコロナを見据え、英語観光情報ウェブサイト「Visit Kaga」のコンテンツの充実やページの追加を行った。工芸作家や漁師、シェフ等へのインタビュー記事を充実させたほか、各飲食店におけるキャッシュレス決済の対応状況を掲載し、外国人観光客の周遊性や利便性を高めるための充実を図った。
観光案内所への外国人スタッフの配置については、コロナ禍により外国人旅行者の利用がほぼなくなったため配置を見送った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	156	一般会計	7	2	2	1	13	インバウンド推進費	996
②									
③									
								関連決算額合計	996

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	コロナ後を見据えた英語観光情報ウェブサイトの充実や情報提供体制の整備を行った。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

アフターコロナを見据え、加賀温泉郷を訪れる外国人観光客の満足度を向上するために、受け入れ体制を整備していく。英語観光情報ウェブサイトの更新や新たな情報の追加、及び観光案内所での多言語対応などを継続して実施し、外国人観光客の訪れやすい環境づくりを進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)③2
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進		

事業番号	2404	事務事業名	国際力のある地域づくり事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

定住外国人や外国人観光客の増加など、地域に広がる国際化の需要に幅広く対応し、国際力のある地域づくりを目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

在住外国人等への日本語学習機会の提供するための日本語教室や、地域の国際化及び市民の国際理解を推進する目的で、英語や韓国語の外国語講座を開講したが、新型コロナウイルスの感染拡大により中断・中止とした教室があった。
また、庁舎内多言語化整備事業、及び在住外国人支援として、新型コロナウイルスワクチンの接種案内などの市からの配布物を多言語で翻訳した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	153	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	6,030
②									
③									
								関連決算額合計	6,030

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染症拡大やまん延防止等重点措置のため、日本語教室や各外国語教室を中断または中止せざるを得ず、十分な学習機会の提供は困難であった。 一方では、新型コロナワクチンの案内などを多言語で翻訳したことにより、在住外国人へ情報周知を実施した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

新型コロナウイルスにより一時的に在住外国人は減少したが、制限が緩和されれば、再び在住外国人数が増え、日本語学習の需要が増えると見込まれるため、日本語教室を継続して開催していく。
また、在住外国人が行政サービスへアクセスしやすくなるように、配布物などの多言語化や、翻訳・通訳サービス、やさしい日本語の使用など、さらなる利便性の向上を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵③3
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進		

事業番号	2405	事務事業名	ジャパンテント受入事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

ジャパンテント開催委員会が主催する国際交流事業であり、日本で学んでいる留学生を石川県に招き、県内全市町においてホームステイをおこないながら国際交流を推進するもの。加賀市において、その受入れ事業として加賀市でホームステイを行う留学生のウェルカムパーティーや文化体験プログラムを実施するなど、留学生との交流を通して地域の活性化を促し、市民の国際理解の向上や地域の多文化共生の意識向上を図っている。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、石川県への留学生招聘が中止となった。そのため、受入れ事業を中止した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	153	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	グローバル社会の進展により、子どもたちの国際感覚の醸成や、グローバル社会に対応できる人材育成への必要性が年々高まっている。 ジャパンテント後も市民と留学生が互いに連絡を取り合い訪問し合うなど、交流の継続と広がりが見られる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

幅広い視野とグローバル感覚を養う目的から、引き続き市内の高校生など青少年との交流を取り入れる。
また、青少年を含む市民の国際理解向上のために有効な事業であることから、今後とも継続して実施及び支援を行う。
令和3年度は中止となったが、コロナ収束後には、ホストファミリー経験者の口コミなどによる受け入れ家庭の新規獲得に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵①4
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑤国内都市との広域交流の推進		

事業番号	2501	事務事業名	国内都市交流事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

国内友好都市との経済や文化、スポーツ等の交流を支援することにより、交流事業の活性化を図る。
例年、弓道連盟の新発田市との親善試合参加や、加賀特産品協同組合の新発田市あやめ祭り物産展の参加、子ども会の交流などの親交がある。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は前年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施していない。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	153	一般会計	2	1	14	2	1	国内都市交流費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	令和3年度は実施できなかったが、例年、新発田市など他都市との交流等で市民間の親交を深める効果が期待できる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

国内友好都市との交流が継続、発展するよう、交流団体への支援を続けていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1⑵①1、1⑵①4
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2601	事務事業名	祭礼行事助成費		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

伝統ある市内の祭礼行事は、開催地域の一体化を図り地域活性化と観光振興に寄与することから、祭礼開催費に対し助成することで、伝統ある祭礼を守り継続させる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止たのめ、助成対象の祭事が開催中止となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	155	一般会計	7	2	2	1	1	祭礼行事助成費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	加賀市の伝統的祭事への助成により、伝統文化の伝承、地域の賑わい作りに寄与している。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市の伝統文化の継承、地域の賑わい創出に向け、今後も継続して助成する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2602	事務事業名	伝統文化・伝統芸能の支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

古九谷修古祭及び山中節全国コンクールの開催に対し、助成を行うことで、加賀市を代表する伝統文化・芸能を伝承するとともに、全国に広く発信し、知名度を高める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

古九谷修古祭及び山中節全国コンクールの開催に対し助成を行っているが、古九谷修古祭は令和元年度より未実施となっている。山中節コンクールは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は令和2年度に引き続き、中止とした。令和3年度は感染症の影響もあり、実施はできなかったが、両事業とも加賀市を代表する伝統工芸と伝統芸能を伝承するとともに全国に広く発信している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	161	一般会計	10	5	2	3	3	文化推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	古九谷修古祭は、実行委員会による主体的な活動が基盤となっている。比較的低額な補助金（200千円）で実施されているが、九谷古窯を有する九谷焼発祥の地加賀市を継続的にPRしていく点で有効性も費用対効果も高い。ただ、令和元年度から未実施となっている。 山中節全国コンクールは、市指定無形民俗文化財である「山中節」の継承、発展させるための貴重な発表の場となっている。山中節の後継者育成及び普及のため有効性は高い。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

両事業とも、民間の実行委員会の事業であるため、活動の活性化を促しながら、継続的な支援を通して、伝統文化の継承と発展を目指す。このために、地域住民や若年層の積極的な参加が必要と考えられ、市として地域住民や将来を担う若者たちが郷土の伝統文化に触れる機会を設けることで興味をもち、参加できるような仕掛けを検討していく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2603	事務事業名	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

世界で初めて人工雪の生成に成功した中谷宇吉郎、「日本百名山」で知られる深田久弥、奥のほそ道の途中で山中温泉、大聖寺で句を詠んだ松尾芭蕉など、当市ゆかりの偉人達を広く全国発信することを目的に、各種企画展や広報活動を行うほか、松尾芭蕉関連の事業への参加や関係自治体との連携を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

中谷宇吉郎雪の科学館では、展示や運営業務について北海道大学低温科学研究所と連携協定を結び、雪や氷に関する専門分野と連携を深めることで、より最先端研究の紹介ができるようになったほか、国際宇宙ステーションで実施した雪と氷の生成実験で使われた実験装置を展示する特別企画展や特別講演会を通して中谷宇吉郎の功績を発信する事業を展開した。

深田久弥山の文化館での展示企画のほか、深田久弥終焉の地である韮崎市と共同宣言を締結したことを活かし、更なるPRに努めることを確認した。

松尾芭蕉関連自治体については、奥のほそ道サミットなどを通して、芭蕉ゆかりの地として全国発信した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	161	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	50
②	166	一般会計	10	5	3	7	6	雪の科学館企画事業費	1,000
③									
								関連決算額合計	1,050

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	松尾芭蕉については、ゆかりの地の自治体が参加する奥のほそ道サミットなどを通し、PRを行っている。 中谷宇吉郎雪の科学館では、オンライン企画を継続して実施しているほか、雪や氷、宇宙などの専門機関と連携し、新たな事業展開を行っている。 近年の登山・アウトドアブームにより『日本百名山』への関心はいまだに高く、深田久弥の知名度も向上しつつあるが、深田久弥山の文化館の集客にはなかなかつながらない。 以上より、加賀市ゆかりの人物の業績を顕彰する事業の推進は当市の文化的側面をPRする上でも有効であり、継続は必要と認める。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

奥のほそ道と松尾芭蕉については、ゆかりの地としての当市をいかにPRしていくかが課題である。中谷宇吉郎の全国発信については、雪の科学館が中心となり、雪と氷の専門分野と連携し情報発信を行っている。今後は専門性を活かした効果的な情報発信が課題となる。深田久弥については、深田久弥山の文化館を中心として、登山愛好者だけではなく、韮崎市との連携を通した一層の全国発信を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2604	事務事業名	文化体験プログラムの充実事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	九谷焼美術館

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

九谷焼窯跡展示館において「絵付け体験」「蹴ロクロ体験」を実施し、加賀市を代表する伝統工芸である九谷焼の技術の高さを自らの体験で実感してもらい、九谷焼を身近に感じてもらうとともに、理解を深めることを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

九谷焼窯跡展示館での「絵付け体験」「蹴ロクロ体験」を年間を通じて実施している。また、窯で焚く伝統的な上絵付け窯である錦窯の焼成を一般公開している。（絵付け体験：296人、蹴ロクロ体験：コロナ禍により中止）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	168	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	14,413
②									
③									
								関連決算額合計	14,413

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	伝統的な蹴ロクロによる体験や錦窯焼成を公開することで、九谷焼の制作に関する知識・理解を深め、九谷焼の振興に寄与しているとともに、九谷焼の魅力を来館者に伝えることでリピーターを増やすことにつながっており、有効性は高い。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後も観光客のニーズに応じた魅力的な企画展や事業の開催をするとともに、体験施設としての館の独自性を広く情報発信することで更なる入館者の増加につなげる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2605	事務事業名	市民文化活動の促進と支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

各展観施設において来館者に展示の理解を深めてもらうため、ボランティア解説員による展示解説を行う。来館者の満足度向上と解説員の学習意欲の高揚や生きがい創出、社会貢献につなげる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

ボランティア解説員を展観施設ごとに育成しており、団体客や希望者の事前予約を受けて展示解説を行う。
【解説員の人数と実績】
（直営施設）九谷焼美術館：14名、7回（令和4年1月のみ活動）、北前船の里資料館：7名、61回
（指定管理施設）深田久弥山の文化館：1名、310回
※九谷焼美術館は新型コロナウイルス感染症感染予防の観点より令和4年1月のみ活動。
※中谷宇吉郎雪の科学館及び九谷焼窯跡展示館は実験や体験等専門性が求められることから、職員が対応。
※魯山人寓居跡いろは草庵は、ボランティアガイドはおらず、職員が対応。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	164	一般会計	10	5	3	5	4	九谷焼美術館運営費	4
②	165	一般会計	10	5	3	6	3	北前船の里資料館運営費	30
③	165	一般会計	10	5	3	6	6	北前船の里資料館企画事業費	0
								関連決算額合計	34

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	来館者が解説員によう説明付き案内を受けることにより、展示への理解を一層深められるため、事業として有効である。また、ボランティアであることから、解説は無料で、解説員への謝礼は交通費程度であり、費用対効果も高い。来館者の満足度も高く、解説員の学習意欲も向上していることから、今後も継続して行うことが望ましい。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

解説員の高齢化が認められることから、新たな人員の確保を行うためにも、解説員の養成講座の開設を検討するとともに、既存の解説員やそのグループに対しては、テキストとなる専門解説書の貸し出しや学芸員による解説指導など継続的な活動支援を行うことが必要。個人での来館者にも気軽に利用できる解説員の対応制度の検討が必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)④6
基本方針	2．観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・活動充実		

事業番号	2606	事務事業名	「坂網猟」保存事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	環境政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

鴨池の自然環境は、伝統的猟法である坂網猟とともにあることで保たれてきた側面を有しており、この坂網猟を後世に受け継ぐため、新人猟師の育成を目的とした3年間の補助を行うことで、人材を確保し、もって自然環境の継続的な保全を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

坂網猟後継者育成支援事業により、5件の新人猟師に対し、坂網猟に必要な経費の一部を助成した。
平成24年度の制度開始以降に補助金を交付した件数は、延べ37件となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	197	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費（坂網猟師後継者育成）	156
②									
③									
								関連決算額合計	156

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	坂網猟に従事する者の高齢化が進む中、伝統的猟法の継承と本猟を介した片野鴨池の自然環境の保全等を継続的に行っていくための人材を確保することができた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

坂網猟に従事する人材の確保により、県登録有形文化財である坂網猟の継承を図るとともに、環境保全協力団体の強化や観光資源としての発信を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	2．観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施　策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実		

事業番号	2607	事務事業名	山中節振興会活動事業		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	ｸﾞﾙｰﾌﾟ	振興グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

山中節振興会は、伝統芸能「山中節」の底辺拡大、次世代へ継承するための様々な事業を行っている。
また、山中節の普及、広報活動を行い山中節の知名度向上に取り組んでおり、これらの事業実施に対し、補助金を交付することにより、山中節の更なる普及と継承を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

コロナ禍の影響により、内容を変更し、事業を行った。
「少年ふるさと山中節教室」（15回開催）、「山中節認定審査会」、「山中節道場」（開催なし）、「山中節カルチャー教室」（唄教室は春に6回、秋に10回、舞踊教室は春に5回、秋に8回、青年団唄教室は春に3回、秋に4回開催）、「山中節唄いやんこ」（秋に開催）を実施した。また、特別事業として、山中節令和新歌詞を募集した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	234	一般会計	2	1	12	7	2	伝統文化継承費	360
②									
③									
								関連決算額合計	360

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、伝統芸能である山中節の伝承、保存に寄与することを目的としており、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「少年ふるさと山中節教室」、「山中節カルチャー教室」、「山中節認定審査会」等は山中節の普及や底辺拡大に効果を上げている。
また、特別事業として、青年団、女性会を指導する取組を行い、今後も山中節の普及底辺拡大に向け継続して活動する。
一方で伝承、保存に不可欠な講師が不足しており、新たな指導者育成が課題となっていることから指導者講座等を実施し、継承を図っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(3)①1,1(4)②1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	①産学官連携によるまちづくりの振興		

事業番号	3101	事務事業名	産業人材育成支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内事業所の経営者及び従業員の能力の向上などを目指した取組の支援を行うことで人材育成を図り、それをもって企業の安定・発展を促し、地域産業の振興を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内事業所の経営者及びその従業員を対象に、産業人材としての能力開発を目的としたセミナー、講習会など、以下の6つの研修事業等に対し、開催への支援を行った。
①全業種共通研修（計13回、延べ245人が参加）
②業種別研修（計20回、延べ143人が参加）
③経営力向上研修（計6回、延べ38人が参加）
④研修助成（計1事業所、延べ1人に助成）
⑤技術伝承研修（計3回、延べ55人が参加）
⑥女性活躍研修（計4回、延べ76人が参加）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	178	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	2,200
②									
③									
								関連決算額合計	2,200

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	企業の将来を担う人材の育成を図るためには、継続的に研修プログラムを企画、実施することが重要であると考えられるが、市内の大半を占める小規模事業者にとって、自ら実行することが困難である。本事業は事業所が存在する地域で無料若しくは低廉な額でそれらを受講できるよう整備するものであり、極めて重要であることからも継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

持続可能なものづくり企業の集積地の実現及び地盤産業の強靭化を図るため、現行の事業を継続して実施する。
受講者数は昨年度比で5%増とほぼ横ばいであった。
必要に応じてリモートによる開講も継続し、IT人材など企業ニーズに即応したものや、女性の創業、就労支援に特化した事業を含め、総合的な産業人材の育成支援を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(1)①1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3201	事務事業名	スマートシティ推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

本市では、先進技術とDXにより地域課題を解決し、あらゆる都市機能やサービスを効率化・高度化させ、新たな価値を創出する「スマートシティ加賀」を進めている。
この取り組みに向けては、官と民が合意形成を図りながら進めていく必要があることから、令和元年8月に市内の市民団体、産業団体等で構成する「加賀市スマートシティ推進官民連携協議会」を設立した。
「スマートシティ」が実現したとき、本市は一層魅力的なまちへと変貌し、暮らす人々の生活は豊かになり、訪れる観光客が増加し、また、市内の産業は生産性が向上して活性化し、更には新たな産業集積が図られる効果が期待される。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

内閣府が進めるスーパーシティ型国家戦略特区の指定に向け、アーキテクトや連携事業者等と連携し、提案を行った。
4月に本特区の指定に向け31の自治体が提案したが、国から再提案が求められ、本市の強みであるマイナンバーカードを活用した再提案を行い、必要な規制改革に関する国家戦略特区ワーキンググループや関係省庁からのヒアリングに対応した。
その結果、デジタル田園健康特区として国家戦略特区の指定を受けた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	87	一般会計	2	1	8	3	8	企画振興費	2,201
②									
③									
								関連決算額合計	2,201

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	スーパーシティ型国家戦略特区には指定されなかったが、地域課題解決型として「デジタル田園健康特区」に指定された。 デジタル田園健康特区は、スーパーシティ型国家戦略特区と共に国が進めるデジタル田園都市国家構想をけん引していくことが期待されているものである。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

内閣府や関係省庁とも調整し、国が進めるデジタル田園都市国家構想を先導していく地方のモデルとなるように、取り組みを進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4（1）①1
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3202	事務事業名	デジタル自治体プラットフォーム構築事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ 広報・人口対策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

AI、IoTなどの先端技術をまちづくりに活かすことにより、地域が抱える課題の解決につなげる「スマートシティ」の実現を目指しており、この一つの柱として、先端的技術を活用し、住民とサービスを一気通貫でつなぐための「自治体プラットフォーム（データ連携基盤）」を構築し、市民生活のQOL向上を目指す。

【データ連携基盤】
行政手続き等の電子化により市民や市内外企業の利便性を向上するため、マイナンバーカードを活用した認証手続によって精度の高いサービスが提供できる自治体プラットフォーム（データ連携基盤）を構築する。

【電子申請】
市民や市内外企業の利便性を向上するため、マイナンバーカードを活用したデジタルID「xID」による個人認証、電子署名及び24時間申請の提出が可能となる「LoGoフォーム」を組み合わせた行政手続きの電子化を実施。

【電子投票】
住民の利便性向上のため、自宅等から選挙投票が可能となる電子投票投票システムの開発を実施。

【オープンデータ化調査等検討】
地域課題の解決や産業の活性化、都市機能の高度化を目指し、市が保有する各種情報（台帳等）について、オープンデータ化やデジタル化に向けた調査、一部台帳のオープンデータ化に係るデータ設計及びデータ搭載を実施することににより、市保有データの利活用を促進させることを目的とする。

【公共施設混雑状況可視化】
市内公共施設の混雑状況を可視化することによって得られるデータを活用し、各方面のデータと相互に連携することにより、施設管理や運営について最適な方法を検討する。

【都市デジタルツイン構築】
住みやすい生活環境を整備するために、地図情報や人流などのデータをコンピュータ上に集約し、シミュレーションを用い、都市の状況の見える化や分析を行い、市民や多拠点居住者にとって安全な都市となるよう繰り返しの改善を行う。

【e加賀市民】
関係人口創出による将来的なデジタル人材等の移住定住を図るため、これまでの市民と市民以外に加えて「電子市民」という新たなカテゴリーを設け、マイナンバーカードとデジタルIDを活用した「e-加賀市民制度」創設に向けたものであり、制度の概要検討やターゲットの具体化、提供サービスやPRの戦略検討、これらに係るニーズ等の調査分析を通して、制度を具現化し、関係人口や移住者の増加を実現させるための調査研究を行うものである。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

【データ連携基盤】
令和3年に構築した、将来的に官民が各々保有する各種データを連携・流通させることができるデータ連携基盤を稼働し、オープンデータカタログサイトに格納してある24データセットを搭載済み。

【電子申請】
電子申請数の拡充を実施。137申請（令和3年3月末）から190申請（令和4年3月末）へ対象申請数を拡大。

【電子投票】
電子投票システムの仕様調査、電子投票システム（一部機能）の開発。開発したシステムの動作検証を実施した。

【オープンデータ化調査等検討】
オープンデータ化に係る市場調査及び市の保有する台帳（6個）のデータ化を実施した。

【公共施設混雑状況可視化】
機器設置各施設における年間混雑状況データの収集を行った。

【都市デジタルツイン構築】
地域の活性化並びに効率的・効果的な市全体の土地利用や防災対策の推進、市内の地域連携の最適化などの実現を目指し、本市におけるデジタルツインを構築するため「加賀市デジタルツインコンソーシアム」を組成した。

【e加賀市民】
電子市民であることを認証する方法として、デジタル個人認証技術によるマイナンバーカードと紐づけたデジタルIDを活用することとしていたため、業務の遂行に当たってはデジタル個人認証やデジタルIDに係る知見及び技術が必要不可欠であった。そのため、本市と連携協定を締結しており、エストニアや中央省庁にてデジタル化に関する実績を持つ、xID株式会社と随意契約を締結し事業を行った。調査では、エストニアで実装されているe-Residencyを自治体版の制度に落とし込む際に必要になると思われる要件や国内外から人材を集めるための施策案を取りまとめた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	87	一般会計	2	1	8	3	6	デジタル化推進費	40,423
②	85	一般会計	2	1	4	5	1	オープンデータ活用推進費	6,531
③									
								関連決算額合計	46,954

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

【データ連携基盤】
データ連携基盤のデータセットを18セットから24データセットへ拡充した。
【電子申請】
行政手続き等の電子化については、対象申請数を令和3年度末に190申請まで拡大できた。
【電子投票】
インターネット投票の導入に必要なシステムを作成することができた。
【オープンデータ化調査等検討】
市台帳をオープンデータ化する優先順位を市内企業のニーズを基に決定し、その結果、市の保有する6データをオープンデータ化することができた。
【公共施設混雑状況可視化】
今後の施設運営の効率化を図るための元となるデータを取得できた。また、データ取得と併せて、新型コロナ感染症対策として、市民や観光客から有効に活用された。
【都市デジタルツイン構築】
加賀市デジタルツインコンソーシアムにて加賀市版デジタルツイン活用の目指す方向性について検討した。
【e加賀市民】
本市に新たなイノベーションを起こす可能性を十分に秘めたものあり、その可能性について調査できたことは、今後の制度設計やその先の展開を考えるうえで本市にとって非常に有益であった。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

【データ連携基盤】
流通させるデータセット数の拡充、各種デジタルサービスとのデータ連携の検討・具現化等、基盤機能の拡張に係る各種取組を行い、データを利活用しやすい環境整備を進めていく。
今後更にデータセットの拡充や、データ連携基盤機能の強化として、ダッシュボード機能（データの見える化）や管理画面機能の追加を行い、市民サービスへ浸透していくことを目指す。
【電子申請】
引き続き、対象申請数の拡充及び申請率の向上に努める。
【電子投票】
引き続き、システムの機能拡充、またシステムを活用した実証実験の実施を予定。
【オープンデータ化調査等検討】
オープンデータ化可能な台帳・データについて、オープンデータとして公開していく。
【公共施設混雑状況可視化】
年間を通して得られたデータを元に、混雑時間や混雑する時期等の検証を行い、効率的な施設運営の検討を進める。また事業を継続することにより、新型コロナウイルスの感染症対策としても活用していく。
【都市デジタルツイン構築】
「加賀市デジタルツインコンソーシアム」にてデジタルツインの活用・運用方法の検討を行い、産学官等が連携してデジタルツインの構築に取り組んでいく。
【e加賀市民】
令和4年度に行う実証、令和5年度に行う実装に向け、引き続き制度設計に関する検討を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)①1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3203	事務事業名	高度人材育成事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市の市民や企業に対し、先端技術を活用できる高度人材を育成・集積することで、加賀市が目指すスマートシティにおける先端技術の導入・開発が促進され、新産業の創出や、生産性の向上を図る。また、市民の先端技術への理解や知識を深めることにより、「スマートシティ加賀構想」の実現によってもたらされる社会において、市民自らがその恩恵を享受することができるような知識の習得を図る。さらに、市内企業や市民、職員などにAI活用人材等を育成し、域内での高度人材の内製化を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・加賀市内外を対象とした海外での起業を視野に入れたグローバルスタートアップセミナーを開催。(計6回、延べ252名参加)
・デジタル化の必要性や最先端の通信技術について学ぶ講演会を開催。(計2回、延べ181名参加)
・スマートシティ実現の原動力となるプレイヤーとしての人的資源の育成や集積のため、先端技術をはじめとする各種関連分野のエキスパート等(著名な知識人やベンチャー企業の経営者)を講師に迎えた講義を開催(1回、57名参加)
・市内企業を対象とした5G活用を検討するワークショップを開催。(1回、7名参加)
・若年層からの理数分野の能力向上を目指す「数理女子ワークショップ」をオンラインにて開催(1回、42名参加)
・市民を対象とした先端機器(3Dプリンタやレーザー加工機等)を活用したものづくり講座を開催(5回、延べ28名参加)

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	91	一般会計	7	1	2	1	6	産業デジタル化推進費	6,496
②									
③									
								関連決算額合計	6,496

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	本事業は加賀市の市民や市内企業が、先端技術等に関する知識や技術を身に付けることで、域内における産業の高度化や、新サービス・ビジネスの創出を目指し、これにより魅力ある企業や人が集積するまちを目指すものである。新たな技術や考え方等は日々進歩を続けており、これらをいち早く掴むためには新たな技術や知識を身に付ける場が必要であることから継続実施が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

新たな技術やこれから必要となる技術についての情報を掴み、新たな内容のセミナーや講習会等を実施する。また、加賀市民や市内企業のみに留まらず、市外の人材に向けたイベントや講習を積極的に実施することで、優れた人材や大都市の様々な企業を加賀市に呼び込み、新たな産業の創出を目指す。加えて、交流人口の増加を図ることで地域の活性化も目指すこととする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3204	事務事業名	人材育成の拠点整備事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

イノベーションセンターのインキュベーションルームに入居する企業に対し、経営相談や販路拡大支援を行うことで、新産業の定着及び創出を図る。
また、インキュベーションルームに入居するスタートアップ企業を対象とした事業立ち上げ当初の間接経費を支援するとともに、新事業推進のための研究開発にかかる経費を支援することで、加賀市イノベーションセンターに魅力ある企業を集積し、地域内産業の「成長」と「創造」を促す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

インキュベーションルームに入居している経営相談や事業立上げ支援を行った。令和3年度は3社の入居企業が入居期間を満了し、加賀市内に新事務所を構えた。また、2社がインキュベーションルームに新規に入居した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	91	一般会計	7	1	2	1	6	産業デジタル化推進費	2,612
②									
③									
								関連決算額合計	2,612

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	インキュベーション入居者に対し、経営相談等を行うことで、円滑な経営や事業運営につながっている。また、経営相談や経費支援があることで、新規入居企業の創出にも成功している。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

イノベーションセンター拡張に合わせ、スタートアップ企業の集積を目指し、施設の宣伝活動、企業の誘致に取り組む。加賀市におけるスタートアップエコシステムの構築し、域内でヒト・モノ・カネが好循環するサイクルを生み出すことで、スタートアップ企業の創出や成長を促進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)①2
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3205	事務事業名	地域課題解決実証事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

先端的サービスの社会実装実験を通じ、地域の課題解決に積極的に取り組みながら起業・創業の促進、スタートアップ企業の育成を図ることで、新たな市場、雇用の創出を目指し、加賀市をフィールドとした先端技術（ドローン・5G・XR・AI・IoT等）を活用した社会実装実験プロジェクトを実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

合計6社と協業して、先端技術を活用した以下の実験プロジェクトを実施した。
・ドローンによる医薬品配送実証および観光事業実証事業
・アバターによるオンライン修学旅行体験および傷病者診断実証事業
・AIを活用した防災・減災に係る実証事業
・市民参加型地域課題解決プロジェクト実証事業
・引越し手続きのワンストップ化実現に向けた実証事業
・e-加賀市民制度の実現に係る実証事業

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々目	細々目名	決算額（千円）
①	91	一般会計	7	1	2	1	6	産業デジタル化推進費	16,513
②									
③									
								関連決算額合計	16,513

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、先端技術を活用した地域課題の解決に資するとともに、市内における起業・創業の機運醸成が図れるほか、大都市の企業の活動拠点や社員の生活拠点の加賀市への移転も期待できることから継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後も、加賀市を実証フィールドとして広く周知するとともに、先端技術を活用した地域課題の解決を図るべく、市内外のベンチャー企業等による先端技術を活用した実証実験に取り組むことで、市内における起業・創業の促進、スタートアップ企業の育成を図り、新たな市場、雇用の創出を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略		－
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3206	事務事業名	KAGAものづくりラボ運営事業			
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

新たな製品やサービスを開発することで、新たな産業創出を図るため、市内企業や市民が身近な場所で3Dプリンタやレーザー加工機等の工作機械を利用できる場を提供する。また、、多居住拠点者の受入を促進するため、市外からのベンチャー企業・スタートアップなどクリエイティブな企業やリモートワークとする大都市にある企業の社員が、新製品等の試作ができる場所として、3Dプリンタなどの工作機械を利用可能な場を提供する。さらに、市内の高校生が将来の産業人材として、ものづくりに取り組める場所としても提供することで、高校生への魅力向上の一助とする。共同の製作作業場とすることで、相互の技術指導や情報共有、ビジネスマッチングが行われる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・毎週土曜日と日曜日にKAGAものづくりラボを実施。（計92日、延べ利用者数1,251名）
　※5月16日～6月13日は新型コロナ感染拡大防止のため休止
　※昨年度実績（計80日開催、延べ利用者数921名）
・市民向けのものづくり教室を開催。（計7回、延べ参加者数162名）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	91	一般会計	7	1	2	1	6	デジタル化推進費	8,957
②									
③									
								関連決算額合計	8,957

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	毎年利用者が増加しており、KAGAものづくりラボが認知されてきている。またこれにより、市民の先端技術や先端機器に対するリテラシーの向上が図られている。土後の開放日以外には市内企業が試作品作成に利用する機会も増加しており、市内産業の高度化にも寄与している。この他、KAGAものづくりラボを利用して作成した作品が全国小学生プログラミングコンテストで特別賞を受賞する等、市内の子ども達の学びの場としても有効に活用されている。このように大人から子どもまで様々な世代の技術取得や学びの場となっており、加賀市が目指すスマートシティの実現に向けた有効な取組であることから継続して実施するものとする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

企業の利用も増加していることから、さらに企業の利用を促進し、新産業の創出やビジネスマッチングの場として有効に活用されるようなイベントや取組を実施していく。また、市民や企業が求める新たな機器等についてもニーズを聞き取ることや、機器に関する情報を収集し、今後のイノベーションセンターの拡張に併せて、さらなる施設内容の充実を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1（1）①3
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3207	事務事業名	ロボットプログラミング大会の開催事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

ロボットプログラミング大会の開催を通し、幼少期より科学や技術への興味・関心を高めることにより、先端技術を活用するための基礎的な知識や能力の習得を図る。これにより加賀市が目指すスマートシティにおける、先端技術を活用することができる将来の人材が育成され、そこから新たな産業の創出や既存産業の付加価値の向上、生産性の向上等、地域経済が抱える課題の解決を目指す。また地域経済の課題が解決されることにより、それらに関係する域外からの人材の流入や定着を促し、人口減少という社会課題の解決にもつなげる。このように経済発展と社会課題の解決を両立することで、市民生活の質の向上および魅力ある企業が集積するいきいきとするまちを目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により当初開催を予定していた世界規模の大会「ロボレーブグローバル」が開催延期となった。このため、国内参加者のみを対象とした「加賀ロボレーブ大会2022」を令和3年11月27日（土）～28日（日）の2日間に渡り加賀市スポーツセンターにて開催し、市内170人、市外21人、合計191人の参加があった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	91	一般会計	7	1	2	1	6	産業デジタル化推進費	6,507
②									
③									
								関連決算額合計	6,507

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	当初予定していた世界大会はコロナの影響により開催できなかったが、国内を対象とした大会を開催。大会には市内の全小中学校よりエントリーがあり、市内の学校にはロボレーブの取組が根付いる。またロボレーブをきっかけに科学やものづくりに興味を持ち、技術分野に進む子どもも出てきている。これからのスマートシティを担う人材を育成するうえで、本事業の継続は必要であると考える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市内の参加者に留まらず、市外からの参加者も多く集めることで、より市内の子ども達が切磋琢磨し、技術を身に付けることができる環境を提供する。これにより、これまで以上に子ども達が科学やものづくりに興味を持つきっかけを作り将来を担う産業人材の育成を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)②2
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3209	事務事業名	コンピュータクラブハウス加賀運営事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

学校外での子どもたちの得意分野や隠れた才能を発掘し、伸ばすことができる居場所づくり。
また、家庭・学校外で子どもたちが包括的なプログラミングを楽しみ、最新のテクノロジーに触れられる場を通じて、創造性や自己肯定感を感じることで、延いては将来のキャリア形成への意識を促進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和元年度から、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、日本初のコンピュータクラブハウス加賀を設置し、家庭・学校外においても「いつでも」「安全に」「テクノロジーに触れられる」コミュニティーを確立し、運営することで発展的な学習の支援を実施している。
令和2年度から、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し活動スペースを移転し、リニューアルオープンをした。リニューアルに併せて、プログラミングだけでなく、映像制作やデジタルアートなどの作成ができる機材を新たに整備し、設備を拡充することで、子どもたちの多様なニーズに対応できるようになり、専門性をより深められるようになった。
令和3年度は、利用者のニーズの多様化や外部団体との関係拡大に伴い、総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、人員を2名追加した。また、コンピュータクラブハウスに通うことが難しい、又はコンピュータクラブハウスで実施している内容をあまり知らない子どもたちにコンピュータやテクノロジーに対する興味を持ってもらうため、地域へ出向く出張コンピュータクラブハウスを開催し、学校や普段の遊びではできない体験の場を提供した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	271	一般会計	10	5	2	3	6	ICT学習推進費	20,552
②									
③									
								関連決算額合計	20,552

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	プログラミングの機会は学校教育という枠組みの中だけではなく、学校外で子どもたちの好奇心、創造性を発揮する機会を継続的に提供していく場としてコンピュータクラブハウス加賀を開設した。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場者を10人までとする入場制限を行いながら実施し、179日開催し、延べ1,436人の子どもが参加してプログラミングや最新のテクノロジーに触れ専門性を高めた。 最新のテクノロジーに触れられる場所、専門性を高める場所として、機材を拡充しつつ、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

コンピュータクラブハウス加賀でできることの幅をさらに広げることでプログラミングだけでなく、子どもたちの創造性の幅を広げられるコンテンツや学びの機会を得られるワークショップを用意し、子どもたちの取り組んでいることが将来の仕事につながるような機会につながるキャリア教育を行っていく。また、コンピュータクラブハウスに参加したくてもできない子どもたちへの参加の機会を提供しきれていないこと、コンピュータクラブハウスでの活動が、中学校での部活動として認定されることが周知されていないことなど、全体的に情報発信が不足している状況であるため、コンピュータクラブハウスの取組が、一人でも多くの子どもたちに認識されるよう、積極的な情報発信を強化していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略		－
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3210	事務事業名	エアモビリティ等活用事業			
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

MaaSの一環として、将来的には地下の地図作成を見込み、また複数のドローンを自動操縦により飛行しドローンを安全に飛行させるため市内生活圏域全域の3D地図の作成を行う。そして、ドローンを飛行させるための環境を整備し、地元企業を含む事業者がドローンを飛行できる環境を作る。
　調査会での委員からの意見を参考に、防災による物流や監視、鳥獣対策などに3D地図を活用したドローンによる実証実験を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

3D地図データ（橋立地区、山中温泉東谷地区、湖北地区、三木地区などの市街地　約30㎢）の作成を行った。
今年度の作成により、加賀市内生活圏域全域の3D地図の作成を完了した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	91	一般会計	7	1	2	1	6	産業デジタル化推進費	16,052
②									
③									
								関連決算額合計	16,052

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内生活圏域全域の3D地図を完成させ、ドローンを始めとしたエアモビリティが安全にかつ複数機同時に飛行できる環境を構築した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

作成が完了した3D地図の利活用方法の検討を行う。市内外に同地図の作成をPRすることで、新たな産業の創出や、新たな事業者の進出を目指す。また、既存の産業においても同地図を活用することで業務の効率化を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略		－
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3211	事務事業名	デジタルデバイス普及促進事業			
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	デジタル化推進グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

スマートシティにおけるデジタル化の恩恵を市内全域に浸透させるため、デジタルデバイスを市民一人ひとりが持ち、世代間の情報格差を解消する。また、世代間の情報格差が生まれないよう、高齢者を対象としたスマホ教室を開催しデジタルデバイド解消を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

1.スマホ購入助成
申請件数　265件

2.スマホ教室
開催回数　27回
参加者数　延べ118人

3.スマホよろず相談所
開催回数　238回

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	87	一般会計	2	1	8	3	6	デジタル化推進費	5,136
②									
③									
								関連決算額合計	5,136

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	高い	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	スマートシティにおけるデジタル化の恩恵を市内全域に浸透させるためには、世代間の情報格差を解消することが欠かせない。今後も継続してスマホ教室等を実施していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

スマホ教室については、開催場所を地区会館など各地区の住民が来やすい場所に見直し、さらなる参加者獲得を図る。また、シニアスマホアンバサダーを育成し、地域の人が地域に教えるエコシステムの構築を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)①4,5,6　③4,④1,2,3,4
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	③企業誘致の推進		

事業番号	3301	事務事業名	企業誘致推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	企業誘致室	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

企業誘致を促進することで地域産業の振興と雇用の創出により、市民生活の安定を図るとともに、人口減少、特に若年者や女性の市外流出を抑制する。
さらに土地の有効活用、企業の設備投資を促し、税収の増加を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・製造業や運輸業、IT関連、ベンチャー企業やこれら企業からの立地の相談を受けやすい銀行や不動産会社等に対して用地や賃貸物件の紹介を行った。
・企業イベントにブース出展し、全国の企業に向けて加賀市に立地することへのメリットをPRした。
・令和2年3月から分譲を開始している「片山津IC産業団地」について、製造業や運輸業の企業を中心に分譲活動を行った結果、全区画（2区画）の確約が取れた。
・新型コロナウイル感染拡大により、通常時より、訪問、出展、イベント企画が出来ない状況であった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	179	一般会計	7	1	2	6	1	企業誘致推進費	5,468
②	179	一般会計	7	1	2	6	5	工場団地管理費	352
③									
								関連決算額合計	5,820

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染拡大の中、誘致活動は困難な状況ではあったが、片山津IC産業団地の分譲確約は大きな成果と言える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・片山津IC産業団地の分譲に伴い、企業への工場用地等の提案が、数箇所の民地のみとなっている。
企業が求める用地条件や立地ニーズの調査を行い、提案用地の充実を図る。
・また、IT関連企業、ベンチャー企業の誘致や高度人材の誘致も引き続き行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	④地元就職の促進とPRの推進地元就職の促進とPRの推進		

事業番号	3401	事務事業名	ロボレーブ国際大会参加事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

ロボレーブ国際大会への参加は、ICTやSTEAMに関心を抱かせるだけでなく、ものづくりの楽しさと大切さを認識する絶好の機会となり、またDX人材育成の礎となる。さらに、世界各国の多様な子どもたちと交流を持つことにより、国際親善や国際協調の心を養うことができ、グローバルな視野を持った子どもたちを育んで行くことができる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度の事業については新型コロナウイルス感染症の影響により国際大会は中止となった。
代替の大会として加賀ロボレーブ大会を国内の小中学生を対象に加賀市中央公園スポーツセンターで実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	249	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ロボレーブ大会への参加により、プログラミング学習やSTEAM教育の推進に大きな成果を上げており、今後ますます重要となっていくDX人材の育成のためにも必要な事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ロボットの性能は日々進化しており、種目によっては既存のロボットでは国際大会で他国の選手と対等に戦うことができないため、今後ロボットやPC等の機器の整備を継続して行っていく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(5)②2
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	④地元就職の促進とPRの推進		

事業番号	3402	事務事業名	高校生人材育成支援助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高校生の技能習得や社会人としてのマナーの養成などを支援することで、将来の産業人材として育成を図るとともに、地元企業への就職に繋げ、市内の定住促進や地域産業の振興を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内高等学校が行う、生徒の旋盤や溶接技能等の国家技能検定取得の取り組み支援や、社会人となって就職するに当たっての心構え等を学ぶ研修の取り組みなどを支援し、将来の加賀市を担う産業人材としての基礎力の養成を図った。
大聖寺高校では計2回の研修等で297人が、加賀高校では計6回の研修等で328人が、大聖寺実業高校では計8回の研修等で136人、加賀聖城高校では計1回の研修で42人、合同学習会には27人が参加した。
加賀商工会議所に対し1,800千円、補助対象経費の4/5を補助した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	178	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	1,800
②									
③									
								関連決算額合計	1,800

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	企業にとって、新規人材の採用を判断する場合、国家技能検定を取得している生徒に対しての関心は高く、持続可能なものづくり技術の集積地を目指す上で、本事業は有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

多くの生徒が、より高度な検定を取得して技術力を高めることを目指し、また高い基礎力を持った産業人材の育成を維持し、市内産業への定着を促すことは産業振興のためには不可欠である。近年、IT人材への需要も高まっていることから、IT関連分野の研修も積極的に取り入れ、継続して実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(1)①2
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	④地元就職の促進とPRの推進地元就職の促進とPRの推進		

事業番号	3404	事務事業名	北陸先端科学技術大学院大学Uターン入学支援事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学（以下「先端大学」という。）と連携し、奨励制度を導入することで、市内へのUターン移住の促進及び市内産業を牽引する人材育成を図ることを目的とする。

県外の大学から加賀市にUターンし、「先端大学」に入学するものへ奨励金を交付する。
・奨励金額：１人あたり年間60万円（月額5万円×12か月）
（内訳：加賀市30万円（1/2）、先端大学30万円（1/2）※負担金として先端大学へ支出）

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は該当者なし

＜これまでの状況＞
平成28年度　対象者１名（1年生）　負担金300千円
平成29年度　対象者１名（2年生）　負担金300千円
※上記対象者１名は同一の者であり、「先端大学」卒業後に加賀市内で就職した。
平成30年度　対象者なし
令和元年度　対象者なし
令和2年度　対象者なし

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	3	1	企画振興費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	先端科学技術の確かな専門性や、幅広い知識を有する人材を育成し、輩出する「先端大学」に通う本市在住の学生を奨励することで、地域に愛着をもつ産業人材の育成に資することができ、本市産業の活性化が図られることから今後も継続していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「先端大学」における首都圏等の大学への周知に協力するとともに、市の移住施策とも連携し、本制度の周知を行い、Uターンしている若年層の定住を促進していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(1)②1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	④地元就職の促進とPRの推進地元就職の促進とPRの推進		

事業番号	3405	事務事業名	Uターン・Iターン者の雇用促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

【若年U・Iターン者雇用奨励金制度】
地域産業を支える優秀な若年人材の確保を支援するため、Uターン及びIターンで市内に就職した若年者及びその者を雇用した企業に対し、奨励金を支給する。
奨励金の交付額：①対象U・Iターン就職者：最大30万円（就職日より6か月、1年6か月、2年6か月を経過する毎に10万円ずつ支給）
②対象事業所：5万円（対象就職者1人につき1回限り、1年度あたり10万円を上限）

【U・Iターン者採用支援事業補助金】
U・Iターン者を雇用するため、県外で開催される合同就職説明会等へ出展する市内企業に対し、補助金を支給する
対象経費：説明会出展料、会場使用料、旅費、運送費等
補助額　：対象経費の2分の1以内（年間20万円を限度）

これらの事業によって加賀市への定住を促し、雇用と定住人口の拡大を図り、また、市内企業においては優秀な人材の確保が図られることから、地域産業の振興に寄与することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

【若年U・Iターン者雇用奨励金制度】
令和3年度は、7事業者・15人（Uターン2人、Iターン13人）に対し奨励金を交付した。

（参考：過年度の交付実績）
R2年度　7事業者・9人（全てIターン）
R1年度　1事業者・5人（全てIターン）
H30年度　7事業所・8人（全てIターン）

【U・Iターン者採用支援事業補助金】
令和2年度、3年度ともに、実績なし

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	175	一般会計	5	1	1	2	2	雇用対策費	1,850
②									
③									
								関連決算額合計	1,850

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市外からの定住促進や、企業のより高度な人材確保が図られることから、本事業は今後も継続を必要とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

移住定住の促進、企業の雇用促進という観点から、今後も継続して事業を行う。併せて市外のイベント等において積極的な周知活動を行い、本事業の認知度向上を図り、制度利用者の増加をねらう。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)③1、1(1)③2
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑤新規創業の支援		

事業番号	3501	事務事業名	創業支援事業（「創業支援事業計画」：創業応援ネットワーク構築事業、ワンストップ相談窓口事業）		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市、加賀商工会議所、山中商工会、市内民間金融機関及び日本政策金融公庫が連携して「加賀市創業応援ネットワーク」を形成し、創業支援の取組みを強化することで、地域密着型企業の創出を図る。
　市役所商工振興課に外部から招へいした企業相談専門官を配置し、「ワンストップ相談窓口」を設置、創業希望者の相談内容に応じたアドバイスや市他部局・関係機関への紹介など、創業の段階に応じた支援を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

【ワンストップ相談窓口での創業希望者の相談件数】
R1：6件、R2：4件、R3：8件
【国の支援事業利用実績】
・登録免許税の軽減（H28：1名、H30：2名、R1：1名、R2：0名、R3：3名）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	178	一般会計	7	1	2	3	1	商工業振興資金利子補給金	381
②									
③									
								関連決算額合計	381

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	国の創業支援事業を利用するには「創業支援事業計画」に基づく支援が必要要件となっており今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

新型コロナウイルスの感染拡大を機に地方への移住及び地方での起業を目指す動きがあり、令和3年度の相談実績は、令和元年度を上回る8件であった。しかしながら、相談内容の多くが具体性を欠くものであったり、行政からの支援ありきの計画となっているなど、創業検討者の理想と現実のギャップが大きくあると感じた。
今後は、そのようなギャップの解消やポストコロナを見据えて、創業希望者の相談内容に応じたアドバイスや市他部局・関係機関への紹介など、創業の段階に応じた支援を継続して行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)②2、1(1)②3
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑤新規創業の支援		

事業番号	3502	事務事業名	新商品開発助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

新商品や新技術開発を行う市内中小企業者を応援し、創造的企業の育成を促し、地場産業の強靭化を図る。
（新商品開発助成事業）
　市内の中小企業者等（常用雇用従業員が50人未満）が行う既存商品等の改良や新商品・新サービスの開発に必要となる費用の2分の1以内、500千円（販促費は100千円）を限度とし助成している。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・H27申請数5件、採択数4件（伝統工芸2件、加工食品2件）
・H28申請数8件、採択数5件（伝統工芸2件、加工食品2件、一般製品1件）
・H29申請数11件、採択数5件（伝統工芸2件、加工食品1件、一般製品2件）
・H30申請数9件、採択数6件（加工食品4件、一般製品2件）
・R01申請数8件、採択数6件（伝統工芸2件、加工食品2件、一般製品2件）　※ただし加工食品1件辞退
・R02申請数5件、採択数5件（伝統工芸4件、加工食品1件）
・R03申請数5件、採択数4件（伝統工芸2件、一般製品2件）※伝統工芸1件辞退、一般製品1件事業中止

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	178	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	850
②									
③									
								関連決算額合計	850

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業を通し、事業者の開発意欲を向上させ、市場性のある新商品や新サービス創造の促進に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

地盤産業の強靭化を図るため、今後においても事業を継続し、加賀商工会議所を初めとする市内経済団体と協力して、公益性や時代に即したニーズを勘案し、より一層の市内商品開発を促し市内企業の技術開発を促進する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)②4
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3601	事務事業名	海外輸出促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

人口減少により国内市場の縮小が懸念される一方、海外諸国の所得の向上や訪日客の増加があることから、市内事業所の売上増加のためには海外需要の獲得が必要である。しかし、中小企業者が単独で海外販路を開拓することは容易ではないため、市が関係団体と連携し、「加賀市貿易推進機構」を組織し、セミナー、相談会の開催、展示会への出展支援等を行い、市内事業所の海外展開に向けた支援を行っていく。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

海外展示会出展事業として、台湾百貨店2店舗での山中漆器の販売促進を支援した。合計25日間に渡り7事業者の商品を展示販売して百貨店のバイヤー等に向けたPRを行い、海外販路の開拓を図った。
輸出プロモーター事業として、かが有機農法研究会の特別栽培米「あぢの郷米 加賀のティール米」の海外輸出を進めるため、ジェトロの輸出専門家と連携して輸出支援を行ったが、コロナ禍等により実現には至っていない。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	178	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	932
②									
③									
								関連決算額合計	932

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業を通し、事業者の海外進出意欲を向上させ、海外事業者との商談成立の促進に有効であることから継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ジェトロ金沢及び市内経済団体等と協力して、市内事業者のニーズに即した支援を展開し、より一層の市内事業者の海外進出を促進する。オンライン等の手法も活用し、コロナ禍においても有効な事業展開を検討する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3602	事務事業名	企業等顕彰事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内企業の範となる企業やものづくり人材の範となるものづくりの匠を顕彰することで、働きやすい環境や人材の育成を図り、市内企業の成長を目指す。
（ 加賀市優秀企業顕彰）
要件：過去に、国県及び関係団体等により、労働環境の改善や企業価値向上等に係る企業表彰や商品開発等にかかる表彰もしくは認証等を受けた実績がある市内企業。
（加賀市ものづくりの匠顕彰）
要件：過去に、国県等の技能検定最高位を受け後進の指導などにも尽力している者。
（定年引上げ等事業所顕彰）
要件：市内に本社を有するとともに、社会保険に加入し常時使用する労働者が10人以上の企業であり、定年年齢が65歳以上もしくは定年制度の廃止・希望者全員を対象とする70歳以上までの継続雇用制度の導入している企業。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

【実績】
加賀市優秀企業顕彰：平成28年度実績　1件（㈱ソディック）
平成29年度実績　0件（該当なし）
平成30年度実績　1件（㈱ホテルゆのくに）
令和元年度実績　0件（該当なし）
令和2年度実績　1件（社会福祉法人篤豊会）
令和3年度実績　0件（該当なし）
加賀市ものづくりの匠顕彰：平成29～令和2年度実績　0件（該当なし）
定年引上げ等事業所顕彰：平成29年度実績　3件（㈲佐藤鋲螺、㈱昭宝製菓、㈱スガモトテント）
平成30年度実績　1件（竹内電気工事）
令和元年度実績　0件（該当なし）
令和2年度実績　0件（該当なし）
令和3年度実績　3件（（株）アプラス、（株）北陸ゆつぼ本舗、山口電設（株））

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	178	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	32
②									
③									
								関連決算額合計	32

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	過年度においては、企業の先進的な事業活動を顕彰することで、企業価値の向上、地域ブランド強化に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

地域資源の活用を図るため、今後においても事業を継続し、加賀機電振興協会を初めとする市内経済団体と協力して、より多くの企業が顕彰されるように本顕彰制度を周知していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)③3、4(2)③1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3603	事務事業名	店舗立地の支援等による商業集積の促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

まちなかへの新規出店を促進し、地域商業の活性化及び賑わいの創出を図るため、まちなかへの新規出店にかかる費用の一部を最大100万円助成するもの。新規出店する移住者、若者への支援を強化することで、移住定住にも寄与する。

【補助対象地区】大聖寺、山代、山中、片山津、動橋、橋立及び作見の7地区
【補助対象業種】小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業
【補助対象者】新たに建設し、若しくは空き店舗を活用して、補助対象業種となる商業店舗を開店する者

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

計7件の支援を行った。
地区別：山代4件、山中2件、大聖寺1件
業種別：飲食店2件、小売業4件、娯楽業1件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	177	一般会計	7	1	2	1	2	商業地域活性費	5,500
②									
③									
								関連決算額合計	5,500

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	加賀市は観光都市であり、まちなかの賑わいの創出は非常に重要であることから、引き続きまちなかへの出店を促進していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

地域や事業内容等、支援対象となる要件について、より事業効果を高められるよう検討を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)②7
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3604	事務事業名	キャッシュレス決済推進助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

・市内商店におけるキャッシュレス決済環境を整備し、利便性や外国人観光客対応の向上を図る
・国のキャッシュレス消費者還元事業の対象にならない者を支援する

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

R2年度　1件の支援を行った。
R3年度　「がんばる事業者応援事業」において、キャッシュレス決済の整備を補助対象とし、支援を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	低い	費用対効果（高い/普通/低い）	低い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	国のキャッシュレス消費者還元事業による端末の導入補助が当初の想定よりも長期間にわたって続き、支援件数が伸び悩んだことに加え、一部中小事業者からはキャッシュレス決済に係る環境整備へのメリットが見えないとの意見があったため。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

キャッシュレス決済導入を検討していた事業者への支援については、国と市の事業によりほぼ網羅できたが、令和2年度に市内中小店舗（かが応援商品券取扱店舗 約700店舗）を対象に実施したアンケート調査では、全体としてキャッシュレス決済導入へのニーズが低いことが判明した。今後はキャッシュレス決済の利点の周知、国事業の活用、市独自の取り組み等を検討していく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)②1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3605	事務事業名	中小企業設備投資促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

(一社)石川県鉄工機電協会又は石川県産業創出支援機構の設備貸与制度を利用して機械設備の導入を行う市内中小企業者に対して、利息の一部を助成する。
市内企業の設備投資意欲を後押しすることで、設備投資を促進させ、経営基盤の整備を確立させる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内3事業所に対して支援を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	178	一般会計	7	1	2	2	2	工業生産振興費	346
②									
③									
								関連決算額合計	346

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	金融機関の借入枠や担保枠、信用保証協会の保証枠に影響を与えずに、設備投資を行える貸与制度は、企業にとってもメリットである。 制度の貸与利率に関しても市からの利子補給を行うことにより実質負担が軽減されるため制度利用の促進に寄与する部分が大きい。市内企業の設備投資を活発にするためにも継続して実施していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

新型コロナウイルスの影響で、新規の設備投資は令和2年度から令和3年末にかけて、動きが鈍化していたが、令和4年に入り、新規の申し込みが1件あった。令和3年度に(一社)石川県鉄工機電協会及び石川県産業創出支援機構では、貸与利率の引き下げを行うなど、設備投資を促進する動きがあった。令和4年度以降は、ポストコロナを見据えた設備投資も予想されることから市としても両機関と協力しつつ、継続した支援を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)②5
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3606	事務事業名	中小企業振興資金融資制度		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

・市内での創業及び市外からの移住を促進し、本市経済の活性化を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

過去実績
H28年度：2件　165千円
H30年度：2件　93千円

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	178	一般会計	7	1	2	3	5	商工業振興資金融資支援事業	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	低い	費用対効果（高い/普通/低い）	低い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	対象となる融資の利用者が少ないため、継続した実績はないが、創業時の負担を軽減できる支援制度の一つであるため、継続して実施して行く必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

創業検討者及び創業者のそれぞれの状態に応じて利用できる融資制度があり、本制度の対象となる融資制度のみを進めることは難しいので、加賀市、商工会議所、商工会、市内金融機関で形成している創業支援ネットワークを活用して、各創業検討者及び創業者に対して適した支援を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(1)⑤1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑥商工業の振興		

事業番号	3607	事務事業名	ふるさと納税の推進		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「ふるさと納税」の寄附額の増加と地場産業の振興に向け、地場産品等に特徴のある魅力的な返礼品の発掘・調達を行い、返礼品を充実させるとともに、ふるさと納税サイトを複数活用することで、寄附者と返礼品提供事業者の利便性の向上に努めている。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は、インターネットサービスだけではなく、FAXによる受注サービスを導入し、新たな寄附者層を獲得することができた。また、返礼品において、生活関連商品の充実を図り、コロナ禍においても、寄附額の増加に繋げることが出来た。

R3年度寄附受け入れ実績　5,555件　421,164,500円（前年度比　+1,391件　+157,744,372円）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	174	一般会計	2	1	8	3	5	ふるさと納税推進費	182,417
②									
③									
								関連決算額合計	182,417

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	ふるさと納税を活用し、市外から市内への資金還流を促進することで、市内経済の好循環を促すことに大変有効であるため、今後も継続していく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後は市と中間事業者との協働により、寄附額の増に向け、引き続き魅力ある返礼品の発掘・調達に取り組むとともに、アフターコロナを見据え、体験型の観光コンテンツと宿泊券をセットとした返礼品をはじめとした、より魅力的で寄附者に選ばれる返礼品の開発に取り組む。また、「旅先納税」の仕組みを導入し、納税額の増額のみならず、観光客の来訪促進や、消費拡大を図ることにより、地域経済の活性化につなげていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)⑤1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3701	事務事業名	山中伝統漆器後継者育成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

伝統工芸山中漆器の制作工程の中で、山中漆器の技術を習得しようとする若年者に、技術修得のためにかかる経費に対する支援をすることで、特に高齢化と後継者確保の面で厳しい状況下にある山中漆器産業への定着を促し、山中漆器製造従事者の自立を促進する。
研修会、講演会、見学会等への参加経費、製造実習のための経費、展示会出品のための経費又は参考文献、図書の購入費等、伝統技術修得のための自己研鑽、研修等に必要な経費に対し奨励金を交付する。
交付期間は36ヶ月間とし、以下の奨励金を交付する。
1年目：月額5万円、2年目：月額4万円、3年目：月額3万円
ただし、蒔絵（シルクスクリーン）、拭漆、塗装（合成塗料）の工程に従事するものは、原則12ヶ月のみの交付とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

R3年度は1人（木地）に新規で奨励金を交付した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	179	一般会計	7	1	2	4	5	山中漆器振興推進費	600
②									
③									
								関連決算額合計	600

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	少子高齢化による人口減少の著しい地域において、伝統産業の担い手となる若者の人材育成に係る経費に対して奨励金を交付することは、後継者の定着と養成という面で有益であると考えられるため、事業の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

業界全体の問題として、山中漆器製作のすべての工程において後継者の確保が課題となってきている。山中漆器連合協同組合からの寄附金をきっかけとして平成29年度から対象工程の拡充を行っているが、今後も組合からの協力を前提に、基金への積み増しと事業の継続を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3702	事務事業名	JAPANブランド支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

山中商工会が、山中漆器連合協同組合と協力し、新市場・新用途に向けた展示品の試作とその展示会への出展、展示品のカタログ作成を行うことに対し補助を行う。山中漆器の新たなデザインと取り組みを自らの創意工夫で生み出し、販路開拓を築く機会を作る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

試作品開発費、パンフレットやチラシ等の広報費に対して380千円を補助した。
海外向けデザインの試作開発：弁当箱12種、丸プレート1種など、計22点を試作。
海外向けウェブページに商品を追加登録し、多言語化対応を実施。
日本語版のカタログ製作。
国内外で通じる商品企画について専門家の指導を受けた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	179	一般会計	7	1	2	4	5	山中漆器振興推進費	380
②									
③									
								関連決算額合計	380

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	轆轤引き技術を中心とした山中漆器が持つ高い技術をアピールし、消費者からの要望等を直接的に取り入れることができる本事業は、山中漆器の今後の新たな商品製作やマーケット開拓に有効であったことから継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

山中漆器のブランド力をより高めていくことは重要であるが、コロナ禍が収束していない状況を踏まえ、より効果的な支援を検討し、展開していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)⑤2
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3703	事務事業名	九谷焼後継者育成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

九谷焼の伝統技術を取得しようとする者に対して、伝統技術修得のための経費を助成することで、九谷焼産業への定着と、伝統工芸従事者の自立を支援する。
研修や製造実習等に係る経費として、奨励金を3年を限度に支給する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度の制度利用実績はない。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	179	一般会計	7	1	2	4	2	九谷焼振興推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	後継者不足が問題となっている九谷焼産業を継続していくためには、制度の継続は必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

北陸新幹線加賀温泉駅舎に設置する九谷焼陶板作品の制作にあたり加賀九谷陶磁器協同組合では、その制作を後継者育成のために活用することとしており、市としても支援を行う。
後継者育成への機運が高まっているこの機会を逃さずに本制度を始めとした九谷焼産業の継続のための取組みを推進する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)⑤4
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3704	事務事業名	伝統工芸展開催助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内の伝統産業の振興を図るため、首都圏等で開催される展示会等への出展を支援する。
【石川県伝統産業振興協議会事業】
石川県の優れた伝統的工芸品を広く紹介する工芸展を東京で開催することで、啓蒙と販路拡大を図る。
【九谷焼伝統工芸士会事業】
九谷焼を全国に情報発信するため、全国各地で開催される展示会に出展し、販路拡大と振興に努める。
【関東・関西九谷焼展開催助成事業】
集客力のある阪急うめだ本店において展覧会を開催することにより、若手作家の顧客獲得・販路開拓を図る。
【石川県伝統産業合同見本市開催事業】
国指定の伝統工芸品10業種を中心に、県の産業界が合同で首都圏でフェアを開催し、啓蒙と販路拡大を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

【石川県伝統産業振興協議会事業】
「石川県伝統工芸展」(R3年12月10日-12日　渋谷ヒカリエ8/COURT)を開催。
【九谷焼伝統工芸士会事業】
「現代加賀九谷作家展」(R3年9月8日-14日　丸善丸の内本店、丸善日本橋店)、他2つへ出展。
【関東九谷焼展開催助成事業】
「現代加賀九谷作家展」(R3年9月8日-14日　丸善丸の内本店、丸善日本橋店)を開催。
【関西九谷焼展開催助成事業】
「現代加賀九谷作家展」(R4年1月12日-18日　阪急うめだ本店)を開催。
【石川県伝統産業合同見本市開催事業】
「いしかわ伝統工芸フェア」(R4年2月11日-13日　東京国際フォーラム)を開催。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	7	1	2	1	1	商工業団体助成費	270
②	179	一般会計	7	1	2	4	2	九谷焼振興推進費	3,387
③	179	一般会計	7	1	2	4	5	山中漆器振興推進費	1,524
								関連決算額合計	5,181

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	首都圏など、事業者・消費者にとって訴求力の高い場所において展示会等を開催・出展することは、ブランド力の向上や販路開拓・拡大にとって効果的であると考えられることから、本事業は継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

ブランド力の向上や販路開拓・拡大を図ることは、市内伝統産業の振興のため重要なことであるが、コロナ禍が収束していない状況も踏まえ、他の展示会等に対する補助と合わせ、より効果的な支援を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)④1
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3705	事務事業名	食のブランド化事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市の豊かな自然と伝統文化を背景とした、片野鴨池の「坂網鴨」や橋立のカニ、地元産の農産物などの優れた食材・食文化、更には九谷焼・山中漆器などの伝統工芸品を生かした新しい「食」を創造・発信・PRすることにより加賀の「食のブランド」化を推進し、ついては加賀市の魅力発信と商工業・観光の振興を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

「坂網猟」の認知度の向上とブランド価値の保護を目的とし、「坂網鴨」の名称の商標登録出願を行い、平成29年12月8日に登録が完了している。

令和元年度は、主に県外からの一般参加者を対象に、坂網猟の見学、市内料亭での坂網鴨のフルコースディナーに酒蔵や展観施設の見学を組み合わせた「坂網鴨食談会」を開催した(R2.1.20)。

また、鴨料理普及事業として加賀調理師会主催の鴨料理勉強会に天然鴨を食材として提供した。

令和2年度及び令和3年度は、コロナウイルス感染拡大の影響により、食談会や勉強会等の事業実績はなし。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	178	一般会計	7	1	2	1	4	特産品振興事業費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	「坂網鴨」の商標登録に加え、食談会の開催や、加賀調理師会開催の料理勉強会への鴨の提供を通じ、旅館等での鴨料理提供の機会が増えるなど、「坂網鴨」や橋立のカニなど加賀の食材や食文化のブランド力と認知度は上がってきている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

2024年春の北陸新幹線加賀温泉駅開業に向けて、加賀市の「食」をテーマに市の情報発信力の強化に努める。

旅行先の選択においても情報の取得は、SNSの活用が増加しているため、令和4年度は、インスタグラムを活用したフォトキャンペーンを実施し、SNSにおける情報量を増やし、若者世代を中心に市の魅力を発信する。

情報発信においては、優れた地元産食材・地酒に九谷焼・山中漆器などの「伝統工芸」を組み合わせることにより、ブランド力を高め、アフターコロナを見据えた商工・観光振興に繋げていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)⑤3
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3706	事務事業名	伝統工芸等担い手工房開設支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

伝統工芸等従事者が、市内で工房を開設した際にかかる設備投資の一部を支援することで、伝統工芸産業への定着を促し、伝統工芸従事者の自立を支援する。
（補助率・補助限度額）
補助対象経費の2分の1以内とし、50万円を上限とする。
（補助対象者）
・市内に住所を有する者
・伝統工芸産業に3年以上従事している者
・工房開設後、引き続き5年以上市内で伝統工芸産業に従事する意思を有する者
・市内で工房を新規に開設する、原則満40歳未満の者

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

R3年度は補助実績なし。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	179	一般会計	7	1	2	4	4	伝統工芸等担い手育成費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	令和3年度においては補助対象者はいなかったが、若手後継者の育成及び自立を促し、伝統工芸の継続的振興を図るには本事業の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀九谷陶磁器協同組合及び山中漆器連合協同組合と連携し、本制度の周知を広く行う。
また、今後も伝統産業の振興を図るために支援を継続して行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)⑤5
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑦伝統産業の継承・活性化		

事業番号	3707	事務事業名	希少伝統的匠の技後継者養成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

後継者の確保が著しく困難な本市の希少な伝統工芸や和菓子等の後継者となる意思を有する者及びその技術指導者に対し、技術の習得及び指導を奨励し、匠の技を後世に継承していく。研修期間中の諸経費を助成することで後継者の確保を図る。
（支給額・期間）
支給額　①研修者　月額120,000円（半日研修は月額60,000円）、②指導者　月額30,000円（半日研修は月額15,000円）
支給期間　研修に従事している期間（最大3年）

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は、吸坂飴の研修者と指導者にそれぞれ支給した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	179	一般会計	7	1	2	4	4	伝統工芸等担い手育成費	1,650
②									
③									
								関連決算額合計	1,650

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内の希少伝統における後継者育成に寄与したため継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

平成30年度の制度創設時から支援してきた研修者及び指導者への支援期間が令和3年度で終了したため、令和4年度の支援予定はないが、希少価値の高い技術伝承のため、制度を継続し、必要に応じて予算化する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)④3
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑧農林水産業の振興		

事業番号	3801	事務事業名	地産地消・6次産業化推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地産地消の拡大・6次産業化の推進等、市民の農業及び食に対する理解を深め、加賀市の農業の健全な発展と活性化を目指す。
市内小学校において地産地消・食育の重要性を啓発する。農業体験や食育教室の実施により、農業の大切さや理解を深め、地産地消の拡大と地元農業の活性化を図る。
また、JA加賀等と連携し、加賀市産農産物の地産地消・6次産業化を進める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

JA加賀が行う「あぐりスクール事業（地産地消・食農教育事業）」（市内小学校15校で開催）を支援し、地産地消・食農教育の推進に努めた。
JA加賀を中心とした6次産業化事業について、連携・支援を行うことで事業の推進につながった。
石川県南加賀農林総合事務所が中心となって行った南加賀の地場野菜「なんかがいい野菜」のPRイベントに協力し、加賀市の農産物の周知拡大を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	185	一般会計	6	1	3	1	1	農産物生産対策費	1,194
②									
③									
								関連決算額合計	1,194

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	平成29年度から、JA加賀を中心に実施している産学官による6次産業化事業への連携・支援を行っている。関係団体との意見交換等もし、今後の6次産業化の推進に繋がる課題整理に向けた取り組みを継続している。令和3年度は、JA加賀が加賀市醤油組合と連携し「加賀市産こしひかり醤油煎餅」の開発・販売を行い好評を得ているが、市はこれに補助し、地産地消・6次産業化の推進に寄与した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「加賀市農林水産業振興行動計画」に、ブランド戦略の強化事業のひとつとして「6次産業化・地産地消の推進」を位置づけており、これに基づいて、JA加賀、漁協、森林組合や観光及び商工団体とも連携して、地産地消・6次産業化の更なる推進を図り、加賀市ブランドの加工品等の開発を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑧農林水産業の振興		

事業番号	3802	事務事業名	鳥獣害防止対策事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	林務水産グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

有害鳥獣であるイノシシによる農作物被害を軽減させるため、捕獲・侵入防止柵の支援を行う。
国の交付金を活用し、加賀市イノシシ被害対策協議会が購入した侵入防止柵を市内の集落が自力施工で設置する。
市内集落から申請により加賀市イノシシ被害対策協議会が捕獲檻を設置する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

侵入防止柵の整備、捕獲檻の設置を推進することにより、農作物被害を軽減させる。
R3侵入防止柵設置　7集落、L=5.95Km
R3イノシシ檻設置数　112箇所、捕獲190頭

豚熱に感染したイノシシの全国的な広がりにより、感染確認地域では捕獲したイノシシを適切に焼却または埋却し感染拡大防止に努めることとなっている。このため現地で解体してから美化センターで焼却する従来の方法を改め、解体せずに焼却可能な民間施設での処分を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	186	一般会計	6	1	3	7	1	鳥獣被害対策管理費	890
②	186	一般会計	6	1	3	7	2	鳥獣被害対策推進費	5,936
③									
								関連決算額合計	6,826

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	鳥獣被害は農村地域が抱える大きな問題であり、より効果的な対策の検討も行いつつ今後も継続していく必要性がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後とも事業効果が維持できるよう捕獲や侵入防止柵の設置を進めるとともに、集落ぐるみで鳥獣を寄せ付けない取組みの検討・実地も必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	3．ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑧農林水産業の振興		

事業番号	3803	事務事業名	森林経営管理推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	林務水産グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

森林環境譲与税を活用した森林整備の推進。適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を市が行うことで、伐採・造林・保育などの森林の経営管理を確実に実施し、災害防止や地球温暖化防止などの森林の公益的機能を高める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・令和2年度に行った森林所有者の意向調査を踏まえ、山中温泉坂下町等で森林整備に向けた境界明確化及び経営管理権集積計画の作成及び同意取得。
・長期間、間伐などの施業が行われず、管理計画もない森林所有者に対し、今後の経営管理の意向調査を行うとともに、不明森林所有者の再調査を実施。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	189	一般会計	6	2	2	3	1	森林環境保全費	5,519
②									
③									
								関連決算額合計	5,519

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	森林を適切に経営管理することを目的とし、今後も意向調査事業を行っていく必要がある。また、意向調査により市への委託を検討している森林について、境界の明確化、経営管理権集積計画の作成を行う予定となっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

対象森林の意向調査事業を継続して実施し、森林の経営管理を市に委託する場合は、境界明確化の実施や経営管理権集積計画を作成し、間伐や皆伐による森林整備の実施と持続可能な循環型林業の推進を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施　策	⑧農林水産業の振興		

事業番号	3804	事務事業名	スマート農業推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

スマート農業の導入により、農作業を効率的・効果的に行うことで、作業負担を軽減し儲かる農業による農家の所得増大と担い手不足の解消を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成28年度より農産物（ルビーロマン・梨・イチゴ）のほ場にIoT技術を導入したセンサーを設置し、生育環境データの収集・分析等により商品化率の向上や生産技術の見えるかを行い、一定の成果を得ている。令和3年度は、JA加賀の特別栽培米「加賀ほまれ」の水田に自動水管理システムを導入し、水管理の自動化・最適化を行うことで省力化と食味向上を図り、新たな作物分野でのIoT技術の推進を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	185	一般会計	6	1	3	1	11	品質向上対策費	200
②									
③									
								関連決算額合計	200

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	水田自動水管理システムの導入は実証段階であり、継続的な実施が必要。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

水田自動水管理システムの導入は実証段階であるが、広範に展開するためには、更なるデータ収集・分析が必要。
また、農業分野へのドローン活用の可能性についても検証していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4⑶③1
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	①地域福祉の充実		

事業番号	4101	事務事業名	地域見守り支えあいネットワーク事業		
所管部局	市民健康部	所管課	福祉政策課	グループ	福祉政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

日常時から災害時における地域の実情に応じた支援体制を構築するため、高齢者や障がいのある人など災害時における要支援者の把握を目的に要支援者の同意のうえ作成している「避難行動要支援者名簿」を活用し、「地域見守り支えあいネットワークの充実と促進」を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

「避難行動要支援者名簿」には、コロナ禍という状況ではあるが、民生委員・児童委員の日々の見守り活動により、毎年150人程度の登録がある。しかし死亡や長期の施設入所等により登録削除となる対象者も多く、登録者数全体としては減少している。

地域の支援者が集まり、見守りの研修や要支援者の情報共有を図る「見守り座談会」、コロナ禍で座談会を開催できない場合には「見守りききとり訪問」を、11地区で行い、互助共助を促進した。

避難行動要支援者名簿　登録者数　…　2,431人
名簿提供数（協定締結）　…　271町、12地区社協
見守り座談会開催数　…　13回（11地区）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	102	一般会計	2	1	11	4	1	消費者行政費	365
②	98	一般会計	3	1	1	4	7	地域見守り推進事業費	346
③	103	一般会計	3	1	2	2	35	地域見守り推進事業費	352
④	314	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	703
								関連決算額合計	1,766

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は地域における見守り体制の充実・促進を目的としており、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

引き続き、民生委員・児童委員と協働し要支援者の登録を進めていくとともに、地域の支援者による「見守り座談会」等を各地区で開催し、要支援者名簿を活用した情報共有とネットワークの質の向上を図る。

全282町のうち271町と締結している名簿提供の協定についても、更に取り組みが進むよう未協定地区へ働きかけていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	①地域福祉の充実		

事業番号	4102	事務事業名	権利擁護事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括支援グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高齢になっても認知症になっても、一人の人間として尊厳を保ちながら生活をしていくためには様々な権利侵害から本人を守ることが大切になる。
そのため様々な機関と連携し、適切に支援を行い、虐待となる恐れのある状況に対しては、未然防止のための早期発見・対応ができる支援体制を構築していく。
また、権利擁護の啓発等の取り組みを推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・虐待（疑い含む）ケースの相談対応、ケース会議の開催。
・通報・相談があった虐待（疑い含む）ケースの「虐待ケース検討会」の開催（おおむね週1回）と管理職が参加するコア会議の随時開催。
・専門職向け『虐待防止研修会』を新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて実施。
・高齢者が住み慣れた地域で継続した暮らしができるよう、必要な援助やサービス提供の体制の検討を行うことを目的とした権利擁護部会の開催（年4回）

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	313	介護保険特別会計	4	1	2	1	3	権利擁護事業費	126
②									
③									
								関連決算額合計	126

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・通報・相談があった虐待（疑い含む）全ケースに対し、虐待ケース検討会の場を設け、虐待判定の他、支援方針について検討している。 ・居宅介護支援事業所や相談支援事業所等から虐待の恐れがあるケースを含む相談が早期にあり、深刻化する前に相談・支援につながっている。 ・虐待防止研修会は、コロナ禍のためオンライン研修にて視点編のみ開催した。次年度もコロナ感染症のリスクを考え、オンライン研修にて居宅編の作成を進めている。 ・通報後対応について、ケアマネジャーや相談支援専門員等のサービス事業所等と連携が図れるよう新たなフローチャートを作成した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・権利擁護の視点の強化や自身のケアの振り返りのため、今後も虐待防止研修会を継続して開催していく。
・支援が必要な世帯が地域から孤立しないためには支援者のネットワークを構築する必要がある。そのため、民生委員等地域の方へ、再度、高齢者虐待防止法の理解を進めるための普及啓発に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	②地域包括ケアシステムの構築		

事業番号	4201	事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括支援グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

多様な生活課題を抱えている高齢者等が地域で安心してその人らしい生活を継続するには、本人の身体的機能や能力、それまでの暮らしや地域での関わりを活かし、本人の課題に応じてあらゆる社会資源等を適切に活用し、包括的及び継続的にケアの支援を行うことが必要となる。
　そのために介護支援専門員を支援し、包括的・継続的ケアマネジメントの実践や、支援の質の向上を図るとともに、その個別ケースからの地域課題の把握や環境面の整備促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①介護支援専門員の相談窓口を設置し、随時相談を受け付け、必要時ケース会議を開催。
②ケアマネジャー連絡会の内容・課題等を検討し、企画立案を助言する等、事業者協議会の後方支援。
③困難ケース検討会や個別地域ケア会議開催において、事前打ち合わせや司会進行等を担い支援している。
④要支援者・事業対象者の改善可能性や地域とのつながりを活かした支援につなげるための個々のケアプランや支援方針の検討の場を担当介護支援専門員、サービス事業者、外部有識者等で開催。同事業所の主任介護支援専門員や管理者も同席し、事業所内でのスーパーバイズ機能の強化につなげる。
⑤主任介護支援専門員勉強会は、コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	313	介護保険特別会計	4	1	2	1	4	包括的ケアマネジメント支援事業費	1,263
②									
③									
								関連決算額合計	1,263

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・随時相談を受け付けており、高齢者虐待や疑いを含むケースの早い段階での相談や報告がある。また緊急で対応が必要なケースの相談に対しても、必要時関係者を招集したケース検討会を開催し、対策を議論して対応ができている。 ・地域での暮らしを支えるために、専門職だけではなく本人・家族をはじめ、本人を取り巻く地域の関係団体、住民等と相談し合う個別地域ケア会議を随時開催している。 ・目標設定会議の開催により改善可能性や地域とのつながりを活かした支援を行うことで、状態が維持・改善したケース、本人のつながりに対して働きかけができたケースがあった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・随時相談では虐待（疑い含む）相談や困難ケース相談だけではなく、ケアマネジメントに関する相談がある。今後は主任介護支援専門員が課題に感じていることに対して勉強会を通して、相談体制の核となる介護支援専門員のケアマネジメントの実践や支援の質の向上を目指す。
・目標設定会議を開催し、担当介護支援専門員だけではなく、同事業所の主任介護支援専門員が同席することで、事業所内でのスーパーバイズ機能の強化につなげる。モニタリング会議は各居宅介護支援事業所で開催し、改善可能性の達成状況や本人のつながりを活かした関わりの有無を評価していく。
・各事業の事例から出た課題において、課題解決のために必要な研修会や勉強会の企画に反映していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)③3
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	②地域包括ケアシステムの構築		

事業番号	4202	事務事業名	包括ブランチ及び地域包括コーディネート事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括支援グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高齢になってもこれまでの暮らしを継続するためには、一人ひとりの生活に応じた関わりが大切で、世帯単位での関わり（家族介護支援）や友人・知人の関係が途切れない支援の充実が必要である。
きめ細やかに高齢者の見守りや相談等を行うため、身近な相談窓口として「地区高齢者こころまちセンター（ブランチ）」を設置し、友人やご近所、世話焼さん、地域団体、ボランティア等といった支援の担い手とつなぎ合わせる「地域福祉コーディネート」機能を併せた支援体制を構築する。
地域福祉コーディネート業務は、多様な地域資源と高齢者をつなぐだけでなく、個の支援を通して、地域の課題を把握し、その解決に向けた活動を展開し、住民とともに地域づくりに参画していくことを目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・市内16カ所にブランチを設置し、24時間365日の身近な相談窓口として訪問、来所、電話での相談に対応している。必要に応じて高齢者の個別地域ケア会議や地域の方々との地域ケア会議を開催し、支援している。
・ブランチ未設置地区については基幹型包括支援センター職員が担当している。
・地域福祉コーディネート業務における地域づくりについては、顔の見える関係作りを行い、地区地域ケア会議を実施しているブランチが増えている。また、高齢者だけではなく、障がいのある人、健康づくりのこと等、地域住民が困りごととして捉えていることを一緒に考え取り組んでいる。
・断らない相談窓口機能を整備するため、令和3年度より、市の機構改革に伴い、障がいのある人の相談も含め、地域包括支援センターで一体的に相談できる体制を整備した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	介護保険特別会計	4	1	2	1	2	総合相談事業費	17,654
②	312	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	16,141
③									
								関連決算額合計	33,795

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	・高齢者の支援において、本人とかかわりのある民生委員や店員、近所の方々等とも連携し、支える仕組みを作っている。また、さまざまな支援者とのつながりが大切であるため、障がい分野の基幹相談支援センター職員とも連携している。 ・ブランチと基幹型包括支援センターの合同の勉強会では、ケース支援の在り方、地域福祉コーディネートの活動の具体的取り組みについて、学習を継続し、地域福祉コーディネート機能を高めている。 ・ブランチ活動でかかわった事例より、データ分析し地域課題を見出し、地域住民と共に課題解決するための話し合いの場を設置している。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・早めの出会いを目的に、これまでの介護予防基本チェックリストのハイリスク者への個別訪問を行い、生活習慣病予防（重症化予防）の視点も加え、本人のセルフケア能力の向上を図りつつ、介護予防・健康づくりの双方の支援を継続的に行っていく。
・質の向上を図るための勉強会は、ブランチ職員自ら課題を整理し、企画立案し、実施していくことができるような体制を継続していく。
・基幹型包括支援センター職員は、これまでと同様にブランチの後方支援を行い、ブランチ職員を育成していく。また、基幹型包括支援センター職員の質の向上のため、内部で定期的に研修会や進捗管理等を継続的に行う。また、障がいのある人の相談対応強化のため、基幹相談支援センター業務を地域包括支援センターが担い、今後職員の質向上に努めていく。さらに、ブランチと相談支援事業所との連携の仕組みを構築していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)②5
基本方針	4.いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	②地域包括ケアシステムの構築		

事業番号	4203	事務事業名	シニア活動応援事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高齢者の生活支援及び介護予防の基盤整備を目的とし、元気な高齢者の社会参加活動を把握・促進し、地域で必要とされる生活上の支援と人材をマッチングする体制を構築するとともに活躍する元気な高齢者を増やすことを目的とする。
　支援を必要とする人と人材をマッチングするコーディネート機能を果たす、「生活支援コーディネーター」を配置し、コーディネート以外にも人材の発掘や育成、また、多様な事業主体による「協議体」による定期的な協議を実施し、生活支援体制の構築を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成29年9月から「加賀市シニア活動応援事業」をNPO団体に事業委託している。生活支援コーディネーターを配置し、民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センターブランチをはじめ、高齢者への生活支援について相談している。地域の人材やインフォーマルの社会資源の把握や、ネットワーク化と利活用の推進を図っている。
地域での各種集まりの参加や地区での協議（130件）、ニーズ相談（55件）を通して、高齢者の生活のニーズや課題の把握に努めている。
元気な高齢者を「ちょボラ隊」として募集し、ちょっとしたお手伝いが必要な方とのマッチング（99件）を実施していたが、委託先より、令和3年度でちょボラ隊活動を終了すると聞いている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	3,800
②									
③									
								関連決算額合計	3,800

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	生産年齢人口が減少し、地域の担い手が減少する中で、元気な高齢者の社会参加活動を促進することは今後さらに必要になってくる。また高齢者の介護予防や生きがいにもつながる取り組みと考える。地道な取組が必要であり、費用に対して直ちに効果が得られるものではない。地域の課題を介護保険サービスなどの公的サービスに頼らず地域のつながりの中で解決できる部分が多くなれば、公費や専門職の効率的な活用が図られると考えられるため、さらに活動の質を高めていく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後も高齢者の社会参加を図り、より多くの要望に対応できるよう充実を図っていく。また、対応できない要望・ニーズなどから抽出される地域の課題については、協議体からの意見を踏まえて、高齢者の生活支援及び介護予防の基盤整備の推進を継続的に行っていく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)④1
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4301	事務事業名	健康づくり事業（KAGA健食健歩プロジェクト）		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

行政・地域の代表・大学・企業などがつながり、協働で市民と一体となって「食」と「運動」を通した事業を展開し、生活改善に必要な基盤整備など地域全体を対象とした取組みを「KAGA健食健歩プロジェクト」と位置づけ、4つの取組みを実施し、市民の生涯を通じた健康づくりを推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①健康のまちづくり推進
　かがし健康応援プラン21推進のため、生活習慣改善取組み教材パンフレット（運動）を作成し、全戸配布を行った。また、市民の健康づくりに役立てるための健食健歩手帳を、各事業の機会等に配布し、啓発した。
②「運動」による健康づくりの推進
　定例ノルディックウォーク会、ウォーキングイベント開催支援、ラジオ体操を中心とした教室を関係団体に委託し実施した(19回　延424人)。地域でラジオ体操を実施する機会を作ることを目的としたラジオ体操ステーション認定制度では、全21団体が活動した。
③KAGAタニタ健康プログラムの実施
　（株）タニタヘルスリンク及び提携地元企業(株)エイムと連携した健康プログラムでは702名が活動量計等を活用し、健康づくりに取り組んだ。運動・栄養セミナーや、新たな登録者向けに出張登録説明会を地域に出向いて開催した（17回　延194人）。
④KAGAタニタ健康プログラムを活用したインセンティブ付与事業
　1日あたりの平均歩数が6,000歩以上の者には、インセンティブとして月額500円を贈呈し、ウォーキングの実践と運動習慣の定着を図った（インセンティブ付与　延1,034件）。
⑤健幸ポイント事業の実施
　カード8枚以上の応募や国保特定健診受診者には当選確率アップや、健診等検査値の改善者への豪華景品進呈等の魅力ある内容にし、健康づくりの継続性につながる内容とした。1,538件の応募があった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	143	一般会計	4	1	2	1	1	健康づくり事業費	2,039
②	295	国保特別会計	6	2	1	1	3	国保保健指導事業費	9,002
③									
								関連決算額合計	11,041

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	KAGAタニタ健康プログラムを活用したインセンティブ付与事業では、積極的にウォーキングに取り組む人の割合が、事業実施後に最大で約1.5倍に増加したことから、コロナ禍においても市民の健康づくりの推進につながった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民の健康づくりに寄与する日々の食生活や運動の実践と継続のため、健幸ポイント事業をデジタル化することで、さらなる健康づくりの推進および若年層の利用率向上を図る。また、働く世代・高齢者等ライフステージに合わせた健康づくりを推進し、より一層、庁内関係課や関連団体との連携強化や新たなつながりにより、KAGA健食健歩プロジェクトを推進していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4302	事務事業名	こころの健康づくり対策事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「こころの健康づくり」に関する知識の普及を図り、市の自殺死亡率の減少達成値を平成27年21.7（人口10万対：衛生統計年報）と比べて、令和8年までには30％以上減らす（15.1）ことを目指すため、こころの健康づくりとその対応に関する啓発活動を行い、こころの病気に関して理解、対応できる市民を増やす。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市自殺対策基本計画に基づき、中学生を対象としたSOSの出し方に関する教育（2校）、ゲートキーパー講座等を通し、総合的な自殺防止対策を行った。

また、自殺予防週間（9月）・強化月間（3月）に併せ、保健推進員等と協働で相談窓口の紹介を記載したリーフレット等を配布する街頭キャンペーンや、庁内外の相談窓口に相談窓口カードの設置や啓発ポスターの配布を行った。若年層対策として、妊娠届出の際に、こころの相談窓口カードを配布し周知を行った。

保健師等によるこころの健康づくり相談を随時、実施し、延べ270件（平成26年延べ44件）と相談件数は増加している。

毎年、庁内外において、自殺対策の進捗状況を確認し、自殺対策連絡会で情報を共有している。また、令和3年度は連絡会で心の健康づくり啓発ポスターを作成した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	143	一般会計	4	1	2	1	4	こころの健康づくり事業費	707
②									
③									
								関連決算額合計	707

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

本市の自殺死亡率（人口10万対：警察統計）は令和3年度27.6（令和2年に22.6）と増加し、県(13.2)、全国（16.4）と比べ、高い状況であった。

相談窓口の周知や身近なところで相談できる機会を提供し、また、相談支援を行う庁内外の関係機関を対象とした連絡会や研修会を開催できたことで、更なる自殺対策の連携・推進が期待できる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後については、啓発普及・相談体制などの事業を継続し、加賀市自殺対策基本計画（H31.3）に定めた自殺死亡率を平成27年の21.7と比べて30％以上減少させ、令和8年の15.1を目指した取組を行っていく。

また、加賀市自殺対策基本計画にある「誰も自殺に追い込まれることのない加賀市」を基本理念とし、地域で支え合いのもと、向こう三軒両隣の仕組みづくりや想いやりの心を大切にした、「生きることの包括的な支援」を全庁的に推進していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4303	事務事業名	食生活改善推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市民自らが健康の保持増進ができ、さらに食に関する知識を深め、食生活改善に取組むことができるように、食生活に関する知識や技術を習得した人材育成を行う。また地区組織と行政が協働で食生活改善活動を展開する（食生活改善推進協議会に委託）。

各ライフステージに関わる栄養士が加賀市栄養士連絡会を開催し、各ライフステージごとの課題の共有と必要な対策を検討し、食育を推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

食生活改善推進協議会活動では、「野菜摂取を増やそう」「塩分を減らそう」を重点テーマにコロナ感染拡大防止対策を講じながら、子供から高齢者まで対象に応じて、生活習慣病予防講座、食育講座等の取組みを実施した。また、中央研修会では「糖尿病予防」と「フレイル予防」をテーマに、食と運動について家庭でも取り組める内容の学習を行った。昨年に続きコロナ禍のため、各種団体とつながりを持った活動は少なく、食生活改善推進員の養成講座となる「大人の食育講座」も実施できなかった。

栄養士連絡会では、医療、福祉、保健、教育現場の栄養士と農林水産課職員等で加賀市食育推進計画進捗確認を行い、コロナ禍での食育推進について現状確認と課題等を共有した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	143	一般会計	4	1	2	1	3	食生活改善推進事業費	383
②									
③									
								関連決算額合計	383

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	各ライフステージにおける食生活の課題について、栄養士連絡会の活用や食生活改善推進員による、実践的な健康づくりの啓発・普及を行うことにより、自分自身や家族、地域住民等多くの市民の食生活改善が期待できる。 保健推進員等地区組織や民間団体・企業等ともつながりを持ち、「食」を通した健康づくりを実施することにより、子育て世代や働き世代等幅広い年代の市民に継続的に働きかけていくことが必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

かがし健康応援プラン21の中間評価から、「野菜摂取を増やそう」「塩分を減らそう」を重点課題として取り組んできたが、再度「糖尿病予防」や新たに「フレイル予防」についても栄養士連絡会やKAGA健食健歩プロジェクトを活用し、食生活改善推進事業として市民への啓発・普及を行う。

また、保健推進員やまちづくり等の地区組織、JA加賀等の企業や民間団体と連携し、様々な対象への食育活動を実施し、子どもの頃から食に関心を持ち、男性も食からの健康づくりに関心を寄せ、良い食習慣を身につける市民を増やしていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4304	事務事業名	健康診査・各種検診事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

健康応援プラン及び国保保健事業対策に基づき、市民自らが健康状態を理解し、健康管理ができるよう、医療保険者ごとに実施する40～74歳対象の国保特定健診及び40歳未満を対象に実施している若年者健診等ライフステージに応じた健診・検診を行い、生活習慣病の予防及び重症化予防を推進する。また、がん検診により、がんの早期発見・早期治療を促進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①特定健診・若年者健診等
40歳、65歳の節目年齢の無料化の継続、分かりやすい健診の案内通知の実施等受診しやすい体制とした。特定健診未受診者には、健診未受診者勧奨の案内通知や、医療機関と連携した健診等検査データ提供書（治療中者）の提出を依頼し、国保被保険者の健康状態の把握と受診率向上に取組んだ。保健推進員による40歳、41歳、65歳、66歳の健診未受診者勧奨訪問を行った。（518件）
②がん検診
65歳の市民を対象に全がん検診の無料化や好発年齢の対象者には検診の無料化を継続し、すべてのがん検診と特定健診が一度に受診できるレディース健診日の実施や、医療機関での休日乳がん検診日を設け受診しやすい体制とした。また、65歳大腸がん検診未受診者に対し、採便容器を送付する未受診者勧奨を行った。
③歯周病検診
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により歯と口の健康週間行事と歯周病検診、特定健診の同時実施は中止となったが、30歳以上の市民を対象に、歯科医療機関（26機関）での無料歯周病検診を感染症予防対策のもと実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	295	国保特別会計	6	2	1	1	1	特定健康診査事業費	31,752
②	143	一般会計	4	1	2	2	1	健康診査費	3,852
③	143	一般会計	4	1	2	2	6	がん検診費	64,025
								関連決算額合計	99,629

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	特定健診受診率は令和元年度41.6%、令和2年度37.2%、令和3年度35.1%（R4.7.1現在）（見込）と推移しているが、データヘルス計画の目標値である53%を達成していない。 がん検診では、令和2年度と比較し、全てのがん検診で受診者数が増加した。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

引き続き、分かりやすい健診案内通知の実施や商工会等の各種団体や企業、協会けんぽ等への周知の他に、保健推進員による個別健(検)診勧奨、庁内における（高齢部門や生活支援グループ（生活保護健康管理支援事業））健診周知等の働きかけを強化し受診率向上を目指す。
がん検診においても、好発年齢の無料化を継続し、受診しやすい体制を進めていく。
歯周病検診を、糖尿病週間に併せて特定健診と同時に実施予定。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4305	事務事業名	感染症予防対策事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課 新型コロナウイルスワクチン接種推進室	グループ	健康増進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

予防接種法に規定された予防接種（A類14疾病、B類2疾病）の実施及び感染症予防の啓発により、伝染の恐れがある感染症の発生及びまん延の予防、重症化を予防する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

A類定期接種の14疾病について、主治医の管理による接種スケジュールに従い予防接種を実施できるように冊子型にした予防接種券を保護者へ送付し、乳幼児健診、相談等や保育園を通じて接種勧奨のチラシを配布した。更にA類・B類定期接種の未接種者に対しては個別通知による接種勧奨を実施した。また、積極的接種の勧奨を停止しているヒトパピローマウイルス感染症については接種希望者に接種券を交付している。

長期里帰り等で県外でのA類定期予防接種を希望する者には、定期予防接種費用助成事業（償還払い）を継続して実施することで接種の機会を確保した。また、「こども任意予防接種に係る助成事業」及び「風疹予防接種費用助成事業」を継続して実施し接種者の費用負担軽減を行っている。

新型コロナウイルス感染予防対策として、市民及び事業所向けに市独自のPCR・抗原検査を実施した。

そのほか、国の通知に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため医療機関の受診を控えた事で定期予防接種を接種期間内に受けることができなかった者に対して接種期間の延長を行った。

新型コロナウイルスワクチンの接種については、コールセンターの設置や職員の増強により接種推進体制を構築するとともに、施設接種、個別接種、集団接種を実施してきた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	148	一般会計	4	1	3	1	1	一般経費	161
②	148	一般会計	4	1	3	1	2	予防接種対策事務費	458,714
③	148	一般会計	4	1	3	90	1	予防対策事務費（繰越明許分）	414,963
④	148	一般会計	4	1	3	5	1	感染症予防推進費	27,881
								関連決算額合計	901,719

内部評価

有効性 （高い/普通/低い）	高い	費用対効果 （高い/普通/低い）	高い	内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

石川県内で登録されている医療機関において予防接種が可能な体制となっていることや、長期里帰り等で県外でのA類定期予防接種を希望する者に費用助成事業を実施することで、予防接種が受けやすくなっている。

更にA類予防接種の未接種者に対して勧奨通知等を行うことで接種漏れがないように周知できている。

新型コロナウイルス感染症予防対策については、市独自のPCR・抗原検査体制により、市民、事業者の感染への不安解消に繋げることができている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

適切な時期に接種もれがないよう、市の接種率の現状を医療機関や保育園、保護者にも示しながら、これまでの実施方法による対策を継続すると共に、効果的な時期に葉書等による接種勧奨を今後も継続し接種率向上を図る。

新型コロナウイルス感染予防対策については、市独自のPCR検査、抗原検査を継続して実施するほか、新型コロナウイルスワクチン接種については、4回目の早期接種完了や接種率の低い若年層の接種拡大に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)④4
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4306	事務事業名	国保保健事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「特定健康診査等実施計画（第２期）」「加賀市国民健康保険保健事業計画（データヘルス計画）」に基づき、被保険者の健康増進と生活習慣病の発症予防、また、糖尿病等重症化予防に重点を置き、効果的な保健事業等を実施し、医療費の適正化を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

特定健診受診者には適時、健診結果の通知と健康づくりの情報提供により、健康づくりの動機付けを行った。特定保健指導対象者には、健診会場での保健指導（特定保健指導初回分割実施）と医療機関委託による特定保健指導を昨年に続き実施した。また、食・運動体験や血糖自己測定などの生活習慣改善メニューを提供し保健指導を行った（初回面接利用298件）。重症化予防では、糖尿病等未治療者への保健指導の実施や、「糖尿病連携手帳」及び「医療連携書（受診結果報告書）」の媒体を活用し、医療と連携した保健指導を行った。

医療連携書の発行：631件、うち医療機関受診：400件、医療連携による保健指導：39件

加賀市糖尿病協議会と連携し、糖尿病療養指導士による治療中断者対策事業等を実施した。

また、特定健診未受診者対策として、昨年に続き健診受診勧奨訪問を加賀市保健推進員協議会に委託し、前年度よりも対象年齢を拡大して実施した（40・41歳、65・66歳の未受診者：518件）。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	296	国保特別会計	6	2	1	1	2	特定保健指導事業費	6,719
②	296	国保特別会計	6	2	1	1	3	国保保健指導事業費	13,028
③									
								関連決算額合計	19,747

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	特定保健指導利用者のうち、約半数に改善があり、生活習慣改善メニュー利用者においては、約6割の改善を確認でき、生活習慣病の発症予防にもつながっている。 また、健診の結果、要医療者で未治療者への医療機関の受診勧奨や保健指導により、データの改善や治療につながっている。さらに、糖尿病性腎症重症化予防においては、糖尿病未治療で医療連携書を発行した者のうち約6割の受診があり、その他はレセプトや訪問等で約7割の医療機関受診を確認した。 特定健診未受診者対策では、令和2年度40歳で健診を受けた方全員が令和3年度も継続受診となり、65歳も約7割の方が継続受診につながった。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「加賀市国民健康保険保健事業等実施計画（後期計画）」に基づき、①生活習慣病予防（特定健診受診率向上、特定保健指導の充実、がん検診・歯周病検診受診率向上等）、②生活習慣病重症化予防（医療と連携した重症化予防、重複服薬対策等）、③ポピュレーションアプローチに取組む。

予防可能な糖尿病対策を強化し、国のKPI指標でもある糖尿病性腎症による新規人工透析患者数減少を目指すため、糖尿病管理台帳の活用や医療と連携した保健指導の実施、加賀市糖尿病協議会との連携、また、生活習慣改善メニューの対象者の拡充や、KAGA健食健歩プロジェクト事業のメニューを整備し、各メニューを活用した動機づけや継続支援につながる保健指導を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4⑶④2
基本方針	4．いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	③健康づくりの推進		

事業番号	4307	事務事業名	ウォーキング教室開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「KAGA健食健歩プロジェクト」の一環として、健康フェスタ（健康課主催事業）においてノルディックウォーキング教室を開催し、参加者にノルディックウォーキングの楽しさと健康への効果を実感していただき市民の健康増進を図る。また、教室を開催することで、ノルディックウォーキングの効用の周知を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

毎年「KAGA健康フェスタ」に合わせノルディックウォーキング教室を行い、ポールの持ち方と歩き方の講習を行った後、大聖寺地区内をウォーキングするイベントを開催しているが、令和3年度については、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	276	一般会計	10	6	5	2	1	体力つくり推進費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルスの影響を受け中止となったが、例年多くの参加者もあり、市民の健康増進に寄与するため今後も継続することとする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

ノルディックウォーキング教室については、今後「加賀市ウォーキングマップ」を参考にして、市内各地区のウォーキングコースにおいて実施する。また、ノルディックウォーキングは効率よく全身運動できる生涯スポーツであり、健康に関心のある人を中心に人気が高まっている。なお、健康課において同様の事業を毎月実施していることから、市民に分かりやすい事業とするため、統合を検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)①2
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	④医療提供体制の充実		

事業番号	4401	事務事業名	在宅医療介護連携推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	医療介護連携グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

病気になっても、介護が必要な状況になっても、本人の望む場所で望む暮らしを続けるためには、医療と介護が互いに連携し、切れ目なく提供されることが必要である。
このため、市が実施する事業とともに、医師会や歯科医師会、薬剤師会、介護サービス事業者協議会等の多職種で,意見交換や研修等を実施し、医療と介護のさらなる連携の推進に取り組む。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・市民に対しては、自身の人生の最期の迎え方について、わたしの暮らし手帳で啓発を行った。
・医療と介護の従事者に対して、人生の最終段階において、本人の意思を尊重した支援ができることを目的とする研修会を実施した。コロナ禍でもあったので、参集とオンラインで参加できるようにした。また、医療・介護の多職種での事例検討は、オンラインで実施し、チームワークを発揮できるように、各職種ができることを確認し、支援方法を検討した。
・在宅医療コーディネートの相談窓口を設置し、ケアマネジャーから相談を受ける体制をとっている。さらに、在宅療養を支援するため、ケアマネジャーが加賀市医療センターの外来看護師に相談できる体制を検討し、仕組み化した。
・連携の取り組みに関しては、広報誌を作成し、医師会をはじめ、関係団体に、配布した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	312	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	在宅医療・介護連携推進事業	3,360
②									
③									
								関連決算額合計	3,360

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	・コロナ禍であっても、医療と介護が顔の見える関係を継続し、チームとして支援するために、参集型やオンラインで、グループワークも加えた研修を実施することができた。 ・コロナ禍のため、面会制限など、情報共有が難しい中で、できることから考えようということで、退院後の支援として、退院後の受診状況を確認し、支援者と共有することができ、相談できる体制もできた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

・本人や家族が望む医療やケアの実現のために、入院中から退院後の生活を見据えて、医療職や介護職が一体的に本人に関わることが重要である。そのために医療が担うこと、介護が担うこと、またチームになって実施することを、それぞれが確認し、切れ目のない支援にむけて、情報共有、支援方針の共有、役割分担等ができるように連携していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4（3）①3
基本方針	4．いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	④医療提供体制の充実		

事業番号	4402	事務事業名	医師招へい推進策事業		
所管部局	医療センター	所管課	病院管理部総務課	グループ	人事グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地域に必要とされる医療を安定的に提供するとともに、医療の質の向上を図るため、医師の招へいを長期的・継続的に実施する。また、働きやすく働き甲斐のある職場環境づくりへの取り組みにより、継続した人材確保の実現を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

医師の派遣を受けている関連大学医局に対し、診療実績をもとに派遣医師増員の必要性を説明した他、加賀市にゆかりのある医師及び多様な働き方に対応する招へい活動を継続的に実施した。
　一方、臨床研修医は、令和3年度も3名の基幹型初期臨床研修医を迎え入れることができ、修了者2名を輩出した。協力型臨床研修病院としては、金沢大学病院の初期研修医4名受け入れた。
　働きやすい職場環境づくりとして、月の日当直回数を3回以下とすることを目標としている。令和3年度は、平均2.0回となった。
　新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、招へい活動がリモートで行われたため、招へい活動経費は減少したが、臨床研修医増加に伴う宿舎費増加で経費（報償費以外）が増加している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	病院事業会計	1	1	3			経費（報償費）	38
②	－	病院事業会計	1	1	3			経費（報償費以外）	10,248
③	－	病院事業会計	1	1	6			研究研修費	4,112
								関連決算額合計	14,398

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、加賀市医療センターが市内唯一の急性期病院として、地域に必要とされる医療を安定的に提供し、更に医療の質の向上を図るために必要であることから、今後も継続して実施する必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

地域の医療需給状況を注視しながら、診療実績をもとに関連大学に派遣の働きかけを継続すると共に、当地域にゆかりのある医師の情報に迅速に対応し、招へいに繋げる。
　更に、将来を担う医療人を育成する施設として、臨床研修医の受入れを積極的に行うとともに、医学部在学生にも当院を研修先として選んでいただけるよう、見学や実習を通じてアピールを続ける。
　また、働きやすく働き甲斐のある環境を整えるため、医師の事務的負担の軽減に努め、女性医師のワークライフバランスに配慮した時短勤務や、多様な働き方に対応していく。
　これらを継続することにより、医師の招へいを推進し、一人でも多くの医師に、この地域で長く働いていただけるよう努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	④医療提供体制の充実		

事業番号	4403	事務事業名	医療機能向上推進事業		
所管部局	医療センター	所管課	病院管理部総務課	グループ	総務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地域の中核病院として医療提供体制の強化・充実をはかるため
近隣自治体や他の医療機関・介護施設などとの連携により、保健・医療・福祉が一体となった取り組みを進める。
具体的には
救急搬送を断らない体制を堅持するとともに急性期医療と後方支援機能（ポストアキュート）を担う。
また市内唯一の分娩取扱医療機関として周産期医療を推進する。
さらに健診センターを中心に疾病の予防・早期発見・早期治療に努める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

救急搬送件数は、2,702件で前年度2,698件に対し4件増加（応需率は99.2%、前年度99.2%）
患者の他医療機関からの紹介件数は、2,565件で前年度2,501件に対し64件増加
（紹介率は20.6%、前年度24.4%）
患者の他医療機関への逆紹介件数は、4,740件で前年度3,445件に対し1,295件増加
（逆紹介率は38.1%、前年度33.6%）
分娩件数は、126件で前年度130件に対し4件減少
訪問看護数は1,879件であり、前年度2,150件に対し271件減少

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	病院事業会計	1	1	2				7,650,750
②									
③									
								関連決算額合計	7,650,750

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は医療提供体制の強化・充実をはかるため今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

引き続き救急を断らない体制のため、救急搬送については高い応需率を保持する。
他の医療機関・介護施設との連携の推進のため、紹介率・逆紹介率の増加を図る。
急性期医療の維持および保健・医療・福祉が一体となった取り組み（地域包括ケア）の推進のため訪問看護ステーションを引き続き活用する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)①1
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	④医療提供体制の充実		

事業番号	4404	事務事業名	地域医療推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地域の医療に関する市民・医療機関・行政の役割の相互理解・連携を促進し市民が安心して健やかに暮らし続けられるため地域医療体制の充実を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・加賀市の地域医療の充実を図ることを目的とした「地域医療審議会」を設置し、継続的に審議しており、令和3年度には1回開催した。また、救急医療について、継続的に救急医療懇話会を開催して、関係者で救急医療の現状検証を行い、更なる体制強化について協議する予定であったが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。
・地域医療推進に関しては、救急医療の現状課題報告や「地域医療を守る条例」を周知するとともに、救急医療の適正利用やかかりつけ医を持つことなどを市民に周知している。令和3年度は市民向けの講演会や座談会等にて周知啓発する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	119	一般会計	4	1	1	7	1	地域医療推進費	0
②	119	一般会計	4	1	1	8	1	地域医療審議会費	144
③									
								関連決算額合計	144

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	地域医療審議会については、今後も市内の地域医療の充実を図ることを目的として継続的に審議していく。 地域医療推進については、「地域医療を守る条例」を周知することと併せて、かかりつけ医を持つことの大切さや救急医療の適正利用等を継続して市民に周知を行う。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

救急医療懇話会において、救急医療の現状認識を関係者間で共有を図り、救急医療の体制強化に向けての対応策等を協議していく。
地域医療審議会を継続実施し、市内の地域医療を充実するために審議していく。
市民の地域医療を守る取組活動として、かかりつけ医を持つことの推進や救急医療の適正利用等について、市民向けの講演会や座談会等にて周知啓発等を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	④医療提供体制の充実		

事業番号	4405	事務事業名	電子カルテシステム更新に伴うスマートホスピタル推進事業		
所管部局	医療センター	所管課	医療サービス課	グループ	システム担当グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

国の医療分野におけるICT政策や、市のデジタル田園健康特区事業に応じ、当院の医療情報システムの外部連携を進め、ICT技術を活用した、市民（患者）にとってより便利で有用なサービスを提供する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度末時点で、電子カルテシステムは更新済みであり、料金後払いや診察待ち確認等を包括したスマートフォンアプリとAPI通信で連携できる準備は整っている。しかし、このアプリの導入については、このアプリが、デジタル田園健康特区事業で実施予定である医療版情報銀行のポータルとなるため、同事業の詳細が決まっていない令和3年度末時点では未達成である。令和4年度内には達成できる予定である。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	病院事業会計	1	1	2				420,530
②									
③									
								関連決算額合計	420,530

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	国の政策動向、市のデジタル田園健康特区計画を踏まえ、医療情報のネットワーク化を進めるべく、市の医療機関としては積極的にデータ連携をしていかなければならない。そのためにも、情報銀行への接続を視野に、医療情報システムと外部システムを接続できるよう整備していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

当該スマートフォンアプリの導入は加賀市医療センターの患者に対して、患者待ち時間の把握や会計待ちをなくすなど、患者サービス向上につながるサービス提供であると思われるので、令和4年度中には導入したい。また、当院の診療データも情報銀行と接続できるよう、スマートシティ課をはじめとする他部署と連携し、デジタル田園健康特区事業の計画を進めていきたい。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)②3
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4501	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、介護予防マネジメント事業）		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	介護予防グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高齢者の多様な生活支援のニーズに対応するため、実情に応じて、住民や事業所などが参画した多様なサービスを充実させる。また、地域で支え合う仕組みや環境づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援体制を構築する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・介護予防・日常生活支援総合事業は、①第1号通所及び訪問型サービス（現行）②第1号通所及び訪問型サービス（短期集中）③第1号通所型サービス（通所A）④家事支援サービスのことである。この事業は適切に実施するためのケアマネジメント事業が要となり、ケアマネジメントにおいては、包括的・継続的ケアマネジメント事業と連動し、介護支援専門員の質の向上を図っている。
・制度改正により、この事業において特徴的なサービスは、②と④である。
②の第1号通所及び訪問型サービス（短期集中）は、利用者がこれまでのしたい暮らしができるようになることを目的に、平成30年度より短期集中予防サービス（リハビリテーションの専門職が介入し、改善可能性の高い対象者に短期的（3～6カ月）集中的にサービスを提供）を開始している。④の家事支援サービスは、元気高齢者が高齢者をささえる仕組みとして、家事支援等の代行を実施。家事支援サービスを担う家事支援サポーターの養成講座も毎年1回（7回一コース）実施し、担い手の育成をしている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	311	介護保険特別会計	4	1	1	2	1	介護予防・生活支援サービス事業費	153,038
②	311	介護保険特別会計	4	1	1	2	2	介護予防ケアマネジメント事業費	16,980
③	311	介護保険特別会計	4	1	1	2	3	審査支払手数料	288
								関連決算額合計	170,306

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント	・高齢者が介護予防基本チェックリストにより、早めに自身の生活状況を把握し、生活課題に応じた総合事業のサービスを利用できる仕組みになっている。 ・家事支援サービスの開始により、訪問介護と家事支援サポーターとのサービス内容において整理（すみ分け）ができている。また、家事支援サポーター自身も、参加活動の場にもなり介護予防の取り組みの1つとなっている。 ・ケアマネジメントにおいては、つながりを活かした支援や自立支援（改善可能性）の視点の強化に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・介護予防・日常生活支援総合事業は適切なケアマネジメントと両輪でのサービスであるため、要となるケアマネジメントの質の向上及び自立支援に向けた視点の強化を継続的に行っていく。
・今後も、高齢者の様々なニーズに対応するため、個々の実情に応じ、住民や事業所などが参画した多様なサービスを充実させるために、事例からの課題を整理し、介護福祉課と検討し、ニーズにあった使いやすいサービスの制度設計を行い、第9期介護保険事業計画に盛り込んでいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)②3、4(3)②4
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4502	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業(一般介護予防事業)		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	介護予防グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

・高齢者が年齢や心身の状況等によって分け隔てられることなく、参加できる通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。また、地域においてリハビリテーション専門職等による自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態になっても、生きがいや役割をもって生活できる地域の実現を目指す。
・事業には、「介護予防把握事業」「地域型元気はつらつ塾」「かがやき予防塾」「介護予防教室」「地域おたっしゃサークル」「地域リハビリテーション活動支援事業」等があり、支援が必要な高齢者の把握や介護予防に関する普及啓発、住民主体の活動支援などを行っている。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・地域型元気はつらつ塾は、住民・事業者・行政が協働し、地区の特性に応じた予防事業のあり方を考え実施しており、これまで16地区15箇所(2地区合同で1箇所実施)で立ち上がっている。
・かがやき予防塾は、平成27年度から実施し計282名が修了している。修了後は地域型元気はつらつ塾の協力員や認知症ケアパスの啓発普及等の活動、自身の介護予防の取り組みなどにつながっている。
・地域おたっしゃサークルでは、脳活性化プログラムや運動の普及を図るとともに自宅での体操の定着を目指し、派遣講師のリハビリ専門職と加賀市版脳活性化プログラムや筋力強化体操の動画を作成した。また、地域おたっしゃサークルへのDVD配付や加賀市ホームページ及び通いの場アプリへの動画掲載を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	311	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	59,311
②									
③									
								関連決算額合計	59,311

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
評価に関するコメント	・地域型元気はつらつ塾では、地域の身近な場で介護予防活動を展開している。地域の元気な高齢者を含む住民が協力員等として企画や運営に関わることで、活動以外の場所での見守りや地域のことに関心をもてる機会となっている。 ・かがやき予防塾では、受講者自身の介護予防や健康管理を考え、自分のできることを地域で活かせるようつながりを作っている。 ・地域おたっしゃサークルは住民が主体となって活動を展開しており、コロナ禍でも感染対策を行いながら実施していた。定例講師より脳活性化プログラムの普及や自宅でできる体操等を伝えてもらいフレイル予防に取り組んいる。通いの場アプリを活用し、通いの場だけでなく自宅で出来る介護予防に取り組んでいる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

・地域型元気はつらつ塾は、今後、未実施の地区へアプローチし拡充していく。
・高齢化率が上昇していく中で、その人らしく自立した生活を継続するには、健康づくりや介護予防が重要である。高齢者の保健事業と介護予防の一体的取り組みの実施圏域を拡充していき、介護予防だけでなく生活習慣病予防・重症化予防を強化する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)②1
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4503	事務事業名	認知症予防・支援体制構築事業(もの忘れ健診、かかりつけ医対応力向上研修、認知症初期集中支援チーム)		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	介護予防グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

認知症の早期発見・早期診断・早期対応のため、以下の事業を実施している。
①かかりつけ医でのもの忘れ健診の実施やその後のフォロー体制構築の検討。
②かかりつけ医等コメディカル、介護職員と合同での認知症の人の対応力向上研修の実施。
③認知症初期集中支援チームよる認知症の人の支援及びかかりつけ医と専門医との連携の検討。

①～③を通して、介護職と医療職とが連携し認知症になっても住み慣れた地域での暮らしの継続を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・もの忘れ健診実施の意向があった開業医（市内29カ所）でもの忘れ健診を継続的に実施している。また、フォローが必要な方や介護予防基本チェックリストの認知機能低下項目すべて該当者の生活状況を把握している。
・かかりつけ医等対応力向上研修は、コロナ禍の影響で中止となったが、市民向けの認知症の正しい理解の定期講座（5回）は感染防止対策を徹底し、実施した。
・医師、保健師、精神保健福祉士からなる認知症初期集中支援チームを設置しており、依頼のあったケースに対し、チーム員が訪問し状態を把握している。専門医を含むチーム員会議にて事例検討し、今後の支援方針をアドバイスしている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	311	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	2,795
②	312	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	655
③									
								関連決算額合計	3,450

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・もの忘れ健診は、認知症の早期発見や他の病気の発見など早期の予防の取り組みになっている。また、健診後はかかりつけ医から認知症予防の説明もあり、認知症の正しい理解につながっている。 ・医療機関では、もの忘れ健診のスクリーニングシートを日々の診察場面で活用している。 ・認知症初期集中支援チームは困難事例における支援について、専門医を交えてチームで検討している。認知症だけでなく、発達障害やうつ病など他の疾患の可能性も含め、支援者の関わりについて、医学的な見地からの見立てや予後予測ができている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・早期発見の取り組みとして、もの忘れ健診は有効である。継続して実施し、気になる方については、地区高齢者こころまちセンター（ブランチ）が生活状況の把握のための訪問や、必要に応じ支援体制を医師と相談したりする。
・相談の時点では生活に支障のない場合も多いので、訪問時に認知症発症予防のポイントも情報提供する。さらに、市民への認知症の正しい理解の普及啓発のために、当事者による講演会や認知症サポート医による定期講座を継続的に実施するとともに、一般介護予防事業やその他の認知症に関する事業と連動した取り組みを実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(3)③2
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4504	事務事業名	認知症ケア普及事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括支援グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、認知症の正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する市民（認知症サポーター）を育成していく。主に、認知症の正しい知識等を伝える講師役である「キャラバン・メイト」が、市民を対象に「認知症サポーター」の養成講座を開催する。また、市民・事業者・行政のキャラバン・メイトが一体となり、認知症の人を支える地域の支援体制を構築していくことを目的としている。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市キャラバン・メイト連絡協議会に委託をして、キャラバン・メイト自らが活動を考えていく体制とした。各圏域のキャラバン・メイトが圏域ごとに必要な取り組みについて検討し、認知症サポーター養成講座を実施している（令和3年度はコロナ禍であっても、感染予防対策を行い、15回実施し286名を養成できた）。また、もの忘れ健診の結果をフォローする場として、認知症サポート医とキャラバン・メイトが講師となり定期の認知症サポーター養成講座を年5回実施している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	314	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	318
②									
③									
								関連決算額合計	318

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	認知症サポーター養成講座を通して、市民にとって認知症を正しく理解する場になっている。また、市民・介護職・医療職が一体となり、各地区の実情に応じた認知症普及啓発を行うことで、地域包括ケアシステム構築の一助になっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市は、キャラバン・メイトがより自主的に活動を展開していけるよう働きかけていく。認知症の正しい理解や認知症の人を温かく見守ることを目的とした認知症サポーターから、認知症の人やその家族の支援ニーズにあった具体的な支援につなげる仕組み（チームオレンジ）へステップアップを行っていく。
市民メイトの養成を行い、専門職だけではなく、住民とともに活動をしていく体制を構築していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4505	事務事業名	総合相談事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括支援グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高齢者及びその家族を対象に保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等により、相談対応を行い、今後の支援方針等をともに考える。また、その多くの相談内容等から見えてくる地域の課題を整理するため、介護保険サービス事業所や関係団体と会議を持ち、課題の解決や地域のネットワーク構築についての協議を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・地域包括支援センター（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等）は、高齢者の相談窓口として初期相談を実施。地区高齢者こころまちセンター（ブランチ）を16カ所を設置し、ケアマネジメントの質の向上のために定例ケース会議やブロック連絡会でのケース検討会議を継続して実施している。
・断らない相談窓口機能を整備するため、令和3年度より、市の機構改革に伴い、障がいのある人の相談も含め、地域包括支援センターで一体的に相談できる体制を整備し、医療機関からの相談に対応するサブセンターは開設当初から市内4医療機関及び小松市内の医療機関からの相談に対応している。
・地域住民と検討して、地域課題を整理し、地域にあった解決が図れるような体制にするために、地域ケア会議の開催及び後方支援を継続的に行っている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	312	介護保険特別会計	4	1	2	1	2	総合相談事業費	13,107
②									
③									
								関連決算額合計	13,107

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・基幹型地域包括支援センターへの相談件数は減少しているが、ブランチへの直接相談の件数は増加している。相談者は、本人、家族、民生委員、警察、医療機関、市役所他課等多岐にわたっており、地域の身近な相談窓口としての機能を果たしつつある。 ・地域密着型サービス事業所が開催している運営推進会議を地域包括支援センターの「地区地域ケア会議」として位置づけ、ブランチの相談実績や課題を地域住民に報告している。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・基幹型地域包括支援センター内では、定例でケース会議を週1回継続し、相談担当者の質の向上に今後も努める。また、ブランチにおいては、連絡会や質の向上のための研修会を通じて、ブランチ同士の意見交換、ネットワークの構築を図る。圏域毎のブロック連絡会では事例検討を行い、質の向上を目指す。
・ブランチ活動からの相談実態をグラフにする等データ化し、住民と共に地域ケア会議を開催していく。
・障がいのある人の相談対応強化のため、今後職員の質向上に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4（3）②6
基本方針	4．いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4506	事務事業名	介護支援ボランティア制度事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

65歳以上の元気な高齢者の社会参加を促し、高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進する仕組みとして、高齢者がボランティア登録し、受入施設等で活動を行った場合、その活動に対してポイントを付与し、ポイント転換交付金交付申請を受けてこれを現金に交換する制度。ボランティア登録の受付や転換交付申請のとりまとめなどは委託契約による受託者（管理機関）が行い、受入施設の登録や転換交付金の交付については市が行っている。
平成26年度に県のモデル事業の指定を受けて検討を行い、平成27年度から実施している。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

管理機関への委託料およびポイント転換交付金（対象者100人）を支出している。
ボランティア登録人数は、令和元年度は169人、令和2年度は159人、令和3年度は136人。
ポイント転換交付金交付対象者は、令和元年度は122人、令和2年度は101人、令和3年度は100人である。
受入施設等は、令和3年度末で66箇所である。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	119	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業	1,492
②									
③									
								関連決算額合計	1,492

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	令和2年度末にボランティア登録をしていた人が、令和3年度においても継続登録しており、高齢者の活動の場として一定の効果を挙げつつあると考えられる。 高齢者が社会的役割を持つことで、社会に参加し、いきいきと活動することで、介護予防につながっている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

広報かがに現役ボランティアのインタビュー記事を掲載し、制度の存在や働き甲斐をお知らせする等の方法により、制度に関心を持っていただき、ボランティア登録者数の増加を目指すとともに、受入施設の登録増加、施設以外の受け入れ先の検討・拡充をはかり、高齢者の活躍を推進していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4507	事務事業名	加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	福祉政策課・相談支援課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市で暮らす住民も、新しく転入する方も、みんながつながり合い、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、平成29年3月に加賀市版「生涯活躍のまち」構想を策定した。
加賀市版「生涯活躍のまち」構想では、地域交流拠点による多世代交流拠点を核とし、40代以上の元気な中高年齢者に加え、地域づくりの担い手となる若い世代の移住定住促進を図るほか、新たな雇用を創出する「健康・医療・福祉・介護分野」の必要なスキルやアイデアを持った企業、研究機関、個人の招致に向けた取り組みを行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

(1) IoT とAI を活用したケア情報の取得・評価・活用に関する研究
人工知能（AI）の創始者ミンスキーのAI理論に基づく生活困窮者支援の自治体職員向け研修プログラムを開発し、加賀市役所職員向けに実践し、アンケート評価を実施した。また、慢性疼痛に対しての痛み教育プログラムを通いの場で実証、評価をした。
(2) 認知症を科学的に学ぶプログラム（認知症見立て塾）の調査研究
一般市民向け認知症見立て学習プログラムの開発と実証を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	104	一般会計	3	1	3	9	8	介護予防推進費	4,500
②									
③									
								関連決算額合計	4,500

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	・生活困窮者支援の研修では、初めて専門職及び事務職とともに学び、深めあった。住民にかかわる行政職員として、面接技術を習得し、相談援助にかかわることは大切であり、今後も職員の質の向上に努めていく必要がある。 ・痛み教育プログラムにおいて、慢性疼痛を抱えながら生活をしている住民が多く、介護認定でも生活機能低下を招く上位の疾患である。今後も痛みの正しい知識を持つ住民を増やし、痛みとうまく付き合う方法を獲得することで、痛みがあっても生活が維持できるよう生活機能の低下を予防していくことは重要である。 ・認知症見立て塾は、物忘れ＝認知症と決めつけず、他の疾患の可能性も含めて改善可能があることを学ぶことは大切である。学ぶことで住民がかかわる視点が強化され認知症の理解が深まり住みやすい地域になる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・生活困窮者支援プログラムは、行政職員として更なる相談援助技術を高め、住民1人1人の生活の質の向上にむけ、プログラムをバージョンアップしていく。
・痛み教育プログラムにおいては、痛みは歩行と姿勢が大きく関与していることから、発症予防に視点をおいたプログラムの検証をおこなっていく。
・認知症見立て塾は、継続していくことが重要であり、今後も住民対象に実施し、物忘れにおける改善可能性の部分に焦点をあてたプログラムを実施していく。
・これらについては、今後は心身健康増進事業のおいて、更なる展開をすすめていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4（3）②7
基本方針	4．いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑤高齢者福祉の充実		

事業番号	4508	事務事業名	老人クラブ育成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

高齢者が地域で安心していきいきと暮らせるよう、健康維持、生きがいづくり、社会参加の促進につなげることを目的に、市老人クラブ連合会及び各老人クラブに対し、クラブ育成のためとして運営費助成を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は加賀市老人クラブ連合会及び各老人クラブ67クラブ（合計加入者数4,917人）に対して助成を行った。
　新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、感染防止対策に配慮しながら地域の見守り活動や環境美化活動に注力した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	116	一般会計	3	1	3	7	4	老人クラブ育成費	3,862
②									
③									
								関連決算額合計	3,862

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市老人クラブ連合会や各老人クラブは、数々のレクレーションやスポーツ大会、旅行等を活発に実施しており、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに大いに貢献しており有効性があり、また、費用対効果もあると判断できる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

高齢者数は増加傾向だが、若年高齢者の老人クラブへの加入が少ない状況のため、加入者は年々減少傾向となっており、加入者自体が高齢化している。
令和2年度と比較すると、令和3年度は8クラブ減少し、会員数が約950人減少している。
高齢者がいきいきと暮らせるための活動の場として、老人クラブは必要であり、今後も活動を続けていけるよう助成を継続する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑥障がい者福祉の充実		

事業番号	4601	事務事業名	じりつ支援協議会運営強化事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	相談支援グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

障がい者及び障がい児（以下「障がい者等」という。）の地域生活を支援するため、地域の関係者によるネットワークを構築する。
関連する関係機関や関係団体、保健、医療、福祉、教育、就労等の多分野・多職種による関係者が地域の実情に応じた支援体制の整備を図るという共通の目的に向け、情報や地域の現状・課題を共有し、連携を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・加賀市じりつ支援業議会全体会は1回（リモート）、推進会議は2回（集合）、運営会議は4回うち1回は臨時（リモート×2、ハイブリット）開催した。
・各種専門部会にて取り組みを行い、各課題において解決策を検討した。
つながり部会（3回開催）にて当事者からの生活アイディア・工夫点の発信・課題整理を行った。
こども部会（9回開催、内コア会議6回）にて障がい児に関わる障がい福祉サービスを含む社会資源の把握、支援の連携体制について課題整理、具体策の検討を行った。
おとな部会（5回開催）（地域ケア会議、就労、計画策定）障がい福祉計画・障がい者の就労・地域移行の検討を行った。
まなび部会（5回開催）にて資質向上に必要な研修体系、研修会の企画・立案を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	103	一般会計	3	1	2	2	34	じりつ支援協議会費	3
②									
③									
								関連決算額合計	3

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	障がい者等を地域で支える仕組みを考え、必要な情報を交換できる場として、今後も継続的に開催することが必要である。地域課題解決に向け各部会で、できることから一歩一歩進めていき、障がい者等の支援について協働する場として機能させる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

障がい児相談対応はR4年度より子育て応援テーションが担う体制となり、こども部会での取り組みが強化された。
各部会で課題整理し、それぞれの解決策を検討するとともに、サービス提供体制を含む社会資源等の取組みについては、障がい福祉計画に向けて整理していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑥障がい者福祉の充実		

事業番号	4602	事務事業名	理解促進研修・啓発事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	ふれあい福祉グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

障がい者及び障がい児や障がい特性等に関する地域住民の理解を深めるため、または障害福祉分野において様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合う「心のバリアフリー」の推進を図るため、研修及び啓発活動を実施することにより、障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去及び共生社会の実現を図ることを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・市内小学校等の総合学習の一環として取り入れている「小学生等のための手話教室」を小学校6校にて、1学級につき全8回開催したほか、高校1校2学級でも開催した。
感染対策をとり、学校に出向いて対面での手話教室を行い、手話をとおして障がいや障がい者等に対する理解を深め、福祉意識の育みに努めた。
・令和元年度に作成した手話理解啓発のためのリーフレットを700部増刷し、令和4年度に市内商業施設や各郵便局、小学生のための手話教室等で配布予定。
・加賀市独自の手話単語10単語を作成し、加賀市ホームページ「Kaga Signs」に動画を掲載した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	108	一般会計	3	1	2	2	30	理解促進研修・啓発事業費	626
②									
③									
								関連決算額合計	626

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

障がい者施策を展開していく上で、人のこころのあり方が非常に重要な要素を占めている。
この事業により、直ちに目に見える形でその効果が表れるようなものではないが、一人でも多くの人のこころから障がいや障がい者に対するバリアを取り除いていくことが、障がいの有無にかかわらず、「あたりまえの生活」ができるまちづくりに資するものとなる。
手話への理解の促進、手話を使いやすい環境づくりなどのため、「加賀市手話施策推進方針」に基づく施策を推進する必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・「手話教室」については、特定の学校に偏ることなく、市内小学校、高校にも広く開催を呼び掛けていき、より多くの児童生徒に手話学習や手話をとおして障がいや障がい者等について考える機会を与え、「心のバリアフリー」の推進を図る。
・手話への理解の促進、手話を使いやすい環境づくりなどのため、「加賀市手話施策推進方針」に基づく施策を推進する。
・手話施策だけではなく、身体障がいや知的障がい、発達障がいなども含めて広く住民へ障がい理解の促進を図るため、講座などの実施に向けて検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(6)③1
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑥障がい者福祉の充実		

事業番号	4603	事務事業名	就労支援ネットワークの強化・企業等への働きかけ事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	ふれあい福祉グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

①就労支援ネットワークの強化
　障がいのある人の一般就労を促進することを目的とし、加賀市・小松市・能美市・川北町の3市1町の福祉団体、行政、企業等で構成された南加賀就労支援強化連絡会に参画し、連携を図る。
②企業等への働きかけ事業
　就労対策は障がい者の自立と社会参加にもっとも有効的かつ効果的な方策であり、障がい者の自己実現のための機会を提供できるものとなる。働くことを希望する障がい者に対して、その意欲と能力に応じて就労できるような、また、就労した障がい者が継続的に就労していけるような支援体制を確立する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①南加賀就労支援強化連絡会は、働く人の情報誌クローバーを年2回発刊し、全戸配布を行っている。
　また、本連絡会主催の障がいのある人を対象とした個別相談会を新型コロナウイルス感染症の影響で、小松と加賀で分散して実施としたが、加賀会場は申込がなく中止。企業向けのセミナーは、オンラインで2回開催した。ほかに合同面接会（小松と加賀で開催）にも参画している。
②就労支援対象施設への専門的な支援、情報の提供、関係機関との連絡、調整等を行うための相談支援機能強化事業（就労強化）を、専門的職員を配置している障がい者基幹相談支援センターに委託して実施した。
　相談支援機能強化事業（就労強化）において、就労支援体制検討会（市、基幹相談支援センター、相談支援事業所かが、こまつ障害者就業・生活支援センター、ハローワーク加賀、加賀商工会議所、就労移行支援事業所）を5回開催し、企業訪問に向けたアンケートを実施したほか、ハローワーク主催の障がい者と企業をつなぐ合同面接会（1社、3名参加）の周知協力をした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	①活動を通じて、事務局の障害者就業・生活支援センターや、その他参加する団体から得られる情報は、市が行う企業へのはたらきかけにも有効な情報となっており、今後も継続的に参加することが必要である。 ②障がい者の社会参加や自立の促進と就労人口の減少に伴う企業の人手不足や法定雇用率を満たしていない企業が上手くマッチングできれば、相乗効果となるため、有効性は高いと考える。また、企業に対する障がい者理解の促進については、チラシなど少ない費用で行えるが、企業訪問などは時間と人的な労力がかかるため、今後も複数年をかけながら、継続的に取り組んでいくべき事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

①就労をテーマとして関係機関が集まる任意団体であり、当市も継続して参加する。また、本連絡会とは別になるが、加賀市じりつ支援協議会の就労に関する協議を行う「おとな部会」との連携を図る。
②企業に対する働きかけについては、障がい者理解を今後も長期的な視野で続けていき、少しずつであっても着実に障がい者理解と障がい者雇用が進んでいくよう、企業に対する有効的な働きかけを常に検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(7)③2
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり		
施　策	⑥障がい者福祉の充実		

事業番号	4604	事務事業名	スマートインクルージョン推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	ふれあい福祉グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

障がいのある人もない人も、すべての人が住みやすい加賀市の実現を図るため、AIやIoT等の最新技術を活用し、障がいのある人のサポートと社会参加を進めるスマートインクルージョンを推進する。
障がいのある人の就労支援の一環として、働く意欲がある障がいのある人を対象に、多様な就労形態の確保に向け、テレワーク型障がい者雇用に関するセミナーや求人を行っている企業を紹介していくことで、一般就労への雇用につなげていく。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

テレワーク型障がい者雇用の推進として、株式会社D&Iと連携協定を令和元年度に締結している。
令和3年度は、オンラインで「テレワーク型障がい者雇用セミナー」を2回、「オンライン模擬面接会」を1回開催した。参加者のうち1名が、一般就労で雇用された。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	108	一般会計	3	1	1	4	10	スマートインクルージョン推進事業費	10
②									
③									
								関連決算額合計	10

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	テレワーク型障がい者雇用の推進では、在宅勤務という選択肢が増え、通勤ができなかったり、勤務先での業務が困難な障がいのある人の雇用が期待される。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

・障がい者情報一元化をはじめ、スマートハウス事業、スマートモビリティ事業については、デジタル田園健康特区の取り組みとも併せて引き続き検討を進めていく。
また、視覚障がい者が日常的に安心して暮らせるよう、AIスピーカーの購入助成を行う予定である。
・テレワーク推進事業では、ICTを活用し、障がい者の就労の機会拡大を図っていく。
令和4年度は、障がい者対象以外に、支援者向けのセミナーを開催する予定。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(3)③1
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	―		

事業番号	5001	事務事業名	市民窓口や市ホームページなどでの多言語対応の推進		
所管部局	市民健康部 政策戦略部	所管課	窓口課 スマートシティ課	グループ	戸籍グループ 広報・人口対策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市民窓口や市ホームページなどでの多言語対応の推進し、就労や留学等で本市に住む外国人が、市政情報や日常生活で必要な情報を快適に収集できる環境を整備する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

窓口で、外国人が転入した場合などに、該当する言語の『加賀市生活ガイド』(6か国語)や『外国人のための防災ガイドブック』(4か国語)などをお渡しするほか、手続き等で説明が必要な場合は通訳機「ポケトーク」を利用しコミュニケーションを図っている。また、市ホームページでは6か国語(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、インドネシア語、マレー語)へ翻訳でき、すべての記事が翻訳対応になっている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	85	一般会計	2	1	4	1	2	一般経費	3,240
②									
③									
								関連決算額合計	3,240

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	「加賀市多文化共生社会づくり指針」に基づく事業であり、市ホームページは緊急情報等もタイムリーに閲覧できるため、必要不可欠な事業である。また、多言語対応の案内書などを渡すことで、外国人が住みやすいまちとなるように努めている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

近年、多く転入しているベトナム人に対応する言語のものが少ないので、観光交流課と連携して準備をするよう努める。市ホームページも現状の翻訳システムを継続しながら、外国人登録者の内訳に応じて、言語の追加等も検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)④1
基本方針	5. みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	①市民交流・まちづくり活動の活性化		

事業番号	5101	事務事業名	まちづくり事務局助成事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	まちづくりグループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市コミュニティ補助金交付要綱に基づき、21地区のまちづくり推進協議会の事務に従事する職員に要する経費について助成を行うことで、 まちづくり運動に関する運営の強化充実を図る。
また、まちづくり事務局に安定的な財政支援を行い、組織の運営体制を根幹から支え、地域が主体となった住民自治・参画を促す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

21地区26人の事務局職員に対して、まちづくり推進協議会の活動に必要な事務局費（事務局職員の賃金や電話の基本料等）を助成している。事務局は、市への申請書や報告書等の作成はもとより、各事業を行うにあたっての地域住民への周知業務や、事業に必要な資材の購入等の予算管理を行っている。これらの活動を通じて、地区の自治機能が構築され、さまざまな人材や組織の集約がされるようになっている。
令和3年度も令和2年度と同様に、コロナ禍において通常通りの活動ができない中、事務局職員の工夫によってまちづくり活動に係る事務を行っていた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	51	一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	36,009
②									
③									
								関連決算額合計	36,009

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	事務局の運営に欠かせない職員の確保や、そのための安定的な財政支援があることで、各地区のまちづくり活動が円滑に行われているため、本事業は有効と考える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

まちづくり運動に関する運営の強化充実を図るため、まちづくり推進協議会の事務に従事する職員に要する経費等について引き続き助成していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)④2
基本方針	5. みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	①市民交流・まちづくり活動の活性化		

事業番号	5102	事務事業名	まちづくり活動助成事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	まちづくりグループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市コミュニティ補助金交付要綱に基づき、21地区のまちづくり推進協議会が自らまちづくり活動を企画、立案、実践するために要する経費を助成することで、地域住民の自治活動の活性化を図る。
また、住民相互の連帯感を育て、安心安全な日常生活を営むことができるよう社会環境を整備する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

一般活動費の助成対象である福祉・環境・防犯防災・学習レクレーション等の計画した活動の多くは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や規模縮小、方法を変更して実施されている。
また、地区広報紙発行費に対して助成を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	51	一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	36,378
②									
③									
								関連決算額合計	36,378

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	高い	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	コロナ禍において、人が多く集まって行われるまちづくり活動は制限がある中でも、規模縮小や内容を変更して実施し、地域住民の連帯感を深め、地域の活性化を図っている。 住民相互の連帯感を育て、快適で安全な日常生活を営むことができるように、文化祭や運動会、防災訓練等の地域が主体となったまちづくり活動への助成は、有効であると考える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

住民相互の連帯感を育て安心安全な日常生活を営むことができるよう社会環境を整備するため、地区が行うまちづくり活動に要する経費に対する助成を継続する。新型コロナウイルス感染拡大防止による、活動中止や内容変更があった場合には、地区からの要望が多い助成金の使途に柔軟に対応できるように、補助金の使途に関するルールを見直しする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	①市民交流・まちづくり活動の活性化		

事業番号	5103	事務事業名	公民館大会の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地区会館の活動紹介や各地区の生涯学習活動の発表を行う公民館大会を隔年で開催することで、広く市民が生涯学習の推進やまちづくり活動の充実を図ることを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

公民館活動を市民の方に知ってもらう機会として、令和3年11月に第5回公民館大会を市民会館で新型コロナウイルス感染対策として、人数制限や時間短縮などを行い規模を縮小して開催した。
大会は、青山学院大学鈴木眞理教授による講演、2地区公民館からの事例発表、アトラクションとして「加賀市の獅子舞」に関する講演と獅子舞を行い、150名の参加があった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	270	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	138
②									
③									
								関連決算額合計	138

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	公民館長が中心となって企画・運営することにより、地域との連携、協力が生まれ、公民館活動の推進と生涯学習の理解が深められる。また、日頃の公民館活動の事例発表を行うことで、公民館の活性化を図る。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

公民館長の任期を2年としているので、2年ごとの隔年の開催であるが、任期1年目から大会を目指して公民館活動やまちづくり活動など、地域の特色を生かした活動ができるよう、地域住民との連携を図る。また、取り組んだ活動の事例発表を行い、公民館の活性化を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(2)①4
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	②若者などの移住・定住の促進		

事業番号	5202	事務事業名	移住住宅（若年層定住住宅）取得助成等事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	広報・人口対策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

人口減少への対策として、移住定住を促進するため、平成27年度に加賀市への移住者を対象とした移住住宅取得助成事業を開始、これに加え、平成30年度からは若年層定住住宅取得助成事業を開始し、本市への定住促進と活力あるまちづくりの推進、地域経済の活性化を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①移住者住宅取得助成事業
　市外からの転入者に住宅取得費の一部を助成
　R3交付実績　47件、45,850千円、移住者数118人
②若年層定住住宅取得助成事業
　45歳未満の方に住宅取得費の一部を助成
　R3交付実績　96件、43,800千円
③若年層住宅改修等助成事業
　三世代で同居している45歳未満の方に住宅改修・改築・増築費用の一部を助成
　R3交付実績　8件、2,297千円

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	13	3	移住・定住促進事業費	91,947
②									
③									
								関連決算額合計	91,947

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	令和3年度には、移住住宅取得助成事業で47件の申請を受付し、27件の新築住宅、2件の建売住宅、18件の中古住宅（空き家バンク登録物件）の取得に対して助成。若年層定住住宅取得助成事業で96件の申請を受付し、90件の新築住宅、5件の建売住宅、1件の中古住宅（空き家バンク登録物件）の取得に対して助成。若年層住宅改修等助成事業で8件の申請を受付し、住宅改修に対して助成。 移住住宅取得助成事業を利用し移住した47世帯117人のうち35人が県外からの移住者、約50%が子育て世帯、約25%が地元の業者を利用し、若者の定住や地域経済の活性化が図られた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

移住住宅取得助成事業、若年層定住住宅取得助成事業を一本化し、対象を45歳未満とすることで若年層の加賀市への移住・定住促進を図る。また、加算要件項目や加算金額の見直しや新たな補助事業の運用を開始することで、空き家の利活用を促進し、市内の空き家の減少につなげていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	②若者などの移住・定住の促進		

事業番号	5203	事務事業名	ワーケーション・テレワーク環境整備事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

首都圏在住者の地方移住への関心の高まりを受け、本市でのワーケーションを促進するとともに、高度人材やe-residencyを加賀市に呼び込み、移住定住につなげるために、市内3温泉の旅館にて滞在型（概ね5泊以上）ワーケーションを実施するとともに、旅館によるワーケーション環境の整備（Wi-Fi、机、椅子等）に対し助成する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

滞在型ワーケーションは実施しなかった。（県が同様の事業を実施したため）
旅館によるワーケーション環境の整備は、2件助成した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	13	3	移住・定住促進事業費	179
②									
③									
								関連決算額合計	179

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、本市への来訪者を増やすことに寄与し、関係人口の増加につながるものであり、旅館のワーケーション環境を整備できたことは有益であった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度に実証を予定しているe加賀市民制度の中にワーケーションが包含されることから、ワーケーション事業として単独で実施するのではなく、e加賀市民制度の中にワーケーションの制度を構築していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(2)①1,2,5 2(2)③1
基本方針	5. みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	②若者などの移住・定住の促進		

事業番号	5204	事務事業名	定住促進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市への新しい人の流れをつくるため、次世代の担い手を確保し、地域の振興を図り、加賀市への移住・定住を促進する。産官学金からなる加賀市定住促進協議会と協議を重ねながら、市の移住・定住方針を決定する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

(1)加賀市定住促進協議会の開催(3回)

(2)働き方改革の指導
①事業所等への実態調査(14社)
②事業所等への就労環境の改善提案

(3)移住・定住相談のサポート
①移住・定住相談のサポート(210組409人)
②「お試し居住」体験の家(かりぐらしの家、田舎ぐらしの家、温泉ぐらしの家)の管理運営

(4)移住希望者への情報発信強化
①ポータルサイト「加賀でかがやく」の管理運営(年度内セッション数38,710)
②Facebook「加賀市定住促進協議会」1日平均リーチ数135件
③移住ガイドブック「加賀でかがやく」の更新
④移住促進イベントへの出展(3回)

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	86	一般会計	2	1	8	13	3	移住・定住促進事業費	7,250
②									
③									
								関連決算額合計	7,250

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	移住コーディネーターや「お試し居住」体験の家の活用など、移住検討者のニーズに対応するきめ細かな移住・定住相談とサポートにより、令和3年度においては24組41人の移住につなげることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、都市から地方への移住を希望する方が増えていることから、本事業を実施する意義は十分にあり、事業を継続していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

地域の雰囲気や移住検討者と市内事業者とのマッチングを進めるためには、市内事業所における働き方改革や企業の魅力向上は必要不可欠であり、今後、ターゲットに合わせた情報発信を効果的に織り交ぜるなど、移住検討先の一つとして加賀市が候補となるような取り組みを更に進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	②若者などの移住・定住の促進		

事業番号	5205	事務事業名	空き家を活用した住宅整備事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

本市の空家率は19.9%と全国的にも高い比率であり、居住可能な状態のうちに、空き家を利活用したい人へつなげることが必要である。
本事業は、水回りなどの最低限の改修で利活用可能な空き家の発掘を行い、「中長期滞在型お試し居住体験の家」として整備することで、家族単位での移住を検討する方等の居所問題の解決につなげ、空き家の減少とともに、移住・定住人口及び関係人口の増加を図るものである。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

5軒の整備を目指し募集や空き家の発掘を行ったが、応募のあった物件は補修費が多額となるものが多く、本事業の予算に見合う物件がなかなか見つからなかったため、大聖寺五軒町と柴山町に所在する物件2軒の整備にとどまった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	13	3	移住・定住促進事業費	6,934
②									
③									
								関連決算額合計	6,934

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本市の空家率は依然として高く、人口減少に伴い今後も多くの空き家が発生することが想定されるため、本事業を引き続き実施し、所有者と利用希望者のマッチングを行い、移住に対する心的ハードルを下げていく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和3年度の結果を受け、令和4年度は3軒の改修を目指し発掘を進める。あわせて、整備した物件については、移住検討者へ個別アプローチを行うことで有意義な活用につなげていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	②若者などの移住・定住の促進		

事業番号	5206	事務事業名	高校魅力化事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内中学生や高校生が地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取り組みや市内高校活動支援を推進する。これにより、若いうちに地元地域の良さを知ることにより地元への定着を促進するとともに、地域活動に中学生・高校生が参画することにより地域の活性化を図ることで、市内中学生の市内高校への進学率を上げ、教育環境の充実や将来の若者の定住促進を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市内中学校・高校の総合的な学習（探究）の時間を支援するため、教育活動や探究的な活動の経験のある地域おこし協力隊3名を高校魅力化スタッフとして採用した。高校魅力化スタッフは各高校との連携し、授業支援に取り組んだ。

また、市内中学生・高校生の課外活動等を支援するため、「若者の居場所づくり」をコンセプトとした大聖寺駅前フリースペース「ここらぼ」をオープンした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	249	一般会計	10	1	2	3	4	教育振興事業費	22,078
②									
③									
								関連決算額合計	22,078

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	令和3年度は年度途中からの高校魅力化スタッフの採用により、年間を通した計画的な総合的な学習（探究）の時間の支援を十分に行えなかったが、県と市という枠組みを超えた活動や関係構築を図ることができた。 また、大聖寺駅前のフリースペースを活用し、中学生・高校生の放課後の活動拠点を準備することで、地域活性化への第一歩となった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

高校活動支援では、令和3年度に引き続き、年度当初からの探究授業への参加や地域連携のサポートを行うとともに、キャリア教育や進路実現に向けてのサポート、中学生や保護者に向けた高校PRサポートなど支援内容を拡充させることで、市内高校の認知度や魅力度の向上につながる活動を展開する。

駅前フリースペースの運営では、活動拠点としてフリースペースやコンピュータークラブハウスを活用し、放課後の新たな探究活動の立ち上げ・運営を行うことで、中学生・高校生の放課後の課外活動の充実を図り、地域活性化につなげる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	５．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	③独身男女の願いを叶える出会いの創出		

事業番号	5301	事務事業名	婚活支援事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

結婚を希望する若い世代の男女の出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまでの希望が叶う環境を整える。また、近隣市町に比べて高い未婚率の低下に向けて、ポータルサイトを活用した情報発信を進め、結婚や子育てに対する魅力や知識の浸透、出会いの機会の創出に取り組む。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

結婚＆子育てポータルサイト「kagaみん」において、結婚・妊娠・出産・子育てに関する情報発信を行った。
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントやセミナー等は開催できなかったが、個別相談やお見合いなど少人数での活動を多く実施し、婚活支援を行った。
結婚を希望する独身男女の出会いをサポートする地域の仲人「かが縁結びさん」が、独身男女のマッチングシステム「かがこい」において、R3年度に1組成婚した。しかし、「かがこい」については、登録が無料であるため民間で受入れ不可能な方の登録が多く、婚活会員からは不満が出ていることから、令和3年度をもって制度を廃止した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	12	1	縁結び支援事業	1,188
②									
③									
								関連決算額合計	1,188

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	縮小
評価に関するコメント	平成28年度から実施した婚活支援事業により、令和3年度までに17組が結婚に至った。しかしながら、公機関が実施する縁結び支援事業には制約が多いため、柔軟に対応できる外部団体へ事業を委託し、市として行う縁結び支援事業は縮小していくべきと判断する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

結婚・子育て世代が必要とする情報の発信強化に取り組むとともに、結婚を希望する独身男女に対して、きめ細かなサポートと柔軟な対応ができる外部団体に縁結び支援事業を委託する。
しかしながら、昨今は多様なライフスタイルや考え方を尊重する時代であり、結婚という一つの価値観の押しつけにならないよう、結婚を推進する取組に関しては、継続の有無も含め慎重に検討することとする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	④人権が尊重される社会の形成		

事業番号	5401	事務事業名	人権啓発教育事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	男女共同参画グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

国(法務局)及び県と連携し、人権啓発講演会の開催、「人権の花」運動の実施、リーフレットの配布及び啓発看板の設置等の活動を展開し、人権擁護委員による人権啓発人形劇等の各種啓発活動や人権相談の実施と合わせて、市民一人ひとりの互いに尊重し合う心を育み、人権侵害や差別のない社会を目指すことを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のまん延により、例年実施している人権啓発人形劇を始めとした対面型の人権啓発活動は制約され、一部の活動については実施を見送ることとした。
そのような状況の中で、差別のない社会を目指すため、国(法務局)、県及び人権擁護委員と連携し、定例の人権相談、小学校での「人権の花」運動を実施するほか、自己形成過程にある中学生の人権意識を育てることを目的とした講演会を実施した。
また、人権週間に併せて、リーフレットの配布、看板の設置、図書館での企画展を行うほか、図書館において人権啓発図書を購入し、市民への周知啓発を図った。そのほか、新型コロナウイルス感染症の患者等への差別の解消のため、令和2年に引き続き広報媒体への啓発記事の掲載、施設への啓発冊子の設置を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	54	一般会計	2	1	16	1	1	人権啓発教育費	2,392
②									
③									
								関連決算額合計	2,392

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	社会の成熟化、少子高齢化、情報化社会の進展などにより社会環境は変化しており、従来の人権問題に加え、性的少数者への偏見や新型コロナウイルス感染症患者等への誹謗中傷など、新たな人権問題が発生し、社会問題となっている。 人権侵害や差別のない社会を実現するためには、一人ひとりが人権問題を正しく理解し、相手を思いやる心を持って行動することが重要である。 人権啓発活動は、市民の人権尊重の気運を醸成し、人権侵害や差別のない社会実現に有効であるため、今後も国、県、人権擁護委員と連携して人権啓発活動を推進する必要があることから本事業を継続する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

人権侵害や差別のない社会を目指すため、引き続き国(法務局)、県、人権擁護委員等と連携して、学校や保育園における啓発活動を継続するほか、人権相談や人権啓発講演会、人権週間における啓発活動の取組を継続する。
また、新型コロナウイルス感染者等への誹謗中傷、性的少数者への無理解や偏見等、社会環境の変化に伴い多様化する人権問題について市民が正しく理解することができるように、引き続き周知啓発の取組を継続する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(3)②1
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑤男女共同参画の推進		

事業番号	5501	事務事業名	男女共同参画推進事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	男女共同参画グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

男女共同参画社会の実現に向けて事業を展開する。市民を対象とした講演会や講座の開催、事業所向けに情報紙やフェイスブック等のSNSを活用した情報提供、人材の育成を目的とした女性団体への活動支援、イベントやアンケート配布等の機会を捉えた啓発活動等を行うことで、あらゆる分野で男女が活躍できる社会の実現を目指す。また、男女共同参画の推進状況を把握し、市男女共同参画プランを策定する上での基礎資料とするため、定期的に市民の意識や事業所の実態を調査する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

男女共同参画審議会を4回開催し、昨年度実施した市民及び事業所の意識調査を基に第4次加賀市男女共同参画プランを策定した。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権啓発費を利用した男女共同参画講演会、男女共同参画啓発講演会、モデル地区講演会は実施を見送ったが、「男女共同参画週間」や「女性に対する暴力をなくす運動」に併せての啓発活動は行った。
また、事業所向け啓発活動として、情報誌「い・Call」の発行（年2回）を行った。
町内会に向け、役員への女性登用を呼びかけるチラシを配布した。
コロナ禍により孤立の不安や経済的な困難を抱える女性の相談体制として市内の事業所2箇所に相談事業を委託することでの体制づくり、生理用品の配布を行うことで社会との絆・つながりをサポートする事業を展開した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	53	一般会計	2	1	13	2	1	男女共同参画費	2,739
②									
③									
								関連決算額合計	2,739

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は加賀市における男女共同参画社会の実現を目的としているが、いまだ実現していない状況であることから、今後も継続して実施することが必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

第4次男女共同参画プランの実現に向けて、男女共同参画週間や講演会、モデル地区での事業などの啓発活動を通じて、町内会の役員や女性管理職の割合向上などの男女共同参画社会の実現を目指す。また、配偶者等からの暴力（DV）相談窓口の周知や他部署と連携した被害者支援を行い、DVの根絶を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	５．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑥ボランティア活動の推進		

事業番号	5601	事務事業名	地域ヤングボランティア育成事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地域で地道に善行を行っている青少年グループ及び個人に「加賀市青少年善行奨励賞『あすなろ賞』」を授与し、善行を更に奨励するとともに、一般への周知を図り他の青少年の善行を促し、青少年健全育成活動を推進することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度　加賀市青少年善行奨励賞『あすなろ賞』は対象団体がなかった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	275	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	平成29年度「加賀市青少年善行奨励賞『あすなろ賞』」に受賞した団体が、平成30年度に青少年健全育成当に係る石川県知事表彰に受賞していることから、市で表彰し、善行を続けている団体等を県表彰につなげていきたい。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため、活動が自粛しており、推薦を依頼しても上がってこないのが現状である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後も広く推薦を依頼し、善行を行っている個人及び団体を表彰する。あすなろ賞を受賞した個人及び団体は、活動内容を精査し、石川県知事表彰『石川県青少年育成表彰』につなげ、青少年善行活動を奨励していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)②2
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5701	事務事業名	防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

あらゆる災害から市民の生命・財産を守るため、防災情報を一斉に伝達できる防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）を整備し、安心して暮らせる環境づくりを推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

本事業は、平成26年度から令和5年度までの10年間をかけ整備する計画としている。
令和3年度は、戸別受信機12,139台の整備を行い、緊急時や災害発生時における市からのサイレン、チャイム、音声放送による情報伝達のほか、町内会による町民に対しての行事等の音声案内も可能となった。
また、受信品質向上のため、既設の屋外拡声子局（スピーカー）のうち16カ所に再送信機能（アンテナ）を追加する工事を実施した。
令和4年度は、引き続き戸別受信機の整備に着手するほか、屋外拡声子局（スピーカー）の増設工事を実施する。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	64	一般会計	9	1	5	5	2	防災情報伝達システム整備費	132,701
②	64	一般会計	9	1	5	92	1	防災情報伝達システム整備費（繰越明許分）	228,314
③	64	一般会計	9	1	5	80	1	防災情報伝達システム整備費（事故繰越分）	129,857
								関連決算額合計	490,872

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	屋内の住民に災害時等に一斉に情報伝達することができる戸別受信機の整備により、適切な避難行動を呼びかけることができるようになった。引き続き市内全地区で戸別受信機の整備を実施することが有効である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

本事業は防衛省の補助金を活用している関係から、整備完了期間が長期に渡っている。
事業期間の短縮に向けて防衛省と協議を継続して行い、防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）の早期完成に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5702	事務事業名	総合防災訓練開催事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地震、津波、風水害などの各種災害発生時の円滑な応急対策に資するため、市民、防災関係機関、市などが一体となって企画・運営する、自助・共助を中心とした総合的な防災訓練を実施し、子どもから大人まで市民の方一人ひとりが、日常時から災害時において「自ら何をすべきか考え行動できる」よう、体験や展示を通して防災意識の高揚と知識の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度の総合防災訓練は、新型コロナウイルスの市中感染が続く中での開催で、片山津中学校を主会場に、片山津小学校や片山津地区会館等を一時避難所とするなど、感染拡大防止を考慮して参加人数を絞った訓練とした。

主会場の片山津中学校では、アバターを活用した傷病者診断や段ボールベッド、パーティションの組立指導など、同校の中学生が参加した訓練のほか、ドローンによる災害情報収集訓練、瓦礫の下敷きとなった自動車からの救出訓練など、住民に幅広い防災対策や緊急時に命を守る術を教示し、自助、共助の大切さを示した。

また、副会場の三木地区及び湖北地区では津波対応訓練、分校地区ではため池災害避難訓練を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	65	一般会計	9	1	5	3	1	防災訓練費	697
②									
③									
								関連決算額合計	697

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	総合防災訓練の企画段階から地域住民や防災関係団体などと協議を重ね、コロナ禍における避難の方法や避難所の運営方法等を工夫し、市民一人ひとりの防災・減災に対する関心を高め、自助・共助による地域防災力の向上を図った。 万が一の災害に備え、平時からの防災意識の高揚と知識の習得のためには、総合防災訓練の継続実施が非常に有効である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民や事業者が災害時において、「自らが何をすべきか考え行動できる」よう、地域や加賀市防災協議会を初めとする民間防災関係団体などと協働して、新たな訓練を取り入れた総合防災訓練を継続的に実施していくことにより、地域の防災・減災力の更なる向上を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5703	事務事業名	防災備蓄倉庫備蓄資機材等購入事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

災害時に必要となる飲料水、食料（乳幼児用の粉ミルクを含む。）、毛布、生理用品、資機材などを備蓄し、避難者の生活を支えることにより、市民の安心・安全を確保する。
また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため必要な物資を確保し、災害時に避難所を開設する際にも十分な感染防止対策を講じる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

飲料水やアルファ米、乳児用粉ミルクのほか、紙おむつやおしりふき、生理用品などの、避難所での生活に必要な物品を購入した。
また、非常用発電機や簡易トイレ等の資機材を購入し、各地区会館への分散備蓄を行った。
さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止のためプラスチックグローブや保護メガネ、顔認証型AIサーマルカメラ等の感染予防用品の備蓄を行ったほか、避難所でのプライベート空間の確保のためのブースを購入した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	65	一般会計	9	1	5	3	2	防災活動推進費	14,122
②									
③									
								関連決算額合計	14,122

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルスの市中感染が続く中、感染拡大防止のための感染予防用品の購入は有効性が非常に高い。 また、災害時の避難所生活において必要となる食糧や資機材の備蓄の必要性も非常に高い。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

引き続き新型コロナウイルスの感染予防用品の購入を進めるとともに、避難所における生活必需品やアルファ米、飲料水等についても、女性の意見を踏まえて備蓄を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)②3
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5704	事務事業名	消防施設・設備整備事業		
所管部局	消防本部	所管課	消防総務課	グループ	総務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

大規模災害が発生した場合の災害活動拠点となる施設・設備の安全性及び耐震性を確保し、もって被害の軽減及び住民の安全を確保できるよう、防災機能の向上を図ることを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

施設の経年劣化や節電のため、消防本部訓練塔建替えの実施設計を行った。また、消防本部車庫内の照明器具をLEDとする改修工事を実施した。
さらに、地域の安心安全を確保する拠点施設として、山代分署及び大聖寺第2分団車庫に整備されているホース干し器具の改修を実施し、消防職員、消防団員が活動しやすい環境整備と各種災害に対する消防力の充実強化を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	242	一般会計	9	1	1	3	5	維持補修費	5,115
②	246	一般会計	9	1	3	1	4	維持補修費	1,456
③	246	一般会計	9	1	3	3	6	庁舎等施設整備費	2,015
								関連決算額合計	8,586

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	消防庁舎及び消防団分団車庫は、大規模災害時において災害活動拠点となることから、被災や老朽化等により使用不能となることがないよう維持管理し、さらに備えとして施設・設備の機能強化が必要不可欠であり、今後も事業を継続する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

消防本部訓練塔及び消防団分団車庫など建築後30年以上が経過し老朽化した施設や設備の更新・改修が必要となってきている。さらに、消防設備について、平成25年度に整備した高機能消防指令システムが間もなく更新時期を迎えるにあたり、次世代に向けたシステムのあり方、仕様、更新スケジュールなど入念に検討する必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)②3
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5705	事務事業名	消防車両整備事業		
所管部局	消防本部	所管課	消防総務課	グループ	総務グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

災害等の発生に備えて、老朽化した消防車両を計画的に更新することにより、安全確実な消防力の強化を図り、安心安全な地域社会を形成することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

消防署配備のはしご車に安全確実な活動のため分解整備（オーバーホール）を実施した。また、山中第2分団の消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を緊急防災・減災事業債を活用して更新した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	246	一般会計	9	1	3	3	2	消防車両整備費	51,742
②									
③									
								関連決算額合計	51,742

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	高い機動力をもって迅速かつ的確に災害活動や対応に当たるため、各消防車両を適正に管理整備していくことは不可欠であり、本事業を継続する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

これまでの事業の継続と、今後も適切な更新計画により、車両整備計画を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)②3
基本方針	5. みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5706	事務事業名	消防水利整備事業		
所管部局	消防本部	所管課	警防課	グループ	警防グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地震災害や大災害、同時多発火災を想定して消火活動に必要な水利を確保し、住民の生命、身体、財産を保護することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

山中温泉本町１丁目地内の道路に埋設されていた防火水槽(15t)及び南郷町地内の防火水槽(30t)を老朽化のため撤去した。また、昨年、新設予定であった防火水槽の設置用地が、山中温泉本町２丁目地内に決定したことから、本年度中に耐震性防火水槽の設置事業を実施する。既存の水利に関しては定期に点検を実施しており、不具合箇所の補修など、常に有効活用できるよう維持管理を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	913	一般会計	9	1	3	2	1	維持補修費	949
②	913	一般会計	9	1	3	3	3	消防水利整備費	1,258
③									
								関連決算額合計	2,207

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	消火栓に偏らず、耐震性防火水槽を整備し、災害に強いまちづくりを推進することで、市民生活の安心安全に寄与するものであり、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

老朽化した防火水槽の移転、改修、廃棄等について新たな用地取得や維持コストなどの課題はあるが、公的施設等を利用し、地震等の災害時に水道管を含む水道施設の被害に備え、耐震性能を有する防火水槽の整備を推進し、消防力の強化を図る。また、給水人口の減少に伴い水道事業者が適正な水道管径を算出した場合、水道管布設替えの際、一部の地区においてダウンサイジング(管径の減径)を余儀なくされ、その場所に消火栓が設置できなくなる問題がある。水道事業会計の観点では、コストの削減に繋がり経費効率が高くなるメリットがある一方で、消火栓が接続する水道管径に適合しなくなり設置できなくなる、この問題の対策については、該当地区において消防力の低下が生じないよう、水道事業者、市関係部局等と調整を図り、防火水槽やタンク水を積載した消防車両等の整備と併せて適切な消防水利の配置実施に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5707	事務事業名	放水器具購入助成事業		
所管部局	消防本部	所管課	警防課	グループ	警防グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

火災の被害を最小限に抑えるには、初期消火が最も効果的であることから、市民に対し防火・防災意識の高揚と防災体制の確立を図るため、消防施設整備の新設、改良等に対する必要な事業について補助金を交付する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

各町からの申請により必要に応じて現地調査を行い、補助実施の要件について審査し必要と認めるものについて、「加賀市消防施設整備事業補助金交付要綱」に基づき、消防器具購入及び施設整備に関する補助金を31町に交付した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	248	一般会計	9	1	3	3	5	自衛消防装備整備助成費	1,267
②									0
③									
								関連決算額合計	1,267

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	この事業は、市内の各町内会が自主的に消防器具等を整備し、火災などに備えるための補助事業で、この事業に対し例年多くの町内会から要望があることから、市民の自主防災に対する意識の高さがうかがえる。 災害に強いまちづくりと市民生活の安心安全に寄与することから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

事業の継続は、減災の観点からも重要であり、今後も現地調査を行い補助の可否や優先度などで決定し、公平で効果的な事業を実施する。また、消火栓の取り扱い講習をはじめ、自主防災訓練の実施などで事業効果を上げ、さらなる自主防災組織の強化を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)②1
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑦防災対策の充実		

事業番号	5708	事務事業名	地域防災組織の育成事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

大規模災害発生時においては被災範囲が広くなることや、自治体職員自身も被災者となり、公助の遅れが見込まれることから、大規模災害発生時においては、市民の生命、身体、財産を守るためには自身や家族の身を守る「自助」や、隣近所の方と助け合う「共助」が重要となる。
この「自助」「共助」を推進するために要となる自主防災組織やその他の防災団体の組織化を図るとともに、これらの団体のリーダーとなる防災士を育成することで、各地域の災害対応能力の向上を図ることを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成30年度までに、地区防災リーダーとなる防災士を1地区当たり8人となる168人の育成を目指してきたが、更なる充実を図るため、平成30年度からは、1町内会当たり1人に相当する防災士を育成すべく、一年あたりの育成数を40人に設定して事業を進め、令和3年度末時点で331人と目標を達成し、これらの防災士は地区防災組織等で活動していただいている。
令和3年度からは、1町内会当たり2人として、一年あたりの育成数を60人に設定し、引き続き防災士の育成に取り組んでおり、令和3年度においては、新たに60人の防災士を育成した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	64	一般会計	9	1	5	3	2	防災活動推進費	14,122
②									
③									
								関連決算額合計	14,122

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業を実施し、防災士が増えることにより、平常には地区防災訓練や地区防災計画の立案等に複数の防災士が従事する機会が増え、住民への防災意識の啓発や救急救命等の知識の向上が図られ、各地区の実情に応じた災害対応能力の向上が期待できる。 また、災害時には災害活動のリーダー又はアドバイザーとして携わり、住民と行政機関等との橋渡しとしての役割も期待できることから、有効性や費用対効果は高い。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

平成30年度からは一年あたり40人の防災士を育成することを目標として取り組んできたが、令和3年度からは、1町内会2名として計約560人、一年あたり60人の防災士の育成に取り組んでいる。
令和4年度は目標育成数を60人とする。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(2)1③
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑧空き家対策の推進		

事業番号	5801	事務事業名	空き家バンク拡充事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

人口減少への対策として、移住定住を促進するため、移住住宅取得助成事業及び若年層定住住宅取得助成事業とあわせ、移住者などが住宅を取得しやすいように空き家の有効活用を図ることで、県内でも高い空家率である本市の空き家の解消につなげる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成27年6月に、中古物件紹介のための空き家バンクを創設した。
（公社）石川県宅地建物取引業協会及び(公社）全日本不動産協会石川県本部との「交流・定住相談等に関する協定書」に基づき、空き家バンク登録にあたり、調査を必要とする物件の調査委託を行った。
・令和3年度 13件依頼
年度初めに固定資産の所有者に送付する固定資産税納付のお知らせにおいて、空き家バンクの周知を行い、空き家バンクへの登録を促した。登録された物件については、市ホームページにて情報を公開した。また、「空き家バンク制度登録促進事業」及び「空き家バンク登録物件契約成立時報奨金」を新たに実施し、空き家バンク制度の拡充を図った。
令和3年度の実績は次のとおり。
・空き家バンクへの新規登録 69件、成約46件
・移住住宅取得助成事業又は若年層定住住宅取得助成事業の対象となった登録物件19件
・空き家バンク制度登録促進事業1件
・空き家バンク登録物件契約成立時報奨金12件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	13	3	移住・定住促進事業費	637
②									
③									
								関連決算額合計	637

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	空き家バンクへの新規登録が昨年度から14件増加した。また、移住住宅取得助成事業及び若年層定住住宅取得助成事業では、昨年度とほぼ同数の空き家が有効活用がされ、市内の空き家の減少、移住定住の促進につながった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

空き家バンクの登録件数は増加しているが、成約数は昨年度とほぼ同数にとどまっている。成約につながらない要因として、物件の劣化が進んでおり、補修に費用がかかることが挙げられる。即座に入居可能な空き家の発掘と成約を促す補助メニューを検討する。また、空き家バンクへの登録や利用申込について、手続きが煩雑であるとの意見があるため、手続きの簡略化、デジタル化を検討する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑧空き家対策の推進		

事業番号	5802	事務事業名	空家等対策推進事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	建築グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

空家の適正な管理を所有者等に働きかけて行くとともに、適正な管理が行われていない空家等に関しては必要な措置を行い、市民の生活環境の保全を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

危険な空き家を解消するため、所有者等の自主的な危険な空き家の解体の促進に努め、33件の自主解体に支援を行った。
また、特定空家2件については倒壊のおそれがあり、通行人及び隣家の住民に危害が及ぶ危険性があるため、代執行により除却を行った。
また、市内全域において各区長からの町内の空き家情報を基に空家等実態調査を行い、空家等の位置把握や老朽度調査を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	228	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費	606
②	228	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費（危険空家等解体助成費分）	14,720
③	228	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費（代執行分）	2,926
④	228	一般会計	4	2	3	2	17	空家等対策実態調査費	6,237
⑤	228	一般会計	4	2	3	2	17	空家等対策審議会費	96
								関連決算額合計	24,585

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市内には多くの空き家が存在しており年々増加傾向となっている。これらの空き家が市民生活に悪影響を及ぼさないよう各事案への対応が必要であり、危険な空き家等への解体補助制度をはじめとした各種支援を継続していくことが重要である。 費用対効果については決して高いものではないが、危険な空き家等の解体を促進し、安心、安全な市民生活を確保するため継続して取組んでいくことが有効である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

国の制度や、他自治体の取組状況等に関する情報を積極的に入手し、市民生活への影響が大きい事案等を優先的に取組み継続していくことが必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑨交通安全・防犯の充実		

事業番号	5901	事務事業名	防犯対策事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市民総参加による交通安全運動を展開し、職場、地域、学校等あらゆる機会を通じて交通安全思想の普及を図り、交通事故の被害者の減少及び交通事故の防止に努める。
また、交通安全に関する地域のリーダーである防犯交通推進隊への支援及び隊員の育成を行うことで、各地区での交通安全活動を充実させ、市民の交通安全意識の高揚を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

防犯交通推進隊による赤ランプ作戦や交通安全教室を開催するなど交通安全の啓発を行った。
また、各地区の防犯交通推進隊隊長で組織する「防犯交通推進隊隊長会議」を毎月開催し、市と警察、推進隊の連携を図るため、防犯、交通安全活動に関する情報を共有した。
さらに、交通安全協会と連携し、高齢者の運転免許証自主返納支援事業を行うことにより、高齢ドライバーの交通事故の未然防止を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	64	一般会計	2	1	11	2	1	交通安全教育費	3,606
②	64	一般会計	2	1	11	2	2	交通安全組織費	8,225
③									
								関連決算額合計	11,831

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	交通事故を無くすることは全ての市民の願いであり、市民に交通安全意識を普及啓発することは、交通事故の未然防止にもつながり、今後も事業の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民の命を守るための交通安全の普及啓発活動であり、継続することは必要不可欠であるため、今後も、警察や各種団体と連携して市民への交通安全思想の普及及び交通安全意識の啓発を推進していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	5．みんなが手をとりいきいきと安心して暮らせるまちづくり		
施　策	⑨交通安全・防犯の充実		

事業番号	5902	事務事業名	防犯対策事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

各地区の防犯活動に対する各種助成を行うことで、市民の安心安全を確保する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・防犯灯設置事業を行う町内会等に対して補助金を交付し、防犯灯の設置及びLED化を支援した。
・市内において様々な防犯活動を行っている加賀市防犯協会に対して補助金を交付し活動を支援した。
・JR各駅の駐輪場の放置自転車を必要な手続きを行った上で撤去した。
・高齢者の振り込め詐欺被害の未然防止を図ることを目的に「通話録音装置貸出事業」を行った。
・県内での凶悪事件の発生等、市民の不安の高まりにより、平成30年度から各町内会等への防犯カメラ設置助成を開始し、令和2年度から企業や個人商店等の事業者も補助の対象者に追加する要件緩和を行っている。
・犯罪被害により不慮の死を遂げた市民の遺族又は重疾病を負った市民を支援するため、令和元年10月から見舞金を支給する制度を設けた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	65	一般会計	2	1	11	3	1	防犯対策費	11,948
②									
③									
								関連決算額合計	11,948

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	防犯対策に関することは、議会や区長会等からの要望も多く、市の防犯対策が市民の安心安全に直結するものであるため、今後も事業の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

防犯対策に関する各地区や町内会等への支援は、市民の安心安全を確保する上で必要不可欠なものであるため、今後も各地区や町内会に対する支援を継続していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	①自然環境の保全		

事業番号	6101	事務事業名	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	生活環境グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市・市民・事業者が一体となって、ごみのポイ捨てや飼い犬・飼い猫のふんの放置、また、路上喫煙のない、観光都市加賀市として美しいまちづくりを推進し、良好な生活環境を確保する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

・例年「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」である10月に「ポイ捨て防止」の街頭啓発（市内中学校の協力によりスーパーマーケットで啓発ティッシュを配布）を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。広報かが10月号に推進月間の記事を掲載した。
・10月の毎週金曜日に、条例で「ポイ捨て等防止重点区域」に指定している加賀温泉駅前周辺において、市担当職員による巡回パトロールを実施した。
・「ポイ捨て防止看板」を作成し、各町内会等の相談に応じてポイ捨て防止看板31枚、ペットのふん防止看板17枚を貸与した。
・加賀温泉駅前周辺と市内三温泉の総湯周辺において、シルバー人材センターに委託し年間延べ47日間、啓発・調査業務を実施し、タバコの吸殻1,141個、ポイ捨てごみ862個を回収した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	195	一般会計	4	2	2	1	1	環境美化推進費	276
②									
③									
								関連決算額合計	276

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	加賀温泉駅前の重点区域と三温泉についてポイ捨て等に関する苦情は一切無かった。 本市は観光都市であり、海外を含めた市外からの誘客を推進するためには、市民の環境美化意識の向上が重要であり、市民や観光客へ「美しいまちづくり」の意識を浸透させていくためには、地道な啓発活動が欠かせないため、今後も事業の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「美しいまちづくり」の実現に向けては、継続的に地道な啓発活動を行うことが必然的であることから、今後も地道な啓発活動を継続していく。
看板等の啓発用品の作成は市民の要望を踏まえて検討する。
　三温泉の「ポイ捨て等防止重点区域」の指定には、景観上の理由等により地元観光協会等から否定的な意見も出ていたこと、また、重点区域化に実効性を持たせるためには、啓発指導員の常駐が必要であるため、「ポイ捨て等防止重点区域」の拡大に向けては慎重な検討を要する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6．豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	①自然環境の保全		

事業番号	6102	事務事業名	クリーンビーチ・インかが開催事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	生活環境グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内の海岸において市民ボランティアによる一斉清掃を行う「クリーンビーチ・インかが」を開催することで、海岸の自然環境の保全と市民のボランティア意識の高揚を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

「クリーンビーチ・インかが」は例年6月第3日曜日（令和3年6月20日）に実施しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、10月10日に延期して実施した。
塩屋、上木、片野、橋立、篠原、伊切の各海岸を市の運営で、黒崎、尼御前、塩浜の各海岸を地元自治会の運営で実施し、参加者は約1，200人、ごみ回収量は約4トンであった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	195	一般会計	4	2	2	1	1	環境美化推進費	662
②									
③									
								関連決算額合計	662

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	多くの市民が参加することで、海岸に大量のごみが漂着している現状を認識する機会となるとともに、市民のボランティア意識の高揚につながっている。また、多くの参加による人海戦術で短時間のうちに大量のごみを回収できるため、費用対効果が非常に大きいことから、今後も事業の継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民に定着している事業であり、事業の費用対効果が非常に大きく次年度以降も継続実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(1)②2
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	①自然環境の保全		

事業番号	6103	事務事業名	地球温暖化対策推進事業（エネルギーマネジメント事業）		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	環境政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地球温暖化に起因する異常気象への対応が全国共通の課題として挙げられている中、本市では人口減少、市外への市内資金流出等による活力低下が大きな課題となっている。これらの課題解決に向け、令和2年3月に「加賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（以下、「実行計画」という。）」を策定し、市内エネルギー需要（地消）を100％地域で生産（地産）した再生可能エネルギーで賄う「加賀市版RE100」を主軸とした事業の展開により、エネルギーの自給自足ができる強靭な脱炭素社会の形成と、地域内経済循環の実現による地域経済の活性化を図る。

●加賀市地球温暖化対策実行計画　温室効果ガス削減目標（R2.3月策定）
　2030年：2013年より30％削減、　2050年：カーボンニュートラル

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

実行計画に定める「家庭向け再エネ設備等導入支援」として、住宅用太陽光発電システム及びリチウムイオン蓄電池設置に対する補助事業を実施した。令和3年度は、更なる再エネの導入促進を図るため、太陽光パネルの設置に関する補助要件を見直し、補助限度額を県内トップクラスの額に引き上げたところ、補助金交付件数が前年度比1.5倍に増加した。太陽光発電と併用することで再エネの自家消費や日中のピークカット等に有用である蓄電池についても、補助金交付件数が前年度比2.2倍に増加した。
その他実行計画に定める事業として、公共施設への太陽光発電設置や食育、脱炭素交通の促進、気候変動への適応施策など各課主導で展開した。

●補助事業実績　太陽光：R1 16件、R2　15件、R3　22件、蓄電池：R1 13件、R2：10件、R3：22件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	197	一般会計	4	2	3	2	11	地球温暖化対策費	4,790
②									
③									
								関連決算額合計	4,790

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	太陽光発電システムは一般家庭で導入しやすい再エネ機器であるが、設置費用が高額であり、導入時の設置者の費用負担が大きい。市の補助金額は平均設置費用の7％相当（実績ベース）であったが、ここ数年横ばいであった補助金交付件数が、補助要件見直しにより伸びたことから、当補助金が機器導入の契機や一助となっていると推察され、制度については継続していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和3年4月に国が2030年温室効果ガス削減目標を46％に引き上げたことから、現在、市の温室効果ガス削減目標は国の目標を下回っている。国を上回る温室効果ガスの削減を目指すため、令和4年度に再エネポテンシャル調査を行い、令和5年度により実効性の高い実行計画へと見直しを行う。
「加賀市版RE100」の実現に向けては、エネルギーの「地産」をより強化した事業展開へとシフトチェンジし、再エネ電源開発を推進していく。家庭向けの再エネ導入支援については、より一層の導入促進と自家消費を促す制度へと見直しを図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6201	事務事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

民間所有の土蔵1件、納屋1件の保存修理事業、及び土蔵1件の修景事業を実施した。
また、北前船の里資料館（旧酒谷長兵衛家住宅）敷地内における水路護岸の保存修理事業と東側板塀の修景事業を実施した。（R2年度繰越事業）
更に、H30年度に被災した水路護岸工事の災害復旧に係る残工事分の実施設計を7月補正により実施した。
加賀橋立まちなみ保存会による保存啓発事業を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	173	一般会計	10	5	4	8	1	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備費	12,208
②	170	一般会計	10	5	3	18	1	北前の里資料館整備事業費	2,970
③	170	一般会計	10	5	3	96	1	北前の里資料館整備事業費（事故繰越）	31,658
								関連決算額合計	46,836

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	船主集落を保存整備し、地域の文化遺産として継承することは非常に重要なことなので、継続して事業を行う。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

保存修理が必要な建物があるので、事業を継続していくことが必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤5
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6202	事務事業名	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

平成23年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

民間所有の主屋2件、土蔵2件、納屋1件の保存修理事業を実施した。
また、加賀東谷まちなみ保存会による保存啓発事業として、重伝建地区選定10周年を記念し記念誌の発刊や桜の植樹を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	10	5	4	10	1	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備費	41,318
②	170	一般会計	10	5	3	18	8	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備費	813
③									
								関連決算額合計	42,131

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	山村集落を保存整備し、地域の文化遺産として継承することは非常に重要なことなので、継続して事業を行う。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

多数の保存修理が必要な建物があるので、事業を継続していくことが必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤3
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6203	事務事業名	大聖寺十万石城下町史蹟再生事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

大聖寺十万石城下町の核となっていた藩邸屋敷跡周辺の史跡を、文化財的価値を損なうことなく復元整備し、文化財保護と観光資源としての活用を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年3月に国の認定を受けた歴史的風致維持向上計画に基づき、大聖寺城下町を重点区域とする次の事業を実施した。
・市指定名勝江沼神社庭園の基礎調査を実施
・旧新家家住宅を整備し、大聖寺鴻玉荘として一般公開を開始（令和3年9月18日）
・大聖寺城跡パンフレットを作成
・今後の管理活用に活かすため、史跡大聖寺城跡鳥瞰図を作成
また、加賀市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画に位置付けた事業の進捗評価を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	161	一般会計	10	5	2	3	5	文化財活用事業費	669
②	172	一般会計	10	5	4	4	6	文化財保存活用費	708
③	172	一般会計	10	5	4	5	4	旧新家家住宅整備費	3,778
④	172	一般会計	10	5	4	90	4	旧新家家住宅整備費	60,995
								関連決算額合計	66,150

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	大聖寺地区は、加賀市における地域の文化資産を多大に有し、整備し、活用していくことが求められる。今後は、「加賀市歴史的風致維持向上計画」に基づき、大聖寺藩邸のほか地区全体を通して計画的に整備していくことが必要であるため、関係各課や市内団体と協議しつつ、整備の方針やその効果を随時、検討し、計画期間内において優先順位を決め計画的に実施していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

本事業については、平成25年に策定した旧大聖寺藩城下町全体の「大聖寺十万石城下町史蹟再生事業計画(案)」をベースに策定し、令和3年3月に国の認定を受けた「加賀市歴史的風致維持向上計画」において、城下町大聖寺を重点区域に定め、優先的に事業を進めることとなった。
計画に位置付けた16事業については、10年間の計画期間において優先順位を決め計画的に行うこととしている。具体的な整備方針については、随時、法定協議会や地域住民、関係機関などの意見も聞きながら、評価や見直しを行っていく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6204	事務事業名	文化財の適正管理事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

貴重な財産である文化財の保護・継承を行うとともに収集保存に努め、文化の向上に役立てる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

歴史文化遺産の適切な収蔵・管理を行い、貸出や閲覧などを行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	171	一般会計	10	5	4	3	1	文化財保護施設管理費光熱水費	242
②	171	一般会計	10	5	4	3	2	文化財保護施設管理費管理委託費	4,467
③	171	一般会計	10	5	4	3	3	文化財保護施設管理費その他管理費	159
④	171	一般会計	10	5	4	3	4	文化財保護施設管理費維持補修費	2,451
								関連決算額合計	7,319

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	貸出や閲覧の希望もあり、今後の適正な管理を行っていく。 文化財の保護施設の整備を計画的に実施する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

収蔵品の適正な保存管理を行った上で、広く市民にも公開し、活用を図る。そのために、保護施設や公開施設等の整備を検討する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6205	事務事業名	景観保存活動の支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷において、賑わい創出を目的とした建物の内部改修を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度　0件

※重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷で賑わい創出を目的とした建物の内部改修申請がなかった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	事業の継続は、ファンドの状況と他地区の利用状況によるところが大きい。活用された建物の状況を把握し、計画的に事業の推進を行う。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

事業の継続は、ファンドの状況と他地区の利用状況によるところが大きい。活用された建物の状況を把握し、計画的に事業の推進を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6206	事務事業名	九谷磁器窯跡整備事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

九谷磁器窯跡は日本の中でも最初期に磁器生産が行われた地であり、九谷焼発祥の地として、国史跡の指定を受けている。史跡指定地は適切に保護、管理しているが、単なる保存にとどまらず公開活用することが必要であり、その方策として史跡公園整備を目指すものである。
九谷磁器窯跡においては、窯跡や作業場等の遺構は、盛り土によって保護した上で、模型展示や説明板による解説を行う計画である。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

整備委員会を1回開催し、磁器窯跡地区の1号窯模型形状の調整方針、塗装に用いる材料について検討した。史蹟の価値を見学者に誤解なく伝えることが重要なので、これまでの整備方針・整備内容を点検するとともに、今後の方向性について議論した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	171	一般会計	10	5	4	5	1	古九谷窯跡環境整備費	1,307
②									
③									
								関連決算額合計	1,307

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	工事が完成した便益施設・工房集落地区は共用を開始した。中断している1号窯跡の整備再開を早急にはかり、残る磁器窯跡地区の整備を終え、史跡全体の活用を図りたい。 市民との情報共有が課題であったが、令和2年度より広報に九谷磁器窯跡の情報を掲載している。その他の方法も検討し、九谷磁器窯跡の価値・魅力、整備後の姿について、加賀市民に情報を発信していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

整備委員会を開催し、整備方針の再検討を行う。また、住民の理解を得るために広報以外にも情報発信を行う方法について検討する。さらに、九谷磁器窯跡の価値を市民に知ってもらうために、これまでの発掘成果のミニ展示等を、石川県埋蔵文化財センターの協力のもとで検討する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6207	事務事業名	文化的景観保護推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

先人から受け継ぎ大切にしてきた多種多様な生態系を有する自然環境が保存されている加賀海岸の文化的価値の調査、保存活用の検討をする。
地域における人々の生活または生業及びこの地域の風土により形成された景観としての文化的景観地区の認定及び国の重要文化的景観の選定を目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和2年度に重要文化的景観に選定されたことを踏まえ、重要文化的景観の保存及び活用について、地域住民、有識者、関係機関等から意見を聞くため、「加賀市重要文化的景観協議会」を設置した。令和4年1月及び3月に協議会を開催し、加賀市が作成している、今後の整備及び活用の具体的方針を定める整備活用計画について意見を聞いた。
また、重要文化的景観の普及啓発事業として、有識者及び市職員によるシンポジウムを令和4年2月に開催した。シンポジウムでは新型コロナウィルス感染症の対策として、入場者を制限したうえでオンラインでの同時中継を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	171	一般会計	10	5	4	4	5	自然・文化遺産保存調査費	4,897
②									
③									
								関連決算額合計	4,897

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	2回開催した加賀市重要文化的景観協議会では、整備活用計画について住民の代表者や有識者からの意見を計画に反映させることができた。 普及啓発事業として開催したシンポジウムでは、オンラインを活用したことで、加賀市内外からの参加者を得ることができた。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市重要文化的景観協議会については、継続的に開催し、地域住民等の意見を今後の保存及び活用に反映できる体制を整えていく。
整備事業については、整備活用計画に基づき、重要な構成要素の保存修理や看板等の施設整備を進めていく。
普及啓発事業は、オンラインを活用した情報発信や公開講座の開催などを実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6208	事務事業名	景観整備事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	景観住宅グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

助成制度を活用し、各地区の基準に沿った建築物、工作物等を維持することで、景観資源としての資質向上や景観整備地区内の活性化を図る。
また、良好な景観形成を図る活動（研修会、講演会等）にも助成を行っており、地域住民が学び、考える活動に対する支援を行っている。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

大聖寺地区内で行われた景観形成を図る活動（研修会・講演会）に対して助成を行った。地域の良好な景観を共有し、景観への意識を高めることに寄与した。
また、山中温泉本町を「山中温泉ゆげ街道」として景観形成の向上を図るため、景観整備地区に指定した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	229	一般会計	8	5	7	1	5	景観整備事業助成費	250
②	229	一般会計	8	5	7	1	6	景観形成推進費	54
③									
								関連決算額合計	304

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	良好な景観形成を図る活動に助成することは、市民発意のまちづくりができ、その結果そこに住む人々の町に対する愛着や誇りが育まれ、地域が活性化する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

景観整備地区は、9地区指定されている。加賀市景観計画において、景観整備地区は重点地区に指定しており、建築物や工作物等に助成することにより事業効果の迅速化を図る。
また、良好な景観形成を図る活動に対しても市民発意による景観づくりを推進するため、継続的に助成を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)③2
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6209	事務事業名	町屋再生事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	景観住宅グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

大聖寺地区は、江戸時代の町割りがそのまま残り、現在も城下町の面影を残す町並みが形成されている。しかし、中心市街地の衰退や空き家の増加などにより古い町並み景観やコミュニティの維持が危うくなっているなど地域活力が低下している。そのため大聖寺地区の宝である町屋を活かした「歴史的景観の保全」、「良好な居住環境の実現」、「まちなかの賑わいの創出」に向けた町屋の活用を行うため、助成を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

大聖寺地区に残る、昭和30年以前に建築され、伝統的な建築形態を残す建築を「地域の貴重な宝」と位置付け、町屋の再生・活用を進めている。
令和3年度は地区からの要望がなく整備のための助成がなかったが、令和4年度に整備を行いたい事業者と協議を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	230	一般会計	8	6	2	2	2	町屋再生整備費（単独）	0
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	「歴史的景観の保全」、「良好な居住環境の実現」、「まちなかの賑わいの創出」などの取り組みにより、城下町大聖寺への誇りと愛情が育まれる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和3年3月に大聖寺地区を重点区域とする「加賀市歴史的風致維持向上計画」が国から認定された。今後、大聖寺地区の歴史的景観の保全への取り組みがますます重要であり、事業を積極的に推進する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6301	事務事業名	都市計画基礎調査事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市政策グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

地域の歴史・伝統を反映した人々の営みが一体となった歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的風致維持向上計画を策定するほか、公園整備や緑地保全など本市の緑に関する将来像を示し、緑地の保全や緑化を推進するため、緑の基本計画を策定する。
また、山代地域の活性化を生み出すことを目的に、萬松園を観光振興に期する地域づくり拠点として活用する基本計画を作成し、官民連携による整備及び維持活用を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

歴史的風致維持向上計画について、国から計画認定を受けたことから、周知懸垂幕を設置し、市民に「歴史都市」としての意義啓発を図った。
萬松園の活用計画は、官民連携による萬松園の公園整備と維持活用を図るため、民間事業者等に個別ヒアリングを実施し、「（仮称）萬松園公園整備事業公募設置等指針」を作成した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	222	一般会計	8	5	1	4	2	都市計画基礎調査費	1,966
②									
③									
								関連決算額合計	1,966

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	歴史的風致維持向上計画の国認定により、有効な施策展開と円滑な事業の実施ができることから、費用対効果は高い。 萬松園の活用計画は、利用者ニーズや民間アイデアを取り入れた公募設置等指針を作成できたので、これに基づいた公募により事業者を選定することで、一層の賑わい創出が期待できる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

歴史的風致維持向上計画及び緑の基本計画に基づき、計画的なまちづくりを推進する。
萬松園の公園整備と維持活用について、Park-PFI（公募設置管理制度）により、官民連携を図る事業展開を進める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6302	事務事業名	松島橋架替え事業（市道A第60号線）		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

松島橋は、大聖寺地区西部から中心部を結ぶアクセス道路であり小・中学校の通学路にもなっている橋梁である。しかし、老朽化が著しく橋梁幅員が狭小で車両と歩行者がすれ違う際に危険なことから、橋梁の架替えを行い車両及び歩行者の安全性向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成28年度：用地等測量、実施設計を実施した。
平成29年度：用地取得を実施した。
平成30年度：橋梁下部工（左岸側橋台）・道路改良工を実施した。
令和 元年度：橋梁下部工（右岸側橋台）・道路改良工を実施した。
令和 2年度：橋梁上部工を実施した。
令和 3年度：橋梁上部工・道路改良工を実施し、新松島橋の供用開始をした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	213	一般会計	8	2	3	1	1	一般道路新設改良費（補助）	123,460
②									
③									
								関連決算額合計	123,460

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	橋梁の老朽化対策及び大聖寺地区アクセス道路の安全対策として必要な事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度：旧橋撤去工を実施していく。
令和5年度：旧橋撤去工・取付道路整備工を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6303	事務事業名	都市計画道路整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

円滑な都市交通を確保し、良好な都市環境を形成するため、都市計画道路合河片山津線、山代粟津線、温泉中央南線の整備を推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市事業の合河片山津線は、未買収用地の土地収用に向け、石川県と継続協議。
石川県事業の山代粟津線は橋梁工事が施工中であり、また、温泉中央南線は本町工区に着手した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	224	一般会計	8	5	2	1	20	合河片山津線整備費	1,276
②	224	一般会計	8	5	2	2	1	県営街路整備負担金	49,712
③									
								関連決算額合計	50,988

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	合河片山津線の整備は、小松方面から片山津温泉市街地へのアクセス向上に有効性が高い。 山代粟津線の整備は、粟津方面から山代温泉市街地へのアクセス向上と児童生徒の通学の安全、温泉中央南線の整備は、福井方面から山中温泉市街地へのアクセス向上に有効性が高い。 都市計画道路は計画決定に際して、路線の必要性を評価するとともに住民合意を得ていることから費用対効果は高い。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

合河片山津線は、供用開始に向けて、未買収用地の収用手続きを進める。
山代粟津線は、工事を継続する。
温泉中央南線は、本町区間の測量、設計及び用地買収に着手する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6304	事務事業名	生活道路整備事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

各町内会が管理する生活道路の道路改良や舗装整備、側溝修繕等の事業費の一部を助成することで環境の改善や安全で快適な生活の質の向上を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

道路舗装工事5件、道路改良工事2件、側溝整備工事6件、墓参道工事2件（計15件）の助成事業を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	209	一般会計	8	1	1	4	1	生活道路助成費	9,910
②									
③									
								関連決算額合計	9,910

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	町内会主体の生活環境の改善を担う行為に対する事業であり、町内会からの要望も高い事業であることから継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

生活道路の整備要望が年々増えている。その中で近年は、緊急性の要する事業も増えてきているため、不測の事態を見込んだ予算の確保に務める必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6．豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6305	事務事業名	橋梁長寿命化対策事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内全橋を対象とした橋の老朽化対策として、5年に1回の法定点検の実施、健全化の診断、劣化の小さいうちの施設改修等の措置、記録によるメンテナンスサイクルを構築・実施し、改修費用の縮減と橋梁の長寿命化を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成24年度：「加賀市橋梁長寿命化修繕計画（市内182橋）」策定を実施した。
平成27～30年度：道路法改正（平成25年6月）に伴い、法令に基づき橋梁定期点検（市内全橋梁数329橋）を実施した。
令和元年度：点検結果を「加賀市橋梁長寿命化修繕計画（平成24年度版）」に反映し、改訂版を策定。耐震事業として、緊急輸送道路（市道C第463号線）上にある新梶井橋について詳細設計を実施した。
令和2年度：緊急輸送道路（市道C第463号線）上にある新梶井橋の耐震工事（P1橋脚）を実施した。
令和3年度：緊急輸送道路（市道C第463号線）上にある新梶井橋の耐震工事（P2橋脚）を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	216	一般会計	8	2	4	1	3	橋梁長寿命化対策費	135,575
②	216	一般会計	8	2	4	90	3	橋梁長寿命化対策費	22,732
③									
								関連決算額合計	158,307

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	道路法に基づく法定点検（5年毎）と長寿命化計画に基づく改修工事の実施は、永久的な事業であるため継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「加賀市橋梁長寿命化修繕計画」（令和元年度改定版）に基づき修繕工事を順次実施していく。2巡目の橋梁法令定期点検（令和元年度～5年度）を行い、市内の全橋梁の健全性を継続して把握していく。
緊急輸送道路（市道C第463号線）「新梶井橋」耐震補強事業は、令和2，3年度に引き続き令和4年度耐震工事を行い耐震化を完成させる。
また、緊急輸送道路（市道A第375号線）「敷地跨線橋」耐震補強事業を、令和4年度に耐震設計を行い、令和5年度から順次耐震工事を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4（1）③1
基本方針	6．豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6306	事務事業名	加賀温泉駅前活性化対策事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	新幹線対策室

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀温泉駅前活性化対策事業に関しては、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的とし、有識者・地元関係者等で構成される委員会を設立し、駅舎及び駅周辺の整備について検討を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

「加賀温泉駅施設整備検討委員会」においては、加賀温泉駅前広場計画の一部見直しについて検討した。また、北陸新幹線加賀温泉駅舎の発車メロディにおいては、加賀市、小松市の魅力を広く全国にアピールするために両駅の発車メロディを制作する目的で設置された「石川県新幹線県内全線開業PR推進協議会」に対し、加賀温泉駅舎の発車メロディ制作費を半分負担した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	222	一般会計	8	5	1	5	3	加賀温泉駅前活性化対策費	1,191
②									
③									
								関連決算額合計	1,191

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅の交通結節機能の強化、加賀市の玄関口としてふさわしい空間及び駅周辺の賑わいを創出することを目的としており、広く市民の意見を取り入れ、加賀市民および加賀市を訪れる観光客に愛される駅を整備するため、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「加賀温泉駅施設整備検討委員会」においては、新幹線高架下都市施設の九谷焼、山中漆器を活用した施設意匠や運営方法等ついて引き続き協議を行う計画である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6307	事務事業名	山中温泉地区都市再生整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

山中温泉地区の賑わい創出に向け、菊の湯周辺のまちなか拠点や散策路ネットワークの強化・充実により、温泉街と鶴仙渓が一体となった回遊型観光まちづくりを目指す。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

山中温泉街の中心部となる菊の湯周辺の賑わいを創出するため、散策ルートである湯の本町通りについて、修景舗装工事を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	224	一般会計	8	5	2	1	21	山中温泉地区整備費	85,715
②									
③									
								関連決算額合計	85,715

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	湯の本町通りの散策路整備は、住民合意を得ながら工事を進めたため、有効性や費用対効果は高い。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

回遊拠点となる広場と散策ネットワークを構築する案内サインを早期に完成し、賑わい創出を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4（1）③2
基本方針	6．豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6308	事務事業名	加賀温泉駅周辺施設整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	新幹線対策室

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀温泉駅周辺施設整備事業に関しては、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的として駅舎及び駅周辺の整備を行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀温泉駅前広場及び駐車場施設の整備を行ったほか、広場整備の方針転換を図るため駅前広場計画を一部見直す変更設計を実施した。また、（仮称）加賀温泉駅北側広場の歩行支援施設等実施設計業務と用地測量業務を実施するとともに、加賀市土地開発公社で先行取得している駅北側広場及び駐車場用地を取得した。さらに、西日本旅客鉄道株式会社に在来線下の自由通路改修工事を委託した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	222	一般会計	8	5	1	5	5	加賀温泉駅周辺施設整備事業費	331,462
②									
③									
								関連決算額合計	331,462

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅周辺を再整備し、賑わいを創出することを目的としており、加賀温泉駅周辺、そして加賀市の活性化に寄与するものとなることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅前広場整備を令和4年度においても継続して実施するとともに、令和4年度夏には、（仮称）加賀温泉駅北側広場整備及び在来線下自由通路改修工事に着手する。さらに、令和4年度後半には北陸新幹線加賀温泉駅高架下の都市施設を建設する計画である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	６．豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6309	事務事業名	消雪施設更新事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

市内の消融雪施設（L≒51km）の中で経年劣化による漏水やパイプのサビなど、老朽化が著しい消融雪施設を順次更新することで、道路交通の安全性を確保する。

実施状況

平成25年度：白山台の消雪管更新工事（L=143m）を実施した。
平成25年度～30年度：山中温泉地区の消雪管更新工事（計 L=2,092m）を実施した。
平成28年度～29年度：湖城町の消雪管更新工事（計 L=633m）を実施した。
令和元年度：市道D第８号線外２路線（山中温泉東町）の消雪管更新工事（L=341m）を実施した。
　　市道D第319号線（山中温泉西桂木町外3町）の消雪管更新工事（L=702m）を実施した。
令和２年度：市道D第８号線外４路線（山中温泉東町外１町）の消雪管更新工事（L=233m）を実施した。
　　市道A第５１号線外１路線（大聖寺鍛冶町外）の消雪設備更新設計業務（N=1式）を実施した。
　　市道A第５１号線（大聖寺鍛冶町外）の消雪管更新工事（L=502m）を実施した。
　　市道A第１０号線（大聖寺荒町）の消雪設備更新設計業務（N=1式）を実施した。
令和３年度：市道D第１１号線外３路線（山中温泉富士見町・湯の本町）の消雪施設更新工事（L=240m）を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	212	一般会計	8	2	2	1	9	消融雪施設整備費（単独）	21,703
②									
③									
								関連決算額合計	21,703

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	消融雪施設更新工事の実施は、永久的な事業であるため継続とする。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度からは、山中温泉地区、大聖寺地区の消雪管更新工事を順次実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)①1,2,3
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6401	事務事業名	地域交通対策（KAGAあんしんネット）事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市地域交通基本条例の理念である、自家用車を運転できない人も安心・安全に通院や買い物に行くことができるよう、地域交通の充実を図る。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀温泉バス㈱が運行する温泉山中線、山代大聖寺線、吉崎線、温泉片山津線、温泉大聖寺線及び㈱まちづくり加賀が運行するキャンバス片山津・橋立循環線の計6路線については、生活路線バスとして運行補助を行い路線の維持と利便性の向上に努めた。

また、平成28年4月から、本格運行している乗合タクシーについては、お試し乗車券を積極的に配布し利用促進に努めている。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響の状況により利用者数に変動があったこと、また、コロナ禍前の水準への回復はまだ見通せない状況にあるが、生活に必要なライフラインとの考え方をもって、その維持や運営について支援を行った。

また、地域公共交通活性化法に規定される地域公共交通計画の策定に向け調査を実施し、将来に向けて地域の公共交通のあり方を整理した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	6	1	地域交通対策費	110,701
②									
③									
								関連決算額合計	110,701

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

利用者数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて低迷した。
個別の年間の輸送人員は、令和2年度比で、温泉片山津線（−10.0%）、山代大聖寺線（+7.7%）、吉崎線（+7.6%）、温泉山中線（−13.0%）、温泉大聖寺線（−8.9%）となっている。

また、キャンバス片山津・橋立循環線では、+17.7%の利用者の増加、「加賀市乗合タクシー」の利用者については、+9.3%の増加となった。

令和2年度比では回復した路線もあるが、令和元年度まで回復はしていないため、引き続き公共交通は地域のライフラインとしての重要な役割を持っていることを念頭において維持に努めたい。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

地域交通は、高齢者や中学生・高校生等の交通弱者にとって欠くことのできない生活基盤の一つであることを踏まえ、運行事業者との協議や加賀市地域公共交通会議での審議を行いながら、生活路線バス、キャンバスの維持を図っていく。

「加賀市乗合タクシー」については、引き続き利用者や運転手の現場の意見を踏まえた、ダイヤ調整等の運行改善のほか、インターネット予約の活用促進に努める。

今後は、MaaSの取り組みと並行して、公共交通計画に基づく公共交通自体の便数や種類の改善を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(2)①4
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	③交通ネットワークの充実		

事業番号	6402	事務事業名	MaaS推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市地域交通基本条例の理念である、自家用車を運転できない人も安心・安全に通院や買い物に行くことができるよう、地域交通の充実を図っている。これに併せて、誰にとってもが安心で使いやすい公共交通を実現するために、デジタル技術も活用しながら、交通事業者等の連携を進めることにより、きめの細かい交通サービスが提供できる体系づくりを促進し利用者の利便性の向上に資する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和2年度事業として加賀MaaS構想（ロードマップ）を作成した。市と交通事業者等で組織する加賀市地域公共交通活性化・再生協議会が国の支援をうけて加賀MaaS実証事業を実施した。この事業を受け、令和3年度は、サービス展開可能なMaaSアプリケーションを市で構築するとともに、関係する運行事業者でサービスのための準備を進めた。

また、地域公共交通活性化再生協議会を5回開催し、関係者への情報周知に努めるとともに、生活路線バスの利用増加に向けて、運行ダイヤ等を記載したパンフレットを作成し、市内全世帯に配布した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	6	8	地域交通利用促進事業費	34,954
②									
③									
								関連決算額合計	34,954

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	MaaSアプリをサービス展開する準備が整い、利用者が個人の端末でお得な乗車券を購入でき、市内のバス及び乗合タクシーの時刻を検索できるようになる。また利用促進を促すため、公共交通の行き先となる店舗・施設の情報の検索とその施設のクーポンを載せることができる機能を搭載している。 これにより今後、地域の公共交通の事業者が連携したサービスが提供されやすくなり、利用者の利便性が高まると考えている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

これまでの交通サービスの利用促進等の対策では、一つの交通モード（例えば〇〇バスなど）を取り上げるもので、乗換、連絡運賃、タイアップクーポンなど、複数の交通事業者や周辺の事業者が統一の方法で連携して進めることは、調整に手間がかかるため大規模又はタイムリーに進めることが難しかった。
MaaSアプリが構築されたことで、個々のサービスを事業者が主体的に提供できるようになっていくと考える。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6501	事務事業名	原水浄水施設整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

水道水源の取水から導水、浄水施設及び浄水を配水施設まで輸送する送水施設の機能維持を目的とした計画的更新により、水道施設の適正で効率的な運用と継続した安定供給を確保する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

山中浄水場において、浄水処理により発生する汚泥は天日乾燥床で泥と水に分離し減容しており、その際発生する上水の適切な放流を目的に、排水施設の改良工事を行った。
また、水源である県営九谷ダムの堰堤改良事業に伴い、共同事業者である加賀市水道事業から石川県へ負担金を納付した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	水道事業	2	1	2	24		工事請負費	15,070
②	－	水道事業	2	1	2	32		会費負担金	24,452
③									
								関連決算額合計	39,522

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	原水浄水施設を計画的に更新することで老朽化に起因する事故を未然に防止し、水道水の安定供給が確保できることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度は送水施設における整備方針の見通しをたて、今後も耐用年数を超えている設備の更新と改築を行い、水運用の効率化と安定供給を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6502	事務事業名	管路耐震化事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

老朽化した水道管を耐震性のある水道管に更新することにより、漏水事故や災害等に強いライフラインを確保し、安全かつ強靭な水道事業を確立する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

更新対象としている水道管は主に石綿セメント管、ビニル管、鋼管及び鋳鉄管としており、整備効果を高めるため、漏水事故や水質事故が多い路線や他工事との関連により、優先度を決めて布設替を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	水道事業	2	1	3	20		路面復旧費	152,885
②	－	水道事業	2	1	3	24		工事請負費	398,326
③	－								
								関連決算額合計	551,211

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	漏水件数は年々減少傾向にあるものの、水道管は年々劣化するため漏水事故、赤水防止及び災害時にも強いライフラインを構築し、水道水供給サービスの向上のため継続実施する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

老朽管のうち、先ず石綿セメント管を優先的に更新し、次いでビニル管、鋼管、鋳鉄管を更新していき、今後の人口減少社会を見据え、将来の給水量の減少を見込んだ最適な管網（ダウンサイジング）での更新を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6503	事務事業名	配水施設更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

老朽化した加圧ポンプ場や配水池等の配水施設を更新し、適切な水量や水圧と安定した水道水の供給を確立する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

三谷加圧ポンプ場において、老朽化した配水ポンプや圧力タンク等の機械設備と主幹盤や配水ポンプ盤等の電気設備の更新を行った。
また、監視強化を目的に大聖寺、山代及び片山津配水池に監視カメラの設置と山代配水池の緊急遮断弁の分解整備を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	水道事業	2	1	3	24		工事請負費	61,545
②									
③									
								関連決算額合計	61,545

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	配水施設を計画的に更新することにより老朽化に起因する事故を未然に防止し、水道水の安定供給が確立できることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

配水施設における耐用年数を超えた設備の更新と、今後の水需用を踏まえた適切な規模での更新を継続し、水道施設の安全かつ安定した運営を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6504	事務事業名	公共下水道整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

家庭や工場等の汚水を汚水管渠で処理場に集め一括処理することで、大聖寺川、柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目指す。
石川県が策定する流域別下水道整備総合計画との整合をとり、汚水処理区域の見直しを図り、効率的かつ経済的な汚水処理整備を進める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度には、大聖寺川処理区内の白望台、作見地区の管渠工事を実施し、白望台については、面整備が完了した。
また、汚水処理施設整備に関する計画等をとりまとめた、加賀市汚水処理施設整備構想の見直しを行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	下水道事業	41	1	1			汚水管渠建設費(補助)	160,000
②	－	下水道事業	41	1	1			汚水管渠建設費(単独)	38,948
③									
								関連決算額合計	198,948

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、大聖寺川、柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目的に、汚水処理施設である下水道施設の整備を進めてきたものであるが、一定の整備を完了したなか、人口減少、財政状況等の社会情勢の変化に合わせて適宜見直しを行い対応していく必要があることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後は、農業集落排水施設（分校・箱宮地区）を片山津処理区に接続することを行っていく。また未整備地区を合併浄化槽処理区域に転換し、効率的かつ経済的な汚水処理整備を行い、更なる人口減少や高齢化等、地域社会構造の変化や市の厳しい財政事情から汚水処理施設整備の一層の効率化を図るため、汚水処理区域の見直しと処理区の統合を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6505	事務事業名	公共下水道更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

昭和40年代以降から建設された多くの下水道施設は、今後更新時期を迎え多額の更新費が必要となる中、人口減少による料金収入の伸びが期待できず、下水道事業の運営が厳しくなることが予想される。
令和2年度に策定した下水道施設のストックマネジメント計画に基づき、施設更新を効率的に進める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度には、昭和50年に供用開始した片山津中継ポンプ場の耐震診断および施設更新に伴う実施設計を実施した。また、下水道管渠においてはマンホール蓋の更新工事を実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	下水道事業	41	1	1			汚水管渠建設費(補助)	12,600
②	－	下水道事業	41	1	1			汚水管渠建設費(単独)	625
③	－	下水道事業	41	1	3			汚水ポンプ場建設費(補助)	15,400
④	－	下水道事業	41	1	3			汚水ポンプ場建設費(単独)	700
								関連決算額合計	29,325

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、大聖寺川、柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目的とする汚水処理施設を長期的に運営していくため、人口減少、財政状況等の社会情勢の変化に合わせて適宜見直しを行い対応していく必要があることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

更新事業費の平準化を図りながら、ストックマネジメント計画に基づき、計画的に施設更新を進めていく。また、施設の効率化を図れるよう、施設の統合、集約についても検討を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6506	事務事業名	下水処理場統合事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

下水処理場の統合は、老朽化した加賀市浄化センターを大聖寺川浄化センターに統合することにより施設の維持・更新費用の縮減と運転管理の効率化を図ることを目的としており、令和3年度より事業を進めている。
また、農業集落排水施設（分校・箱宮地区）を片山津処理区に接続し、施設の集約を図っていく。

・令和4年度　　農業集落排水施設から公共下水道への接続（農業集落排水施設の廃止）
・令和6年度4月～　大聖寺川浄化センターを加賀市が管理
・令和8年度　　下水処理場の統合を完了予定 （統合後　加賀市浄化センターを廃止）

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和4年度から国費を活用し統合事業を進めていくため、加賀都市計画下水道の変更を行った。
令和4年度当初、加賀公共下水道事業の変更手続きを行い、統合に必要な篠原中継ポンプ場及び圧送管路の実施設計を進めていく。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	下水道事業	21	1	8			総係費(単独)	2,310
									0
									0
								関連決算額合計	2,310

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は、下水道施設の老朽化、使用料収入の減少といった様々な課題を抱える中、長期にわたり健全な事業運営を継続するために必要なことから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

篠原中継ポンプ場及び圧送管路の工事の早期進捗を図るとともに、令和6年度に石川県より移管される大聖寺川浄化センターにおいても、増設工事の早期着手を目指し、1年でも早い処理場の統合に取り組む。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6507	事務事業名	農業集落排水施設更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

農業集落排水施設11地区の機能の保全・長寿命化と、下水道への接続等集約化による維持管理費の低減を図るため、令和2年度に策定した最適整備構想に基づき施設更新を効率的に進める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

令和3年度　熊坂地区、新保地区の更新計画策定

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	下水道事業	21	1	8			総係費(補助)	6,800
②	－	下水道事業	21	1	8			総係費（単独）	20
③	－	下水道事業	41	1	1			汚水管渠建設費	2,000
								関連決算額合計	8,820

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	縮小
評価に関するコメント	最適整備構想を策定したことにより、今後各施設の改築更新を計画・実施していく。 改築更新を行う根拠となる当整備構想については策定済みとなったため、今後は縮小とした。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

今後は最適整備構想に基づき、農業集落排水処理施設の施設更新を進めていくが、複数の処理場が同時に更新時期を迎えることになるため、更新費の平準化を図りながら進めていく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑤上下水道の適正管理		

事業番号	6508	事務事業名	合併処理浄化槽設置助成事業		
所管部局	上下水道部	所管課	経営企画課	グループ	経営企画グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

住民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に、下水道整備区域外において、単独処理浄化槽及びくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換を促進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

生活排水による公共用水域の汚濁を防止するため、専用住宅等の合併処理浄化槽への転換にかかる費用に対し補助を行う。

令和元年度　補助件数　8件
令和2年度　補助件数　13件
令和3年度　補助件数　14件

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	232	一般会計	4	3	3	3	2	合併処理浄化槽設置助成費	6,534
②									
③									
								関連決算額合計	6,534

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	公共下水道整備区域外における単独浄化槽及びくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換については、法的に努力義務に留まっているが、本助成事業により普及が促進され、水環境の改善、水質保全に効果があった。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

下水道を含めた汚水処理施設普及率は71.1%と県内最低であり、水質の保全、住民の生活環境の改善において合併処理浄化槽の役割は大きい。令和2年4月1日施行の浄化槽法の一部改正に伴い、公共下水道・農業集落排水事業・小規模集合排水処理事業及び地域下水道の区域を除く市内全域を令和3年3月15日付で浄化槽処理促進区域に指定したことから、今後は設置数が増加することが想定されるため、継続して助成制度の周知、啓発を強化し普及促進に務める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑥憩いの場の充実		

事業番号	6601	事務事業名	都市公園管理事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	維持管理グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

近隣住民の自然とのふれあいや健康運動等、多様な活動の拠点となる緑とオープンスペースの提供、管理を目的としている。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

園内施設の日常管理（施設巡回・保守点検・施設清掃、落葉・雑草除去、低木剪定、消耗品補給等）を市作業班で行うとともに専門性の高い芝生や高木剪定等は専門事業者に発注し施設の管理・運営を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	219	一般会計	8	5	6	1	1	光熱水費	16,847
②	219	一般会計	8	5	6	1	2	管理委託費	27,404
③	219	一般会計	8	5	6	1	3	その他管理費	4,413
④	219	一般会計	8	5	6	1	4	維持補修費	4,255
								関連決算額合計	52,919

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市作業員により適正に管理運営しており、市民に対し、身近な緑とオープンスペースの提供を図るうえで必要であることから継続する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

施設の老朽化に伴い、修繕の必要性のある箇所については随時補修等を行っている。今後についても点検を徹底し、危険個所の早期発見、早期修繕を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑥憩いの場の充実		

事業番号	6602	事務事業名	中央公園管理事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	維持管理グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

適正な管理を行うことにより憩いの場、健康づくり活動の場を提供し、利用者の心身の健康増進に寄与するための公園の機能保持を目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

公園内施設の日常管理（施設巡回・保守点検・施設清掃、落葉・雑草除去、低木剪定等）を加賀市総合サービスに委託するとともに、専門性の高い芝生や高木剪定等は専門事業者に発注し施設の管理・運営を行った。また、公園施設の評判の良さから市内外からの来園者も増加した。

令和3年度決算

＼	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	219	一般会計	8	5	6	2	1	管理委託費	31,688
②	219	一般会計	8	5	6	2	2	その他管理費	994
③	219	一般会計	8	5	6	2	3	維持補修費	1,985
								関連決算額合計	34,667

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	仕様書に基づく発注・管理により適正に管理運営しており、市内随一規模を誇る総合公園として機能継続を図るうえで必要であることから継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えてきている。点検を徹底し、危険個所の早期発見、早期修繕により公園機能の低下を防ぐ。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施　策	⑥憩いの場の充実		

事業番号	6603	事務事業名	(仮称)山代温泉広場整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

(仮称)山代温泉広場は、九谷広場や山代温泉総湯周辺を観光客等が回遊する拠点のひとつとして公園整備し、人々が集う場と地域を活性化する効果を期待する。
また、官民連携型賑わい拠点創出事業により民間資金を活用した地域の賑わい拠点等となる公園施設の整備を推進する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

官民連携による整備及び維持活用を図る、公募設置管理制度(Park-PFI)により、1割以上の事業費削減と、利用者ニーズに対応した公園施設を整備した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	225	一般会計	8	5	6	4	4	(仮称)山代温泉広場整備費	112,022
②									
③									
								関連決算額合計	112,022

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	高い	費用対効果(高い/普通/低い)	高い	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	民間資本やノウハウを導入した公園施設の設計・整備により、これまでの公園にはない賑わい創出が期待できる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

山代スマートパークとして開園した本公園は、今後15年間、事業実施者による指定管理で維持活用を図ることとなり、民間ならではの柔軟な発想と創意工夫により管理運営を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	①市政への民参画促進		

事業番号	7101	事務事業名	パブリックコメントの積極的展開事業			
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

『加賀市民主役条例』、『加賀市民意見公募に関する要綱』に基づく事業。市が作成する計画や条例等の素案について、広く市民から意見を聴取し、その意見を素案に反映させるもの。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

実施は各課。合計4件実施。うち、意見応募があったパブリックコメントは3件。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	重要な政策に市民の意見を可能な限り取り入れることは必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

要綱に定めのあるとおり、意見公募の対象となる事業については、引き続き意見公募を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	②広報・広聴体制の充実		

事業番号	7201	事務事業名	シティプロモーション推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市の魅力の認知獲得を目的に近隣自治体の子育て世代および首都圏の移住意向者層にターゲットをしぼり、各種メディアや広告を使ったプロモーション活動を実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀市の魅力を発信する移住促進サイトを制作した。近隣自治体の子育て世帯向けては、子育ての手厚さを紹介する特別番組の制作やテレビCMを放映。また、首都圏の移住意向者層に向けては、WEB広告を配信し、移住促進サイトへ流入を図った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	85	一般会計	2	1	4	3	4	シティプロモーション活動費	13,203
②									
③									
								関連決算額合計	13,203

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市外に向けて加賀市の魅力を発信することで、将来的には移住や企業誘致へもつながる事業であるため、継続的に行っていく必要がある。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

イメージ醸成には中長期にわたり、継続的に発信をしていくことが必要不可欠である。今後もターゲットにむけて有益な媒体を選定しながら、継続的に発信を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	②広報・広聴体制の充実		

事業番号	7202	事務事業名	広報発行事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「加賀市広報規則」に基づく事業。市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

毎月1日に「広報かが」を発行。市内各世帯（約25,000世帯）に配布するほか、市内の公共施設や商業施設（合計70箇所）に配置している。また、市ホームページとSNSへの掲載、スマホ用アプリを利用した配信も行っている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	85	一般会計	2	1	4	1	1	広報発行費	21,556
②									
③									
								関連決算額合計	21,556

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	市の情報発信の根幹を成すもの。各世帯への周知啓発媒体として欠くことはできない。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民に有益な情報提供ができる紙面づくりを継続するほか、市ホームページとの連携を強化していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	②広報・広聴体制の充実		

事業番号	7203	事務事業名	テレビ広報推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「加賀市広報規則」に基づく事業。市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

加賀ケーブルテレビのコミュニティチャンネルにおいて、行政広報(10分番組、年間12本)、議会中継(議会開会時)、加賀市再発見(15分番組、年間4本)、文字放送(随時)を放送。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	85	一般会計	2	1	4	3	4	シティプロモーション活動費	5,418
②									
③									
								関連決算額合計	5,418

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	低い	費用対効果 (高い/普通/低い)	低い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	市の情報発信のツールのひとつ。各世帯への周知啓発媒体として欠くことはできない。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

広報紙等と連動させながら、番組内容の選定し、PR効果を高めていく。また、制作した番組の2次利用についても検討していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7．将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	②広報・広聴体制の充実		

事業番号	7204	事務事業名	新聞・SNS等広報推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策・広報グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

新聞広報・ラジオ広報及びホームページ広報については「加賀市広報規則」に基づく事業。SNS（フェイスブック）については、情報化社会に即した手段でもって、効率的かつ効果的に市政情報等を発信するもの。いずれも、市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

新聞広報は北國新聞及び北陸中日新聞の朝刊において、毎月1回、記事下半5段分の紙面に広報を掲載。
ラジオ広報はエフエムいしかわおよびラジオ小松で毎週5分番組を放送。
ホームページ、及びSNS（フェイスブック）については随時更新。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	85	一般会計	2	1	4	3	4	シティプロモーション活動費	4,549
②									
③									
								関連決算額合計	4,549

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	新聞広報・ラジオ広報については県内全域に向け広く情報発信できるものであり、ホームページ・SNSについては、デジタルでの発信ツールとして必要であると考える。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

情報発信ツールを多様化することでより多くの人へ情報到達の機会を増やすことにつながるため、新聞、ホームページ、ラジオ、SNS全てについて、今後も継続が必要である。各種媒体を駆使した情報発信によって、効果的に発信を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	4(1)④1
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	③公共施設の適正な維持管理		

事業番号	7301	事務事業名	公共施設マネジメントの推進		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

本市の保有する学校、福祉施設、庁舎、病院などの「建物施設」や、道路、橋梁、上水道、下水道などの「土木関連施設」の多くは、昭和40年代から昭和50年代に建設されている。これら公共施設の多くは、今後、大規模な改修、建替えの時期を迎え、多額の維持・更新費が必要となる。

一方、本市の財政は、長期的な人口減少により市税収入の伸びが期待できず、少子化や高齢化に伴う社会保障関係費が増加するなど、厳しくなることが予測される。

このような公共施設を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するため、総合的かつ長期的な視点に立ち、施設全体を最適に維持管理することで、「将来への備え」とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

平成27年に策定した「加賀市公共マネジメント基本方針」に基づき、施設全体を最適化する整備を行った。

＜具体的な取組＞

・「三木小学校」の廃止（R4.3）

令和2年度に策定した「加賀市公共施設マネジメント　個別施設計画」をふまえ、国が示す改定の留意事項（長寿命化、ユニバーサルデザイン等）に従い、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」の改定した。

「加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会」を設置し、公平で客観的な立場から、公共施設マネジメントのあり方について、検討を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	3	1	企画振興費	2,237
②									
③									
								関連決算額合計	2,237

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	更新費用の算出結果に基づくと、現在保有している全ての公共施設を更新していくこと不可能であることは明らかになっている。そのことから、今後も「加賀市公共施設マネジメント基本方針」及び「加賀市公共施設マネジメント個別施設計画」に基づき、施設の更新や統廃合、複合化等を推進していく。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

個別施設計画で示した具体的な施設の統廃合や廃止、除却にあたっては、その施設の建築年度（老朽度合い）、優先度、方向性・対策、最新の地域事情等を総合的に勘案し、また、施設利用者など関係者との調整を図りながら、実施を検討する。

また、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」及び「個別施設計画」を踏まえ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を円滑に推進する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	ー
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	③公共施設の適正な維持管理		

事業番号	7302	事務事業名	加賀市行政サービスセンター整備事業		
所管部局	市民健康部	所管課	窓口課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

交通の利便がよく、市民の方々がアクセスしやすい加賀温泉駅周辺の大型商業施設に行政サービスセンターを設置し、土日・祝日および平日は夜間も受付を行うことで市民に対する行政サービスの向上につなげる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市民が利用し易い施設となるよう、土日・祝日も受付を行い、開設時間も平日19時まで・土日祝日は18時までとすることで、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	92	一般会計	2	1	7	12	1	行政サービスセンター運営費	26,659
②									
③									
								関連決算額合計	26,659

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	適正な施設管理を行っており、利用者への適切な対応に努め、市民サービス向上に取り組んでいる。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市行政サービスセンターを市民に広く周知し、問合せがあったときなどには、行政サービスセンターで手続き可能なサービスについては案内するなどし、さらに利用者の増加に努める。
質の高いサービス提供をするため、各課と連携し、利用者への情報提供に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	④計画的な行財政運営		

事業番号	7303	事務事業名	道路台帳整備委託事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	維持管理グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

道路台帳は道路法第28条により、道路管理者に作成が義務付けられており、道路に関する調書・図面を作成し、管理区分(起終点、境界など)を明確化することを目的とする。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

市道A第261号線、市道B第14号線、市道B第362号線の3路線、延長1,179mの台帳の訂正を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	210	一般会計	8	2	1	1	1	道路台帳整備	1,950
②									
③									
								関連決算額合計	1,950

内部評価

有効性(高い/普通/低い)	普通	費用対効果(高い/普通/低い)	普通	内部評価(拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	道路法で義務付けられていることから、管理の根本となる図書の作成および訂正は、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

道路台帳の未整備路線の新規作成及び整備・改良等で区域に変更のあった路線について、台帳の訂正を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	④計画的な行財政運営		

事業番号	7401	事務事業名	「行政改革大綱」の推進		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

「第3次加賀市行政改革大綱」で目標としている民間委託の推進やIT技術を活用した業務の効率化などにより、業務効率化や電子化などを推進する。
また、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、統廃合を含めた施設のあり方を検証しながら、公共施設の適正維持管理を進めるなど、急速に進む人口減少や少子高齢化に対応しながら、将来を見据えた効率的な行財政を目指す取り組みを進める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

業務の効率化を図り、効率的で質の高い行政サービスを提供するため、行政手続きを簡単にオンライン化できる「LoGoフォーム電子申請」のサービスにより、年度末時点で174の手続きを電子申請を可能にしたほか、一度の電子申請により、複数の住所変更の手続きが完結する引越ワンストップサービスの実証実験を実施した。
また、市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、平日の夕方や土日祝日も行政手続きが行える行政サービスセンター「かも丸ステーション」の設置及び山代・片山津・動橋出張所の業務の郵便局への委託を行った。
さらに、個々の公共施設の在り方に関して策定した「加賀市公共施設マネジメント個別施設計画」を踏まえ、国の指針に基づいて、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」の改定を行った。
「第3次加賀市行政改革大綱」の最終年度であるため、これまでの取組を踏まえ、「第4次加賀市行政改革大綱」の策定を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	－	－	－	－	－	－	－	－	－
②									
③									
								関連決算額合計	0

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

24時間いつでもどこからでも待ち時間なしに行政手続きができる電子申請サービスを拡充により、市民サービスの向上が図られた。また、引越ワンストップサービスの実証を行うなど、さらなる住民サービスの向上を目指した取り組みを進めている。
行政サービスセンターの設置及び山代・片山津・動橋出張所、山中温泉支所の窓口業務の郵便局への委託を実施し、業務の効率化を図るとともに、住民サービスや利便性向上を図っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和4年度以降の更なる行政改革の推進を目指すため、これまでの取組状況を踏まえ策定した「第4次加賀市行政改革大綱」に基づき取り組む。
PDCAサイクルを機能させ、「自治体DXの推進」、「公共施設マネジメント」を中心に、業務の改革・改善を行い、行政改革大綱実施計画に基づき着実な進捗に努める。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	まち・ひと・しごと総合戦略の体系	－
基本方針	7. 将来を見据えた効率的な行財政で支えるまちづくり		
施　策	④計画的な行財政運営		

事業番号	7402	事務事業名	行政評価「公開外部評価会」開催事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

第2次加賀市総合計画（前期実施計画）「加賀躍進プロジェクト」に掲げる事業について、事業担当者自らが行なう内部（事後）評価により、事業の有効性や効率性、施策貢献度等を検証し、翌年度以降の予算編成にも反映させる（予算編成の「見える化」）一連のサイクルを確立させる。
また、市民の関心が高い事業について、公開で実施する外部評価により、市民目線での検証を行なうことで、事業実施の透明性や有効性を高める。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

前年度に市が実施した事業の中で、特に市民の関心の高い5分野7事業について、「目的に沿ったものか」「必要な事業なのか」など、客観的な市民目線での評価・検証を行い、外部評価会において、すべての事業が「適切」と評価された。
また、外部評価の結果は、予算編成の「見える化」を目的に市ホームページにて公表した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	3	1	企画振興費	158
②									
③									
								関連決算額合計	158

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続
評価に関するコメント	本事業は加賀市における事業実施の透明性や有効性を高め、市民への説明責任を果たすことを目的としており、予算編成等の参考資料となることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

「加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」の検証とも整合性を取りながら、継続して「公開外部評価会」を開催する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(1)①1,2

事業番号	8101	事務事業名	多居住拠点による新たな地方創生事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

本事業は、2024年の北陸新幹線加賀温泉駅の開業を契機とするとともに、コロナショックによる大都市からの地方移住というニーズを確実にとらえて、大都市に住所を置きながら、地方で長期滞在や長期リモートワークを行い、移住体験を行う「多居住拠点」という新たなライフスタイルを提唱するとともに、「多居住拠点」を進めるための職住環境の整備を、テクノロジーで解決を図ることを目的として実施する。

①多居住拠点者の受入促進に向けた実証事業
市外企業中心に、先端技術を活用した地域課題解決をテーマとする実施事業を応募・委託し、地域課題解決と多居住拠点者の受入を図る。 また、連携する大学との共同研究による実証事業を実施し、共同研究を通じた学生等の多居住促進を図る。
②多居住拠点者の働く環境の整備
多居住拠点としての宿泊施設等にネットワーク等の研修を行い、施設等に対するソフト的な支援を行う。 また、市民および市内企業だけでなく多居住拠点者も受講できる先端技術に関する講習やイベントを開催し、多居住拠点者であってもスキルアップできる働く環境を整える。
③「仮想加賀市民」の電子身分証明の登録
仮想加賀市民に、市民に準じた行政サービスを提供するため、デジタル身分証明書の発行などシステムを構築する。
④生活環境整備に向けたデジタルツインや電子申請サービスの活用
多居住拠点として住みやすい生活環境を整備するために、住民情報や地図情報などの行政データおよび交通情報や施設情報などの民間データをデータ連携基盤を通して集約し、デジタルツインといったシミュレーション手法を用いて、交通体系や建物・空き家、治安の状況などの見える化・オープンデータ化を行う。また、遠隔地からスマートフォン1つで個人認証と電子署名が可能な認証アプリを活用したサービスや施策の検討、実証、実装を行うとともに、前年度に整備したデータ連携基盤のデータセットの拡充や各種デジタルサービスとポータルサイト（加賀ポータル）の連携、電子投票のための調査を行い、市民や多居住拠点者、「仮想加賀市民」にとって便利で快適、安全な都市となるよう整備を進める。
⑤交通アプリによるシームレスな連結の構築
令和2年度に導入した、交通アプリの実証事業を受け、全市を対象とし、必要なデータ追加やシステム改修を行いサービスを実施する。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

①多居住拠点者の受入促進に向けた実証事業
・ドローンなどの先端技術を活用した実証事業を8件実施。
・連携する大学とデータ連携基盤および通信基盤に関する共同研究を実施。
②多居住拠点者の働く環境の整備
・コロナ禍の中にあっても状況に応じて市外の対象者に向けた各種イベント等を開催。（計18回開催、延べ575名参加）
③「仮想加賀市民」の電子身分証明の登録
・エストニアで実装されているe-Residencyを自治体版の制度に落とし込む際に必要になると思われる要件や国内外から人材を集めるための施策案を取りまとめた。
④生活環境整備に向けたデジタルツインや電子申請サービスの活用
・電子申請数の拡充や電子申請利用率向上のための検討。
・インターネット投票システム構築に向けた調査を実施。
・オープンデータ化に係る市場調査及び市の保有する台帳（6個）のデータ化を実施。
・データ連携基盤のデータセットを18セットから24データセットへ拡充。
・ドローンを活用し、橋立地区、山中温泉東谷地区、湖北地区、三木地区などの市街地約30㎢の3D地図を作成。
⑤交通アプリによるシームレスな連結の構築
・機能整備が完了、検索のバグやアプリの画面遷移エラーなど致命的な問題の解消のほか、高齢者にも見やすく操作しやすい構成とした。また、サービスの提供を行うバス事業者の運用指導も完了。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々目	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	3	6	デジタル化推進費	35,740
②	86	一般会計	2	1	8	6	8	地域交通利用促進事業費	19,998
③	90	一般会計	7	1	2	1	6	産業デジタル化推進費	41,978
								関連決算額合計	97,716

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	高い	費用対効果（高い/普通/低い）	高い	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	拡充
評価に関するコメント	「多居住拠点」という新しいライフスタイルによる新たな地方創生が期待できる。「多居住拠点」という新たなライフスタイルに向けた「職住環境」の整備が課題であり、年間を通した様々な事業を行うにより「職住環境」を整えることで、働き方をリモートワークとする大都市にある企業の社員が、加賀市を第2の拠点として選んだり、起業家やスタートアップ企業が、その活動拠点を大都市から加賀市に移転することが期待される。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

本事業は、2024年の北陸新幹線加賀温泉駅の開業を契機とするとともに、コロナショックによる大都市からの地方移住というニーズを確実にとらえて、大都市に住所を置きながら、地方で長期滞在や長期リモートワークを行い、移住体験を行う「多居住拠点」という新たなライフスタイルを提唱するとともに、「多居住拠点」を進めるための職住環境の整備を、テクノロジーで解決を図ることを目的としており、年間を通した様々な事業により、「多居住拠点」という新しいライフスタイルによる新たな地方創生が期待できることから、事業内容のさらなる拡充を行う。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(2)④2

事業番号	8102	事務事業名	加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	福祉政策課・地域包括支援センター・介護福祉課	グループ	ー

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

加賀市で暮らす住民も、新しく転入する方も、みんながつながり合い、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、平成29年3月に加賀市版「生涯活躍のまち」構想を策定した。
加賀市版「生涯活躍のまち」構想では、地域交流拠点による多世代交流拠点を核とし、40代以上の元気な中高年齢者に加え、地域づくりの担い手となる若い世代の移住定住促進を図るほか、新たな雇用を創出する「健康・医療・福祉・介護分野」の必要なスキルやアイデアを持った企業、研究機関、個人の招致に向けた取り組みを行う。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

(1) IoT とAI を活用したケア情報の取得・評価・活用に関する研究
人工知能（AI）の創始者ミンスキーのAI理論に基づく生活困窮者支援の自治体職員向け研修プログラムを開発し、加賀市役所職員向けに実践し、アンケート評価を実施した。また、慢性疼痛に対しての痛み教育プログラムを通いの場で実証、評価をした。
(2) 認知症を科学的に学ぶプログラム（認知症見立て塾）の調査研究
一般市民向け認知症見立て学習フログラムの開発と実証を行った。
(3) ICTを利活用した高齢者・障がい者の安心・安全で利便性の高い支援モデルの構築
障がいのある人の屋内での安心・安全な見守りを行うスマートハウス事業では、視覚障がい者に有用性が高いAIスピーカーの導入を検討し、機器の購入に対する助成を実施することとした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	86	一般会計	2	1	8	13	4	生涯活躍のまち構想推進事業費	0
②	104	一般会計	3	1	3	9	8	介護予防推進費	4,500
③	108	一般会計	3	1	1	4	10	スマートインクルージョン推進事業費	0
								関連決算額合計	4,500

内部評価

有効性（高い/普通/低い）	普通	費用対効果（高い/普通/低い）	普通	内部評価（拡充/継続/縮小/廃止）	継続

評価に関するコメント

・生活困窮者支援の研修では、初めて専門職及び事務職とともに学び、深めあった。住民にかかわる行政職員として、面接技術を習得し、相談援助にかかわることは大切であり、今後も職員の質の向上に努めていく必要がある。
・痛み教育プログラムにおいて、慢性疼痛を抱えながら生活をしている住民が多く、介護認定でも生活機能低下を招く上位の疾患である。今後も痛みの正しい知識を持つ住民を増やし、痛みとうまく付き合う方法を獲得することで、痛みがあっても生活が維持できるよう生活機能の低下を予防していくことは重要である。
・認知症見立て塾は、物忘れ＝認知症と決めつけず、他の疾患の可能性も含めて改善可能があることを学ぶことは大切である。学ぶことで住民がかかわる視点が強化され認知症の理解が深まり住みやすい地域になる。
・ICTを利活用した支援モデルの構築では、障がいのある人のみを対象とした事業として進めるのは困難があり、スマートシティの取り組みの中で一体的に進めていく必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

・生活困窮者支援プログラムは、行政職員として更なる相談援助技術を高め、住民1人1人の生活の質の向上にむけ、プログラムをバージョンアップしていく。
・痛み教育プログラムにおいては、痛みは歩行と姿勢が大きく関与していることから、発症予防に視点をおいたプログラムの検証をおこなっていく。
・認知症見立て塾は、継続していくことが重要であり、今後も住民対象に実施し、物忘れにおける改善可能性の部分に焦点をあてたプログラムを実施していく。
・これらについては、今後は心身健康増進事業のおいて、更なる展開をすすめていく。
・障がい者情報一元化をはじめ、スマートハウス事業、スマートモビリティ事業については、デジタル田園健康特区の取り組みとも併せて引き続き検討を進めていく。また、障がいのある人の就労機会を拡大し、社会参加を促進するため、ICTの活用やテレワークの推進を図っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【事務事業】

まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)②2

事業番号	8103	事務事業名	デジタル技術活用教育事業		
所管部局	政策戦略部 教育委員会事務局	所管課	スマートシティ課 生涯学習課	グループ	デジタル化推進グループ 生涯学習グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

スマホ初級教育、高度なスマホ活用教室、コンピュータクラブハウス加賀によって、高齢者、若年者のデジタルリテラシーを高め、地域全体のデジタルに対する普及を促進することで統合的なデジタルへの対応力が向上し、スマートシティの恩恵を受けられる体制が構築され、それらの情報や機会を提供することで、世代による情報格差やサービス格差の解消につながる。

また、キャリア育成を行うにあたっては地域への普及、浸透は都市部と比べて遅い傾向にあり、小中学校の既存のカリキュラムでは限界がある。また、成長産業であるIT産業などは地方に行けば行くほど従事者が少なく、現状のままでは、その差は今後開く一方と予想される。

このような環境では、地方都市では子どもたちの手本としてロールモデルとなる大人は都市部に比べて限定される傾向にあり、そのため具体的なイメージができず職業選択が既存の職業に限られてしまう。

そのような中、最新の技術や表現に触れることの少ない地方都市においてコンピュータクラブハウス加賀で行うデジタル技術を使った自己肯定感の向上は、自主的に自己の将来を設計することに有力であり、その延長線上に自らのキャリアをイメージできることは子どもたちの将来への展望として有意義なものであり、コンピュータクラブハウス加賀によるキャリア教育は先進のデジタル人材の育成となり構造的な問題の解決の一助として、既存の常識的なキャリアを踏破する人材の輩出に期待できる。

実施状況

事業の進捗、令和3年度の主な成果やKPIの達成状況など

スマホ教室については、開催回数27回、参加者数延べ118人が参加した。
コンピュータクラブハウスについては、コロナ感染予防対策として一度に10人までの入場とする制限を行い、4～5月は感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用により休業を余儀なくされたこともあったが、来場者数は令和2年度を上回る延べ1,436人となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	86	一般会計	2	1	8	3	6	デジタル化推進費	3,845
②	270	一般会計	10	5	2	3	6	ICT学習推進費	12,650
③									
								関連決算額合計	16,495

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	スマホ教室、コンピュータクラブハウスについては、高齢者、若年者のデジタルリテラシーを高め、地域全体のデジタルに対する普及を促進することにつながるため、今後も継続して開催する。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

スマホ教室については、開催場所を地区会館など各地区の住民が来やすい場所に見直し、さらなる参加者獲得を目指す。
コンピュータクラブハウスについては、参加したくてもできていない子どもたちへの参加の機会の提供や、コンピュータクラブハウスでの活動が、中学校での部活動として認定されることの周知など、コンピュータクラブハウスの取組が、一人でも多くの子どもたちに認識されるよう、積極的な情報発信を強化することで、認知度向上、更なる新規来場者獲得を目指す。

令　和　３　年　度　決　算

内　部　評　価　報　告　書

【公の施設】

加　賀　市

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市美術館		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定管理期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	26,418

事業番号	A01	事務事業名	加賀市美術館管理			
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ	

施設の設置目的

市民の美術に対する関心を高め、その知識の普及及び教養の向上を図り、もって芸術文化活動の振興発展に寄与するため。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、各美術部門団体と共催展のほか、郷土作家を紹介する常設展を年間を通じて開催した。夏には、市の歴史文化や、地元に縁ある作家の作品による企画展も実施した。また、児童生徒や市民の発表の機会となる貸館展示も行った。市民及び観光客に加賀市の伝統工芸や美術文化を紹介するとともに、市民の美術に対する関心を高め、その知識の普及および教養の向上を図り芸術文化活動の発展に努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	167	一般会計	10	5	3	8	1	管理委託費	26,418
②	167	一般会計	10	5	3	8	2	維持補修費	140
③	170	一般会計	10	5	3	18	5	加賀市美術館整備事業費	3,369
								関連決算額合計	29,927

内部評価

モニタリング結果(指定管理施設のみ)							内部評価(優/良/可/不可)
維持管理(適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	14	△	1	×	0	良
利用促進(施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	14	△	1	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。JR加賀温泉駅内のKAGA旅・まちネットと連携することで入館者は微増傾向にあったが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により減少が続いている。立地を活かし、加賀市の美術工芸を紹介する魅力的なイベントや企画展を継続的に実施することを指定管理者に指導し、市民のみならず観光客の来館を促進する必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

加賀市の玄関口であるJR加賀温泉駅前にあり、市民にとって交通の便もよく、また観光客の入り込みも十分見込める立地条件である。新幹線開業を見据えて、加賀市の美術工芸についてより積極的に情報発信を行い、魅力的な事業展開を推進するとともに、適切な施設管理を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	中谷宇吉郎雪の科学館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社・一般財団法人中谷宇吉郎記念財団		
指定管理期間	R2.4.1～R7.3.31	指定管理委託料（千円）	22,726

事業番号	A02	事務事業名	中谷宇吉郎雪の科学館管理			
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ	

施設の設置目的

中谷宇吉郎に関する資料を収集、保存及び展示をし、その科学的知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

「雪のデザイン賞」が10回目の節目を迎えたことを記念し、選りすぐりの入賞作品を展示した館蔵品特別展や、交流のあった湯川秀樹との関係に焦点をあてた企画展などを実施した。また、雪の科学館と北海道大学低温科学研究所の連携協定締結を記念し、特別展「雪と氷の結晶-中谷の実験から宇宙実験まで-」を開催した。関連企画として、JAXA職員による子ども対象とした実験や講演の他、北海道大学低温科学研究所所長、雪の科学館館長による宇宙や氷に関する講演も実施した。

また、身近な雪や氷を通して特に児童生徒に科学に関心を持ってもらえるよう、科学普及事業として子ども雪博士教室や、来館者を対象とした雪氷に理解を深められる実験も通年を通して行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	166	一般会計	10	5	3	7	1	管理委託費	22,726
②	166	一般会計	10	5	3	7	2	維持補修費	1,192
③	166	一般会計	10	5	3	7	3	運営費	0
②	166	一般会計	10	5	3	7	6	企画事業費	1,000
③	170	一般会計	10	5	3	18	2	中谷宇吉郎雪の科学館整備事業費	5,849
								関連決算額合計	30,767

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。入館者への実験解説等サービス向上にも努力し、評価も得ているが、入館者数は新型コロナウイルス感染症の影響により減少が続いている。オンラインイベントの開催など新たな試みを実施しているが、来館につながるよう、継続的に館の魅力を発信し続ける必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

時宜にかなった魅力的な事業の実施と継続的な科学普及事業を開催することで、若い世代の科学離れを食い止め、中谷宇吉郎の人物と業績を継続的に情報発信していく。幅広い年代が楽しめる、加賀市にしかない特徴的な科学館として観光客にもPRにしていくことで、入館者の増加につなげる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	北前船の里資料館		
（指定）管理者	加賀市		
指定管理期間	－	指定管理委託料（千円）	－

事業番号	A03	事務事業名	北前船の里資料館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

設の設置目

北前船に関する資料等の収集、保存及び展示をして、その知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

全国の中でも北前船主を多く輩出した、船主のふるさと加賀橋立に位置する北前船の専門資料館として北前船に関する情報などを定期的に発信している。北前船のストーリーが日本遺産に認定されたことをきっかけに認知度が高まり、ふるさと学習の面から児童生徒への学習の機会を提供するとともに、観光施設としての情報発信を行い、より多くの観光客の来訪に努めた。令和３年度は3回の企画展のほか、季節にあわせて船主家のコレクションを紹介した。また、体験型イベントとして、大正時代の船主家の婚礼を再現したモニターツアーを実施し、資料館での体験イベントと料理屋での食事をセットにした観光プログラムを企画した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	165	一般会計	10	5	3	6	1	管理委託費	7,594
②	165	一般会計	10	5	3	6	2	維持補修費	566
③	165	一般会計	10	5	3	6	3	運営費	277
④	165	一般会計	10	5	3	6	4	光熱水費	478
⑤	165	一般会計	10	5	3	6	5	その他管理費	130
⑥	165	一般会計	10	5	3	6	6	企画事業費	202
⑦	170	一般会計	10	5	3	18	1	北前船の里資料館整備事業費	2,970
⑧	170	一般会計	10	5	3	80	1	北前船の里資料館整備事業費（繰越明許分）	31,658
								関連決算額合計	43,875

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	－	△	－	×	－	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	－	△	－	×	－	

評価に関するコメント

適正な施設管理を行っている。施設運営については北前船に関する企画展の実施やボランティア解説員による解説案内の提供等により、観光客へのサービス向上に努めている。
一方で、資料館が開館して35年以上が経過し、展示設備が古くなっているほか、建物が築140年を越え、修繕が必要な箇所が増えてきている。来館者の安全な見学を確保するとともに、貴重な文化財を残していくための処置が必要である。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

北前船を加賀市における重要な観光資源ととらえ、より効果的な情報発信を行う。老朽化する建物を歴史的な価値を損なうことなく適切に管理し、整備・活用していくとともに、計画的な修繕等を行っていく。
また、従来から来館者として多いシニア層だけでなく、家族連れや若年層に向けた展示企画、イベント等を行うことにより、北前船の新たな魅力を創出し、来館者の増加を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	石川県九谷焼美術館管理		
（指定）管理者	加賀市		
指定管理期間	－	指定管理委託料（千円）	－

事業番号	A04	事務事業名	九谷焼美術館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	九谷焼美術館グループ

施設の設置目的

郷土の誇りである伝統工芸「九谷焼」の歴史や存在意義を市内外に宣伝・発信することで、文化的愛好層を広げ観光振興ひいては地場産業九谷焼の振興・発展につなげ、当市のアイデンティティ形成に寄与する。当館が魅力ある事業を展開をすることによって、訪れた観光客や観光業者に満足を与え、リピーターを増やし、高い評判を全国的に得ることが予想される。教育面では市民や子どもたちが郷土の誇りとして「九谷焼美術館」をあげ、文化都市・観光都市としての大きなアイデンティティが確立する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

当館が九谷焼をPRする中核施設であることは、さまざまな活動によりすでに県内外で認められるようになっている。県外観光客の入館も、従来の関西圏、中京圏のみならず、平成27年の北陸新幹線金沢開業が追い風となり、首都圏からの来館者が増えてきている。「加賀市は九谷焼発祥の地」をモットーに当館の企画事業を発信しつづけた成果と考えられる。しかしながら令和3年度の入館者は、令和2年度に引き続きコロナ禍の影響を受け減少した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	163	一般会計	10	5	3	5	1	管理委託費	16,564
②	163	一般会計	10	5	3	5	2	維持補修費	1,736
③	164	一般会計	10	5	3	5	4	運営費	5,659
④	164	一般会計	10	5	3	5	5	光熱水費	8,439
⑤	164	一般会計	10	5	3	5	6	その他管理費	749
⑥	164	一般会計	10	5	3	5	7	企画事業費	8,037
								関連決算額合計	41,184

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	－	△	－	×	－	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	－	△	－	×	－	

評価に関するコメント

九谷焼をPRする中核施設として、適切な管理運営を行っている。
運営については、展示企画に創意工夫をし内容の充実に努めている一方、費用対効果を意識した運営を心がけ、美術館としての魅力と展示品の質を確保しつつ、来館者への満足度向上に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和3年度は、昨年に続き硲伊之助の特別展の他、再興九谷の中でも特に評価の高い吉田屋窯の作品と粟生屋窯の名品を一堂に集めた特別展「吉田屋と粟生屋の至宝」を開催。NHK日曜美術館のアートシーンでも取り上げられるなど全国に情報発信することができた。
今後も「九谷焼発祥の地」加賀市としてさらなる情報発信をするとともに、古九谷や再興九谷を中心とする企画展を開催し、集客を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	魯山人寓居跡いろは草庵		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定管理期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	15,126

事業番号	A05	事務事業名	魯山人寓居跡いろは草庵管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的

本市に滞在し、本市の文化に影響を及ぼした北大路魯山人に関する資料を収集し、保存し、及び展示し、その知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

北大路魯山人が山代温泉を訪れた際に滞在した、吉野屋別荘の建物のうち、仕事部屋、書斎、囲炉裏などを当時のままに公開している。施設の管理運営の委託を行い、魯山人と山代温泉との関わりについて情報発信している。また、四季をテーマに、魯山人の作品の魅力について焦点をあてた企画展を開催した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	168	一般会計	10	5	3	10	1	管理委託費	15,126
②	168	一般会計	10	5	3	10	2	維持補修費	1,797
③									
								関連決算額合計	16,923

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。入館者サービスは概ね好評であり満足度向上につながっているが、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少などにより、入館者の減少が続いている。感染症対策を講じた上で、学芸的業務のレベルアップとともに、立地を活かし観光客の興味をひくようなイベント等の実施も必要である。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

山代温泉の中心部に近い立地から、観光客のニーズに応じた企画展や館の特色を活かしたイベント等を行い、観光協会や旅館組合等とも連携を図ることで、更なる入館者の増加を目指す。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	九谷焼窯跡展示館管理		
（指定）管理者	加賀九谷陶磁器協同組合		
指定管理期間	H31.4.1～R5.3.31	指定管理委託料（千円）	14,413

事業番号	A06	事務事業名	九谷焼窯跡展示館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	九谷焼美術館グループ

施設の設置目的

九谷焼吉田屋窯以降の再興九谷に関する資料を収集し、保存し、及び展示し、市民の教養を高めるとともに、学術及び文化の向上に資する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の運営、維持管理等の委託を行い、市民や観光客等の九谷焼に対する関心と理解を高め、普及につとめた。年間4回の企画展を開催したほか、体験事業として絵付け体験を行っている。また、ふるさと学習として、市内の小学校からの見学を受け入れている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	168	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	14,413
②	168	一般会計	10	5	3	9	2	維持補修費	945
③									
								関連決算額合計	15,358

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理、運営を行っている。九谷焼を理解してもらうための企画展や、窯焚き、体験事業等を行っているほか、館内スタンプラリーの実施やグッズ制作など、より魅力的な事業を積極的に実施し、来館者の満足度の向上につながっているが、入館者数は減少傾向であり、新たな体験事業やイベント等の検討が必要である。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

国指定史跡の窯跡をはじめ、九谷焼の歴史や作品を深く知ることができ、また、体験施設としての独自性を強調し、その魅力をより情報発信することで入館者の増加につなげる。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	深田久弥山の文化館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会		
指定管理期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	7,600

事業番号	A07	事務事業名	深田久弥山の文化館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的

深田久弥と山（登山、山の生活文化及び山の精神文化等）に関する資料を収集し、保存し、及び展示し、市民の教育、学術及び文化の振興に寄与することを目的とするとともに、人々が自然と人間について考える交流の場。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

深田久弥の業績を伝える常設展示の他、企画展として、深田久弥没後50年の節目にあわせた「没後50年展『追憶』」、深田久弥の魅力を紹介する「再現　この一本展」を開催した。
「第16回加賀市ふるさとの自然ふれあいコンクール」には市内の子供たちから、昨年度の3倍以上となる426点の応募があり、そのうち受賞作品23点の展示を行った。また、毎月開催している「聞こう会（ミニ講演会）」では加賀市の自然についての講演会も開催し、山の文化や郷土の自然についての情報発信も行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	169	一般会計	10	5	3	11	1	管理委託費	7,600
②	169	一般会計	10	5	3	11	2	維持補修費	499
③	170	一般会計	10	5	3	18	3	深田久弥山の文化館整備事業費	6,215
								関連決算額合計	14,314

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	3	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づいた運営、管理は適正に行われている。新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や、遠方からの来館者が少なくなったこともあり、入館者の減少が続いている。入館者数は他施設に比べ少ないことから、積極的なPR活動や魅力あるイベント等を実施することで、市民や観光客などの認知度をあげ、誘客を促進する方法を検討していく必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

8月11日の山の日にちなみ、山の文学者深田久弥の魅力を発信して加賀市への誘客につなげる。
増築された資料文献室を最大限に活用し誘客促進を図るため、資料整理、展示やイベントの実施のほか、SNSを使った積極的な情報発信に努める。
また、深田久弥終焉の地である韮崎市と令和3年4月に共同宣言を締結したことを生かし、韮崎市と連携して積極的なPRを行うことを目指していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中温泉芭蕉の館		
（指定）管理者	芭蕉の館		
指定管理期間	R3.4.1 ～ R8.3.31	指定管理委託料（千円）	3,963

事業番号	A08	事務事業名	山中温泉芭蕉の館管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的

山中温泉の歴史的な建造物を保存活用し、温泉街の景観形成を図り、広く市民の文化活動及び観光交流の振興に資する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

山中温泉と松尾芭蕉に関する常設展示や企画展、俳句に関する講習会を開催した。コロナ禍により、コンサート等は開催できなかったが、文化振興の場として多くの観光客や市民に活用されている。
また、山中漆器の作品展示も行い、地場産業の振興に貢献している。
コロナ禍の影響もあったが、入館者数が対前年度比4.8%の増となった。収支では、令和2年度は約5万円の赤字、令和3年度は、人件費及び事務費、広告代が増となったため、約50万円の赤字となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	240	一般会計	10	5	3	20	1	管理委託費	3,963
②	240	一般会計	10	5	3	20	2	その他管理費	185
③	240	一般会計	10	5	3	20	3	維持補修費	308
								関連決算額合計	4,456

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、概ね適正な管理を行っている。
自主事業にも積極的に取り組んでおり、企画展の実施、館所蔵資料の充実を行うとともに誘客促進を図っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

令和5年にオープン予定の旧よしのや依緑園別荘や山中座との連携を図り、山中温泉の更なるにぎわい創出を図る。
また、松尾芭蕉は、山中温泉だけではなく大聖寺も訪れ、滞在した全昌寺には、当時の部屋が茶室として再現されているほか、弟子が作成したとされる芭蕉像が展示されるなど、市内には芭蕉ゆかりの地が点在している。
しかしながら、歴史文化資源として、一体的に捉えられておらず、本市の観光に活かし切れていないのが現状である。
今後は、関係機関との連携を図り、市全体で「芭蕉のブランド力」を強化し、観光資源として、更なる誘客につなげていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	鴨池観察館		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定管理期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料（千円）	17,000

事業番号	A09	事務事業名	鴨池観察館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	環境政策グループ

施設の設置目的

来館者の野鳥をはじめとする自然観察等を通じて、自然保護の知識の普及や意識の向上、ラムサール条約登録湿地の片野鴨池を周辺住民とともに保全することを目的としている。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

ラムサール条約登録湿地の貴重な資源を活用した自然体験プログラムや保全活動などの実施により、館の設置目的に沿った適正な施設管理を、加賀市総合サービス株式会社に運営委託している。
令和3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、屋内でのイベントを事前予約制とし、人数制限を設けた上で行った。また、TwitterやFacebook、鴨池観察館ホームページにて鴨池の様子を公開し、館の魅力発信に努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	200	一般会計	4	2	6	3	4	管理委託費	17,000
②	200	一般会計	4	2	6	2	4	その他管理費	4,018
③	200	一般会計	4	2	6	2	5	維持補修費	356
								関連決算額合計	21,374

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。 近年、減少傾向にある入館者数の増加に向けて努力している。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者に対して、市民のニーズに応じたより良いサービスと環境教育の機会を提供するとともに、市内外からのリピーターを増やし、片野鴨池の生態系を守り育てていける安定した施設運営ができるよう管理指導を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀体育館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	17,317

事業番号	B01	事務事業名	加賀体育館管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

様々なスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

様々なスポーツのための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：35,475人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	281	一般会計	10	6	6	1	1	管理委託費	17,755
②									
③									
								関連決算額合計	17,755

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
施設を利用して、ファミリーバドミントンや障がい者を対象とした健康教室を長年実施しており、市民ニーズに応えたサービスを提供していることも評価しており、利用者に対するサービス向上に積極的であると考えている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市武道館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	3,900

事業番号	B02	事務事業名	武道館管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

柔道・剣道・弓道など、それぞれの武道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

柔道・剣道・弓道のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
また、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿として7月14日～20日までポルトガル選手団を受け入れた。
館内の洗面・トイレの水道水が使用できなくなったことから、緊急的修繕を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数19,957人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	282	一般会計	10	6	6	11	1	管理委託費	3,999
②									
③									
								関連決算額合計	3,999

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市における武道振興の中心施設である。しかしながら、開設から40年以上が経過し、老朽化が著しく耐震診断もなされていない状態であり、施設利用者の安心安全のため早急な整備が必要と考えられる。
なお、山中武道館との統合を見据えており、両武道館の利用者から理解を得られるよう調整を図っていく。
市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	大聖寺グラウンド		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	800

事業番号	B03	事務事業名	大聖寺グラウンド管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年サッカーやソフトボール競技など、それぞれのスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年サッカーや少年野球、ソフトボール競技のための施設提供及び施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：9,883人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	820
②									
③									
								関連決算額合計	820

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	大聖寺テニスコート		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	1,100

事業番号	B04	事務事業名	大聖寺テニスコート管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

テニス競技のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
また、老朽化によるフェンスの修繕を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：8,092人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,128
②	283	一般会計	10	6	6	18	2	維持補修費	451
③									
								関連決算額合計	1,579

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
全コートのオムニ化に伴い利用者数も増加し、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市陸上競技場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	11,410

事業番号	B05	事務事業名	陸上競技場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

陸上競技やサッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

陸上競技やサッカー競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
毎年、トラック外周溝蓋を一定量ずつ交換しており、3年度も継続実施した。
また、競技場記録室の防水修繕等を実施した。。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：12,609人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	282	一般会計	10	6	6	7	1	管理委託費	11,698
②	282	一般会計	10	6	6	7	2	維持補修費	321
③									
								関連決算額合計	12,019

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
主な利用者である陸上競技とサッカー競技の利用者について、利用の棲み分けができるように工夫するなど利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
サッカーで利用すると芝生が傷みやすいため、将来的には、サッカー競技に特化した体育施設の設置の検討が必要である。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市相撲場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	2,957

事業番号	B06	事務事業名	相撲場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年相撲競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年相撲競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツなどによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：2,227人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	3,032
②									
③									
								関連決算額合計	3,032

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市スポーツセンター		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	31,143

事業番号	B07	事務事業名	スポーツセンター管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民のサービス向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
また、竪樋、浄化槽及び屋外給水漏水等の修繕、電気設備におけるPCB混入分析調査を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：26,243人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	282	一般会計	10	6	6	10	1	管理委託費	31,931
②	282	一般会計	10	6	6	10	2	維持補修費	2,212
③	282	一般会計	10	6	6	10	3	その他管理費	1,169
								関連決算額合計	35,312

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

スポーツセンターは加賀体育館、水泳プールとともに利用者の多い施設であることから、指定管理者には、今後も自主的な改善を継続するよう指導していくほか、指定管理者による自主事業の実施についても促していく。
また、屋根鋼板の劣化が著しく雨漏りが発生しており、メインアリーナの床面も経年劣化が激しく、非常に滑りやすい状態であることから、施設全体の改修計画を立て、計画的に実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中健民体育館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	13,934

事業番号	B09	事務事業名	山中健民体育館管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民のサービス向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：16,055人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	13	1	管理委託費	14,286
②									
③									
								関連決算額合計	14,286

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
現状の利用を維持できるように設備等の点検を行い、必要に応じて修繕していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中武道館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	1,700

事業番号	B10	事務事業名	山中武道館管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

柔道・剣道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

柔道・剣道のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：2,408人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	14	1	管理委託費	1,743
②									
③									
								関連決算額合計	1,743

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。
使用していない箇所の清掃が不十分であった。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
開設から40年近くが経過し経年劣化が著しい。主に柔道と剣道の少年教室で利用されている。
今後は、加賀市武道館との施設統合を進めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中弓道場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	1,330

事業番号	B11	事務事業名	山中弓道場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的

弓道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

弓道のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：2,623人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	16	1	管理幾多費	1,364
②									
③									
								関連決算額合計	1,364

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
施設としては老朽化がかなり進んでいるため、個別施設計画に基づき、計画的な修繕と統廃合の検討を行うことが必要。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市中央公園野球場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	4,350

事業番号	B12	事務事業名	中央公園野球場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
また、雨漏りで傷んだ3塁側選手ロッカー室の内装修繕工事を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：4,989人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	282	一般会計	10	6	6	3	1	管理委託費	4,460
②	282	一般会計	10	6	6	3	2	維持補修費	865
③									
								関連決算額合計	5,325

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
傷みの激しい内装修繕が終わった後、グラウンド部分及びスコアボード等についての改修計画については、他の施設との優先順位を図りながら実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中球場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	3,700

事業番号	B13	事務事業名	山中球場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
また、経年劣化によりフェンスの一部が倒れたので、緊急的に修繕を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：3,245人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	17	1	管理委託費	3,794
②	283	一般会計	10	6	6	17	2	維持補修費	242
③	283	一般会計	10	6	6	17	3	その他管理費	6,012
								関連決算額合計	10,048

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
今後は、体育施設の適正配置として、近隣にあり老朽化が著しい山中武道館を廃止し、隣接するかつら児童公園の移設整備など、山中球場周辺施設の一体的な整備を検討し、野球場利用者と地域住民の利便性の向上を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市片山津野球場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	400

事業番号	B14	事務事業名	片山津野球場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年野球などの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める

実施状況

令和3年度の管理運営状況

野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：6,126人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	410
②									
③									
								関連決算額合計	410

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山代グラウンド・動橋グラウンド		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	800

事業番号	B15	事務事業名	グラウンド（山代・動橋）管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的

少年野球や少年サッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年野球や少年サッカーなどのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技、サッカー競技などによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
山代グラウンドの樹木伐採処理を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：（山代グラウンド）5,650人、（動橋グラウンド）5,807人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	820
②	283	一般会計	10	6	6	18	2	維持補修費	172
③									
								関連決算額合計	992

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市中央公園テニスコート		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	6,821

事業番号	B16	事務事業名	中央公園テニスコート管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

テニス競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、テニス競技などによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：9,689人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	6,994
②									
③									
								関連決算額合計	6,994

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	水泳プール		
（指定）管理者	株式会社エイム		
指定期間	R3.4.1～R5.3.31	指定管理委託料（千円）	22,000

事業番号	B17	事務事業名	水泳プール管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

水泳や水中ウォーキング等を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

水泳等のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
また、屋内プールの自動補給水弁及び屋外プールの合併処理施設漏水修繕を行った。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：44,274人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	281	一般会計	10	6	6	2	1	管理委託費	22,000
②	281	一般会計	10	6	6	2	2	維持補修費	637
③									
								関連決算額合計	22,637

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	30	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	30	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
利用者を対象とした自主事業を積極的に行うなどして利用者数の増加に繋がる努力をしている。
また、施設管理についても、定期的な点検を行い、修繕についても自主的に実施しているほか、職員、スタッフが気づいた自分たちに出来ることは自分たちでするという取組み姿勢は利用者から好評を得ていることから高く評価している。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
また、経年劣化の著しい屋内水泳プールについては大規模修繕や建て替えが早い時期に必要な状況であり、利用者の安全確保の点からも、早急に整備方針を決定していく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	いきいきランドかが		
（指定）管理者	（株）エイム		
指定管理期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料（千円）	0

事業番号	B18	事務事業名	いきいきランドかが管理		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	生活環境グループ

施設の設置目的

市民の保養と健康増進を図るとともに、福祉の向上と地域振興に資することを目的としている。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

（株）エイムを指定管理者として、環境美化センターの余熱を利用した市民等への入浴施設、体育施設の提供及び各施設の維持管理等の運営委託を行い、市民の健康増進や市民サービスの向上、施設の適正管理に努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	193	一般会計	4	1	2	3	3	その他管理費	15,371
②	193	一般会計	4	1	2	3	4	維持補修費	1,284
③	193	一般会計	4	1	2	6	1	いきいきランドかが整備費	7,627
								関連決算額合計	24,282

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	30	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	30	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。
老若男女を問わず利用者へのサービスの向上や利用者増加にも努めているとともに、利用者への運動指導等の健康増進にも積極的に取り組んでいる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民へのより良いサービスやメニューを提供すること、また、施設の目的達成に向けて、スポーツ推進課、健康課と連携した事業を行うことについて、管理指導を実施する。
現在、環境美化センターの余熱利用の観点から、廃棄物対策担当課である環境課が所管しているが、健康増進を設置目的とするなら、健康課及びスポーツ推進課が適当と思われる。
また、本施設は20年以上経過しており、施設設備の劣化が進行しており、設備改修への対応が必要となってくるため、施設設備の修繕・改修を計画的に実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中温泉ゆけむり健康村		
（指定）管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定管理期間	R03.4.1 ～ R04.3.31	指定管理委託料（千円）	94,132

事業番号	B19	事務事業名	ゆけむり健康村管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的

市民の保養と健康増進、福祉の向上及び観光振興に寄与し、並びに一般道路の利用客に対し良好な休憩の場及び道路情報等を提供する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

利用者は、市民、観光客と幅広く、年間 190,566人と、前年度に比べ 2.4%の利用客の増であった。
令和2年度が元年度と比べ 22.7%の減であったことから、わずかではあるが好転しているが、令和元年度の利用者が年間 240,812人であったので、従前の状況までの回復に至っていない。
低迷要因として、5月13日から6月13日まで温浴施設を午後8時まで営業短縮、フィットネス・プール・すこやかホール・テニスコート・道の駅・食事処里山を5月20日から6月13日まで休業したことなどが影響していると思われる。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	236	一般会計	7	2	3	11	1	管理委託費	94,132
②	236	一般会計	7	2	3	11	2	その他管理費	836
③	236	一般会計	7	2	3	11	3	維持補修費	4,185
								関連決算額合計	99,153

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	3	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、適正な管理を行っている。
コロナ禍による休業により、積極的な事業展開が行えなかった。
アルコール消毒・検温等の感染対策により、利用者の安全安心、及びサービス向上に努めた。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市の組織した「ゆけむり健康村検討委員会」から、令和3年12月3日、現在の施設機能を縮小した上で、すこやかホール解体跡地で改築する旨の提案書が提出された。
また、公共施設の維持管理コスト等の観点から、公共施設マネジメント外部検討委員会が組織され令和4年6月2日、山中温泉ゆけむり健康村は「市による運営継続は困難である。
今後、この提言、報告を基に、市議会における活発な議論等を踏まえ、総合的かつ慎重に、本年中を目途に、方向性を判断してゆく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	橋立自然公園運動広場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R3.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	4,000

事業番号	B20	事務事業名	橋立自然公園運動広場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年サッカーの試合や練習および地元グラウンドゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：6,916人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	4,101
②									
③									
								関連決算額合計	4,101

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
サッカーとグラウンドゴルフの練習や大会で利用されることが多い。サッカーでの利用は芝生が傷むことがあるため、芝生の良好な状態の保持に努めるよう、指定管理者に依頼していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	黒崎多目的広場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	2,300

事業番号	B21	事務事業名	黒崎多目的広場管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

少年サッカーの試合や練習および地元グラウンドゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：2,800人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	2,358
②									
③									
								関連決算額合計	2,358

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
サッカーの利用により芝生が傷むことがあるため、その他のスポーツで利用する際に支障が無いよう、指定管理者に適正な管理をするよう指導していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市セミナーハウスあいりす		
（指定）管理者	Paradies・のと楽・仁志会グループ		
指定管理期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料（千円）	10,394

事業番号	C01	事務事業名	セミナーハウスあいりす管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

施設の設置目的

住民交流及び生涯学習活動の場を提供し、もって市民福祉の増進に資するため設置している。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

積極的に企業や大学等に対する誘致活動を展開し、新規の自主事業の企画やホームページによる情報発信を行い、予約対応増加に努めたが、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度より宿泊者数は増加しているが、貸館利用者は減少しており、コロナ禍以前の宿泊、貸館利用者は未だ回復していない。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	275	一般会計	10	5	3	3	1	管理委託費	10,394
②	275	一般会計	10	5	3	3	2	維持補修費	179
③	275	一般会計	10	5	3	3	3	その他管理費	763
④	275	一般会計	10	5	3	14	5	セミナーハウスあいりす整備事業費	1,730
								関連決算額合計	13,066

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	21	△	4	×	4	可
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	29	△	0	×	1	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な指定管理を行っているが、保守管理が行き届いていない点が後期モニタリング時に確認されたため、改善指示を行った。今後、継続的に館内の保守管理を行き届かせることを期待する。

加賀市民や公園利用者にとって使いにくい施設になっている面があるうえ、コロナ禍で海外利用者の確保が困難であるため、施設利用者だけでなく、公園利用者の利便性向上を図るような仕掛けを期待する。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

新型コロナウイルス感染予防を念頭に置きつつ、企業、団体、学校（大学、高校、中学）に対する誘致活動を積極的に展開するとともに、魅力のある自主事業の企画・運営、継続的な保守管理を徹底し、利用者数の増加を図るよう働きかけるとともに、市民や公園利用者が利用しやすい企画や運営の提案を求めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市文化会館		
（指定）管理者	株式会社コーワ		
指定管理期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	23,500

事業番号	C02	事務事業名	加賀市文化会館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的

市民の文化の振興、教養の向上及び集会その他各種行事に使用し、もって市民の福祉の増進に資するため。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和2年度より貸館事業数が減少している。また、指定管理者が実施した自主事業数も少なかった。
設備機器等改修工事に伴う実施設計を行い、来年度以降に工事を進めていく予定である。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	162	一般会計	10	5	3	4	1	管理委託費	23,500
②	162	一般会計	10	5	3	4	2	維持補修費	952
③	162	一般会計	10	5	3	4	5	その他管理費	73
④	170	一般会計	10	5	3	14	2	文化会館整備事業費	5,896
								関連決算額合計	30,421

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	29	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	20	△	10	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、管理運営、維持管理は適正に行われている。新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業数が減少し、自主事業も実施数が少ない。感染状況に応じて自主事業やイベントの誘致等を積極的に行っていくことで、利用者数の増加を目指す必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

感染症対策を講じた上で、指定管理者による自主事業を実施して市民の文化振興に寄与するとともに、営業活動も積極的に行い、集客効果のあるイベント等の誘致を検討して稼働率の上昇を目指していく。
また、建物の老朽化が進んでいることから、計画的に工事を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中温泉文化会館		
（指定）管理者	加賀市		
指定管理期間	－	指定管理委託料（千円）	－

事業番号	C03	事務事業名	山中温泉文化会館管理			
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ	

施設の設置目的

市民の文化振興、教養の向上及び集会その他各種事業に活用し、市民の福祉増進に資する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

市民の文化振興、集会、各種行事、会議及び地域住民のまちづくり活動の場として、適正に維持管理している。
新型コロナ感染拡大防止のため、英会話教室、コーラスは年間を通じて活動を休止した。その他、そろばん教室、フラワーアレンジメント教室は、マスク着用手指消毒など感染対策を徹底して実施し、山中山岳会、渓流会、子供会なども同様の対策を行い会合を行った。
しかし、恒例行事である、山中節全国コンクール、敬老会はコロナ禍から休止した。
文化祭は、さほど人の密集もないことから、マスク着用手指消毒など感染対策を徹底し、規模を縮小して実施した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	239	一般会計	10	5	3	19	1	光熱水費	4,447
②	239	一般会計	10	5	3	19	2	管理委託費	2,227
③	240	一般会計	10	5	3	19	3	その他管理費	839
④	240	一般会計	10	5	3	19	4	維持補修費	7,368
								関連決算額合計	14,881

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	－	△	－	×	－	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	－	△	－	×	－	

評価に関するコメント	市直営施設のため、モニタリングは実施してないが、職員による適切な管理を行っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

建築後49年が経過し、施設の老朽化が顕著であり、施設の維持管理費が増大している。
本施設については、公共施設の維持管理コストの等の観点から、公共施設マネジメント外部検討委員会において、「市による運営継続は困難である。」との報告がなされており、文化会館内にある各種団体事務所や地区会館機能については、地域住民が利用しやすい近隣の代替え施設への移転の検討が必要であるほか、施設の廃止や取り壊しをする場合には、民間活力の利用を踏まえた跡地活用の検討を行った方がよいと報告されてる。
いずれにせよ、方向性が決定するまでの間、施設を維持修繕し利用していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中座		
（指定）管理者	山中温泉旅館協同組合		
指定管理期間	H31.4.1～R06.3.31	指定管理委託料（千円）	15,000

事業番号	C04	事務事業名	山中座管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的

伝統芸能「山中節」を中心とした郷土芸能の振興と観光商工の発展を図り、活力ある町づくりに寄与する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

コロナ禍の影響により、山中節認定審査会、舞初め鑑賞会、山中節道場が中止となった。
このような中でも、定期上演、カルチャー教室、山中節唄いやんこ等感染対策、規模を縮小して、行い、観光客、地元住民の利用及び参加が図られた。
また、山中芸妓や座員らの後継者育成や活動拠点の場としている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	236	一般会計	7	2	3	12	1	管理委託費	15,000
②	236	一般会計	7	2	3	12	2	その他管理費	230
③	236	一般会計	7	2	3	12	3	維持補修費	287
								関連決算額合計	15,517

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

維持管理、サービス向上に対する取り組みは評価する。
貸館事業利用件数は、対前年度比22.8%増となり、利用料金収入は、対前年度比36.3%増となった。
また、「四季の舞」予約上演は22件、その他上演を含めた件数で、対前年度比49.1%の増であり、収入も、対前年度比36.3%の増となった。
自主事業部門（物販等）についても黒字となった。
コロナ禍ではあるが、少しづつ回復の兆しが見え始めたと思われる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者が山中温泉旅館協同組合であることから、地域と連携した積極的な事業展開が期待できる。
組合加入の旅館を通じ、宿泊客へ積極的な宣伝を行うなど、利用者増に向けた努力を行う。
各種事業内容についても、現行の問題点を洗い出し、開催日時等の見直しを行い、集客に向け検討する。
また、山中節振興のために活動している「山中節振興会」と連携、協働して裾野の維持・拡大を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市はづちを楽堂		
（指定）管理者	特定非営利活動法人　はづちを		
指定管理期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	4,600

事業番号	C05	事務事業名	はづちを楽堂管理			
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ	

施設の設置目的

本施設は、山代温泉の2つの総湯を核とした湯の曲輪の賑わい創出の一助となるとともに、地域住民や観光客の世代間交流を図り、市民の福祉向上を図る。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の運営・維持管理を指定管理として、特定非営利法人はづちをに委託している。
指定管理者は、各種教室や会議のために研修室の貸し出しを行っている。また、自主事業として喫茶店や土産物店の運営を行い、市民の福祉向上や湯の曲輪の賑わい創出に努めている。
R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休業期間を設けた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	158	一般会計	7	2	3	3	1	管理委託費	4,600
②	158	一般会計	7	2	3	3	2	その他管理費	49
③	158	一般会計	7	2	3	3	3	維持補修費	139
								関連決算額合計	4,788

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

施設の運営・維持管理を指定管理として、「特定非営利活動法人はづちを」に委託している。
指定管理者は、各種教室や会議のために研修室の貸し出しを行っている。また、自主事業として、喫茶店や土産物店の運営を行い、市民の福祉向上や湯の曲輪の賑わい創出に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者の自主事業やご当地グルメ「加賀パフェ」への参画を通して、コロナ禍で利用者が落ち込んだ湯の曲輪の賑わい創出に引き続き取り組んでいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	竹の浦館		
（指定）管理者	特定非営利活動法人 竹の浦夢創塾		
指定管理期間	H31.4.1～.R4.3.31	指定管理委託料（千円）	5,550

事業番号	C06	事務事業名	竹の浦館管理			
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ	

施設の設置目的

豊かな自然環境及び伝統的食文化を生かして、都市と農村の交流促進及び農林水産業の振興を図り、もって活力ある地域社会を形成する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の運営・維持管理等の委託を行っている。貸館、自主事業ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年より縮小せざるを得なかったが、感染予防対策をとったうえで、自主事業による売店の運営、加賀市の食文化の継承、農産物の地産地消につながる各種教室を開催したほか、「カガコレ」と題したイベントを10月15日～31日の期間で開催、地元で活動する団体の発表の場を設け、地域の活性化と地域間世代間交流に寄与した。
特定非営利活動法人竹の浦夢創塾の解散意向に係り、指定管理期間を変更した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	186	一般会計	6	1	3	5	2	管理委託費	5,550
②	186	一般会計	6	1	3	5	3	その他管理費	171
③	186	一般会計	6	1	3	5	4	維持補修費	95
								関連決算額合計	5,816

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な管理運営を行っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者である特定非営利活動法人竹の浦夢創塾が解散する意向を示し、指定管理期間を変更、次期指定管理者を公募により募集、選考の結果、加賀市総合サービス株式会社に決まったが、今後の施設の在り方等協議を続けている。
建物は歴史的建造物であり、また、施設の改築後10年以上経過していることから、設備の修繕箇所が増えている。今後、計画的に改修・修繕を行っていく必要がある。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	ろくろの里施設		
（指定）管理者	有限会社 みやま		
指定管理期間	R02.4.1 ～ R07.3.31	指定管理委託料（千円）	1,411

事業番号	C07	事務事業名	ろくろの里施設管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的

地域資源の利活用及び地域住民と都市住民との交流を促進し、地域の活性化を図る。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

各施設において、そば打ち・木地挽きろくろの各種体験やそばを中心とした郷土料理、農産物、漆器工芸品の販売などを行っており、観光総合案内所としての役割も果たしている。
コロナ禍の影響により、1か月閉館したが、入館者数は対前年度比3.2%増となった。収支については、令和3年度は、人件費及び光熱水費が増となったため、43万円の赤字となった。

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	234	一般会計	7	1	4	1	1	管理委託費	1,411
②	234	一般会計	7	1	4	1	2	その他管理費	131
③	234	一般会計	7	1	4	1	3	維持補修費	0
								関連決算額合計	1,542

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、概ね適正に管理運営を行っている。コロナ禍で各種体験等は実施できなかったが、アルコール消毒・検温等の感染対策を行い、利用者の安全安心及びサービス向上に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

木地挽工房見学などを通して、さらなる利用促進が図られるよう、積極的な運営に取り組んでいく。
温泉街の観光施設から見ると、絶対的な利用客数が少ないため、移動手段の検討や広報活動をさらに行うなど、利用者増に向けた取り組みを工夫していく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	かが交流プラザさくら		
（指定）管理者	公益法人加賀市シルバー人材センター		
指定管理期間	R4.4.1～R9.3.31	指定管理委託料（千円）	

事業番号	C08	事務事業名	かが交流プラザさくら管理			
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	まちづくりグループ	

施設の設置目的

まちなかの賑わい創出及び市民福祉の向上と住民活動の推進を図ること。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設全体の指定管理者として、入居団体相互の調整及び施設の維持管理、貸館業務を行っている。施設を活用し、農産物販売イベント（シルバー元気市）やレストラン経営などの事業を実施し、賑わい創出や住民交流の場づくりを行っている。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	53	一般会計	2	1	12	8	1	管理委託費	16,947
②	53	一般会計	2	1	12	8	2	その他管理費	67
③	53	一般会計	2	1	12	8	3	維持補修費	5,500
								関連決算額合計	22,514

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	13	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
新型コロナウイルス感染拡大防止のためにコロナワクチン接種推進室やワクチン接種コールセンターとして会議室を有効的に利用した。また、地域のにぎわい創出を目指し、積極的に自主事業を展開するなど、利用者増加に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者と協働のもと、施設の適正な管理運営を継続して行う。
施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加しているため、緊急性の高いものから修繕を実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀山代温泉総湯		
（指定）管理者	加賀山代温泉財産区		
指定管理期間	R4.4.1～R9.3.31	指定管理委託料（千円）	0

事業番号	D01	事務事業名	山代温泉総湯管理		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

施設の設置目的

市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与すること。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の運営・維持管理を指定管理として、加賀山代温泉財産区に委託し、指定管理者は総湯の管理運営・自主事業として売店の運営や休憩コーナーでの観光案内を行うことで、公衆浴場として市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域の賑わい創出を図った。

令和3年度は、コロナ禍の影響で、自主事業である売店収入が減少し、総湯事業においても利用料収入が減少した。古総湯は感染防止のため臨時休業が令和2年度より短期間だったことなどにより、利用料収入が微増した。一般会計から施設の減収補填分として繰入を行い、さらに事業調整基金からも繰入を行った。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	158	一般会計	7	2	3	6	2	その他管理費	191
②	158	一般会計	7	2	3	6	3	維持補修費	3,286
③	154	一般会計	7	2	1	3	2	加賀山代温泉財産区特別会計繰出金	8,780
								関連決算額合計	12,257

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△		×		良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△		×		

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理・運営を行っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

コロナ禍であるため利用者の減少が続いているが、市民の健康増進と福祉の向上を図るための施設であることから、継続して施設管理・運営を行っていく。指定管理者である加賀山代温泉財産区の財産である「古総湯」と一体的に運営することで、観光協会や旅行業者と連携しながら利用の促進を図っていく。

コロナが収束した後は、総湯、古総湯や売店の収入回復のため、利用促進を図っていく。

施設がオープンして10年以上が経過し、特に機械設備の劣化が多くの部分において見られる。安全安心に利用できるよう、計画的な施設改修に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀片山津温泉総湯公園		
（指定）管理者	株式会社岸グリーンサービス		
指定管理期間	R4.4.1～R9.3.31	指定管理委託料（千円）	2500

事業番号	D02	事務事業名	片山津温泉総湯管理		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

施設の設置目的

市民および観光客が集う憩いの場を提供するとともに、市民の健康増進と福祉の向上を図り、温泉地の賑わい創出に資すること。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の運営・維持管理を指定管理者として、株式会社岸グリーンサービスに委託し、指定管理者は総湯公園の管理運営および自主事業である「まちカフェ」の運営を行い、温泉地の賑わい創出につなげている。
令和3年度においてもコロナ禍の影響で総湯利用収入が減少したことから、施設の減収補填にて補填を行った。また、施設設備のメンテナンス工事のため、約1ヵ月間、片山津温泉総湯を臨時休業し、休業期間の代替施設として、片山津温泉の宿泊施設に協力いただいた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	159	一般会計	7	2	3	8	1	管理委託費	14,675
②	159	一般会計	7	2	3	8	2	その他管理費	95
③	159	一般会計	7	2	3	8	3	維持補修費	10,120
								関連決算額合計	24,890

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	30	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	30	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理・運営を行っている。施設の利用者数は減少傾向にあるが、利用頻度の高い定期利用者を確保するため、積極的に情報発信することで定期券や回数券の販売促進を図っている。
自主事業として運営する「まちカフェ」においては、今後コロナ禍が収束した際に、積極的に利用促進を図り、街の賑わい創出に努めるよう期待する。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

コロナ禍の影響で、総湯利用収入や、「まちカフェ」収入が落ち込んでいる。コロナ禍収束後は、収入回復のため、温泉地の賑わい創出に向け観光協会や旅館組合との連携を密にし、利用促進に努める。
設置から10年以上が経過し、機械設備等の劣化故障が継続して起こっている。安全安心に利用できるよう、計画的な改修に努めていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀山中温泉共同浴場		
（指定）管理者	加賀山中温泉財産区		
指定期間	R03.4.1 ～ R08.3.31	指定管理委託料（千円）	ー

事業番号	D03	事務事業名	山中温泉共同浴場管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的

市民の健康増進と福祉向上を図るとともに、地域振興に寄与することを目的とする。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の維持管理経費を削減しつつ、質の高いサービスの提供を心掛けている。
加賀山中温泉共同浴場（菊の湯）は、市民の健康増進と福祉向上を図るとともに、地域振興に寄与することを目的とする施設であり、指定管理者制度を活用し、主に（1）共同浴場の運営、（2）共同浴場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行っている。
コロナ禍の影響により、利用者数が減少し、普通利用料を中心として、大幅な減収となった。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	237	一般会計	7	2	3	15		菊の湯管理費	7,025
②	329	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	1	1	1	会計年度任用職員給与費	7,225
③	330	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	1	光熱水費	58,988
④	330	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	2	その他管理費	53,227
⑤	330	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	3	維持補修費	1,950
								関連決算額合計	128,415

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	14	△	1	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、概ね適切な施設管理を行っている。
施設内に意見箱を設置し、利用者の意見をチェックし、改善可能なものは対応するよう努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

施設の安全利用に努め、修繕箇所は早急に対処し、衛生面においても細心の注意を払って、 利用促進に努めていく。
施設の老朽化が進んでおり、大規模改修を見据えた設備の修繕、改修を計画的に実施して いく。
引き続き、定期利用券等の販路拡大に努めるとともに、山中温泉旅館協同組合と連携し、 各種菊の湯利用クーポン券の活用等による菊の湯利用者の拡大を図る。
さらに、自主事業の「菊の湯たまご」の製造を継続し、収支の健全化と安定化を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	瀬越キャンプ場		
（指定）管理者	特定非営利活動法人 竹の浦夢創塾		
指定管理期間	H31.4.1～.R4.3.31	指定管理委託料（千円）	350

事業番号	E01	事務事業名	瀬越キャンプ場管理		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ

施設の設置目的

自然に親しむ野外活動の場を提供し、福祉の増進及び地域の発展を図るため。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の維持管理等の委託を行い、野外キャンプなど自然に親しむ活動の場を提供し、市民の自然に対する意識向上、施設の適正管理に努めた。
特定非営利活動法人竹の浦夢創塾の解散意向に係り、指定管理期間を変更した。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	186	一般会計	6	1	3	5	2	管理委託費	350
②	186	一般会計	6	1	3	5	3	その他管理費	42
③									
								関連決算額合計	392

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	14	△	1	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント：協定書・仕様書に基づき概ね適正な管理運営を行っている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者である特定非営利活動法人竹の浦夢創塾が解散する意向を示し、指定管理期間を変更、次期指定管理者を公募により募集、選考の結果、加賀市総合サービス株式会社に決まったが、今後の施設の在り方等協議を続けている。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	加賀市観光情報センター		
（指定）管理者	一般社団法人加賀市観光交流機構		
指定管理期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料（千円）	22,800

事業番号	G1	事務事業名	観光情報センター管理		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

施設の設置目的

多くの観光客が利用するJR加賀温泉駅構内に観光情報センターを設置し、市全域の観光案内を行うことで、観光客の利便性を高め、観光振興を図る。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

施設の管理運営を指定管理として、一般社団法人加賀市観光交流機構に委託し、観光・接遇研修を受講した専門スタッフを配置することで、観光客のニーズに即した観光案内をおこなっている。
令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和2年度に引き続き利用者数の低迷が続いた。26,580人の窓口来場者（R1年度比36.8%）、1,807件の電話問い合わせ（R1年度比78.6%）、1,634,610件のインターネットアクセス（R1年度比69.5%）の実績があった。
その他、観光情報サイトのリニューアルを実施した。また、SNSを活用した情報発信もにも力を入れた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	157	一般会計	7	2	3	2	3	管理委託費	23,626
②									
③									
								関連決算額合計	23,626

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき適正な運営・施設管理を行っている。
新型コロナ感染拡大後は、情報は真の強化に加え、宿泊施設や観光施設の休業情報を、常に最新の情報を観光客に提供している。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

加賀市観光情報センターの指定管理者である「一般社団法人加賀市観光交流機構」は、市内観光事業者はもとより、農業や漁業、地場産業者などが会員となり、連携しながら誘客事業を行っており、日本版DMOとしても登録されている団体である。今後も同機構による管理運営を通じ、効果的に観光振興を図っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	橋立自然公園		
（指定）管理者	株式会社岸グリーンサービス		
指定管理期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料（千円）	9,000

事業番号	G02	事務事業名	橋立自然公園管理		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

施設の設置目的

橋立自然公園の自然環境保全と自然体験学習を通じた環境意識の向上を図るとともに、レクリエーションの場を提供する。管理運営は、民間事業者の知識、ノウハウを生かすため指定管理者が行う。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

公園内の除草や竹林整備等の保全活動と管理棟等の日常管理を行った。また、管理者が例年企画・運営している「みちくさウォーク」や「ホタル観賞会」などの自然学習プログラムは、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止とした。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	225	一般会計	8	5	6	3	1	管理委託費	9,000
②	225	一般会計	8	5	6	3	2	その他管理費	54
③	225	一般会計	8	5	6	3	3	維持補修費	349
								関連決算額合計	9,403

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	12	△	0	×	3	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な管理運営がなされている。 コロナ禍による公園利用ニーズの変化に対応した自主事業など工夫や検討をする必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

コロナ禍による公園利用ニーズの変化に対応した自主事業の開催や情報発信について管理者と検討を行う。本施設は10年以上経過しており、園路などの大規模な改修を計画的に実施する。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	中央図書館		
（指定）管理者	加賀市		
指定期間	―	指定管理委託料（千円）	―

事業番号	G03	事務事業名	中央図書館		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央図書館

施設の設置目的

市民の教養、調査研究、レクリエーション等のため、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して市民の利用に供する。また、市民の社会教育における学習活動の支援や学校教育の援助、家庭教育の向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

資料の収集や資料に関する相談のほか、乳幼児、児童を対象とした「おはなし会」や一般を対象とした講座、学校や保育園の来館や訪問による読書活動の啓発を行う予定であったが、令和2年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの事業を中止した。また、休館後は、開館時間の短縮などサービス制限を実施し開館した。
施設・設備の整備については、第2次非常用照明器具修繕、小荷物昇降機修繕、油タンク液面計修繕を行った。また、コロナ感染症対策として、図書消毒機を購入した。
入館者数：101,657名

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	274	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	5,915
②	274	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	3,670
③	274	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	314
④	274	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	2,292
⑤	275	一般会計	10	5	3	14	1	図書館整備事業費	1,043
								関連決算額合計	13,234

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	―	△	―	×	―	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	―	△	―	×	―	

評価に関するコメント

市民に対し、資料・情報の提供や相談対応などのさまざまな支援を行うとともに、祝日開館などで利便性を高めている。
乳幼児・児童向けの事業は、継続実施するとともに、内容の充実を図る。
施設管理面では、現施設の長期使用を図るため、計画的な改修を実施していく。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

人口減少、少子化の影響により利用者数は減少傾向にあるが、祝日開館及び山中図書館と休館日をずらすなど利用者の利便を図る。
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、魅力的な事業計画、図書資料の充実、サービスの向上などにより、利用者の増加及び読書活動の推進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	山中図書館		
（指定）管理者	加賀市		
指定期間	－	指定管理委託料（千円）	－

事業番号	G04	事務事業名	山中図書館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	山中図書館

施設の設置目的

市民の教養、調査研究、レクリエーション等のため、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して市民の利用に供する。また、市民の社会教育における学習活動の支援や学校教育の援助、家庭教育の向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

資料の収集や資料に関する相談のほか、乳幼児、児童を対象とした「おはなし会」や一般を対象とした講座、学校や保育園の来館や訪問による読書活動の啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての事業が中止となった。た、休館後は、開館時間の短縮などサービス制限を実施し開館した。施設・設備の整備については、排煙窓の修繕、冷暖房設備冷却ベルト交換修繕、トイレ洋式化改修工事を行った。
入館者数：22,150名

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	274	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	2,196
②	274	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	2,136
③	274	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	153
④	274	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	1,184
⑤	275	一般会計	10	5	3	14	1	図書館整備事業費	1,067
								関連決算額合計	6,736

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	－	△	－	×	－	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	－	△	－	×	－	

評価に関するコメント	市民に対し、資料・情報の提供や相談対応などのさまざまな支援を行うとともに、祝日開館などで利便性を高めている。 乳幼児・児童向けの事業は、継続実施するとともに、内容の充実を図る。 施設管理面では、現施設の長期使用を図るため、計画的な改修を実施していく。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

人口減少、少子化の影響により利用者数は減少傾向にあるが、山中およびその周辺地区の地域館として、また中央図書館と休館日をずらすなどして利用者の利便を図り、施設改修の計画的実施や魅力的な事業、資料の充実、サービスの向上などにより、利用者の増加及び読書活動の推進を図る。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	高齢者健康プラザ		
（指定）管理者	社会福祉法人　篤豊会		
指定管理期間	R1.4.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	14,465

事業番号	G05	事務事業名	高齢者健康プラザ管理			
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ	

施設の設置目的

市民に健康づくり活動の実践の場を提供することにより、心身の健康の保持及び増進を図る。また、高齢者においては、要介護状態になることを予防する場を提供する。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

市民への利便性と民間ノウハウによる経営を図るため、平成16年度から指定管理者制度の下に運営を行っている。
建物･設備の老朽化への対応として、平成23年度から修繕費を、人件費や備品修繕費等の経費の増大への対応として、平成27年度から委託料を計上している。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	118	一般会計	3	1	5	7	1	その他管理費	17,852
②									
③									
								関連決算額合計	17,852

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理･運営がなされたか）	○	13	△	2	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書･仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。
利用者数は毎年増加していたが、新型コロナウイルスの影響で、利用者数が減少した。（高齢者(60歳以上)の令和3年度年間延利用者数44,900人、令和2年度年間延利用者数34,454人、令和元年度年間延利用者数59,371人）。
地域支援事業の高齢者筋力トレーニング教室などの介護予防拠点としての事業も委託しており、事業としては高齢者の健康維持、体力維持につながっていると考えられる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

新型コロナウイルスの影響による一時的な減少はあるものの、これまで利用者が増加してきた一方で、施設及びトレーニングマシーン等の設備の老朽化に伴い、修繕の必要性のある箇所が増えてきている。
今後、設備機器等の点検･整備を徹底し、計画的に修繕を行い、指定管理により健康づくり活動実践の拠点施設として管理運営を行っていく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	かがにこにこパーク		
（指定）管理者	にこぱ共同企業体		
指定管理期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料（千円）	27,000

事業番号	G07	事務事業名	かがにこにこパーク管理			
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ	

施設の設置目的

市内に遊び場が少ないとの保護者などの声を受けて、天候に左右されず、小さい子どもたちが安全に遊べるなど、子育て世代のニーズに対応した「魅力ある楽しい遊び場」を整備するため、「加賀市楽しい遊び場構想基本計画」に基づき、本市の子育て支援施策「子育て安心パッケージ」の重点事業として進めてきた市内初の屋内児童遊戯施設である。

子どもたちが天候に左右されず、楽しく安全に遊べる施設を整備するため、旧中央公園体育館の耐震、大規模改修及び遊具の設置を行い、「かがにこにこパーク」として、平成30年4月8日に供用開始した。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

令和3年度　利用者数　62,365人
・市内利用者　31,603人
・市外利用者　30,762人

遊具の点検、危険防止のための館内巡回、けがなどの救護体制、細かな清掃による衛生管理を行い、子どもたちが楽しく安全に遊べるよう施設管理に努めた。

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	121	一般会計	3	2	1	11	1	管理運営委託費	27,000
②	121	一般会計	3	2	1	11	2	その他管理費	42
③	121	一般会計	3	2	1	11	3	維持補修費	341
④	121	一般会計	3	2	1	11	4	その他事業費	10
								関連決算額合計	27,393

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	良
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
利用者の事を第一に考え、また、常に課題の抽出を行い、改善に繋げていく意識が高く、自主事業を積極的に行い、施設運営に取り組んでいる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

指定管理者と協働のもと、施設の適正な管理運営を継続して行う。市に類のない施設であり、今後、施設の管理運営状況や利用者ニーズ等を踏まえ、ハード・ソフト面のさらなる充実に取り組むとともに、屋内及び屋外遊び場の一体的な利用促進、中央公園全体としての利活用など、関係課と連携して取り組んでいく。

令和4年度　加賀市行政評価　事務事業評価シート　【公の施設】

施設名	かが健康グリーンパーク		
（指定）管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R1.9.1～R6.3.31	指定管理委託料（千円）	24,130

事業番号	G08	事務事業名	かが健康グリーンパーク管理			
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ	

施設の設置目的

パークゴルフやグラウンドゴルフ、マレットゴルフなど、子供から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

実施状況

令和3年度の管理運営状況

パークゴルフやグラウンドゴルフ、マレットゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。
また、意見箱を設置し、利用者の要望等に応じるための改修・改善を行うなど、利用者の利便性向上を図っている。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数：19,479人

令和3年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	283	一般会計	10	6	6	21	1	管理委託費	24,130
②									
③									
								関連決算額合計	24,130

内部評価

モニタリング結果（指定管理施設のみ）							内部評価（優/良/可/不可）
維持管理（適正な施設の維持管理・運営がなされたか）	○	15	△	0	×	0	優
利用促進（施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか）	○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等（内部評価を踏まえ）

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。